
エッセー集

夢野ユーマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヒッセー集

【著者名】

N4807N

【作者名】 夢野コーマ

【あらすじ】
日々、思ったことや経験したこと。

愛の死

今日、友人がオーケストラをやっているので、「コンサートにうかがいました。前半はマーラーの交響曲第4番。後半は「トリスタンとイゾルデ」の演奏会形式コンサートでした。

マーラーもよかつたのですが、私はワーグナーが好きなので、後半がすじくよかったです。

グランドフィナーレの「愛の死」はバレンタインコンサートなどで演奏されることもある曲ですが、日本のオーケストラでは力ちっちとした演奏が多いです。それがちょっと違うと思っていたのですが、今日は情感たっぷりで、すじくよかったです。こちらも大いに感情移入しました。素晴らしいコンサートでした。

正直なところ、演奏は危なつかしいとこもありましたが、演奏している人たちが曲や演奏を愛していて、素晴らしいかったです。

クラシックのコンサートを聴いてリラックスすると小説のイメージネーションも刺激されます。

渴き

昨年のカンヌ映画祭の審査員グランプリの韓国映画「渴き」観ました。近年の韓国映画の充実ぶりはすごい。「母なる証明」や「チヨイサー」など、続々、傑作が生まれています。「渴き」も、その系譜に連なる作品。

少し分析してみると韓国は日本以上に経済の不振や社会の閉塞が強いけれど、それだけ反逆のエネルギーも強いようです。少なくとも日本やアメリカみたいにきれいに小ぢんまりとまとめない荒削りな怒りが素晴らしい。「渴き」はホラー映画のスタイルを描きながら、底辺で生きる人間の怒りも哀しみも醜さも書ききつて、突き抜けると不思議な人間への愛しさが残っていました。

といひで国際的演技派ソン・ガンホがヨン様やイ・ビョンホンみたいに演じているのは悪意だと思う。深刻悲痛な作品の中、爆笑してしまいました。

マティスとルオーと先生と

マティスはピカソが認めていた数少ない友人である。ピカソのよくな派手な作風ではないが、代表作「ジャズ」の物の形を極端にシンプルに描いた手法は前衛性を感じる。

一方、ルオーはキリスト教をテーマに非常に重い、思想性のある作品で有名。

と、何の接点もなく見える二人ですが、実は親友でした。
何が接点だったのでしょうか？

実は一人とも絵、美術をギュスターヴ・モローに習っているのであつた。

モローはピエタなど伝統的なキリスト教の絵を描いた。ルオーはそこを継承した訳です。ところがモローはキリスト教の絵を描く場合でも何か普通のありふれた構図じゃない。またサロメやセバスチヤンなどちょっととんだテーマを好んでいた。その辺りがマティスに流れこんだんだと思う。

絵は一つ一つがもちろん面白いんだけど、師弟関係などを工夫した展示も面白い。

先生、お土産！

私は中学や高校ではなく、予備校、塾で勉強を教えている。だから、夏休みなどは忙しい。生徒は勉強もしているけど、どこかバカンスに行く子も多い。いろんなお土産をもらう。ミッキーマウスのキー ホルダーとか。まりもつこりのキー ホルダーとか。イタリアやハワイに行つた子のチョコはどうぞ溶けていて、笑つてしまつた。善光寺の九九福みたいなちゃんとしたものもあれば坂本龍馬のおたべなど怪しいものもある。

でも本当にうれしいお土産は一人一人の子の夏休みの話である。毎日、ビルの中の教室にいる私には一人一人の夏休みの思い出話がサマーウォーズのような冒険である。

夏休みの思い出は心の宝石箱にしまつておく。

残念ですね

私は生徒を好意的に見ていて。いい所を見つけようとしている。しかしある先輩は非常にシニカル、毒舌、エスプリに満ちている。

Kくんという子が話が面白い。

「うちの世界史の先生はホモなんですよ。カツコイイ子は優しくしてもらえるんですよ」

私「じゃあ君も優しくしてもらえますね」

先輩「残念ですね~」

私「Kくんは神木隆之介よりカツコイイ!」

K「神木隆之介、大したことないじゃないですか!」

先輩「君は目も悪いんだね」

K「モテ期なんてあるんですかね?カツコイイ奴は一生モテ期だし、モテない奴は一生モテないですよねえ」

私「君も一生モテ期だから大丈夫ですよ」

先輩「じゃあ君も一生モテないね」

三人のバトルは続く。(- - -)

特攻野郎

中日新聞さんと雑誌社リバブックさんの「招待で『特攻野郎Aチー
ム』試写会にうかがつた。8月6日。場所は名古屋市公会堂。

リドリー・スコットとトニー・スコット兄弟のプロデュースで上手
く出来ていたが、ちょっと展開が早すぎる気もした。しかし、男子
高校生を三人連れていつてあげたのだが、彼らは大喜びだった。

こういう何も考えないでもいい作品というのは根強いのかも知れな
い。そう思つた。

私は頭を使うヨーロピアンな映画が好き!
もっとも空飛ぶ戦車。ドイツの湖の老人。3Dで観る「大脱走」な
ど馬鹿馬鹿しくて大好き。

ブラッドリー・クーパーとジェシカ・ビールのロマンスもよかつた。

似てる

私はよく「〇〇に似てる」と言つたが、生徒に言わせるとほめないとなつていないと言われる。

「Kくんは神木隆之介よりカッコよく、森山未來に似ている」、と言つた。ブフフと先輩が笑つていた。

また、のんちゃんなど「うす（ ）には「S M A P の草なぎくんに似ている」と言つたが、すぐ嫌そうにされた。

またEくんには「ハニカミ王子や大沢たかおに似ている」と言つたら、「いやー似てないよー」と強く打ち消された。

一番、ひんしゅくを買つたのは「市橋達也が善人になつたような感じ」という発言だった。

誰それに似ているは控えなきや。そんな自分自身は「メガネを外すと武田真治くんに似ているの」と言つていたが、先輩に「顔の骨格と眉毛と目と鼻と口を取り替えたら似ている」「キャラインの天野つち似のおっさん」と言われた。（ - - - ）

衝撃！別れ話大作戦！

仕事で刈谷という街に行き、喫茶店（東海地方にはたくさんある）メダ珈琲店（というとこ）で、準備をしていたら隣に21才のカップルがいた。（話の中で21才と言っていた。）

二人は自動車免許を取ったこと、バイトのこと、刈谷高校に行つていたころハンドボール部をやつていたことなどを話していたが、ちよつとの沈黙があつて、男が急に「ところで、今日は別れたくて呼んだんだ」と言い出した。女の子の方は「悪いところは直すから別れたくない！」と言つていたが、男はとにかく別れる、友達でいようと頑としてはねつけており、私は「人生の厳粛」（ｂｙ太宰治）を感じて、凍りついていた。

しかし、別れ話するつて呼び出す男もない。電話やメールよりもいと思つたんだろうか？自分は経験が少ないのでこういう時の定石が分かんない。

あと友達にならうつて言われても、こんな話の後で友達になれないだろう！女の子も男に珈琲かけて出でていけばよかつたのに。

もつとも自分は片方が帰つたらちょっと話しかけようと企んでいたんだけど、それを見抜かれたのか男は目の前で女の子が泣いているのを冷酷に見つつ、なかなか帰らなかつた。私の仕事の時間の方が来て、私はチツと仕事に行つた。

その後、よりが戻つたなら僕は天使なの。
しかし生徒には「先生、ハイエナじゃないですか！」と言われた。

（ - - ）

オバケ（ー、ー、ー）

さて、刈谷で仕事があった日の次の日、岡崎という街に行つた。徳川家康の生まれた城下町できれいなところである。

そここの町外れの山の上に美術博物館といふところがあり、バスで行くことにした。どういう都市計画なのか分からぬが、山すそに市民病院があるらしく、ほとんどの人は市民病院で降りて行つた。

「あれっ？」

ところが、一番前の席に一人のじいちゃんが座つていた。

そして山奥の美術博物館に着いてもじいちゃんは降りなかつた。私はけげんに思いつつ、美術博物館でホアン・ミロの絵を観て、岡崎の街を見下ろす展望レストラン・セレーノで桜海老のサラダ、ミネストローネ、ビーフステーキ、フルーツなどを食べて、じいちゃんのことは忘れていた。

そして、帰りのバスに乗つた。

「あれれっ！」

また同じじいちゃんが同じ席に座つていた。

しかし、私は大ボケのためじいちゃんは循環の路線に乗つてゐるだけ同じところをぐるぐる回つてゐるのだろう、と思つた。

帰つてから生徒にその話をしたら、そのじいちゃんは本当にじいちゃんだったんですか！と突つ込まれた。

靈感がないので、私には分からぬ。今度、また美術博物館、行つてみよ。

常連なんかならないわ

常連といつのが苦手である。と云つて常連のこる店に行くのが苦手と受け取られるだろうが私は常連になるのが苦手。

今年は仕事の都合でホテルに宿泊することがあるのだが、常連さんですね、みたいに扱われると何かムズムズする。苦手。

「」朝食はなし、明日の朝刊は中日、天蓋つきベッドを「」用意いたしました」「ギャ～やめてくれ！」

しかしホテルの人はむしろサービスでやつてらっしゃるんだね。つまり常連扱いされると喜ぶ人が多いのだ。多分。

しかし飲食店などでも私は行動を読まれていると何か恥ずかしい。東海地方はごはんおかわり自由の店が多いのだが、ある店で最初から一杯分ごはんが盛つてあったことがあった。

恥ずかしかった。

でも全部食べた。

K女座の男の子

ハッピーバースデー！マジジュン。今日はマジジュンのお誕生日です。おめでとうございます。

ところによく乙女座なんだ。

乙女座の男の子は特徴がある。

?男くさいもの、不良、893への憧れ。

私が一番可愛がっているKくんは乙女座である。不良に憧れ、武術などを練習している。荒いしゃべり方も心がけている。
また大学時代、一番仲よかつた友達も乙女座だった。

石原軍団のドラマや藤岡弘のドラマを録画して見ていた。
893の雑誌も愛読していた。

?しかし、一人とも実は汚すことの出来ない純粋で優しい魂の持ち主で、悪人になることは出来ない。

Kくんは家族をすごく大事にしているし、大学時代の友達は銀行で働いている。

二人が手に入れるこの出来ない男くささを手に入れようと頑張っているところ、可愛い。何か乙女ちっく！

小説の原稿料

今から書くことは思い出話で、自慢みたいに誤解なさらないで下さい。

私は収入の大多数は教師として得ているけれど、新聞社、出版社、テレビ局などのちょっとした行事などには呼んでもらえる。それは若かった頃、小説や歌（31文字の和歌）でいたさか賞を取つたりしたからである。

ある時、お名前は出せないが同人誌じゃなく、原稿料がもらえる雑誌に作品を四回載せてもらつた。そして三回、その雑誌の中の大賞にノミネートされた。結局、無冠に終わつたが、賞へのノミネートなしで一つ作品を載せてあげます、と言われ、一つ作品を載せてもらつたのは編集者の方の残念賞みたいな感じだつたのかな?と思つ。四回でもらつた原稿料は三十万円ぐらいだつた。十万円ぐらいのが一本と五万円ぐらいのが一本。内容は関係なく、あくまで原稿用紙の枚数だつた。

こういう体験が出来たのはとてもよかつた。その雑誌からは芥川賞のさらに前哨戦になる賞を取つた人も一人出た。しかし、残念ながらお一人とも新人賞レースで活躍という状態ではない。

だから私は新人賞の厳しさ、取つても「ゴールじゃない」ということはよく分かっているし、焦つてはいけないとよく思う。

今、思うとしまったな、と思うのだが、当時、マンガの原作を書いてみないか？というお話があつたが、私はマンガに詳しくなかつたし、当時は力量がなく、お断りした。

最近、自分なりにスタイルを工夫し、書きたいこともいろいろある。マンガの原作のような作品を近いうちに書きたいな、書けたらいいな、と思っている。

怪談！お蔵だし！（^〇^）

夏休み終わる（トロト）

だから、怪談を一つ。

先輩から聞いた実話。

山形県のホテルにスキー旅行で行つたんだよ。
六人でさ。全員同じ階がよかつたんだけど、三階と六階に二人ずつ
分けられたのね。俺は六階だった。
きれいなホテルだったよ。地元の華族の人の邸宅を建て増したって
とこでさ。

まあ大学生だし、チエツクインしてコースの夕食を食べた後は三階
にみんな集まつて麻雀とかチエスとかやってたの。昔だったから煙
草パツパ吸つてさ。

一段落して、俺、六階だったんだけど、戻ることにしたのね。
レトロな、フランス映画でアパルトマンに出てくるようなエレベー

ターに乗ったの。そしたら。ほわん。

ほわん。

四階と五階でいちいちドアが開くのね。誰もいないのに。

で、まあ六階に行つたけど、やっぱり遊び足りないのね。

三十年ぐらい前。ゲーム機とかないし。

それで俺、三階のダチを呼びに行つたの。六階でまた麻雀やひつて。

ほわん。
ほわん。

またエレベーターが五階、四階で止まって、三階に着いて、友達の部屋開けたのね。

そしたらそいつがさ、気まずそうな感じで田を伏せて「いいよ。早く帰れよ」ってドアを閉めようとするの。

おつかしい奴だな~と思しながら、またエレベーターに乗つて、
ほわん。
ほわん。

また四階と五階で止まるのね。
でも六階に戻つてまあ寝たかな。

それで翌朝、食堂に行くとわ、三階の奴が逆にニヤニヤしてて、「お前さ、昨日、後ろに可愛い子連れて来やがつて。お前タラシだもんな。あの女の子いつ引っかけたんだよ」って。

俺の顔色が変わるので、気づいたんだろうな、給仕してたばあちゃんが

「ああ、お嬢様が……」って。

聞いたら、そのホテルが華族の屋敷だった時、お嬢様はエレベーター

ホールに身を投げて……

俺たちみたいな若い大学生が来ると出でくるんだって。

これってモテてるのかな？

誕生日大合戦！

インターネットに月と日を入力するとその日に生まれた有名人がズラズラ~と出でてくる。

Kくん、乙女座、9月5日生まれが「俺と誕生日同じは誰ですか?」と語るので、調べたら、この日はすごい!

伊達政宗、ルイ14世、棟方志功、キム・ヨナ、そして仲村トオル!

「すごいっすねー！」

Kくんは喜んでいた。

それを見て、のんちゃん（・成績優秀・ハンド部の副主将・B型）が「俺も調べて欲しいっす」と言った。
のんちゃんは10月16日生まれ。

「おっ！すごいじゃん！アメリカの文豪ゴージーン・オーナーもやドイツが世界に誇る匠ギュンター・グラスと一緒にじゃん！のんちゃんもノーベル文学賞とれるかも！」

「いや、あの、AKBとかSKEとかやつてる十代の可愛い女の子いないっすか？」

「！！・・・いないね・・・十代の可愛い女の子」

「ゴージーン・オーナーってめちゃくちゃ暗い作風でノーベル文学賞とった時はもう廢人ですよね。ギュンター・グラスもノーベル文学賞とつた後、ナチスに協力してたことが発覚して、追及されてましたよね！」

（ああん、師匠が師匠なら弟子も弟子。詳しいな！）

「俺、勲章もらつて不幸になるなんかいやつす！（トロト）可愛いアイドルの女の子と暮らしたいっす！」

「泣くなーのんちゃん、自分と同じ誕生日は天国の緒形拳さんと松

坂慶子と畠観平にこじらんだがー。」

「うう・・・（トロト）」

あへあへー。

悪人（偽）

妻夫木聰くんの最新作「悪人」の試写会の招待状が中日新聞さんから送られてきた。ちょっと都合がつかなかつたので、のんちゃん（映画好き）にあげることにした。

しかし髪を金色に染めた妻夫木聰くんは悪人というより場末の温泉場のちんぴらのようです。（Ｔ－Ｔ）

本当は純粋で優しくハンサムな子（妻夫木聰）が世間に残酷にいじめられ、理解してくれる美しい優しい女性（深津絵里や満島ひかり）と恋をするみたいなくさい芝居がみえみえだ。

しかし、考えてみると若い男の子でシリアスな悪役がやれる子って誰がいるだろう。

赤西仁とか市原隼人とか三浦春馬とか、みんなお洒落で可愛くて、優しい感じだもんな。

稻垣吾郎くんがシリアスな悪役に挑戦したといつ「13人の刺客」の試写会の案内も来てたな。何か悪い予感がする・・・（－－－）

シリアスな悪役・・・誰か思いついたら教えて。

フローズンリバー

泣いた！

去年のアカデミー賞の台風の日だつた「フローズンリバー」を観た。一年にあるかないかの感覚、感動が体の中を暴れ回つてゐる感じ。その感覚に出会いたくて、映画やお芝居、コンサート、美術館などに出かける。感動が体の中で暴れ回ると必ずと創作のイメージーションも刺激される。

それはそれとして、「フローズンリバー」はスターも出ておらず、一時間半ぐらいにコンパクトにまとまつてゐるが秀作だつた。
あえてストーリーは書きたくない。

まつさらな心で觀て欲しい。本當におすすめです。決して明るい話ではないけど、本當の人間ドラマにふれた感動を味わえます。
ストーリーは秘密だけど、テロ戦争や経済破綻で苦しむ人々の真実の姿を容赦なく描ききつていた。苦しみ、哀しみ、人間の醜さ、绝望。しかし、それを描ききつたところにかすかに暗示される希望。それを目撃した時、とめどなくあふれる涙を抑えられなかつた。力タルシスの雨がハートを洗い流してくれた。

是非、本当の映画を觀たい方はその日で確かめてみて下さい。おすすめです。

一生の中でもこんな作品を書けたらどんなに素晴らしいだろう。
頑張る！

実話です。（ーーーー）

大学を出た後はテレビ局の仕事をしたんだけど、各地のホテルつて怖いところが多いのね。エレベーター降りた瞬間、監獄みたいな感じになつてたり、殺気を感じたり。

部屋に入ると水道から髪や血が流れてきたり、窓から逆さ向きに人の顔がのぞいてたり。お前（夢ちゃん）そういう経験ないの？ない？お前、鈍感だもんね。この前、見てくれたAPU大学の生徒の写真も窓ガラスに人影が映つてゐるのに「撮つた人でしょ」って笑いながら、おせんべい食べてたもんね。

俺も慣れてるから、あんまり怖がらないんだけど、群馬県のホテルに泊まつて、ベッドに横になつた時、「あつ！ヤバい！」つて思った。寝たら殺されるな、つて。

よくあるんだけど、飾つてある絵の裏とか、デスクの引き出しの中にお札や十字架がないか探したのね。でも、見つからないの。天井裏とか、浴室とか丹念に探したけどないの。

見つけたらホテルの奴に言つて宿泊代は返してもうつむりだつたし、よくそういうことあるんだけど。

あの。あきらめて、チェックアウトする準備してさ、変なくせなんだけど、俺、ベッドのシーツとつちやうのね。

そしたら、ベッドにびっしりお札が貼つてあったの・・・

お前って基本的に全然靈感信じてないよね。信じてたらそんなにポテトチップス食べられないよね。それ新しい味?ちょっとちょうどいい。

切り札

私の生徒の中でやはり一番面白いのはカズマであろう。

カズマはB型でパツパラパーだった。

カズマと夢ちゃんの数々の攻防は語り草になっている。

カズマは基本的に勉強が好きじゃなかつた。

顔はジャニ系で、髪はフワフワしていて、いつもドルガバの服を着て、お洒落で、でもマザコンだった。

お母さんの写真持つてたし。

「ボクのママはキレイなの」ってよく見せてたな。

カズマのルックスにひかれる女の子も多かつたけど、カズマのプログを見たりすると去つていったな。（Ｔ・〇・Ｔ）

「今日、サングラスが欲しかつたので、ママに買つてもらつため栄のデパートに一緒に行きました。一緒にいちじくのタルトを食べ、ミックスジュースを飲みました。美味しかつたです！」

そしてママの写真。じゃーん。

そんなカズマだが、根は優しい素直な子だったので、みんなに愛されていた。

カズマ伝説という切り札を時々、出してこぐことにする。

あなたと読む恋の歌101首

私は時々、読売新聞さんと中日新聞さんに歌を載せてもらひ。それを生徒に見せた。目的は自慢である。（――）

しかし、カズマは「ギャハハー、どれもこれもひどい歌ばかりや、モテてないのに恋の歌作つてモテると見せかけとる!」「メガネをかけたデブが恋愛に憧れの気持ちを持つのが邪悪」など笑い転げていた。（・・・）

優等生のあっちゃん（・成績優秀・水泳部のキャプテン・かに座〇型）は笑いをかみ殺していた。

のんちゃんの感想はちょっと変わっていた。
「忽那汐里とか川島海荷とか仲里依紗とかがこうこうう歌作つてたらいいですね！」

「いや、ダメだつて」

「でもカズマくん、化学の時間、ずっと夢ちゃんの歌の本、ラインマークで線引きながら見てたじゃないですか！」

カズマの顔色が蒼くなつた。

あっちゃんがカズマを羽交い締めにして、のんちゃんがカズマのスケッチブックを取り出す。

そこにメモされていた歌はとてもないものばかりだった。
「二十歳とはロングヘアをなびかせて畏れを知らぬ春のヴィーナス」（俵万智）

「硝子粒光る路面に一人立つ苺畠の見張りのように」（穂村弘）

「幾億の命の果てに生まれたる二つの心そと並びけり」（柳原白蓮）

「月面に脚が降りたつその時も我らは愛し愛されたきを」（村木道彦）

「カーテンの向こうは多分雨だけどビバリがさえずるようなフヨラ
チオ」（林あまり）

とてつもない結果だった。全員が硬直していた。

現実的乙女たち

私は男子校にいる訳ではないので、女の子も生徒にいる。しっかりした子は女の子の方が多いぐらいである。

ヨーロ、蘭、マコはクラスを仕切つていて気も強かつた。

カズマ、あつちゃん、のんちゃんは圧倒されがちで、硬派なぐくんは比較的人気があった。

しかし、女の子たちは今はそういうもののがジャニーズのアイドルとか好きじやなかつた。

「あうのじゅとか見てても嵐とか青臭いよね
「小栗旬もアタシは好きじやない」

私（呆れて困つた感じで）

「じゃあ、みんなは誰が好きなの？」

「ジョニー・デップと布拉ッド・ピット」

「アタシはオーランド・ブルーム」

「マコはインディ・ジョーンズ」

インディ・ジョーンズはちょっと反則だらうと思つて、笑つてしまつた。ちなみにマコちゃんの弟は3、4歳だが、「インディ・ジョーンズの次の舞台は日本なの」と話していた。「願望を話しているんですよ」とお母様がおっしゃつていた。

話がちょっとそれるけど、生徒に小さい弟や妹がいると必ず私についてくる。

「どうして先生のこと好きなの？」と聞いたら、

「JR名古屋高島屋のおもちゃ屋さんの店長と先生はそっくりな」と言っていた。東海地方特有の顔らしい。（――）

それはさておき、私は呆れながら、女の子に聞いた。

「日本人の男の子で好きな子いないの？」

「一人だけいるよ」

「誰？ 誰？」

「ダルビッシュ」

（――）

新しい女の子が来た。絢香といつ可愛い子だった。

ヨーハたちの顔色が蒼くなり、カズマたちは「レーレー」になつた。

しかも絢香は本物のお嬢様だった。

今の皇后が若い時、通っていた聖心女学院の富士山校舎に寄宿し、週末帰ってきた時だけ、夢ちゃんに論文を習いに来ていたのだった。

夢ちゃん（私）は聖心女学院のパンフを見ていた。

「このゴルフ場みたいのは何なの？」

「ゴルフ場です。体育の時、ゴルフやるための」

「ふーむ。テレビはないの？」

「はい。週末に録画したのを見てます。『キサゴン』とか、『ラストフレンズ』とか『魔王』とか『流星の絆』とか」

「『流星の絆』真犯人は三浦友和だったでせう」

「え～、すご～い、どうして分かるんですか？」

「フォーツフォーツフォツ、長く生きればそれぐらい分かるんですよ」

カズマはあつちゃんやのんちゃんを語らい、ボルテージを上げていった。

「あつちゃん、のんちゃん、助けてよ～ああいう天然のお嬢様、大好物なんだよ～ん」

ヨーハ、蘭、マコらは危機感を強めた。

「アタシたちは結託しなきや～」

カズマは遊び慣れていたので、絢香に積極的に話しかけていた。

「勉強会やっているからさ、来なよ」

しかし、ヨーコたちはカズマの今までの悪行を暴露した。カズマの瞳に虚ろな光が宿った。それは夢を奪われた人間の瞳に宿る虚ろな光だった。（うそ）

「絢香、気をつけた方がいいよ。カズマ、淑徳（名古屋のお嬢様学校）の子と付き合っている時、浮氣したから」

「何言うれす！？」

「彼女いるのに別の女の子と映画行つたの」

「え～、それは浮氣だと思います。やだ～！」

ガーン！ガーン！ガーン！

カズマの恋はシャボン玉のように弾けて消えた。次回、みぞぎのバングルージャンプに続く！？（*ー＊）

カズマの詫び状（Ｔ－Ｔ）

カズマ筆（添削・夢）

僕は詫び状を書かないといけないような悪い子じゃないと思つんだけど、女子に脅迫され、書くことになりました。表向き浮気をしたからということになつていますが、「うちの女子は顔面偏差値が低い」と陰口をきいたのが発覚してしまつたようです。（Ｔ－Ｔ）また夢ちゃんの授業をサボつて喫茶店でF-1を見ていたことも発覚してしまつたようです。

夢ちゃんは僕が休む日を計算に入れているみたいなんですが・・・
また犬の出産を観察するため学校を休んだことも否定派がいるようです。

「瑛太と森山未來はどちらが不細工か」を話していたのもいけないらしいです。僕は瑛太が不細工だと思うのですが、女子は違うらしいです。（Ｔ－Ｔ）

最後にみそぎとしてやつたバンジージャンプ、すごく面白かつたです。またやりたいです。飛んでいる時の満面の笑顔がだめだつたようです。（Ｔ－Ｔ）

イタリアにバカンスに行つて、いたヒテキが帰つてきた。

夢ちゃん、カズマ、ヨーハ、蘭、マコはヒテキの家に行つた。

ヒテキの部屋に入るとヒテキの末の弟、キヨンキヨンが女の子が来たことに興奮して、部屋に入つてきた。

「これはお兄ちゃんの部屋の電気です！ これはお兄ちゃんが集めるスター・ウォーズのフィギュアです！」

「キヨンキヨン、落ち着けよ！」

やがて、キヨンキヨンは子供を魅了する夢ちゃんの膝に抱かれた。

「これお土産です」

ヒテキは夢ちゃんにチョコレート、ボッティエルリ、ジョルジオ・モランディのカードなどを差し出した。

カズマには「はい」とフュラーリの車のプラモを渡した。

カズマは乗り物好きである。

ヒテキは男子に対するよりはぎこちなく、女子の方にスカーフとブローチと香水を差し出した。

蘭はちょっと焦れていた。と、ドアが開いた。あどけない美少年が顔をのぞかせる。

ヒテキ、タカくん、キヨンキヨン。名古屋に咲いた絢爛たる美少年の花である。陰のあるハンサムで武術に励んでいるヒテキに対し、タカくんは優等生的な美少年だった。

「お兄ちゃん、お茶持つてきたんだけど」

「おひー」

「あの・・・悪いけど、お兄ちゃんのペシトのサンショウウオちゃんのHサの虫、部屋にこなー?僕、虫苦手なんだけど」

「神経質な奴だな!」

「僕はお兄ちゃんがサンショウウオちゃんに虫を食べちゃうのも我慢しちこるのー。」

ままま、とみんなでタカくんをなだめる。夢ちゃんは独立独歩でサンショウウオちゃんの写真を撮っていた。

タカくんがロシア紅茶やロシ亞ケーキを持ってきた。

「といひで」ヒトキは言った。「バカンスに行つたんですけど、従姉の子が一緒で」

夢ちゃん「あら素敵じゃない」

ヒトキ「でも全然可愛くないんですよ。ばあちゃんは可愛こって言うんですけど、それはばあちゃんに似ているからんですよ。何かいき遅れそだから俺に期待してくるみたいで」

ヒトキは救いを求めるようにカズマを見た。夢ちゃんとキヨンキヨンは無心にロシアケーキをかじっていた。女子たちはタカくんに見とれていた。それぞれの想いを抱きながら、青春の時間が流れていった。

人はバケモン

そうね。

女性の先輩も怖い話を教えて下さることになった。

私も夢ちゃんと一緒に靈感なんかないわよ。でも結局は人間が怖いって結論になるのかしら。

私が大学生の時、住んでいたマンションのセキュリティはしっかりしていたと思う。

入り口のホールにオートロックのガラスの玄関があつて、カードキーじゃないと開かなくて。

だからある時、エレベーターに乗つた時、見慣れない男が乗つたんだけど、顔も見なかつたの。しばらく一緒に乗つてたけど、田も合わせないようにして。

そしたらね、何日かして、早朝に刑事が来たの。マンションの一室で女の人の死体が見つかったんだって。それで詳しいことを聞きたから上がらしてくれ！って言つんだけど、アタシ、夢ちゃんと一緒に低血圧がひどいから少し後に改めてお越し下さいって突っぱねたの。

シャワーを浴びたり、コーヒーを飲んで、人心地ついたら、また刑事が来たわ。でもさつきの刑事じゃなかつた。

そして刑事が見せてくれた犯人の写真は・・・

最初に来た男だつた。あのエレベーターの男もそいつだつたのね。私は全然気づいてなかつたんだけど、私を目撃者と思って、殺しに来たのね。

バケモンは人間よ。

「一タロー！ 奔（はし）れ！

自分は最近、ある先輩に「お前は社会人なのか！？」と叱られ、シヨックを受けていた。

教室のあるビルの喫茶室でクリームあんみつと珈琲を頼み、自分は社会人じゃないのかも、とうちひしがれていた。

「千の風の人はちゃんと音楽教育を受けているけど、若い子には魅力ない」と言うマコちゃんに「許されないっしょ！」と言い、「マクドナルドでバイトしたい」と言うカズマに「いいじゃん！」と言っていたが、シンヤに「あ～、若ぶってしゃべってるけど『何とかつしょ』とか『じやん』とか年寄り～」などと突っ込まれていた。

(- -)

そんな感慨深い私のところに「一タロー」が挨拶に来た。

一緒に「青春アミーゴ」を歌い、踊っていた「一タロー」がもう就職活動なんだ。そう思うと私ももう若くないってことか。まだ生徒と「瞳のスクリーン」とか歌い、踊っているけど。

「一タローはどこに行くつもりなの？」

「はい、アパレルの仕事したくて、名古屋の駅ビルのデパートにエントリーシート出したいんですけど、これでいいでしょうか？」

「一タロー、パパがシェフやっている縁で寿司屋のバイトやつたけど、ルネッサンスホテルに引き抜かれて、松田聖子ディナーショーのホテル側の責任者にまで出世したでしょ。あれ、書いとくと

いいよ。アパレル業界の人喜ぶ」

コーダローはタバコを吸いながら、書類を書いていた。
ああ、この子、本当に少年から大人の男になつたんだ。
銘柄はキャメルだつた。

コーダローは挨拶回りで帰つて行き、私は溶けたバニラアイスを口に含んだ。

本当はアパレル業界が今後、日の出の勢いになるのは難しい。アパレル業界より外資系の企業とか進めるのが本当は正しいのかも知れない。

しかし、本当にやりたいことをがまんすれば何かの悔いが残るだろう。若いんだから、中に入つて限界を悟つたら、また再出発すればいい。奔れ！コーダロー！

私は冷めた珈琲を口にした。ほろ苦だけど、美味しかつた。心の中のBGMは「瞳はダイアモンド」

キャリー・マリガン

「17歳の肖像」観ました。大好き！今年のアカデミー賞作品「ハートロッカー」は久しぶりに??の作品だったので、「マイレージマイライフ」「第9地区」そしてこの作品と他の候補作に力作、快作が多く、疑問です。

それはそれとして、この作品はまつさらな気持ちで一人でも多くの方に観て欲しいです。下に感想を書きますが、出来れば読まずにまつさらな気持ちで劇場で観て欲しい！

とにかく新星キャリー・マリガンが素晴らしい。21世紀のオードリー・ヘップバーンという評判はフェイクではありませんでした。しかし、第二次大戦後のロンドンとパリを舞台にしながら、「ローマの休日」「麗しのサブリナ」「ティファニーで朝食を」の愛と夢に満ちた乙女ちっくな世界でなく、新しい時代が生まれる苦しみ、そこに生きる人間の歡びと哀しみを見つめたドラマはまさに現代の新しい傑作！愛も夢も滅びさっていく時代の中で逞しく生き抜いて行こうとするヒロインの姿を目撃する時、感動の涙があふれて止まらないでしよう！これも今年のベストワン候補です。

60年後の「ローマの休日」は映画史の新たなスタンダードとして輝くでしょう！

ちょっと映画の宣伝ぽい煽り方でしたがキャリー・マリガンの次にお父さん役のアルフレッド・モリーナの演技派ぶりには舌を巻きました。芸術家や学者を得意とするモリーナがロンドンの分からず屋の頑固親父を表現しつつ、最後、モリーナならではの魂の芝居で、観客を震撼させました。今年の助演男優最有力。

映画雑誌にひょっと原稿を送って、アカデミー賞の予想を書いたり、年末のベストテンを決めたり、しかし、その中で関係者、後輩、生徒のみんなから言われることがある。

「夢ちゃんの採点は甘い」 「毎年、年間ベストワンが頻出する」 「ほとんどの作品が星4つ半プラス」

でも仕方ないんだもん。だつて本当に面白いんだもん。

マスク用試写室の片隅で体を折り曲げて号泣している自分の姿は度々目撃されている。生徒（特にのんちゃん）に「何でこの作品で泣くんすか！？」と突っ込まれることもしばしばである。最近ではアリエッティで泣いていた。

しかし、そんな風ではほめ屋として評判が悪くなるかというと、あにはからんや（やうではない）。年間一回あるかないかだが、？？？となる時がある。そういう時は雑誌社や試写会を主催したところに「はじめんなわい。ダメでした」とこいつお手紙を送る。そうすると、その作品は「夢ちゃんですから感動をせられなかつた！」という衝撃を伝える。

批判、批評はただ揚げ足をとつていればいいものではない。いつもニコニコメントの批評家が一年に一回、控えめに言つダメ出しの方が激甚ダメージを伝えることもある。

最近、影響を受けた一冊の本

最近、影響を受けた一冊の本がある。

高橋源一郎さんの「一億三千万人のための小説教室」と穂村弘さんの「本当は違うんだ日記」である。

実は先に読んだのは後者で、その破格の面白さと自由さに、このHセイー集を書く刺激を受けたのである。基本的に穂村弘さんは草食男子で僕はダメな男なんです！と卑屈なほど強調する。しかし、そのユーモアの中に意外と強かな芯の強さ、博識、鋭い感性、観察力などがうかがえるのである。

もちろん私はそんな人生の達人の域には達していないが、自分も素直に書きたくなった。

高橋源一郎さんはとても尊敬している先生に勧められた。

小説教室と書いてあるが高橋源一郎さんが評価する作品が紹介され、それも自由なものが重んじられている。

そういう例として穂村弘さんの作品や、私に古典を教えて下さった藤井貞和先生などが引用されていて、うれしくなってしまった。実は高橋源一郎さんには女性スキャンダルなどで印象が悪かつたのだが、本当に見直した。株が上がった。

お一人のようになりたい！

河野裕子先生

ちょっと暗い話にはなつてしまつけれど、最近、一人の文芸の巨匠の訃報があつた。やはりふれてはおきたい。

河野裕子先生は癌で亡くなつた。歌会始めの選者も務め、主要な文学賞もほとんど制覇してきた大御所である。

ところが！私は彼女には悪い印象を持つていた。

斎藤茂吉が嘗んでいた短歌の団体はアララギという団体だったが名古屋中心の「未来」という団体と「塔」という京都の団体に分かれた。

「未来」は比較的新しい作品を意欲的に作っていたが、京都の「塔」は比較的保守的で、近年も穂村弘さんや林あまりさんといった新しい作品を作る人に厳しかつた。

私はそういう保守性にちょっと反感を覚えたのだった。

しかし、河野裕子死去のニュース速報を見た瞬間、へたりこむような感じがした。

上手く表現出来ないが、伝統を守りながら確かに存在している大御所に反発しながら、若い歌人たちは新しい作品を苦しんで生み出していったのだろうか。

河野裕子先生は京大の教授永田和宏先生の妻で夫妻で活躍していた。永田和宏先生が河野裕子先生に贈った歌に、「どう切っても西瓜は三

角にしか切れぬあとどれぐらいの家族だろうか」がある。

私はこの歌も保守的と思っていて、内実は知らなかつたが、永田和宏先生は河野裕子先生の命が限りが迫つていると分かつていらしたのかと思う。

河野裕子先生、私は反逆児でしたけどご冥福をお祈りいたします。天国から永田和宏先生を見守つて差し上げて下さい。

白夜を旅する者よ

つい先日、三浦哲郎先生が亡くなつた。オールドマスターーズの訃報を面白おかしいエッセー集の中に混ぜるのもいかがかと思うが、生きるとか世間とはそういうじじちや混ぜとも思つ。

三浦哲郎先生が兄弟姉妹四人が自殺という壮絶な人生、運命を見つめた偉大な作家ということは小説をちょっとたしなむ人には説明不要。くだくだしく代表作の説明もしない。

しかし、私は教材でよく三浦哲郎先生の作品を使う。白眉は「鳥寄せ」である。貧しく寒い東北の村で身を寄せあつて生きている家族がいるが父も母も自殺し、取り残された幼い兄弟の絶望は淡々と、しかし、しつかりと見つめられている。偉大な巨匠とされていたが、三浦哲郎先生の根底には貧困や差別への怒りが確かにあつたと思う。そして、だからこそ中学の教科書によく載る「盆土産」のような優しい作品の暖かさが際立つのだと思う。

三浦哲郎先生、素晴らしい作品をありがとうございました！

くそ曲がり王子

あっちゃんは私が教えていた子の中でもすば抜けて優秀である。しかしへそ曲がり王子なのだった。（一・一）

ワールドカップの時、にわかサッカーファンが増えた。私も「多分にもれない。

持ち前の記憶力、勉強好きなどが相まって、トーナメントの組み合わせや日程に詳しい先生として教室でも重宝されるようになつた。

それを苦々しく見ていたのが、あっちゃんである。

あっちゃん「ワールドカップの時だけ、サッカー好きになつとる者がおる」

私「私はですよ。それが日本人というものですよ」

あっちゃん「カメリーンとかコートジボワールとかセルビアとか普段はみんな関心持つてない！」

私「この子は根性が曲がってるね！明日から毎日、先生の家来なさい！直してやるから」

あっちゃん「う～～」

もつとも一番すじに便乗はある先輩の「私の元カレは本田佳祐に似ていた」というものだった。

あっちゃんに話が戻ると、あっちゃんは水泳部のキャプテンながら、オリンピックの水泳も見ていかつた。

「えつ、北島康介の泳ぎ見てないの？めぢや 感動するでしょ…」

「ああいつもんは別もん！」

のんちゃん（私と感性が似てる）が「あつかさんは好きなもんはあるんですかね～」と疑問を抱いていた。先輩が答えた。

「ありますよ。自分が大好きなんです！」

呆れる私たちをよそにあつかさんは自転車をシューと走らせて、去つて行つた。

恋の思い出（偽）

もう公開されている作品だが、「ハナミズキ」の試写会の募集をしている時、とてつもない条件がついていた。

「あなたの恋の思ひ出を書いてトレーー」と二つものである。

私の不徳のいたすところで、男子生徒を集め、言つた。

「ちよつとさ、三歳ぐらいからずっと好きな幼なじみの女の子がいて、お風呂なんかも一緒に入って、ずっと育ってきて、大学入ったら、結婚しようと思つてる、みたいな、ちよつといい話、私が作るから、ケン「」かノブカズの名義で出してよ

「絶対！やだ！」

一ケンゴくんに賛成

「その時、ヘソ曲がり王子がクリティカルヒットを出した！
「先生が33年間で一回も恋したことがないて惨めつてストーリーを作りますよ！」

全く師匠の恩をわきまえない者ばかりだ！（、、）

しかし、師匠も師匠なら弟子も弟子か。（トロト）

息もできない

本当は時間を少し置いた方がいいのかも知れない。しかし、また今年のベストワンクラスの大傑作を観てしまった。韓国映画「息もできない」である。

前評判は高い作品だつた。近年の韓国映画はアイドル中心の韓流が終わつて、非常に力強い作品が多い。「チエイサー」（私は今年観たが）「母なる証明」が去年の映画界を席巻したけれど、今年の「渴き」と「息もできない」も年末にランキングを騒がせると思う。正直、「戦場でワルツを」「フローズンリバー」と今日の「息もできない」のどれを一位にしたらいか、うれしい悲鳴を上げています。

この作品もなるべくまつさらな心で予備知識なしに観て欲しいです！

この映画を観ながら、二つのことを考えました。

人は何故、誰かを愛するのか、という根源的なこと。もう一つは人は何故、小説や映画を作るのかということ。

この作品は恐ろしく暴力的で決して万人には勧められないです。しかし、息もできない緊張の中、最後まで観届けた時、一人一人の人々が心の中に愛しい人を改めて抱きしめるそんな映画です。本当に素晴らしい作品でした！

幸福の黄色いハンカチ

タイトルは受け狙いではなく、今日、「息もできない」の上映まで時間があつたので、名画座で「幸福の黄色いハンカチ」観ました。私の生まれた年の作品なんですが、意外とすごく面白かったです。私は山田洋次監督の作品はあまりたくさん観ていらないんだけど、この作品は面白かった！高倉大根や武田鉄矢はどうでもよかつたけど、桃井かおりさんと倍賞千恵子さんが素晴らしかった。

本筋とは関係無いけれど、ちょっと思ったのは一昔前まで日本人はこんなに貧しく、でも元気に生きていたんだということ。私はからうじてこの映画の世界の感じを覚えている。そんな、なつかしさを感じられただけでもよかつた。

柳ヶ瀬

私は岐阜県の大垣という街に住んでいます。地味な県ワーストワンを佐賀と争う岐阜県。町田康さんの小説では岐阜県は悪の象徴として描かれます。当たつてる。

大垣は岐阜の西の街でシネコンなどもある住みやすい街ですが、今日は岐阜の柳ヶ瀬に足を伸ばしました。柳ヶ瀬はいいところなんだけど、岐阜駅から離れているのが欠点です。

しかし、何とか歩いていき、なつかしい感じのパン屋さんで焼きそばパンや、玉子焼きを具にしているサンドイッチを買い、映画館に行きました。

夕食も柳ヶ瀬に行くと必ず行くステーキハウスに行き、ワインを飲んでいました。私は何かすごくお洒落な店より、気楽な店が好きみたいで、その店には柳ヶ瀬の水商売の人人がよくいて、今日もいました。（――）

私自身、大垣の商店街で生まれ育つたので、岐阜や尾張一宮に行くと、何かホツとします。

これが戦後に発展した名古屋より東の地域三河に行くと非常に不安な気持ちになります。同じ東海地方でもすごく違います。

自分の感じ方としては大垣は北陸、近畿に近いので、三重県に行くのも何となく、落ち着きます。三河よりは大垣に近いです。論理的

なものじゃなく、感じ方ですが。

キングダム・ホスピタル

タイトルはヨーロッパ映画界最凶の狂人ラルス・フォン・トリアーの戦慄ホラー映画から借りただけで、これから書く先輩の話とは無関係である。

内臓を悪くしたことがあってさ、ある病院に通つてたのね。そこに透析（病気の人の血液を入れ替えること）をやつている人の施設があつたの。

ひょんなことでそこで知り合つた若い感じのいい人がいてさ、仲良くなつたの。

ところが、ある日、病院の階段の踊り場でその人がうすくまつて苦しんでいたの。一応、持病がある人な訳だから、慌てて、看護婦さんを呼びに行つたけど、「あれっ！」その人はいなくなつてたの。

でも病院のことだから誰か別の人気が手術室か集中治療室に連れて行つたのかも知れないと考えて、その日は帰つたの。

二週間後に経過を見てもらうのと、薬をもらつために病院に行つて、「○○さんはどうなりましたか？」って尋ねたら、内科の先生の顔が真つ青になつて、「何、言つてるんですか！○○さんは二週間前、透析をやるために病院に来るところ、交差点で居眠り運転のトラックが突つ込んできて、亡くなっていますよ」って・・・

茫然として帰ったんだけど、また一週間経つて同じ病院に行ったら内科の先生も変わったたの。

「××先生はどうしたんですか?」って尋ねたら、あの踊り場から転落して亡くなつたつて。

俺?もちろん病院を変わつたよ。え?その病院がどうなつたか?

それは言えねえな。今日、健康診断だつたよね。

行つてらっしゃい!

人はバケモン2

先輩が「俺も人間が恐ろしい話を知っている」と張り合ってきた。
(- - -)

ある時、肝試しであるお寺に丑三つ時（午前3時ころ）に行つたの
ね。墓地もあるところです。

寺の柱には梵語（古代インドのサン스크リット語）がびっしり書い
てあって、異様な雰囲気のお寺なの。

それで俺は靈感が強いから墓地のそらに裏の森から異様なアウラが
出ていたから行ってみたの。

そしたら、さすがの俺も足がすくんだ。巨大で、曲がりくねった根
が地上に突き出ている御神木にびっしり藁人形がうちつけてあつた
の。

そしたら、ザツザツザツ。遠くから異様な気配がやつてきたの。

白髪だけど、大柄なババアが頭に角のよつて一本の懐中電灯をさし
て、走ってきたの。

「見たなー！」って、叫んで。

両手には藁人形と五寸釘と金づちを持って。

もちろん猛ダッシュで逃げたよ。

え？ そういう生活をしてる俺が怖い？

無礼なこと言つない。（ 、 ）

マユちゃんのパパは男子生徒に「夢を叶える英雄」と尊敬されていた。

マユちゃんのママは東海地方で一番名門のお嬢様学校を出て、英語の先生の資格もとり、イギリスに留学して、美術の勉強もした。家にはターナーの絵が飾つてある。きれいで頭がよかつたので、テレビのクイズ番組に出たこともある。

一方、マユちゃんパパは「戦国バサラ」などアニメを録画して、マユちゃんの弟と並んで観賞。「スターウォーズ」や「インディ・ジヨーンズ」もよく観ていた。

オタク男子生徒は「パパさんは好きなことに打ち込みながら素晴らしい女性と結婚した英雄、あやかりたい」と憧れていた。

マユちゃんのママに「どうして結婚なさったんですか?」と尋ねてみた。

奥様は紅茶を飲み干すと「愛していたからです」とお答えになつた。

困った（ーーー）

生徒の休みが終わり、私は入れ替わりに休みモードで映画を觀てあります。

しかし、今日、觀た作品は意外な秀作でびっくりしました。とにかく観て欲しいのですが、今日は普通の善男善女が「えつ？」と思うような作品です。

内容が反社会とかではなく、アイドル映画だからです。AKBというグループの小野恵玲奈という子が出ています。

今回は何の賞もレビューもない作品なので、敢えて本格的に論評します。

「さんかく」という日本映画です。

東京で暮らす若いカップルのところに女の子の妹が来て、三角関係になる。じつまとめると面白くなりそうにないのですが、意外や意外、すぐ面白かったのです。

成功のカギの一つはキャスティングとキャラクター作りです。

若いカップルの役は高岡蒼甫と田畠智子。ハッキリ言うとあまり美女じゃないけれど、演技に高い評価のある人です。これはほめる意味で言つんだけど、何か不幸とか貧しいという設定で輝く一人です。

始まつて五分か十分ぐらいでアイドル映画としては変！とざわざわし始めます。高岡蒼甫のキャラクターが秀逸で、痛い車（痛車）に乗っていて、性格も悪い。そんな男しか相手にしてもらえない田畠智子の焦燥感がギリギリ伝わってくる。

そこにふらつと中学生の妹がやつて来て、ダメ男はすぐ妹を好きになり、三人の力関係や精神のバランスが危うくなつていく。

ここでのアイドルの女の子が演技が上手い訳ではないですが、非常に存在感が素晴らしい。思春期の女の子の目の前の相手でくるくる人格が変わつてしまつ特徴を非常に上手く表している。すげー！

この後はよそそうだなと思つた方は読まずに観て欲しいのですが、

結局、妹が田舎に帰つた後、ダメ男は妹にストーカー行為を始め、姉はダメ男にストーカー行為を始め、非常に怖いサスペンスになります。この辺、去年のアイドル映画「おと・な・り」でも岡田准一と麻生久美子のラブストーリーと思つたら主要キャストに狂人がいて、急に日常がねじまがるのですが、收拾も下手だった。それに比べるとはるかに上手く、手に汗を握ります。

ただ作品をホラー、サスペンスと宣伝しなかつたのはすゞくよかつた。理由は後述しますが主要キャストが最後救われることを強く願いました。そして救われるハッピーエンディングです。

もう一つ、この作品が成功したのは、都會の若者の生活の描き方もすごく上手かった。日本の映画監督は大貴族出身で生活なんか描かず幻想に溶かしこむか、逆に極端に貧困を描くか、一極化しがちで

す。文学もそうです。前者は谷崎潤一郎、三島由紀夫などです。後者は松本清張や井上ひさしです。ところが、この作品では都会の若い子の慎ましい、でもちょっとギリギリした感じがよく描かれています。だから、この子たちが救われて欲しいと思えるのです。

最後の成功のカギは偉大なフランス文学を彷彿とさせるところがあります。子供の純粋さが大人社会を破壊するところはジャン・コクトオの「アンファンテリブル」、フランソワーズ・サガン「悲しみよこんには」のよう。世界の崩壊の仕方はアルベール・カミュの「異邦人」

監督はその辺り、意識的にシナリオを書いたのか、無意識なのか。無意識の方が面白い。私ぐらいまでの世代はやっぱり名作は読んでおきたいという意識があつたので、読んだのかもしれません、限られた時間と予算がサガソやカミュのような作品を作らせたと考える方が何か面白い。そう思いました。

頑張つて論評を書きましたので、是非、ご覧下さい！

文学と映画

最近、映画の「ことば」かり書いていますが、文学と映画を観比べ、いろいろ考えています。

実は今日、文芸大作「東京島」も観たのですがかるうじて合格の出来で、ちょっとがっくし。

原作は村上春樹なんかより海外の大きい賞レースに絡む天才桐野夏生さんの傑作ですが、結論を言つと映画としては中途半端。原作をカットした方なのでしょうが、それでもやや分かりにくいつづり。一時間半ぐらいあるのですがしつかり描くにはもっと時間が必要だったかも。

無人島に一人の女性が流れつき、そこに日本人と中国人が流れつき、一人の女性をめぐる対立を描きながら、文明批評や現代社会の批判を描く意図は分かるのですが、映画は舌足らずになってしましました。

主演の木村多江と、助演の窪塚洋介は頑張っているのですが。

窪塚洋介くんは何度もヌードになり、頑張るのですが、顔がハンサムすぎて、スタイルがきれいすぎるため、「ふん！私たちとは関係無い人！」みたいになつて、生活に説得力を与えられないのです。また漂流した人たちがブランド品などを着て、こぎれいなのも何か意図があるのかもしませんが、読みとれませんでした。

すごく深いテーマを扱つているだけに残念な壮大な野望の残骸、失敗作でした。桐野夏生さんは本当の悪人なんだと思います。だから「柔らかな頬」「グロテスク」「残虐記」「アイムソーリー、ママ」といった暴力的な悪の作品は映画化しづらいかもしませんが、挑戦して欲しいです。期待し続けます。粘り強く。

コメディ映画

日本で公開を求める署名が起こった「ハングオーバー」というコメディ映画を観ましたが、うーん。（・_・）

こういうのが面白い映画なのかなあ？確かにアイデアも素晴らしいし、造りもしっかりしているけど、やっぱりハリウッドのコメディ映画は少し感覚が違うかなあ？

ジュリアやメグのロマンティックコメディは大好きです！
「幸せになるための27のドレス」とか「電話で抱きしめて」とか
「恋愛適齢期」とか。
今日は男子向けだった。
自分も男子だけど。（・_・；）（；_・）

リーヴァイ・ショトラウス、ツインメル、岡井隆

えつーうそーと思われるかも知れないが、私には悩みといつか悔いといつか、劣等感みたいなものがある。それは一回も普通の会社のサラリーマンをやつたことがないことである。しかも私は商店街に生まれたので、家族もサラリーマンの経験があまりない。

だから私はサラリーマンの常識みたいなことを恐ろしく知らないことが多い。

余談だけど、私の生徒はお医者さんの子が多いけど、そういう子もサラリーマンの生活はあまり分かつてないことが多い。

金曜日の夜などにサラリーマンが駅にたぐわさづれりじてこるので見ると何かうらやましきなあと想つ。

しかし、最近、いろいろ調べているうちにリーヴァイ・ショトラウス、ツインメル、岡井隆といった大物の学者ですり、同じような悩みを持つていたと知つた。

もちろん自己をそんな大物と同列に匹敵させることは許されるべくもないが、かなり大物でも学校しか知らないという悩みを持つていたのか。それは衝撃だった。特にリーヴァイ・ショトラウスは熱帯の方に冒険に行つたり、普通のサラリーマンよりはるかに激しい生活をしているのに、サラリーマンをやらなかつたという後悔を抱いたのだ。しかし、同時にリーヴァイ・ショトラウスはこの生き方が好きといふ意味のことも記録している。

この悩みはサラリーマンになつてみれば、解消するのだが、多分、
解消せず、ちょっとくすぐり感が続ける（何だ？それ）だろう。
しかし、よく考えてみるとサラリーマンが一枚端でないよう、先
生もいることである。私のように小学生の生徒とのおしゃべりに夢
中になつているような先生もいないか。そうか。

先輩 vs Kくん

先輩とKくんの闘いの第2ラウンド！

私が、昔の近藤真彦と中森明菜の別れ話をしていく
「Kくんもカツコいいから、女の子に恨み買わないよつて仮をつけ
なきや！」

K「いやー、俺はマツチさんほどかっこよくないから
「うーん」

先輩「当たり前だ！ふざけるなーぶん殴つてやるー！」

先輩「Kくんはアルバスの少女ハイジのペーターに似てますね」

先輩「Kくんは昭和の香りがしますね。タンクトップじゃなくて白
いランニングシャツ。ハーフパンツじゃなく、半ズボン。そういう
格好でアイスキャンディーをペロペロしているのが似合いますね」
先輩「Kくんは2ラウンドか3ラウンドでノックアウトされたボク
サーみたいだね」

先輩がいろいろ話をしていく

K「先輩はホラ吹いてますよね！」

先輩「自分こそホラみたいな話ばっかり言つてるのに人を信用しないとは何事だ！鍛え直してやるー木刀持つて来い！」

Kくん「大人が武器使うなんて虐待ですよね！」

私の目から見ると実は非常に似た者同士の一人なのだった。

京都・背徳の夜

「これは最近じゃなくて、『ゴールデンウィーク頃の話ですが。

あつひやんやヒトキらは同じ男子校に通つてゐる。

そこは真面目な進学校のイメージが強いが、実際はレクリエーションが多い。

京都への遠足（泊まり掛け）に行つた一人が帰つてきた。

私「どうだつた？」

ヒトキ「よかつたっすけど、先生の受持つてない子（担任していない子）ではやみつているじゃないですか」

「いるね」

「あいつが遠足中も全然みんなの輪に加わらず、ケータイばっかり見てるんですよ。『彼女からメール來た』って。でも見せてくれないんですよ」

「・・・」

「夜、お寺に泊まつたんだけど、『彼女の写真見てる』とか言つて、ケータイばっか見てるんですよ」

「・・・」

「それが夜10時ぐらいになつたら、いつも寝てるらしくて、寝ちゃつたから悪いなと思いつつ、そいつのケータイをチェックしました」

「悪いなつて思つてないくせに

「そしたらメールはお母さんからのメールと、アイドルのファンク

ラブのメルマガとか、ダイレクトメールばっかりでした」（Ｔ〇Ｔ）

「痛いね、痛々しいオブザイヤーだね」

「画像も女の子の写真はなくて初音ミクとかリリカルなのはとかそういうのばかりでした」（Ｔ〇Ｔ）

「・・・」

「翌朝もさつと彼女いる演技をしてるんですよ」（Ｔ〇Ｔ）

はやみよ、生きていればきっといいことがあるぞ。お前の人生はばたいてるぜー！

悪の勉強会

さて、カズマはテストになると勉強会とこの名の現実逃避を行つていた。

金城学院といつ名古屋のお嬢様学校の近くのミスター・ナッシュアミレスに女の子を集めてハーレム状態になるのだ。

「それでさ、それ、どれぐらいやるの？」

「3～4時間ぐらいかな」

わー迷惑ー（ーーー#）

女子でちやんと勉強やる子には

「勉強会、勉強してないよねー」「悪の勉強会」とひんしゅくを買つていた。

「何々、次の句を読んで答えなさい。高浜虚子『去年今年貫く棒のいときもの』、棒のいときもの・・・ギャハハハ、棒のいときものいとペースーのことかな？」

「やだー、セクハラだよー」女の子の投げた消しゴムがカズマのペースに当たった。

「ギャハハハ、僕のペースに命中させた子は僕とつきあえるところが送られます！」

「あやー、やだー

「あははー

こんな感じだった。

「何々、安西冬衛の詩集『軍艦茉莉』（ぐんかん・まりー）を読んで・・・ギャハハー、安西冬衛、キャラ者だよねー。『軍艦茉莉』だつて！」

（筆者・注・安西冬衛の「軍艦茉莉」は日本文学史に輝く傑作です。「てふてふが一匹鞆海峡を渡つて行った」の一節が有名です。）

笑いつつ、カズマは夢ちゃんと習つた歌をナップキンに書いてアオイに渡した。

「唇と唇ふれたきそこがある。鞆海峡より遠きそこ」「（俵万智）カズマよ！キャラ者はお前だ！」

決戦！オバ・キラー・ナムバーワン

のんちゃんとタカくんは競っていた。

何をか？

オバ・キラー・ナムバーワンの地位を。
ヒデキはそんな地位とつてもしょうがねえじゃん！と思っていた。
女子は注目していた。

夢ちゃんはブフフと笑いながら、見守っていた。

ヒデキが「俺の弟はすごいオバ・キラーなんです」と言い出し、「
俺こそが名古屋一のオバ・キラー」と思っていたのんちゃんの鬭争
心に火がついた。

オバ・キラーとはオバチャンにもてるところのことである。

オバ・キラーにはいくつか条件がある。顔が可愛い童顔であること。
真面目な優等生で勉強出来ること。

体はそれでいてソフトマッチョであること。

礼儀正しいこと。

あまりお洒落はダメ。警戒されるから。

名古屋の繁華街の栄の中心にある巨大な広場オアシス21で決戦を

することにした。見届け人は夢ちゃん、カズマ、ヒデキ、あつちゃん、
ヨーロ、蘭、マユ。

タカくんとのんちゃんは早速、道端で「僕は雨に濡れた可愛い子犬、
僕を助けてビーム」をビビビと出した。

「あら～、大丈夫？ ちょっとそこでお茶飲まない？」
よし！二人はそれぞれオバチャンのグループに声をかけられ、スター・バックスに入つて行つた。

「これ食べなさい！」

「ありがとうございます！」

さすが！名古屋のオバチャン！スター・バックスの店員が勧める高いケーキやデザートは食べずに、カツパえびせんやかりんとうの袋をスター・バックスのオープン席で開けている。ヒデキだつたら「やめろよ！恥ずかしいから」と言うかも知れないが、タカくんとのんちゃんは素直に従つていた。

タカくんは兄が反逆児だつたので、批判的な気持ちからオバ・キラ一になつた。

のんちゃんは従姉妹が全員女の子で、女の子に好かれるアウラをゲット！した。

二人は順調にオバチャンに気に入られ、トークを展開し、道を教えてもらい、手土産ももらつた。

「僕のお兄ちゃんと弟は乱暴者でペットのサンショウウオちゃんのエサの虫を僕にけしかけてきたりするんです」

「まあ、ひどいわね」

（ババアだましに俺をだしに使つんじゃねえよ！（ ）、（ ））

ヒデキは苛々した。

のんちゃんも仕上げに入つていた。

「俺は京大に進学しようと頑張っています」

「ま～、感心な子ね～、うちの孫なんか特攻服着て、走り回つているのに」

（そつちの方が素直な子じゃん！）
ヨーコは苛々していた。

「今日はどちらが勝ちですか？」

カウンター席で観察していたみんなは「引き分け」という判定を下した。

「あの、今回の決戦で僕たち決めました」

「ザ・オバ・キラーズを結成します」

「御園座（名古屋のオバチヤンが集まる劇場）に衣装を買いに行つてきま～す」

一同は一人を見送るとカラオケに行つた。

文学とブーム

文学も人間の営みで、社会の一部だから、実はブームというものが
ある。

私が大学生のころ、十数年前はミステリーブームだった。

その時はそのジャンルに力のある書き手が集まり、文学史の中でも意味がある現象を残した。ここは一冊の本になるぐらいだが、端的に言うと、芥川賞と直木賞の間の差がなくなつた。純文学と大衆文学という枠組みがかなり無効になつた。

デビューの順番などははつきり分からないので、おおぞつぱなまとめ方になるが大沢在昌、富部みゆきらはミステリーなのに純文学より人間がしつかり描けていると評価された。

またさらに天童荒太、桐野夏生らは一歩進んで、ミステリーという枠を広げ、現代社会の深刻な問題をミステリーの形を借りて描いたと評価された。

ところが、ブームの渦中で彼らがそれほど評価されていったかと言うと、少しためらわれる。

またブームに便乗する出版社、編集者、評論家は多かつたが、彼らの横暴さはひどかった。

しかし、ブームというものが終わつてみると力のある作家はちゃんと残つてゐるし、尻馬に乗つていたものは面白くないにいなくなつ

ている。

今のライトノベルのブームというのはかなり長く続くかも知れないが、やはりいつかは終わるだろう。

それでも本当に力のある人はそのジャンルを続けて残っていくし、便乗しているだけの奴は何か新しいブームに去っていくだろう。

私自身は何のブームが来ようと、自分の好きなことは大事にしつつ、ブームからの刺激も大事にし、何かを書いていけたらいい、と思う。

太宰治「如是我聞」

寺田寅彦は「何度も読んでも面白いのは夏目漱石の『修善寺日記』と正岡子規の『仰臥漫録』」と言っているが、私はここに太宰治の「如是我聞」を代表とする日記、エッセー、書簡などをつけ加えたい。こんな人が隣に住んでいたら、困るが、面白過ぎる。

特に第一回芥川賞を落選した時、川端康成に送ったお手紙、「川端康成へ」は何度読んでも爆笑してしまつ。

「小鳥を飼い、舞踊を見るのが立派な生活なのか！刺す！そう思った。大悪党だと思った」

殺害予告である。

こんなもんを真剣に書いて、ポストに入れたりしていたのかと思うとやっぱり笑ってしまう。

川端康成はどういう気持ちになつたのだろうか？

そして遺作的文章「如是我聞」ははつきり言つと志賀直哉にいじめられたということが書いてあるいじめられっ子の遺書みたいだが、それですら、細部に至るまで太宰治の工夫や心づかいが行き渡つていて、深刻悲痛というより、やっぱり大爆笑してしまう。

特に太宰治はシミュレーション好き（現代のオタクっぽい）で志賀直哉になりきつて太宰治自身の悪口を言つているところを想像するくだけなどは腹を抱えてしまう。

また遺書であるにも関わらず、巧妙に伏線を張つて、オチをつけた

り、私は一つの結論に達した。

太宰治は死ぬ気なかつたのではないか？

実は太宰治は自殺ではなかつたという説はけつこうあるのである。
「遺書」にほとばしっている生命エネルギーや笑いを見ると、死ぬ
気はやつぱり無くて、事故か他殺だつたのではないか？
犯人は志賀直哉か川端康成かも知れない。

今日の勉強

今日は小学生の子に勉強を教えていたが、教材は手塚治虫先生の「ガラスの地球を救え」と富沢賢治の「いちょうの実」二大偉人のコラボレーションである。

しかし、小学生の子は「富沢賢治、何かイヤや」と言っていた。私はそういう意見を聞くと腹が立つよりうれしくなってしまう。本当に子供の本音を聞くには、真剣に言い分を聞いてあげないと、けない。

そして私は子供の本音を聞くのが大好きだ。

小学生の子は「富沢賢治の詩的な表現が時代遅れで気にくわない」と言っていた。

そういう時も「この人は本当に偉い人なんだよ」などと言わず、「どこが特に気にくわなかつたの?」など意見を聞くのが本当に面白い。

なるほど、じつは幻想美みたいなのが若い子には「何かうさんくせえな」と思えるんだ、など自分の中でも余韻をいろんな角度から楽しむ。

富沢賢治ほどの偉人や太宰治だって絶対化せずに虚心にふれるところんな意見が出てくる。

私自身は「自分はここが好きだけだ」と好きなところをちょっと朗読し、富沢賢治の工夫や生涯をちょっと紹介する。

それで十分ではないか。

それで興味を持つて作品を読むもよし。忘れるもよし。その子が私なんかいなくなる遠い未来にふわっと私の言ったことを悟る日が

来るかも知れない。
それも面白い。

教科書なんか信じるな！

「私は国文学を教えて下さった小森陽一先生は「教科書はおかしい！」という強い信念を持つていた。私もそれに共感する。」

小森陽一先生のお説の紹介になつてしまつが、教科書には必ず出てくる作品がある。夏目漱石「こゝり」中島敦「山月記」芥川龍之介「羅生門」森鷗外「高瀬舟」「舞姫」三浦哲郎「盆土産」ヘルマン・ヘッセ「少年時代」

そして、国語に正解があること自体おかしいのに、正解が決められ、卑俗な道徳にすり替えられてしまう。先生はそれをはつきりと文部省やアカデミズムの洗脳と激しく批判していた。

教科書なんか好きじゃないぜ！という逞しく、健全な子はいい。

教科書は正しいと思うような痛々しい子は危ない。そういう子は役人や学者が勝手に決めた都合のいいイデオロギーに簡単に洗脳されてしまう。

ついでに付言しておくと日本語の正しい文法など無い。ある程度の法則性はあるが、きちんと研究すればするほど、完全な体系は作れない。私に文法を教えて下さったのは尾上圭介先生だったが先生は「は」と「が」はどう使い分けるかを生涯研究なさつた。しかし、それがまだ定着している訳ではない。それが本当の学問であり、学校の文法書にはたくさん間違いが含まれている。

話を教科書が選ぶ話に戻すが、決まりきった作品が決まりきった考え方を育てるのは自由な魂を持った人には我慢ならないことである。

そういう自由な人間のため、こんなラインナップの教科書はどうだろ？。

谷崎潤一郎「細雪」坂口安吾「風博士」江戸川乱歩「芋虫」か「押し絵と旅する男」太宰治「斜陽」か「魚服記」北杜夫「さびしい王様」三島由紀夫「近代能楽集」川端康成「浅草紅団」夢野久作「ドグラ・マグラ」トーマス・マン「ヴェネツィアに死す」か「マリオと魔術師」

白洲正子や斎藤史、塙本邦雄なんかも面白い。

正義の味方のマサキくん

私の生徒は今ぐらーいから受験に向けて、スタートする子もいる。

新しくマサキという子が来た。優しそうな爽やかな子だった。

「俺は趣味は車とナンパです」

恋愛体質の夢 「あつーそつなのー！ナンパは週何回べやつてているの？」

「今までの人生で一回だけです。その代わり、えっちなビデオを毎日見て、週5～6発、抜いています！」

（――）それはナンパが趣味じゃなくて、えっちなビデオが趣味なんじゃないか、マサキよ。

しかし、私は私で大ボケで生徒のブログの車の写真を見せた。カズマは車の免許証を持っていて赤いクーパーと白いBMWに乗っている。

しかし、それを見たマサキは不機嫌になつた。

「（――）先生、車が好きってこののはこいつのじやないっすよ」

「えつ、違うの？」

「俺は安い車を改造するのが好きなんですよ。『頭文字D』って、分かります？」

「分かりません」

「じゃあ先生に分かるよ！」と言っていますけど、車が好きっていうのはずいぶん広いんですよー。（　、　）先生は音楽好きと聞いて、演歌歌手をヒップホップの歌手のところに連れて行っているようなもんなんですよー。」

「やうなの？ジャズとシャンソンどちらかと思つていた」

「先生だって、古典の専門家でしょって言われて、大嫌いな『忠臣蔵』の講義しろ、って言われたら怒るでしょうー。」

（や、やうなの？）

そんなマサキ君だったが正義感も強かつた。

Kくんが「俺の世界史の先生はホモで」とネタふりをやめつとした
ら、「多くの人の中にはそういう人がいるから差別しちゃいけない
！」と強引に遮った。

また先輩がKくんを「ハナクソみたいな男の子」と呼んだ時も「
そんな人を傷つける」と言つのは許せないー」と涙を流して怒つ
ていた。

新しい波乱の予感ーー（　、　、　）

肉

名古屋は尾張徳川家の本拠地なので、京都などとも縁が深い。生徒たちと京都のある古寺に合宿に行つた。

私「まー、いこといろねー」

生徒はげんなりしていた。特に食事が最悪だと思つていた。

楽しいはずの夕食の時間。

食事は大根、にんじん、さつまいも、カボチャ、オクラ、筍、なすなどを薄い出汁で煮込んだもの。がんもどきを煮つけたもの。豆腐とワカメのおみそ汁。

「美味しいー！」と夢ちゃんは食べていた。

「この世で一番美味しいのはお葬式のおとき（精進料理のこと）ですよー子供のころ、お葬式があるとワクワクしてね」

夢ちゃんはだいこくわん（お寺の家事をする人）ととてもないことを話していた。

夢「あなたたち、もつとちやんと食べなさいー男の子は頭と顔がよくなるし、女の子は美容と健康にいいから」

「すき焼きかしゃぶしゃぶ食べたい···」

「俺はカツ丼食べたい···」

その夜、生徒たちは寺を脱出した。

「あつ、コンビニとか卵（食券制の店、関西風）あるよー。」

生徒たちはなか卯で牛丼やカツ丼、カツカレーを食べた。またコンビニでフランクフルトやフライドチキンを買って、食べた。

いつも食べてるのより、ずっと美味しかった。

古寺に戻ると住職と夢ちゃんがガルルーと怒っていたが、その夜の肉の味は忘れられないのだった。

響けレイティオ

私は普段、あんまりテレビを見ない。別にかつてをつけている訳ではなく、夕方ごろから夜が仕事なので、ゴールデンの番組をあまり見られないのである。

それで私は仕事の後はNHKのラジオ深夜便というのを聴くのを楽しみにしている。とはいってもこの番組はそんなに集中して聞く番組ではない。基本的には年齢の方向けで静かな番組である。

しかし、だからこそジャズやシャンソン、オールディーズの曲を楽しめる。フランク・シナトラ、シルヴィ・バルタンなどなつかしい（厳密には彼らの活躍時、私は生きてなかつた訳だが）曲を聴きながら、本を読める。そこが気についている。

むつともNHKらしい変なことはたくさんある。まず放送をやっているのがNHKをやめた老人で、時々、急に別な老人に交替する。あまり考えると怖い。（――）

また放送時間は23時20分から5時までだが、23時台は各地の老人に電話をかけて話をするなどNHKの素人第一主義がよく出ている。

そんな番組だが、私にも苦手なコーナーがある。

月曜日の24時台にやっている藤沢周平の作品の朗読である。

私は本当に自分自身はダメな人間だな、と思うが国民的作家みたいな人はみんな嫌いである。司馬遼太郎、藤沢周平、村上春樹。

また藤沢周平の朗読をしている松平定知は下下手くそ！
来週から美輪明宏先生自伝「紫の履歴書」朗読にチエンジ希望！

話しかけられる

何日か前に「息もできない」という映画を観た感想を書いたが、今日、生徒と話していく、映画の本筋と関係無いあることが判明した。

「息もできない」を観て、エレベーターに乗り込んだ時、元気そつなじいちゃんと一緒にになった。インテリで弱々しい老人でなく、昔は遊びもやりましたという感じのいい味のオヤジイだった。

そのオヤジイがいきなり「今の映画、すげくよかつたね！」と話しかけてきた。私も私で「全盛期の今村昌平監督みたいでしたね！」など話していた。

そして、映画館の出入口で「お先に失礼しますね」と去った。
と、のんちゃんに話したら、「よく話す勇氣ありますね」と言わ
れた。

考えてみると私はよく話しかけられる。デニーズでよく仕事の準備をしているのだが、ある時、ウエイトレスに「クリスマスケーキが売れ残つてしまつたので、切つたのを食べませんか？500円ぐら
いで」「いいですよ」

私は冷たい食べ物が苦手だったので、ケーキに添えてあるアイスク
リームが溶けるのを待っていた。

「どうしてアイスクリーム食べないんですか？溶けちゃいますよー。」
「ハーハハハ、君は面白い子だね！」

いつかこの面白い客である。

また、教室のそばのスーパー銭湯に入った時も、いい味のオヤジイが入浴後、「兄ちゃん！ 服着ると若う見えるのうー。」と話しかけてきた。

ヌードはデブデブのオヤジイってこと？（トロト）

また私から人に話しかけることも多い。

松坂屋美術館で外国製のノートやレターセットを安売りしていた時も、「こんないいものを安く売っちゃダメでしょ！」と話しかけた。店員さんは笑っていた。

そうか私が老人になると話しかける老人になるんだ。

病院の光景（一・二・三）

こんにちば。

私は以前はちょっとしたことは活動報告に書いていたのですが、最近は「エッセー集」という形にしています。

それをちょっと更新出来なかつたのですが、ちょっととした病気になつてきました。

しかし、私は短気からデータを消してしまつたのですが、以前いろいろ載せていく時にある重い病気の方に活動報告を読んで気を紛らわせています、というおたよりをいただいたことがあり、ちょっととした病気のことを書いたりするのは深刻な病気で悩んでいらっしゃる方に失礼なような気もしました。

けれど、起きたことをいろいろ記録しているので、病気になつたことだけ隠すのも変だし・・・（一・二・三）

この先、病気や病院の話は苦手な方は「遠慮下さい」。

さて、柳ヶ瀬に行つた日ぐらいから左足のつけねのこぶが痛み出しました。

こぶは以前からあつたもので、そこを虫が刺したのか、と思つていましたが痛みがなかなかなかつたので、ちょっと大きめの病院に日曜日でしたが行きました。この前の日曜日。そうしたら「ガングリオンというものじゃないか。それは休日診療の先生では診られないから週明けに整形外科に行って下さい」と言われ、週明けに整

形外科に行きました。それが月曜日。

そうしたら、「これはガングリオンじゃなく、粉瘤。まずは薬で治してみて。それで終わるか、手術するか半々」と言われました。

そして、昨日、火曜日にそのごぶから膿、血が出てきました。
それを今日、診みせに行つたところ、結局、簡単な切開手術をすることになりました。

恥ずかしながら、私はスポーツの部活をやつたこともなく、大ケガは子供の時にひき逃げにあったことぐらい。

入院するような大病をしたこともなく、痛みの経験があまりありません。

せん。

しかし整形外科の先生と看護婦さんたちには日常茶飯事なのか、先生は真面目な感じの方でしたが、看護婦さんたちは髪を金色に染めた元気なオバチャンたちでした。（――）

麻酔の注射をし、患部を切開したのですが、私は気力がなく、それは目をつぶつたりしているうちに終わってしまいました。

足のつけねのごぶということでトランクスの上にハーフパンツという格好でしたが、看護婦さんたちはハーフパンツとトランクスをまくりあげながら、「ギャー・ハハ」と笑っていたり、精神的にも大ダメージです。（ＴＯＴ）

その後、処置室といふところで、点滴を受けることになったのです

が看護婦さんが「注射痛かったの？男の方が弱いからね。女は出産とかあるからね」と話しかけてきて、出た！人生説教だよ！（ＴｏＴ）

若い時だったたら「反発したかもしませんが、反発する元気もなく、また看護婦さんの人生説教には一理あるような気もして、点滴を受けていました。

そうしたら、処置室のカーテンで仕切られたところで、声からかなり高齢と分かる女性が「土曜日に孫の結婚式に出るから一日おきに強い痛み止めを打つてくれ！」と主張しており、「人生の厳粛（びやくせい）」を感じました。結婚式をやることもなく、出ることもなく、麻醉や点滴で弱っている自分はやっぱりダメなのかも知れないと。（ＴｏＴ）

整形外科の先生は「強い薬を一日おきに使つたり出来ない！」と押し問答していました。

看護婦さんたちは「〇〇〇は豚キムチだよ、ギャーハハ」（〇〇〇は聞き取れなかつた）と話したり、病院内の派閥抗争を熱心に話しあつたり、その喧騒の中、自分は死んだようになりながら、自分、整形外科の先生、看護婦さんたち、処置室のばあちゃん（生命力の弱い順）、みんな生きてるな、と志賀直哉風の感慨を得ました。

ここまで書いて、思い出したのですが、去年、祖父が肺癌の手術を受け、集中治療室を出た時も、看護婦さんが「明日から歩行の練習をします！」と言つので、「そういう特別な部屋があるんですか？」と尋ねたら、「この部屋でやります！」と言われました。（ＴーＴ）

看護婦さんはみんなが思つてゐるほど天使みたいな存在ではないよ

うです。

三十を過ぎてそんなことが分かった自分はどうすればいいのでしょうか？

松平健「忠臣蔵」

さて、病院に行く日に挾まれた昨日は読売新聞さんの「招待で名古屋の御園座で松平健さんのお芝居「忠臣蔵」を拝見しました。

しかし、私は何故か「忠臣蔵」が昔から好きじゃないのです。私は一応、国語・国文学会のメンバーですが、国語・国文学会にはおおざつぱには平安時代中心の派閥と江戸時代中心の派閥があります。私は「源氏物語」の専門家だから、江戸時代中心派閥とは対立しているはずなのですが、上田秋成や為永春水も好きだし、狂歌も好きだし、しかし、江戸最大の作品「忠臣蔵」はちょっと嫌いなのです。

何故、嫌いなのかをつきとめるため大河ドラマやお正月の1~2時間ドラマ、映画などで「忠臣蔵」をやっていくと必ず見てしまつし、「忠臣蔵」研究の本もたくさん読んでいるし、あれつ、これつともしかして好きつていうこと?

中村勘三郎と大竹しのぶの大石内蔵助とおりくは軽かつたなあ。しかし、高倉健と浅岡ルリ子の大石内蔵助とおりくで浅岡ルリ子のあのメイクのままで出てたのは何だつたんだ?

吉良上野介の役がやれる上品な老人がいなくなつたな、等いろいろ考えさせられます。

昨日の「忠臣蔵」はクライマックスである討ち入りを描かず、その前後の大石内蔵助とおりくの心を描くもので、これはこれで面白いと思いました。ちなみにおりくの役は紺野美沙子さんでした。主税の役が崎本大海、遙泉院の役が森ほさちでした。

昨日、印象的だったのは普段、老人ばかりの御園座にけつこう若い子が来ていたことです。「忠臣蔵」の後のマジケンコンサート（一時間弱）を見に来ていたのか？それにしても。

私は松平健にコンサートをやるほど持ち歌があるのが気になりましたが、「暴れん坊將軍」のメロディに歌詞をつけたものなどあり、びっくりしました！そしてマジケンサンバが二回もアンコールがあり、圧倒されました。マジケンと「忠臣蔵」恐るべし！

現実逃避入門

今は夏休み明けのテストも終わつたらしい時期だが、カズマは打たれ弱い子で、テスト前の時期は悪の勉強会など現実逃避に徹していた。もつとひどいのは私に「古典の中のえつちな話してよ～！（トロト）潤いが欲しいんだよ～！」とせがむことだつた。

もっとも私は私で、乗り気だつた。

「源氏は藤壺を強引に『ごめに』しようとして、襲いかかり、藤壺は泣きながら逃げようとするのね。しかし、そこで源氏が髪の毛をつかんでいたので、藤壺の体は逃げることが出来ず、勢いで体から服がすべりおちて、裸の体だけが・・・（以下自主規制）」

ゲヘヘー！

「浮舟は匂宮と一緒に舟に乗るんだけど、匂宮は一人でエロなことをしている絵を描いて浮舟をしきりに誘うのね。匂宮は祖父の源氏と違つてひ弱だつたから浮舟を『ごめに』しようとしたんだけど、野育ちの浮舟はたくましいから肉弾戦ではかなわなかつたの。名前がはかないからみんな読み間違えているけど、松下由樹とか米倉涼子みたいな子なの。それでエロな絵を見せられて、燃えてきて・・・（以下自主規制）」

シユツシユツシユー！ポー！

カズマは自家発電を起こしてしまつていた。

「これは『源氏』じゃないんだけど、説話の中で、ある男が鮭を盗んだ疑いをかけられ、服の中を見られるといつぱり鮭があつて、開き直つて言つた。『どんなお妃様でも鮭がないはずがない。あるに決まつている』って」

「え？」

カズマはむづくり起きた。

「その話はオチが分からない」

私はプリントを丸めたものでカズマの頭をはたいた。

「自分で考えな」

「じゃあ、考える・・・ヒヒひで、この『平中物語』って口の？」

！

私は必殺ボケたふりで質問を黙殺した。

「あつ！ボケたふりしている！多分、すげく口いんだ！探してみよつと！」

(- - -)

カズマよ、そのエネルギーで勉強しちゃどうだ？

先輩 vs Kくん・リターンズ

Kくんは9月5日生まれとこいつのを「記憶だらづか？」

Kくんは公約通り、誕生日の翌日、バイクの免許をとった。教室の英雄である。

「カツコいいー！」

「ちょっと免許証見せて」

私は免許証を見せてもらつた。平成六年生まれがバイクを・・・生徒が全員平成生まれになつたのも感慨深かつたが、そう遠くないいうちに生徒が全員、21世紀生まれになるだらつ・・・

「それにもしてもKくんってカツコいいよねー！」の「真なんかジュノンボーキコンテストにそのまま送れますよー！」

先輩「またそういう嘘教える。ダメですよ。若い子は真に受けかねないですよー」

Kくん「俺、ちょっとニキビがあるんで」

先輩「なくてもダメだと思いますけどね。夢ちゃんとKくんは頭の中も顔も昭和で止まっていますからね」

あつちゃんどのんちゃんは笑いをかみ殺していた。

Kくん「バイクは夏休み中、バイトをやつて自分で買いました

私「陽灼けしてて、すごくカツコいいー！」

先輩「お年玉は使わなかつたの？」

Kくん「お年玉は全部親に預けています」

私以外の全員が「え～！」と声を上げた。

「な、何？正しいでしょ！」

「何時代の話だよ！みんな自分で持つているよ！」

かなりおとなしく真面目な子もはにかみながら、「自分で管理している」と言った。

先輩「だから言つたでしょ。あんたたちは昭和で止まつているって。
はんかくさい」

私「私、はんかくさいって言葉の意味知つてますよー（ 、 、 ）」

先輩「（ 、 、 ）」

花

「えへ、今日は世阿弥の『風姿花伝』の講義をします。世阿弥は芸術家の生涯を『花』という言葉で表現しました。若い時はただ若さと美しさがあつて、実力がなくてもキャーキャー言われます。これを『時分の花』と言います。しかし、その後、若くもなれば可愛くもなく、実力もない暗黒時代がやつて来ます。しかし、それを耐えて、修行して得た実力を『本当の花』と言い、『時分の花』も『本当の花』にはかないません」

ここで講義を終われば、立派な国文学者で終わるの『夢ちゃんは「私もまだ21だけど、キャーキャー言われる」と言った。

成績優秀で前の方に座っている生徒は肩を震わせ、笑いをかみ殺していました。

おつかよこちよいのかズマが「暗黒時代じゃん！本当はもう33歳だし」と口をすべらし、説教部屋行きになつた。

シンヤはカズマとトイレで髪を直しながら話していた。

「僕たちって花の時代ってことだよねー僕、早乙女太一みたいにお姫様の格好で踊つたりしたいー！」

カズマはショックを受けた。

カズマはカズマで星の王子様みたいな格好で、「100%勇気」とか歌うことを夢見ていたからであった。

夢ちゃんの言葉には不思議な呪縛力がある。

わざとおしゃべりを教室内のあるビルの喫茶室でハヤシオムライスを食べながら、大河ドラマの脚本家に選ばれた時のことを考えていた。

夢見る先生と生徒たち。

頭の中の翻訳

私は塾・予備校の講師という職業柄、今ぐらから生徒のこと、仕事をこのことで頭の中が六、七割ぐらいになる。（普通の社会人は常に95%ぐらいは仕事のことを考えている）

残りで文学のこと、美術館、オペラ、御園座、映画、美味しい店、芸能人のこと、お洒落、健康、家族のこと、バイトの大学生の子とデートすることなどを考えている。

そんな状態なので、今から言い訳するのも変だけど、来年の3月ぐらいまである程度まとまった作品は書けないかも知れない。ただ、今、書きかけている「始皇帝・謀殺」の他に二つぐらい書きたい話がある。

どちらも現代的で、でも私らしい味付けのものになると想ひ。学園ものである。

もう一つまだ形にもまとまっていないくて、ドローとしたアイデアだけど、私は不思議な大学時代をおくつた。そのことを私小説にしたいといふ思いがあります。

でも少し不安に思つのはこのサイトはソーシャルネットワークサービスみたいな要素が強くて、純文学みたいなもの、古典や名作を読んでいる人はあまりいないから、書いてもセルバンテスみたいな感じかも知れない。でも、例え少しでも読んで下さる方がいるなら書いてみよつかな？とも思います。最後の作品は本当に迷います。

学園もので明るいのは来年の3月までも時間を見つけたら書きた
いです。少しでも。

純文学の運命

一つ前の文章で、このサイトは純文学を書いている人、好んで読んでいる方は少ないと書いてしまった。悪い意味で書いたのではないので、削除したりせず、補足的なことを書きたい。

別にこのサイトだけでなく、ガチガチの純文学というのは読む人は減り続けていて、古典芸能でも特に人気のないもの（能とか琵琶とか）と同じような運命をたどっているような気がする。しかし、私はそのこと 자체を一概に悪いとは思っていない。

実は私の考え方自体まとまつていなくて、二つの考え方の間で揺れています。

一つは純文学は使命を終えたので、やはりなくなつていくのではないか、ということである。その場合、マンガやライトノベルなどが今まで純文学が担っていた役割を負うんじゃないかと思いつ。

ところが、同時に私は純文学や古典がしづとく強かに再生するんじやないかとも思う。何とはなれば、ライトノベルやマンガでも本当にすぐれたものは過去の偉大な作品の何らかの影響を受けていることが多い。またマンガやライトノベルを愛読している私も一定の量を読みこなすと純文学や古典を読みたいと進歩、進化していくことが多い。

私は生徒とある程度、信頼関係を作っているので、よくおすすめのマンガなどを見せてもらうが、その下敷きに名作があると指摘すると強い興味を示すことが多い。また私もマンガやライトノベルの進歩にびっくりすることがある。最近で言つと、「罪と罰」の日本を舞台にしたマンガ版は原作の細部までしっかりと再構成していて、び

つくりした。

今、比較的有名な出版社が古典を新訳して出しているのも潜在的な需要を示しているような気がする。

何より私は思うのだが、現代の社会は閉塞感に覆われ、刹那的な快樂を追い求めている。そういう生き方を強いられる人を見下すつもりはないが、本当にもっと行き詰まってきた時、人は明るく楽しいだけの作品ではなく、重厚で本格的な作品や、民族のアイデンティティを感じられるような作品を求めるのじやないかと思う。
最後の方は私の祈りも込められた思いである。
悪文乱筆ごめんあそばせ！

ギャー！ナンパ地獄！

さて、エッセー集は当初、知的、上品みたいな方向性を目指していたのに気づいたら、とんでもないとこに向かっている。

それはともかく、「京都・背徳の夜」の続きである。遠足と修学旅行の中間の関西旅行。

ヒデキとあつちゃんは通天閣に行つてしまつた！名古屋のボンである一人は通天閣の辺りがけつこつ怖いところと知らなかつたのである。（トト）

「明石焼きくれや」

「ドアホ！明石焼き欲しいんなら明石行けや！」

ヒデキとあつちゃんは蒼冷めた。一人はこんな柄の悪い店は初めてだつたのである。

「は、早く通天閣見て帰ろ！」

自販機と自販機の間にもたれこんで寝てゐるオヤジいや、片方だけのゴム長靴を自分の前に置いて自己の内部に沈潜してゐる若い男などがいる。一人の中の危険センサーがビビビと高まる。

そして太つたジジイが二人に話しかけてきた。

「可愛い子やな。お小遣いあげるさけ、ちょっとさわらせてや」

フギヤーッ！－シャーッ！－

悪夢のナンパ地獄の話を平和な名古屋に帰つてきてからすると地上50㍍をいつも浮いているカズマが「僕も名古屋駅でナンパされたことある！」と言に出したのである。

「珈琲飲みに行こうって誘われて、珈琲飲めないからって、断つたの」

（－－－）何かちょっと断るポイントがズレているような・・・

黙つて聞いていた夢はカチャンとロイヤルミルクティのカップをソーサーに置いた。

実は夢ちゃんも名古屋駅でナンパされたことがあるのである。

結婚指輪をしたオヤジイだった。
人の心はラビリンス。

秋晴れ、天晴れ、学園祭！

私はカズマとのんちゃんの学園祭に出かけた。

二人はそれぞれのクラスの模擬店をやっていた。

カズマは決して草食でなかつたが、料理が得意だつた。器用にクレープを焼いている。

私「この味なら合格かな！」

カズマ「のんちゃんが苦戦しているけど」

私は慌てて、のんちゃんの模擬店に行つた。下手に作るのも難しいと思うのだが、焼きそばに苦戦している。

私は生まれた家が飲食店だつたのもあり、見ていられなく、エプロンをつけると鉄板に向かつた。

私は「キヤベツと豚肉をお塩で炒めるの！それから焼きそばをからめていつて、キヤベツをしんなりさせるの！隠し味は胡椒！」

のんちゃん「あれ、先生、あのすゞいチヨーンつけた財布持つているの、Kくんじゃないですか！」

Kくん「先生、のんちゃん、何やつてるんすか？」

私「焼きそば！」

Kくん「俺も焼きそば上手いっすよ！朝食によく作りますもん！」

Kはワインナーともやしで焼きそばを作り出した。

塾・予備校の知り合いが改めて学園祭で知り合つたり出来るのも学園祭の醍醐味。

ヨーコ、蘭、マコは体育館で、草食男子たちの逆宝塚劇団公演に夢中になっていた。

シンヤが「夜桜お七」に合わせて、華麗な舞を見せる。

秋晴れの下、みんな幸せ！みんな、元気！みんな、大好き！

続・病院の光景（一・二・三）・チキンハート

水曜日に切開手術をいたしました私ですが、昨日、一昨日と午前中に処置というのを受けに行つていました。

傷口を消毒し、点滴をしてもらうのです。この傷口をさわられるのが非常に苦痛だったのですが、今日の午前中で処置は一区切りとなりました。次は連休明けです。連休中はちゃんと働いて、月曜日はオペラを観たいです。

病院に短期間ですが毎日通つて、普遍的な真理ではありますが健康のありがたみが分かりました。また病気を抱えている人に親切にされるべきと改めて思いました。

自分は学校の先生に比べて教務中心（のはずですが、いろいろやっています。）で、どちらかと言つと難関大受験の子が多いのですが、体が弱くて学校にちゃんと行けない子を持つこともあります。そういう子が駅の売店にあるような軽い読み物を読んでいる時、「ミステリーでも西村京太郎とか内田康夫じゃなくて、中井英夫とか山田正紀とか一流の読んだら?」と勧めた時、「そういう元気ないと断られた意味が分かりました。

今回のことも読むこと、書くことに活かしていきたいです。

ところで、もう一つ分かったのは老人パワーです。

午前中の病院には老人がひしめいて、元気にいろんな話をしていて、私はこぞっこ扱いで、疎外を感じました。（Ｔ－Ｔ）

みんな元気そうで自分はどこにいるか分からなくなりました。
木曜日に雨が降つたら、老人はほとんどおらず、病院と自分は思つ
ていたけど、老人のサロンなのがもれません。

また老人が悠々としているのに対して私は傷口をさわられるとぐつ
たりしており、看護婦さんたちも笑つたり、「見てて痛々しい」と
話しかけてきたり、点滴を受けて死んだようになつてている私のそば
で「子供が漢字ドリルを丁寧にやらない」「旦那が早く帰つて来な
いからウザい」など話しこんだけしてきました。

私もあと六十年ぐらい修行したら、この光景に溶け込めるのかな?
と思いました。 (^ ^ ;)。。。

ケンゴの幸せブックレビュー

「ケンゴが『これ面白いから読んで』とマンガを貸してくれる。先週は『ホムンクルス』今日は『鬼燈の島』^{ホオズキノシマ}」。

「殺し屋」の山本英夫の新作もどんでもない怪物作品だったが、「鬼燈の島」は物語を読む面白さ、面白い物語の力強さを感じさせる作品だった。

強いて言うと絵が少し粗いが、それも少年少女のサバイバルのストーリーに合っていて、リズム感やエネルギーを感じる。

「鬼燈の島」はミステリ、サスペンスのお好きな方にはおすすめです。

しかし、小学生の時から知っているケンゴがちょっとえっちなシーンもある作品を勧めてくれるのはちょっと微妙な気持ちもある。（――）

しかし、長年の付き合いだから、指定関係で作品の好みが似ているのも微笑ましい？（*-*）

私たちは絵の上手さよりはストーリーのスピード感とか、合理性を大事にしているのだと思う。もつちよつと踏み込んだことも書きたいのだが、作品がミステリなのであまり書けないのが残念。

「罪と罰」マンガ版もケンゴに教えてもらつたのだった。

しかし、ケンゴは時々、難問を出してくる。映画友達でもあるのだが、「ロックストックトゥースモーキングバレルズ」のガイ・リッチー監督の問題作「リボルバー」を観て、解説してと言われた。うむ、なかなかの難問なり。（――）

ギッター・コレクション展

今日、久しぶりに美術館に行きました。松坂屋というデパートの中にある美術館でしたが、ギッター・コレクション展というのをやつていて、すごくよかったです。

○○コレクション展というのは大抵海外の富豪の美術コレクションで、ギッター・コレクションもギッターさんという人の江戸美術のコレクションです。とても素晴らしい展示でしたが先回りして書くと日本美術の素晴らしいコレクションは大抵、ガイジンさんにおさえられているのが残念です。

ギッター・コレクションは江戸と言えば有名な浮世絵ではなく、近年人気の高い伊藤若冲、曾我蕭白のような奇想の画家、また近年人気の禅画、そして琳派という流派の美術が中心です。

琳派が描く美しいカラフルな自然、禅画の素朴な線と、モノトーン。そして若冲ならではの不思議な絵。若冲の作風はすごく広いのですが、禅画に近いものが多くて、コレクターの好みがよく表れています。

それにつけても残念に思うのが日本の美術界がおしなべて海外のチームの後追いになつていて、日本人が気づいた時は海外のコレクターに名品が買い占められていることが多いことです。だから若冲にしても琳派にしても禅画にしても素晴らしいコレクションはプライス・コレクションなど海外に多いです。余談ですがプライス・コレクションが日本に来た時は一日中観て、それでも足りず翌日も観

に行きました。

日本の美術館では東京の出光美術館と京都の細見美術館がいいコレクションを持っていますが、日本人が日本美術に疎く、海外の金持ちに作品を買い占められていることが残念。（ただ観ている立場からあまり関係無いとも言えますが）

あと日本人が日本美術に疎いにも関わらず、けつこうボケた解説がつけてあることにショックを受けました。特に「アメリカ人のギッターさんが日本の美術の美しさに気づいたのはすごい」と書いてありました。が、その論理で言つたら、日本人はレンブラントやルノアールのよさは分からないことになってしまいます。文化によつていろんな影響は受けるけど、美しいものは国や民族を越えて伝わると思います。

また解説を読む時間が長い人が多いですが、なるべく美術そのものを観て、自由に感じて欲しいと願っています。

ギッター・コレクションは日本では無名だけど、いい作品をたくさん含んでいました。知識とかでなく本当に好みや感性で選んでいるからでしょう。

名古屋辺りの方はまだ会期があるので、おすすめです。

オッフェンバッく「ホフマン物語」

本当にす”じに映画やコンサート、舞台などを観た後は虚脱してしまう。今がそういう状態です。

今年、名古屋は街が出来て、400周年。奈良の1300周年のかげに隠れていますが、メモリアルイヤーに合わせるように愛知トリエンナーレという芸術の祭典が街中で行われています。その目玉として土曜日と今日、本格的オペラ「ホフマン物語」が日本のクラシック音楽界、さらには海外の一 流演奏家も交えて上演されました。

200年ぐらい前の文豪ホフマンの小説を基にオッフェンバッく（「天国と地獄」の人、「カステラ一番電話は一番」の人）が作曲した作品。

ただし、未完成だったため（オッフェンバッくが亡くなつた）演出家や演奏家がいろんなアレンジをする余地があるのですが、今日の公演は自分が今までに観てきた、聴いてきたオペラの中でも一、二を争う屈指の出来でした。最後、初めてこの作品の意味、含みが理解出来て、涙が溢れて止まりませんでした。

作品は全5部構成でホフマンが主人公になり3つの恋を語り出します。（プロローグ）眞実の愛を探してヨーロッパをさしらうホフマンはまるで光源氏のようですが、一つ一つの恋物語は奇想天外。しかし不思議と現代を生きる私たちをハッとさせるのです。

最初の恋人はオランピア。人ではなく、ロボットです。この第1幕はSFコメディの趣です。オランピアの役の方の歌と演技がすごく上手かつた。コロラトゥーラという歌唱を美事にこなしていました。その上手さがまた人工的な感じを非常に強めていました。

ロボットが壊れてしまい、ホフマンはミュンヘンへ。

そこで天使のようなアントニアに出逢います。アントニアは汚れない純粋な存在です。しかし体が弱く、全力でアリアを歌えば死んでしまうのですが、ホフマンと結婚して生きるのではなく、命を燃やしうくして歌を歌う芸術家の宿命を選びとるーそこで観客の感動と衝撃が絶頂に達します。

第1幕に比べて派手な舞台セットや仕掛けはないのですが、一番まともなラブストーリーで緊張は途切れません。

そして第3幕は一転、やけになつたホフマンがヴェネツィアにいます。実は一貫してホフマンを破滅させるためつきまとつている悪魔が悪女ジュリエッタに「ホフマンを騙せたらダイヤモンドをあげる」と言い、ジュリエッタは愛を求めるホフマンを巧みに騙し、かわいそうなホフマンは身も心もボロボロになり、全てを失います。

しかし、Hピローグ、みんなが去つていった中、ひそかにホフマンを見守つていた芸術の神・ミューーズがホフマンを励みます。この悲劇に耐え、この経験を小説やオペラにするのがホフマンの運命と。ここが芸術の哀しみと喜びと偉大さを非常によく表現していて、涙が溢れて溢れて。最後、ホフマンとミューーズがアリアを歌います。「人は愛があるから素晴らしい。人は涙があるからいつそう素晴らしい

しき」

そのリフレインの中、舞台はグラン・ド・フィナーレを迎え、涙、涙の中、カーテンコール。

拍手は10分ぐらい鳴り止みませんでした。

私も感動でフラフラになつて愛知県芸術劇場を出ました。

今日の公演を作り上げた全てのキャストとスタッフの皆様、ありがとうございました。

岡本翁

さて、前話とはガラリと変わるのであるが、ある時、社長から電話がかかつてきました。

私「はい」

社長「あの・・・」

私「何でしょうか？」

その依頼はある老人の方が小説の書き方を習いたいというもので私は笑つて、快諾した。

その老人・岡本翁は教室にフラツとやつて來た。

五木寛之先生の文庫本を持参した岡本翁は「この記号はどういう意味ですか?」といろんな記号について尋ね、私は「かぎかっこの中に入りに台詞を入れる時は一重かぎかっこを使うといいですね」と説明していた。

正直、記号の使い方などはどうでもいいことである。

私は雑誌に小説を載せてもらつた時、日本語の読点のつもりで勘違ひして英語の読点をうつっていた。それは雑誌に載せる時、編集者が簡単な操作で直すだけである。それを生真面目に勉強しようとなさる岡本翁のお人柄が微笑ましく、私は教室のあるビルの喫茶室に誘つてお話をうかがうことにした。

好好爺の岡本翁とは談論風発となり、私は「五木寛之先生の作品を読んで印象的だった売血、血を売ることは昔は本当にあったのですか?」とうかがつたところ、「私、やってましたよ」という想像以上のお答えが。「血液が検査されて、いい血液じゃないと買つてもらえなくてね、祈る気持ちでしたよ。買つてもらつた後は増血剤をもらつてね」

はつきり言つて、私が岡本翁に教えられるよつなことはなく、戦後のお話などをいろいろうかがつた。

岡本翁の口も滑らかになり、小説の構想を教えて下さつた。
「僕は大人の男と女の機微が分かる一人の話を書こうと思ってね、フォフォフォ。終戦記念日に一人が京都の祇園で出会います。そして半年後に北海道のむまんべつで再会するんです。フォフォフォ」

何かすごい作品になりそうである。（^〇^）

何より、お年寄りの方が知的な趣味を持つて、新しいことを勉強し、小説を書くことに挑戦してらつしゃることが素晴らしい。

岡本翁の大人の男と女の機微が分かる一人の小説、いつか読むのを楽しみにしている。

小論文の採点

私は生徒のことを書いているが、勉強そのもののことをあまり書いていないかも知れない。

たまには書いてみようかな、と思つ。

私は小論文という科目も教えている。私は33歳だが、私が学生ぐらいの時は推薦入試はそんなに盛んではなかつた。しかし、最近は推薦入試（AO入試、アドミッションオフィス入試）というので、夏休みや今ぐらいいに入試が終わる子もいる。

推薦入試では本人が小論文を提出することが多いので、そういうのを教えている。

私はふだんちょけて（ふざけて）いろいろ書いているが、一応、ちゃんと（かな？）仕事をしている。小論文で大学が採点するポイントは幾つかある。

? 学業が優秀か。

? スポーツで顕著な成績を上げた。（国体やインターハイで実績を上げたなどのレベル。またスポーツの部活のキャプテンなど）

? 芸術・芸能で顕著な活躍をした。（私が教えた中では日本舞踊の家元や詩吟の家元の子などがいた。）

? 生徒会。ところが、これが曲者で、推薦入試志望の子が一番多く申請する項目がこれなので、アピールは弱い。

? 國際活動（ホームステイや留学。これも案外やっている子が多い。ケンゴはイギリス。ヨーコはハンガリー。絢香はマルタ島などに行つていた。）帰国子女も優遇される。

? ボランティア活動。これは狙つてやられては困るんだけど。

? 最後は私が仕事始めた頃はなかつた項目だけビコンペコータに関する知識や技術を持つていること。

これらの項目の何かを自己アピールするのだが、気をつけたいのは嘘をつかないということである。人物評価の担当者は嘘はすぐ見抜く。

とほこつても、この項目の何にも当てはまらないといつ平凡な子がほとんどである。

だから、たいていは生徒と「何、書いつね?」「君、○○やつてなかつたつけ?」などと考ふることになる。私は生徒をけつこう観察しているが、それは「君、いつこうこうあるよ」と教えてあげるためである。

「火の魚」

昨日、テレビで室生犀星の小説をドラマ化した「火の魚」を観た。原田芳雄さんと尾野真千子さんが主演。原田芳雄さんは田舎の島でひつそり暮らすポルノ作家、尾野真千子さんはその編集者を演じている。孤独で気難しい老人がだんだん編集者の女性にひかれていくという話で、ところが女性が癌になり、老人が改めて人間の生と死を見つめるという話だった。

面白かったが、私は原田芳雄さんを見るといつも何か引っ掛けたりを感じる。

上手いし、風采もいいが、何かギラギラしていて、弱々しい老人の役とかをやつていると「ん？」となる。

井上ひさしの最高傑作「父と暮らせば」（原爆で死んでしまったおとつたんが、幽霊になつて娘と暮らし、ほのぼのした中に戦争や原爆への批判が描かれる）の映画版でも原田芳雄さんは父親役をやつしていく、上手いが、何かギラギラしていた。

でも考えてみると、最近、枯れた上品な老人などあまりいない。原田芳雄さんが老人役をやつてているのはそういうリアリズムを体現しているのだろうか？（――）

ピラフ？チャーハン？

名古屋は最近はあか抜けてきたけど、一昔前までは大都市なのに田舎という位置づけだった。そしてそれも理由のないことではない。

しかし私の住んでいる大垣は名古屋のベッドタウンで、もひとつ田舎なのである。

今日、それを感じる事件（？）があつた。

今日は平日だったので、病院に消毒の処置を受けに行つた。その待ち時間に病院のそばの喫茶店に寄り、何か食べるのが最近の習慣になっていたのだが、今日、ピラフを注文したら高菜チャーハンが出てきた。私は好き嫌いがほとんどないが、お漬物だけはちょっと苦手なのである。高菜は何とか食べられるけど、高菜の量が多い。（――）

「これ、ピラフっていうちゃダメですよ！」と抗議したかったが、多分、喫茶店をやっている老夫婦は高菜チャーハンがピラフだと思っているんだ、と思い、抗議はしなかつた。また高菜チャーハンも全部きれいに食べた。

最近はほとんど手伝つていなければ、両親がやっている店を手伝つていた時、「冷麺」と「冷やし中華」を同じものと思つていても多かった。

そういう経験は久しぶりだった。

ちなみに東海地方では朝1-1時ぐらいまではモーニングと言つて、飲み物に軽い食事がつく。

トーストとゆで玉子が多いが、トーストにあんこを載せた小倉トーストというのが、けつこうある。私は東京に行くまで小倉トーストは全国的な食べ物と思っていた。

またゆで玉子の代わりに茶碗蒸しが出ることもある。

「コーヒーに小倉トーストと茶碗蒸しつて食べ合わせ悪いですよねーー。」と生徒が言つて、びくん!とした。

古くなつてる?私。(ーーー)

名古屋飯を考える？

一つ前の話からで、名古屋、東海地方にはいろいろ独特的の食べ物がある。

?みそカツ

私が名古屋飯の中で特に好きなのが、みそカツである。これはトンカツに甘辛いみそがかけてあるものである。私はこれも全国的な食べ物と思っていた。ただ補足して書くとみそカツは東京大学の食堂にもよくあつた。東京大学の生徒の一大産地は東海地方と九州だからじやないかと思う。

くどい料理なのだが、その分、ご飯が進む。

?海老フライサンドイッチ

名古屋と言えば海老フライ、ではリサーチが甘い。

私は海老フライサンドイッチの形にしたのが好きである。海老フライはさっぱりしていてご飯のおかずには弱いような気がする。

海老フライサンドイッチはトースト一枚の間に海老フライ三尾ぐらいいとキヤベツの千切り、玉子焼き、タルタルソースをたっぷり挟んで、三切れぐらいに切り分ける。

玉子焼きが隠し味になっている。名古屋駅のサンドイッチ専門店コンパルの海老フライサンドイッチが特にいい。コンパルは珈琲も美味しい。

?・うなぎ

うなぎは静岡が有名だが、名古屋も盛んで、食べ方もたくさんある。ひつまぶしといつのは名古屋独特と言われているがうな丼を三段階に分けて食べるものである。最初は普通に。第一段階は薬味のネギや海苔を混せて、第二段階はそこに出汁をくわえお茶漬けにして食べる。私はひつまぶしはそれほど好きじゃない。普通のうな丼が好きである。少しつと変わった食べ方としてはうなぎを玉子焼きで巻いたうな丼とこのうなぎを載せたうな丼というのが好きだ。

うなぎは名古屋独特とは言えないが、名古屋は比較的うなぎ屋さんが多いこと思いつく。

意外と長くなつたので、ここで一区切り。続きをまた書きます。

雑誌・「ターザン」

私は自分は甘い先生と思つてゐるのだが、生徒にはボケた先生と思われてゐる。

雑誌「ターザン」のやせる特集みたいなのが教室で見ていたら、あつちやん、のんちゃん、ヒテキ、カズマラが笑い死にしちつになつていた。

「ひどいー。これはひどすぎるー。」

「やせる特集を買つなんて・・・」

「買つ時、H口本より恥ずかしいよねー。H口本で挟んで隠したりして」

「無礼者ー。ちやんと買つてますよー。堂々と」

「店員さんもレジで受け取つて、普つて耐えてたと感づ」

「ギヤーハハハ、表紙もひどいっすねー。山口達也吠える『今の若い子は細すぎて色気のカケラもない』だつて！」

「本当にカッコいい人が出できたら、『ふんー。自分とは関係無い人ー。』ってなつちやうから」

「ぶよんぶよんですよー。」

「あー、全く師弟愛のない子たちだー。こんな生徒育てるんじゃなかつたー。毎日いろいろ工夫しているのにー。」

「HJの巻末の商品の広告もひどいっすねー。」

「パンチングボールとかダンベルとか、買つても全然やらんと思つりますよ！失礼なー！」

「絶対やらんー。」

あつちやんは水泳部のキャプテン、のんちやんはハンド部の副キャプテン、ヒデキはマーシャルアーツをやつていて、鍛えられている。カズマは運動部はやっていないが、サーフィンをやつている。

「だいたい何でターザン読んだるのこ、やせんの？」

ギクッ！（――・・・）

「やせる特集の後に美味しいレシピとか載つてるのが、ダメっすね！」

「うむむ・・・」

「でも先生つて食べる量すごいからこれでも驚異的な体型かも」「よくテザートバイキング行つてるもんね。チヨコフオンデュとか」

「またみんなで行きたいですね」

「女子も呼んでね」

だんだん脱線していく一同であった。

名古屋飯を考える？

さて、名古屋飯の続きを。

? どて煮

大阪にもどてがある。大元は牡蠣の土手鍋らしい。材料が大阪で牛すじ肉になり、名古屋では牛すじ肉をやはりハ丁味噌で煮込むことになった。

どて煮は曲者と私は思っている。美味しい不味いの当たり外れが大きい気がする。

私は信用しているお店でしか食べない。もともとは庶民的な食べ物と思うが、ホテルのランチなんかでもアレンジしたものが出来たりする。

名古屋飯の中の陰の実力者。

? みそ煮込みうどん

私があまり食べない名古屋飯。私の住んでいる大垣は京都にも近づいているため、私は濃い味の麺類はちょっと苦手。ただ人に出されたら、素直に食べます。

あと山本屋というお店が有名だが、高いわりに麺にくせがある。もつと普通の小さい店でできたてを食べる方がおすすめ。

?ラーメン

名古屋にはこれといつラーメンがない。しかし名古屋の人はラーメン好きと思う。名古屋駅の中には全国のラーメンが食べられる店がある。しかしそこも高くて混んでいる。

それより、みんながよく食べていて、美味しいのはスガキヤというチェーン店のラーメン。出汁は白くて、いい意味で脂っぽい。チャーシューと玉子が入っていて、麺も大盛りにしてもらえて、安いんだけど、美味しい！
これもひそかにおすすめ！

古川美術館（前書き）

こんにちは。この前書きは時間がたつたら、消すつもりですが、木曜日の朝に薬などの副作用なのか具合が悪くなり、ちょっと木曜日午前中は休講にしました。

何とか午後からはだましだまし、働いて、今日に至ります。昨日で薬ものみきつたので、またしばらくは大丈夫と思います。
更新が滞つて、失礼しました！

月曜日に松坂屋美術館に行きましたが、水曜日には古川美術館に行きました。

名古屋の住宅地の中に古川鳥三郎翁の洋館と和風建築があり、そこを美術館にしてあるのです。

今回の展示のテーマは美人画。上村松園、鏑木清方、伊東深水など美人画の有名な人の作品をたくさん観ることが出来ました。

洋館の方が美術館になつており、和風建築の方は室内的調度などを楽しみながら、お茶を楽しめるようになつております。抹茶、ほうじ茶、お団子のセットをいただきました。

和風庭園にとかげがいて、びっくりした！自然があるから。何かホッとしたしました。

美術館の受付の方とは顔馴染みで、今年はやっぱり異常な暑さだから、美術館にあまりつかがえなかつたとお話ししました。

木曜日にガタンと気温が落ちて、びっくりしましたね。

オーケストラアンサンブル金沢

さて、水曜日は美術館に行つた後、大好きなオーケストラ、オーケストラアンサンブル金沢の「コンサート」に行きました。

オーケストラアンサンブル金沢は地方のオーケストラながら日本でも屈指のいいオーケストラです。ただ外国人演奏家の方が多いので、強い外人選手がいるスポーツチームみたいですが。

名古屋は北陸に近いこともあり、年に2～3回、コンサートがあります。3月にもうかがつたのですが、その時は比較的新しく、珍しい曲が多くつたです。

オーケストラアンサンブル金沢は観客との一体感やグルーヴ感を大事にするので、クラシック音楽の枠を広げるような曲をやったり、大胆な選曲をしますが、一体感を出す方法として有名な曲をやることも多いです。今回は後者寄りかな。

曲目はメンデルスゾーン「弦楽のための交響曲」第10番。ラヴェル「ピアノコンチェルト」ピアニストは菊池洋子さんです。

休憩を挟んで、武満徹「訓練と休憩の音楽」「葬送の音樂」「ワルツ」そしてフィナーレはモーツアルトの「交響曲」第39番でした。現代日本の作曲家・武満徹の曲をやつたところはオーケストラアンサンブル金沢らしいです。その時、感動してスタンディングオベーションしているじいちゃんが前から三列めぐらいにいました。そのことに何か感動しました！

ところで演奏も素晴らしいのですがクラシック音楽のコンサートでは無料でパンフが配られるのですが、オーケストラアンサンブル金沢はその文章も非常に面白いんですよ。

近いうちに何らかの形で紹介するかもしません。お楽しみに！

オッパイ星人現る！（　　）

小学生の時（中学受験の時）から教えていたるケンゴが言に出した。

「せんせー、ジュリア・ロバーツとかキャメロン・ディアスとかアンドジーリーナ・ジョリーとかどつ思つ？」

「はあ？（　　）みんな大スターじゃない！」

「でも、もうババアですよね！」

「…（　　）何、言つんだ…す」くキレイなままですよー。」

「俺、キーラ・ナイトリー（パイレーツオブカリビアンシリーズのヒロインの子）が可愛いと思つんですよー！」

「はあ？あの子、顔も可愛いし、演技も上手いけど、貧乳だよー！ペッタンコですよー。」

「何、言つてるんすか！（　　）いやりじこー。」

「若い子ならスカーレット・ヨハンソンの方がいいですよー。胸がボイーンとしているし、唇とか厚ぼったくて、す」くH口な雰囲気が出てるから」

「胸、胸つてH口ですねー。Hロジジー！」

ケンゴはシンシンしていた。

私は私で思つていた。うーん。今の若い子は胸、あんまり気にしな

いのかな？

言われてみると最近の女の子ってあんまり巨乳って言わないな。

「せんせー、古典の説明しながら叶姉妹好きとか言ってましたもんね」

「ふおふおふお」

ケンゴとオッパイ星人の闘いが始まるー（ーーーー）

学生街の喫茶店

名古屋の千種といつ街は予備校や塾がけつにつ林立しているといつ
です。

学生がつづついるので、安い店が多いです。250円のお弁当屋さんとか食券制の定食屋さんとか。また小さい器にいろんなおかずが入っているのを選ぶお店など。そういうところは野菜をたくさん食べられるのが、いいです。

その中でとても素敵なかフェを見つけました。

初めて入った時は雰囲気に圧倒されたんだけど、珈琲がとにかく美味しくてミルクは入れず、砂糖だけでアロマを楽しみました。美味しいくて美味しいで、一杯めは半額なので一杯飲んでしまいました！

あんまり美味しかったから休みの日も行つたら、数学の先生に会いました。名古屋ぐらいの街だと人が集まるところは必ずと絞られてくるのかも知れないな、と思いました。

明日もそこに行くのが楽しみです！

アンファンテリブル

私は中学受験をやっている小学生も教えている。と言つても、どの学年の子と勉強していても、あまり変わらないのだけだ。

それでも小学生までの国語の教材は、ちょっと道徳の要素が入っており、パーソクリンの私の格好のからかいの対象になる。

昨日、斎藤茂太（斎藤茂吉の長男）のHッセーをやっていたら、「他人の悪口を絶対言つてはいけない。他人の悪口を言つている時、人は醜い」と書いてあつた。

別に間違つてではないと思う。思つが、他人の悪口を言つている時は輝いていると思うけど。

電車や居酒屋にいるサラリーマン、スーパーのフードコートや喫茶店にいるオバチャン、病院の待合室にいる老人、教室にいる浪人生など、みんないろんな悪口を言つことに夢中になつてゐる。あの上司は現場が分かつていない。俺の方が仕事が出来る。

○○さんは本当にわがまま。みんな○○さんを嫌つてゐる。（みんなというのは自分の派閥だけ）

うちの嫁は本当に鬼嫁なの。私は姑にいじめられても歯を食いしばつてやつてきたのにあれぐらいのことが出来ないなんて。

夢ちゃんは本当にいい加減だからね～。俺たちと違つて背負つてこ
るものがないんだよ～！

こんな感じである。

しかし、本当に不思議なことに悪口の言いかたにも口芝があるみたい
で悪口にも嬌やおかしみのあるチャーミングな悪口がある。

逆に聞いていたときがある。センターインメント性の悪口も
ある。

この差は何なんだろう？

この前、くくんが、「俺のクラスには彼女がいる奴がいないんですよ
おー」と言っていた時、先輩がすかさず「君を見ていたら、そうだ
ろうね～」と切り返していた。（――）

一つ前の話からの流れだけじ、ほめるのは悪口を言つよう、かなりテクニックがいると思つ。

カズマは「教室で一番カツコいのは俺へ、一番めは・・・」俺はＭＭＫ、もててもてて困っちゃうだよ～「などと口走つてしまつバープリンだつた。

悪口を言われても、あまりこたえている様子はなかつた。

しかしヨーゴが愛知県出身のアイドル石田卓也（「リアル鬼ごっこ」の主演の子）を引き合いに「カズマは映画スターの石田卓也よりかっこよくて～、男氣があつて～、カリスマがあつて～」とほめ殺しの技を使つたら、フレッシャーで青菜に塩という感じになつた。（カズマはヨーゴの陰に諸悪の根源、YYという人がいると主張している。）

もつとも私は私でほめる難しさを感じていた。

バイトの大学生で北海道から来た子がいて、真冬でも素肌の上に半袖のワイシャツを着て、「東海地方つて暑いですね～」と言つていた。ハツタリでなく、鼻に汗をかいていた。（しかし、北海道は建物の造りがしつかりしていて寒くないと聞いていたのに。それにしても。）

それで忘年会の時に「柴田先生はいつも素肌の上に半袖のワイシャツで男らしいですね~」と言つてあげたら、後に女子生徒に「田舎者つていじめられた!（トロト）」と話していた。一言も田舎者とか言つてない。（・・・）（・・・）

ほめるのは難しい！

小論文の採点？

これを書くことで身に危険が迫つたら、どうしよう。（ナニ）

いわゆる難関大学にはいろんな癖がある。「ドラゴン桜」みたいなマンガでも描かれているかもしれないが、よりディテールを書いてみようと思う。

一流で、規模の大きい私大には「記念受験」というのを受けに来る奴がいる。

「受かるとはないだろ？ けど、東京に行きつかけにもなるし、〇〇大学を受けたってだけではぐがつくぜー！」という子が意外とたくさんいる。はくつて何だよ？（・_・#）

しかし一流私大はそういうアホを落とすための罠？もたくさん仕掛けている。

有名なのは上智大が「現代文」と書きながら、近現代の人人が古文で書いた文章を出し、記念受験の学生を一掃することである。

もうちょっと巧妙なのが早稲田である。ここは記念受験の王国である。

早稲田のやり方は巧妙で、普通の学生には解けないめちゃくちゃ難しい問題を混ぜ、それを解こうと頑張る学生を落とすことになつてゐる。本当に早稲田を合格したい子は解ける問題、解けない問題の分類から始める。

しかし、私が一番気になつてゐる、はつきり言つと変な大学は慶應大学である。

慶應大学では細かい問題のある国語の代わりに小論文が出される。その論調が変なのである。（――・）

「まあ、お前たちが支配する愚民たちに情けをかけてやりなさい」という感じ。何？その上から田線。（ちなみに小泉元総理、小沢一郎氏らは慶應）

近年の問題で私が気になつたのを書き出してみる。

?街に動物園を作る」としたので民衆を説得する文章を書きなさい。

「民衆を説得」というと、獨特の価値観がかいまみえる。こんな奴には絶対説得されたくなこと思つ。

?浜崎あゆみの歌詞を紹介しつつ、ひつひつと聴いている若い愚民の悩み相談にのつてあげなさい、といつもの。

あゆの歌を聴いている若い愚民より俺たち以上の存在といつ不気味な意識が感じられる。（――）

他にも「日本の英語教育を今後どうすべきか？」など、全て強者の

論理である。

? 戦火のサラリエヴォでサリュール・ベケットの「ゴドオを待ちながら」を上演することにどういう意味がありますか?

ぶつ飛んだ問題である。まず戦火に苦しんでいる子供に食べ物や薬を『『えてやれよ、と思つ。

しかし、この問題は少し考えさせられた。戦場といつのは極端としても、悲惨な人にとって文学が救いになることはあるかも知れない。あれつ、じゃあ良問なの? 分からなくなつて来ました。(- - -)

名古屋飯を考える？

名古屋飯第3弾！

?天むす

海老の天ぷらが具になつてゐるおにぎり。名古屋飯はくどい印象があるかも知れない。私は天むすはせっぱりしたもの、体調が悪い時などでも食べられるという感じである。

天むすは駅の売店などでも名古屋、東海地方では置いてある。強いて美味しい店を挙げると美濃味匠が私は好きだ。

名古屋は他にうなぎのおにぎりなんもある。名古屋駅の改札近くの売店は意外とたくさん変わったおにぎりがあるので、おすすめです。

?きしめん

私は麺類が好きなので、きしめんも好き！麺が平たいのである。これも名古屋飯としてはせっぱりしている方。

そばやうどんのようにいろいろな具材を入れることもある。

私はそんなに好まないが海老の天ぷらを入れる人が多い。

私はむしろ定食ものなどに麺類があると食べやすく感じじる。『JAPAN』関西と似た感覚である。

?手羽先

私の苦手な名古屋飯。鶏の手羽先を唐揚げにしたもの。食べにくく、上、食べるところが少ない。

これは私のライフスタイルの問題なのだろうが、私の仕事はちょっと一匹オオカミ的で、仕事の後、居酒屋に行くとか忘年会とかが比較的少ない。そのため居酒屋のメニューの手羽先はあんまり食べたことがない。

ところで、名古屋は味つけが濃いらしい。

バイトの大学生で関西から来た子と食事していく私が「これ、ちょっと辛いね」と言つたら、バイトの大学生ヒロくんは「めちゃくちや辛いじゃないですか!」とびびつていた。

昭和浪漫第一章

今日の私は意氣込んでいた。

一年に一回ぐらいある「源氏物語」を講義する口だったのである。

しかし！

小学生の時からやはり教えており、来年、Hースとして大活躍してくれるであろうタツヤは意外なほどスラスラと「源氏物語」を読んでいった。

「あらら、出る幕がないですね。訳は出来ても、論理は理解出来ない子が多いのに」

「簡単ですよ！俺は本をたくさん読んでるし…」

「そうですね。あなたはライトノベルを何百冊も読んでいますからね。文学に慣れているんですよ。素晴らしい…」

しかし、賢い子は地雷を踏んだりもする。

「そこで帝はイチャイチャしていたんですね」

「先生の訳は分かりやすいっすけど、何か古いつすね…やつぱり昭和の香りがします！」

「…（ ）」

「いやつ…ちやーます…昭和の香りってこうのはほめてるんすよ…

「源氏物語」はもちろんだ、ヘンリイ・ジョイムズとかテネシー・ウ

「イリアムズとか泉鏡花とか偉大な文学は過去への追憶が本質だったっておっしゃつてたじやないつすか！先生の古い言葉は逆に新鮮なんですよ！」

『 · · · (- ;) - 』

「芸能界を例えに古典を説明するテクニックや、漢詩や和歌を流行歌に例えて説明するテクニックも全盛期の『ザ・ベストテン』みたいなんて思つてないっすよー。昭和は夢ン中っす！」

「昭和ナメんなよ！（、、）」

本が好きな人

穂村弘さんの「本当は違うんだ日記」があんまり面白かったので、簡単に手に入る文庫になつていてものを全部手に入れた。

いろんな面白い要素があるのだが、一つ言えるのは穂村さんは本が好きで、本について書いている部分を集めるだけで、一冊になるぐらいである。そして読書好きだとうなずける部分がけつこうある。

特に思ったのが好きだからこそ読まなくなる本があるというところである。

あまりに好きで内容を覚えてしまうことと、読んだ時の精神的なショックがよくも悪くも大きいらしい。

穂村弘さんにとってのそういう作品は大島弓子さんのマンガだそうだ。

また穂村弘さんが主張されるには読みやすくよく読む作品というのがあるらしい。

これも分かる。

「源氏物語」は私は意外と読み返していない。一回で読みとった内容が衝撃的だったからだと思う。

逆に「百人一首」とそれに関する本は何度も読んだ。読むと何か落ち着く。また軍記ものも何か好きである。戦争は嫌いだが、軍記ものを通した人間ドラマが好きなのだろう。

また穂村弘さんはよく買ってしまった本についても挙げていらした。
これも分かる。私も古本などで、一冊買ってしまった本がある。
岩波文庫の名作などが多い。読まなきゃという気持ちが強い訳である。

私は本を読むことに関しては貪欲である。なかなか飽きないと思つ。
まだ読みたい本がたくさんあって、先が楽しみだ。

巨編（つがい）・日本の未来を憂うる

私は生徒のあら探しはしていないつもりである。

今から書くことは生徒が悪いというより愛知県の教育委員会や親世代への怒りである。

最近、かなり成績が優秀な生徒でもなかなか大人っぽく振る舞えない子が多い。私が言うのも自爆という感じだが。（――）

特に思うのがスケジュール管理とメールの作法である。

成績優秀な生徒はいろんな予備校や塾をやっていたり、習い事もやつていたりすることが多い。それ自体はかまわないのだが、「〇〇日は休みます」と素っ気なく書いて、ボーッとしている子が多い。

「〇〇日は欠席するので、　日に代わりの講義をして下さい」とちゃんと言えない子が多い。

そういう子は親さんがスケジュールを管理していて、自由がない面もあると思う。

また学校のスケジュールに追われて、なかなか思い通りにならない面もあると思う。

しかし、大学受験では自分である程度スケジュールを管理して、自分で勉強の計画を立てて、自分のペースで走らないといけない。

学校は最低限、最大公約数のことは教えてくれるけど、難関大学を受けるには自分で各大学のことによく知ってる、専門的知識のある「先生」について、自主的に学ぶことが必要である。

それこそ暴論に近いけど、今、学校の言いなりになつてている生徒や親さんを見るともどかしく思う。

私ぐらいの頃までは学校は難関大学受験の生徒の足を引っ張つたりしなかつたと思う。また生徒も適当に手を抜いて、しかし、やるべき時はやっていた。

社会全体が管理され、しかもそれに逆らつ生命力、反逆心が失われているようで非常に不安に感じる。

私はちょっと横着な生徒や、やんちゃな生徒が好きである。そういう子は無茶をして傷つきながらも生きることを本当に感じとるだろう。

優等生の子はもつと型を破つて生きて欲しいー坂口安吾も書いているでしょー。生きよー堕ちよー

私はパツパラパーだけど、自分を生きている。

生きにくい時代かも知れないと、ただ一人一人が心を開いて素直に生きれば、社会がよくなるよーこれは私の遺言??です。

「優等生と呼ばれて長き年月をかつとばしたき一球が来るー」（俵
万智）

「ペルシャ猫を誰も知らない」

映画を観ました。忙中自ずから閑有りとはよく言ったもので、今日は生徒が体育祭で休みだったので、教材に目を通す。受験までの一番忙しい時期のスケジュールの会議や打ち合わせ。そういう中で仕事を頼むメールや電話がたくさんあり、目が回りそうです。

しかし、そういう中でも空き時間に映画館に「ペルシャ猫を誰も知らない」を観に行き、また理系の先生とお茶を飲みながら、歓談。夕方になると体育祭が終わった生徒が帰ってきて、彼女出来たと話していたり、ヒテキが生傷だらけになつていて、ギャーと思つたり。

次から次にいろんなことが起ることを充実というのなら、私は充実して生きています。

「ペルシャ猫を誰も知らない」はイランのバフマン・ゴバディ監督の映画でした。

西洋文化が厳しく禁じられる一方、若者が自由や民主化を求める伊朗で若者たちが何とか権力の目を盗んで、ロックやラップをやつたりする話で終盤は特に面白かったです。実はアラビア人の名前や顔が分かりにくいので、なかなか作品に入り込めなかつたのですが、分かつてきました面白くなつて来ました。

映像センス、カメラワークに非常に独創性があり、びっくりしました。

今日は本当にへとへとです。

「マイ・ブランザー」

今日も仕事の休憩時間に映画を観ました。

田匠ジム・シェリダンの新作「マイ・ブランザー」です。

素晴らしい作品でした。これも今年のベストワン候補です。オチなどを楽しむ作品ではないのですが、あまり核心のことは書かないようにします。

ジム・シェリダンは日本ではそんなに有名ではないですが、ダニエル・デイ・ルイスを発掘した「マイ・レフト・フット」、ジャイモン・フンスターを発掘した「イン・アメリカ」など発表作はアカデミー賞はもちろん、映画関係者からは非常に高い評価を受けており、新作も今までの総決算的な傑作でした。

ただ、アメリカの最近の戦争を全面的に否定・批判した内容なので、一切の賞はノミネートもされていません。（去年でいうと「縞模様のパジャマの少年」もそういう傑作でした。）

しかし、素晴らしい作品です。

「スパイダーマン」のトビー・マグワイア、「スター・ウォーズ」のナタリー・ポートマン、「ブロードバックマウンテン」のジェイク・ギレンホールと、比較的若い役者で、演技に定評のある三人のアンサンブルが美事！

軍人で英雄である兄、劣等感の塊の弟、そして兄の妻と幼い娘たち。

ところが、兄が中東の戦争で死んでしまい、弟は兄嫁とめいたちのために尽くし、初めて生きる意味を感じ、遺族たちは弟の優しさで再生していきます。

ところが、そこで死んだとされた兄が生存していたと分かり、帰つてくるのです。三人はどうなるのでしょうか？（淀川先生風）

感心したのは子供の描き方。ジム・シェリダンの作品は子供の目に映る大人というのが一つのキーワードなのですが、子供は決してキレイ、可愛い存在でなく、時に大人を激しく批判し、大人の幸せを脅かす存在です。その人間への眼差しがすごい。そしてそれがかなりきついことを描きながら下品にならない気配りの行き届いた演出が素晴らしい。

ジム・シェリダンのもう一つのキーワードは狂氣なんですね。しかし、それはサイコサスペンスみたいなあるものじゃなく、やっぱり描き方が巧妙を極めているから観ていると本当に手に汗を握ります。トビー・マグワイアが戦場から狂人になって帰ってくる兄を演じているのですが、鬼気迫るものがあります。どこがどうと言うのは難しいのですが、例えば深夜、トビー・マグワイアが眠れずガラスのコップを何度も何度も食器棚に置いたり、出したりしているのがじんわり怖い。

最後がハッピーエンドか否かは是非、劇場で観てみて下さい！緊張感の途切れない作品で、全く飽きが来ませんでした。エンドロールが終わるまで一人の観客も席を立ちませんでした。

言葉・じごとば・「トバ！」

ちょっとかたい話から始めるのですが、私は言葉と文学の専門家として、方言の話なんか敏感です。

ある先生の活動報告が楽しいのですが、それにくわえて、名古屋弁が非常に上手いんです。そこにつなりました。

実は東海地方のように人口も一千万以上で、面積も広いと実は方言も多様だし、方言研究には本当は厳密にはいろいろルールがあるんです。ただ学術論文を書く訳ではないので、この文章の中の名古屋弁はおおざっぱなものを考えて下さい。

実は私は東海地方と近畿地方の重なりあう大垣に住み、名古屋中心で仕事をしているので、気づいたのですが、大垣は京都と結びつきが深く、自分の言葉は京言葉に近いんですね。だから生徒の名古屋弁を完全に上手く再現出来ないです。

生徒で名古屋弁が強い子は祖父母と暮らしている子、また代々、名古屋に住んでいる子が多いです。

そこで困ったもののがカズマで、カズマは何故か標準語で話しているんです。理由はカツコつけだと確信します。

ただアナウンサーをやっていた先輩によるとカズマと自分が標準語

のつやつで話しているのせ、全然裝えていない感じです。

私はその「」とは直覺しています。一文字の単語をハキッと発音出来ないから。木とか血とか実とか。

逆に「いやつらとちやうへやうか」みたいなやわらかい言い方は得意です。

ハロウインのカボチャ

先輩「Kくんはハロウインのカボチャに似ていますね~」

K「ヽ(・。・)キック!俺、彼女いますよ!」

先輩「ゲーム機の中にいる女の子でしょ。はんかくさい」

K「学園祭の時にナンパした女の子ですよー。(・く-) パンチー!」

私「Kくんはカッコよくて、頭がよくて、面白いですもんね」

K「今、整えるのに夢中なんですよ。

お皿をまとかけてバイクととく、その心はハーレー」

「キモいオタクとかけて沈みそつ船ととく。ナンパせん」

先輩「自分のこと言つてる。ブフフ」

K「口ヒーとかけて歴代総理ととく。その心はサトウがあります
「夏休みとかけてアイドルととく。その心はファンが欠かせない」

先輩「整えるセンス、ゼロですよ。そんなに整えたかつたら日本と
中国の間でも整えてたら」

私 「 ケンゴたち「ギャー」ハハハ」

修学旅行のグループ分け

私は小学生の生徒とも友達感覚でおしゃべりに夢中になっているが、ときどきしてならないことを聞いた。

クラスで人気のある男子と女子が「修学旅行、同じグループで行こうね」と約束していたのに「人気のある子でグループを作るのはズルい」と異議が出て、約束していたグループはバラバラにされ、嫌われものの子との混成グループを組まれたという。

小学生の女の子には「いやな子もいいところが見つかるかもしれないせんよ」とアドバイスしたが、何か変な感じ、わだかまりが残った。

修学旅行のグループなど生徒に任せてやればよいのではないか。どうか。そういう人間関係を通して、子供も生きることや人付き合いを学ぶものなんじゃないかと思う。

またどうしても仲間に入れない子や、不自由な子がいる時は先生が生徒会長の子にめんどうを見させたり、知恵が昔はあつたと思う。今はそういう知恵も働かないのだろうか。

かく言う私だけど、私は集団行動が苦手で修学旅行は苦手だった。でもそれも人生経験だったと思うし、高校の時はとても楽しい修学旅行だった。

よかつたら感想なんかにお気軽に寄せて欲しいけれど、修学旅行のグループ分けって先生が決めるものでしたか？私は昔は自由だったと思うんだけど。

ノーベル賞おめでとうござります・マリオ・バルガス・リョサ

私はニュースについてはほとんど意見を言わない。別に言つに価する意見も知識もない。ただ、今日10月7日、ノーベル文学賞について、ちょっと書きます。

マリオ・バルガス・リョサ（スペイン語では正しくはジヨサというのですが、全ての新聞やニュース番組が「リョサ」と表現しているので、このエッセー集でもリョサと書きます。）のノーベル賞受賞。これほど驚き、嬉しかったニュース、最近なかつたです。

リョサは南米の偉大な文豪でしたが、ノーベル賞はないと私はあきらめていました。

日本では左翼、共産党系の人々が芸術や報道をやつていて、政治家や経済界は保守で対立（本当は共存？）しています。

ところが、南米では左翼知識人や左翼政治家の力がとても強く、テロなどもあります。世界的に一番有名な南米作家ゲイブリエル・ガルシア・マルケスは（一応、引退した人ですが）キューバのカストロ議長と一人三脚で頑張つて來ました。

しかしリョサはマルケスを激しく批判し、左翼の独裁じやない民主国家を作ることに情熱と正義感を燃やし、ペルーの大統領選挙にも出ました。ちなみに作家としては反則なほどハンサムです。それはさておき政治への発言が強く、南米という地域で孤立しているので、ノーベル賞はないと思っていたのです。

マルケスとは政治的対立からパイプ椅子で殴り合うぐらい対立。それぐらい情熱や正義感を持つ作家や政治家が日本にいるでしょうか？そんなに熱くなるなんて危ないとさせせら笑うんじゃないでしょうか。

でも、そうやって現実の激しさを見つめ、人間と戦争と宗教を見つめた人間がノーベル賞を取るんです。訳の分からん妄想を書いて、腹黒いマスコミに起こされた集団ヒステリーで騒いでいるような奴、村上春樹と奴の読者にリョサをおすすめしますよ。一度と春樹を読む気はなくなるでしょうね。本物だけが持つ輝きがあります。

私は大学時代、原稿用紙数千枚になるだろう超大作「世界終末戦争」を読み、感動のあまり、「都会と犬ども」「緑の家」「ラ・カTEDラルでの対話」などは全部、大学の図書館で読みました。またお金をはたいて、古本でリョサの本を揃えました。

でもノーベル賞をきっかけに全ての作品が復刻されること、それによって自分のコレクションの値段が暴落することを心から望みます。日本人が偽物の作品を読むのをやめる大きなきっかけになることを心から願います。

リョサ万歳！

ヴァッパータール交響楽団

私はクラシック音楽のコンサートに行くのが好きです！

今日も仕事の後、ヴァッパータール交響楽団のコンサートに行きました。ヴァッパータールというのはケルンに近いドイツの街です。

今日の曲はドイツでした。

ワーグナー「ワルキューレの騎行」「ジークフリート牧歌」
ベートーベン「Hロイカ」そしてモーツアルト「ジュピター」第4
樂章。

ところでクラシック音楽の作曲家はぶつ飛んだ奴が多いです。

「ジークフリート牧歌」は神話のジークフリートじゃなく、ワーグナーが妻のコジマと息子ジークフリートにクリスマスプレゼントとして作った曲。すごいプレゼント。

しかし、上には上がりおり大富豪メンデルスゾーンは12歳までにあらゆる古典を勉強し、晩年のゲーテとも丁々発止の会話をしてたそうですが、誕生日プレゼントはオーケストラ。（・・・）

メンデルスゾーンはお抱えオーケストラを使って曲を作ったのです。

日本人は真面目だから、ベートーベンやモーツアルトが貧しく生き

ながら、頑張ったみたいなストーリー作りが好きですが、芸術家にはけつこうキャラ^{もん}者が隠れていますよ~。

修学旅行のグループ分け・レポート中間発表

さて、修学旅行のグループ分けについて、小学生の女の子に話を聞いて、エッセーに書いたのですが、生徒や先生に尋ねてみたところ、いろいろ予想外な反応がありました。『意見を下さった方には改めてお礼を申し上げます。

まず私が受け持っている生徒で、高校生の子は概して、グループ分けは自由にやらせてもらえたという意見が多かったです。

比較的、田舎に住んでいる子が多くたからかもしれません。

あつちゃんがヒントをくれたのですが「仲間外れが出たら先生がグループ分けするよ」と言われて、上手くやれたという話を聞きました。この先生は「君臨すれども統治せず」の知恵があります。大いに参考にしたいです。

ベテランの先生や大人の方によると学校の先生が完全に主導権を持つて、グループ分けをするのも少なからずあるそうです。

私は作品なんかも見てもらっているのですが、私のさりげない一言にポイントが隠れていたらしく、昔は生徒会長などがあぶれた生徒のめんどうを見ていた、という辺り、今の学校では通用しないことも多いらしいです。生徒自身が他の生徒を気づかう余裕がないと聞き、非常に哀しい気がしました。

大人の意見のさらに上を行く意見があり、Kくんが小学生だった時は学級が崩壊していて、先生がグループ分けしようとしたのを生徒

が拒絶したり、「誰々が入るなら暴れる」など荒廃していたそいつです。（――）

Kくんの小学校は今日までに聞き取った中では一番名古屋の中心にあるところです。

グループ分けがおおらかだったという子は比較的田舎に住んでいた、身近に老人が暮らしているといった傾向がありました。

調査数が少ないので、一概に言えないですがもや～んと私が感じている傾向は言えそうな気がします。

私は生徒に勉強を教えることに絞りこんだ仕事ですが、なるべく人に親切にするとか最低限の生き方のマナーは伝えたいです。

それにもしても、学級が崩壊しているというのを聞くと非常に哀しいです。日本という素敵な国がどうしてそんな風になってしまったのでしょうか？（――）

悪魔のよつな女

タイトルは往年のフランス映画から拝借し、他意はなし。

10月になるとさすがに生徒も進路を決めないといけません。

あつちやんは優秀で、あまり手はかかりません。

夢「ま～、君は」親戚の地縁とかあるし、大阪か京都の医大に行きなさい。ずっと名古屋にいた君は東京は向いていないでしょう。東京のグレた子は本当にグレていますからね」「

あつちやん「（――#）偉そつな。東大に不良おつたのー？」

夢「そうですね・・・」

同級生の顔を思い出すとみんなホエホエとしてアホみたいな子だつた。童貞率も高かつた。

夢「不良・・・不良・・・不良らしい不良はいなかつたけど、同級生の女の子が出版社か、教育関係の中小企業にバイトに行って、そのオヤジイの愛人になつてね、わ子様、男の赤ちゃんを出産して、もとからいた奥さんを追い出して、妻になつたっていう子がいましたね～。ありますね、人が生きていると」

あつちやん「ねえよー！（・・）」

くくん「その女はきれいだつたんすか？」

夢「そうでもないから不思議なんですよ。ああこいつのは魔性ですよ
のんちゃん」「うそー」

世の中にはいろいろな人がいる。

いろいろな出会いがある。

だから怖いと心を閉ざしたくない。面白こと思ひ。また明日は何か
に出逢うため街に出かける。

「今日もまた街に出かける道端の素敵なお歌にめぐり逢つため」（愚
詠）

光源氏はへンタイか？

教科書で必ずやる「源氏物語」

しかし、これは教科書でやるよつた作品なのだろうか？（――・）

タツヤは正義感が強く、厳しい批判派だった。

「源氏は12歳で年上の従姉・葵と結婚してやつまへり（？）で、
「ひじゅまし」と、じゃなくて、ふざけてますよね」

夢「愛の英雄ですよ（^ ^）」

タツヤ「17歳の時は空蝉、軒場の荻、夕顔を次々お持ち帰りです
よね。人間の屑ですよー。しかも夕顔は源氏とえっちしている時に死
んじやつて押尾学も真っ青ですよー。（・・・）」

夢「偉大な人間の悲劇ですよ↑↑↑・」

タツヤ「18歳の時に10歳の紫に田をつけて、ストーカーを繰り
返し、自宅をのぞきこみ、大人になつたら上玉になると思つて結婚
したり、キモいっす！ いなくなつて欲しいです！」

夢「でもこの狩野派のさじ絵なんかロマンチックですねー」

カズマ「俺は源氏の気持ち分かるな。俺もママが大好き！ 好きな女
の子はママに似た子だし。ママのことば「カちゃん」と呼んでる」

「（――）お湯せかいかがなつて瓶せんをのこせぬひま
わせじりだへ」

ショパン・イヤー・シプリアン・カツアリス

今年はショパン生誕200周年で、ショパンをテーマにしたコンサートが盛んに行われています。私も度々、足を運んでいます。

今日、ラファウ・ブレハッチという若者のコンサート、この前の日曜日、シプリアン・カツアリスというちょっと通な人のコンサートに行きました。

シプリアン・カツアリスは比較的明るく軽快な曲を選んで、弾いていました。

フランスの方なのですが非常にサービス精神が旺盛でクラシック音楽のコンサートですが、英語と日本語の片言で観客に話しかけたり、非常にフレンドリーでした。

クラシック音楽とは堅苦しいものではなく、生まれた時代にはその時代の人々のエンターテイメントだったのだ、という静かな信念が軽やかなメロディから伝わってきました。

そしてアンコールではゴットシャルク、マルチエッロなどの曲をやり、ショパン・プログラムではなくなつたのですが、かえつてすごく感動しました。

またチャイコフスキーの「秋の曲」もやり、時候にもかなつています。

大満足のコンサートでした！

ショパン・イヤー・ラファウ・ブレハッチ

さて、今日はラファウ・ブレハッチといふ若者のコンサートに行きました。

ラファウ・ブレハッチはショパン・コンクールで優勝したピアニストですが、私（33歳）より若い。（――）25歳です。

ラファウ・ブレハッチはクリスチャン・ツィメルマンといふ現代最高のピアニストの弟子です。

そしてツィメルマンはカツアリスと違い、すぐ厳しそうな人でコンサートも厳しい雰囲気、はつきり言って殺氣みたいな感じになっています。それがイヤな感じにならない圧倒的な力量をツィメルマンは持っているからいいのですが。

その弟子なので、ブレハッチは技術もすぐ上手く、真面目な感じでした。ところが私もそうだったのですが、秋花粉で苦しんでいる人が多く、ちょっと客席がなかなかあつたまらない。

しかしアンホールで「英雄ポロネーズ」を弾く辺りで、お客さんもだいぶあつたまりました。

クラシック音楽の曲は演奏家によって、すぐ変わります。そこが魅力です。

明るい人も素敵。眞面目な人も可愛い。みんな違つてみんないい！

修学旅行のグループ分け・完結編

さて、修学旅行のグループ分けですが、一週間の聞き取り調査で、だいたい分かりました。

グループ分けを先生がやるか、生徒が自主的にやるかは学校や先生の傾向にもより、分かれるようです。

生徒が自主的にやれる学校が増えて欲しいし、生徒にもしたたかに行動して欲しいです。仲間外れの子を作らず、上手くグループ分けをしてみて下さい！

以下、聞き取りの中で面白かった話を書きます。

北海道の出身で、寄宿制の学校に通つており、週末勉強に来ているえりりんの話。

北海道は小学校の時は修学旅行は北海道内。

中学は南の方に住んでる子は東京に行くが札幌のえりりんは東北へ。川下りをし、川の対岸にある神社に石を投げ込み、願いをかなえるというおまじないをやっている時、男子の投げた石が眉間に的中。出血！

サバイバル修学旅行！

私の高校の時の修学旅行は長崎周辺でした。吉野ヶ里遺跡やハウステンボスに行き、長崎市内自由行動の日がありました。もちろん仲

のいい子でまわっていましたが、うちの高校は野球部がカッコいい子が多く、ナンパをして、カラオケボックスに行っていました。野球部の子はそれが発覚して修学旅行から帰ってきた後、丸坊主にされていました。

高校生ぐらいだと旅行よりカラオケがよかつたのかも知れないけど、ちょっともつたいたい気がします。

修学旅行にこれから行かれる皆さん、楽しんできて下さい。

谷川型と寺山型（－－－）

私は文豪・谷川俊太郎をずっと怖がっていた。

谷川俊太郎は穂村弘か誰かに雑誌の対談で言つていたのだが、ある意味すごい生涯をおくっていた。

谷川俊太郎によると谷川俊太郎は哲学者で法政大学の学長・谷川徹三の子供として生まれ、親に愛され、裕福に育ち、勉強も出来て、不幸というものを知らない。そう豪語するのである。

そして不幸、差別、怒り、怨念などを原動力に大活躍していた寺山修司について、全く理解出来ないと豪語していた。

寺山修司。青森の極貧の辺境に生まれ、父親は戦死して会うこともなく、母親は戦後、米軍基地に働きに行つた。修司は親戚の映画館の屋根裏に住まわされ、スクリーンからさまざまことを学んだのである。自殺未遂も何度もあり、体を壊して死んでいった。その作品は全世界で高い評価を受けている。

谷川はそんな寺山のことを「氣の毒に思つたから助けてあげたけど、不幸とか作品は全く理解出来ない」と言つていた。

それで私は谷川俊太郎は人間の気持ちが全然分からない恐ろしい存在のような気がして、作品を読んで来なかつた。

ところが、先日、谷川俊太郎のベスト版の詩集を先輩の先生が貸して下さったので、読んだら、あれっ？意外とすごくいいのである。人間の負の面を知らないというのはハツタリじゃない本音なんだと分かった。おおらかな人間と世界への讃歌がそこには描かれていた。素直で、心地よい、確かに寺山とは違う世界である。

しかし、自分は寺山型だからな、と思っていたら、のんちゃんに「先生は谷川型です」と言われた。（・_・）ハツ・・・・？

引っ越ししました

私事では「じやい」ますが、引っ越しいたしました。受験シーズンが近づいてきたので、駅に近いところにいた方が楽かな、というのが一つ。

大垣はすこく寒いので、より暖かい家に移りたかったというのも一つ。

あと先日、粉瘤になつたので、前の家がいけなかつた訳でもないかもしませんが、環境を変えたりなりました。

実は前に住んでいたのも祖父母の不動産で、今回も祖父母のマンションに手周り品だけ持つて引っ越しました。

夜、電気を消したら、以前住んでいた弟夫婦が天井に星座が光る仕掛けを作つていて、ムズムズしました。いい年して~。

昨日、駐車場の周りで水道工事をやつていたので、夜、自分で運転して本当に簡単なものだけ、運びました。今日の午前中、また少し荷物を運びました。

引っ越しでまた新しい気持ちで活動していきたいです。

秋花粉には負けぬ！

宇野用嘉良展(一)

日常の中にはなんでもない非日常が混じつてしまつたりがある。

三連休中、私は仕事をしていました。祝日に刈谷といつ名古屋より東の工業都市に行きました。そこに刈谷市美術館というのがあります。

小ぢんまりとした美術館で今まで地元の素人画家の絵が飾つてあります。

ところが、今回は無料ではなく、有料の企画展として宇野亞喜良展をやつしていました。

宇野喜良。 現代日本美術の巨匠。

商品の広告などを手がけるイラストレーター、デザイナーとして出発しながら、ありあまる才能で幻想的な絵に進出。特に寺山修司との出逢いで才能を爆発させ、エロティシズムとグロテスクさをたためた力作を次々生み出す。

それで刈谷市はけつこいつ活氣のあるところで、若い家族連れや、微妙な年代の子供が来ていましたが・・・美術にも映画や「コンサート」のように年齢制限を設けなきゃダメですよー(・ゝゝ・)

宇野亞喜良のエログロの絵を見て、あえいでいた少年、道誤らない

かな？（・ー・）

世間の人は芸術を甘く見ていますが、本当に優れた芸術には毒も闇もあります。また芸術作品をエロティシズムの目線で見るのもおかしくないこと。三島由紀夫は自身の作品を「春本」として読んでいる人がいると喜んでいました。

宇野亞喜良展は作品の質も高かつたし、展示もセンスがありました。例えば宇野亞喜良が装丁した本を集め、並べ、オブジェを作ったり。美術を観るちょっと玄人の方、ちょっと非日常の世界をのぞきたい方、悪い子におすすめ。フフフ。

中島哲也監督「告白」

今年の日本映画の今のところ、ベストワン・ラボー！

不思議です。欠点の多い原作。ちょっとミスキャストではこう中島哲也監督。

ところが、そのケミストリーは中島哲也監督の最高傑作に結実しました。

「告白」は湊かなえさんのベストセラーミステリです。
内容にふれるので、ちょっと改行しますね。

ネタバレが気になる方はご遠慮下さい。

「告白」はミステリとしては粗い、不自然なところがけつこうあります。しかし、面白いのです。

また内容的にも悪人と悪人が闘っているエグい感じです。

もともとテレビ界で活躍され、映像や音楽のセンスに定評がある中島哲也監督が、こんなドロドロした作品を?と首をひねったのですが、意外な相性は本当にびっくりです！

監督ならではの映像が原作の粗いところを気づかせず、疾走感をた

たえて最後まであれよあれよと観ている者を連れていき、飽きさせません。決して明るい話ではないのですが、悪や不愉快も徹底するところある種の感動があります。

もう一つ感心したのが、映画を通してですが、原作者の湊かなえさんは松本清張みたいになるかもな、と思いました。ポイントはトリックなどより犯罪に関わる人間を描くことに力点があること。しかも何となく悪に肩入れしている感じがする。もう一つは犯罪を描きながら時代や文明の記録に作品がなっていること。

タイトルを思い出せないところが私はパーチクリンですが、海外ミステリの古典も上手く下敷きにしていました。

久々に観ててゾクゾクするほど興奮しました！

「十三人の刺客」

「告白」のせいでわりをくつたのが同じ日に観た「十三人の刺客」。これはこれで非常にしつかりした造りでよかったです。

ただこの作品も残酷。

「悪人（偽）」という話で稻垣吾郎くんがシリアスな悪役をやる映画があると書いていますが、これです。

予想はしていましたが稻垣吾郎くんは悪役というよりは狂人という感じの役でした。こういう役は目立つので、ちょっと得しています。むしろ市村正親、松本幸四郎、松方弘樹、伊原剛志らが作品を支えているのが印象的でした。

余計な一言ながら、時代劇は怖いな。
髪型やメイクでごまかしている子が不細工なのがバレたりするから。
○○く～ん。

話は稻垣吾郎くんが悪い殿様で、十三人の刺客が天下のため、参勤交代の道の途中に要塞を作り、悪い殿様の軍団を倒し、悪い殿様を亡き者にしてしまうとする話です。

戦闘シーンは迫力がありますが私はちょっと疲れてしまいました。

細部がリアルなのに話がめちゃくちゃなのが監督の確信犯なのでし

ようが非常に不思議な感じでした。

また奇想天外な映画ながら結末はわりと予想通りなのはちょっと食い足りなかつたです。

でもホラーに近いバイオレンスが見られるので、そういうのが好きな人にはおすすめ？（*ー*）

シリアルな話題はほとんど書いていない私だが、昨日、文学の世界に大激震が起こった。

河出書房新社の文藝賞が受賞作が盗作だつたため、今回は該当作なしになつたのである。

さらに印象的だつたのは盗作の対象はインターネット上の内容で、受賞予定だつた方は盗作をしたという意識もなかつたらしい。

私は文学の方はともかくインターネット上のことはよく分からない点もあるが、この事件には強い印象（もちろん悪い意味でだが）を受けた。

河出書房新社の文藝賞は非常に意欲的な賞で、男女とも最年少の受賞記録は文藝賞が持つてゐるはずだ。

また内容も斬新なものが多い。

だから受賞予定作も今までの常識的な文学作品からはみ出すものだつたのだろう。

そういう作品を探す意欲は尊いが盗作を見抜けなかつたのは惜しい。

とはいへインターネット上には膨大にテクストがあふれていて、盗作かそうでないかを見抜くのも、きっと難しいのだろう。

今私は身辺のさりげないことを書いているだけだから、盗作のされようもないが、こういうことがあるとインターネット上には作品を出せないとちよつと恐ろしくも思う。

特に今回印象的だったのは受賞取り消しになつた人が「インターネット上の作品だつて作品に決まつていいだらう。新聞などの上品な報道では何をどれぐらい盗んだかよく分からず、もどかしい。週刊誌などが詳しく真相を追求することに、今回ばかりは期待している」ことである。

インターネット上の作品だつて作品に決まつていいだらう。新聞などの上品な報道では何をどれぐらい盗んだかよく分からず、もどかしい。週刊誌などが詳しく真相を追求することに、今回ばかりは期待している。

本当は文学に敬意を持ち、眞面目にしていれば、盗作などするはずがない。

そういうことをする人はどこか人間的に歪なのだろう。

私は簡単にいろんな芸術観賞の記録をつけているがパンフやチラシを丸写したことはない。それでかえつて拙い表現になつているかも知れないが、そういうのも含めて味、個性であり、私なりの誠実さを貫いている。

ストラスブール美術館展

今回はダメ出しです。

地元・岐阜県美術館でストラスブール美術館展を観賞しました。

外国の美術館のコレクションを借りる展覧会ですが、久しぶりにこういう美術展を観ました。いい意味ではないです。

外国の都市の名前を冠した美術展は時々、内容がいかがかと思われる時があります。昔、もつちょっと景気がよくデパートが美術館をやっているころはよくこういうのがありました。パンチの弱い絵が多いのです。

周りの人はきれいな絵と満足しているようでしたが、私は物足りなくてムズムズしていました。

本当に優れた芸術家の作品は荒々しいほどエネルギーや個性があふれています。

そういう熱気がありませんでした。

ピカソ、ヴラマンク、モネなどちょっとだけありましたが質的に疑問・・・

以下、美術館を観るコツをちょっと提案ですが、どうしても一つの

美術館や誰かのコレクションの展覧会はいろんな作品を観られると
思いがちですが、私は一人の画家中心の展覧会をおすすめしたいで
す。世間的には無名でもまとめて観ると画家の個性がひしひしと伝
わって感動することが多いです。ヴラマンク、モランディ、キスリ
ング（みんな超一流ですが）などは個人特集の展覧会でファンにな
りました。

どんなジャンルの芸術でもそうですが、埋もれた傑作、天才がゴロ
ゴロしています。感性のアンテナを広げて、そういうのをキャッチ
していきたいです。

あいちトリエンナーレ2010

美術の話題がちょっと多くなっているのですが、一つよろしく。

それも今、愛知県であいちトリエンナーレ2010という行事をやつていて、東海地方では美術ブームだからなのです。

あいちトリエンナーレ2010は名古屋の中心部の美術館だけなく、街中にアートの空間を作り出し、街中を祝祭の空間にしようと/or>いう行事です。

不景気な時に、という批判もあったのですが、意外と始まるところの観客がやって来て、盛況。うれしい誤算です。

昨日、名古屋市美術館と愛知県美術館の会場に行きました。

愛知県、名古屋市はもともと前衛アート作品の展示が多いです。これは私の推理ですが、伝統的作品で優れたものはやはり首都圏と近畿圏が先に所有していたからでしょう。

だから前衛アートを中心のあいちトリエンナーレ2010も比較的すんなり受け入れられたんじゃないかと思います。

名古屋市美術館の会場は美術館の空間全体がアートになっていました。

愛知県美術館はもう少し初心者向けで、前衛アートの巨匠草間彌生や若手の注目株志賀理恵子など比較的有名な人の展示が多くつたです。

おつーと思ったのは撮影をすることが許された作品がいくつもあったことです。（普通は許可されない）

またミュージアムグッズがいろいろ作ってあって、販売されていたのも楽しかったです。
ノートを二冊買いました。

東海地方の方にはおすすめします。

ファンキー雛忌

教科書に載る話はけつこう偏っている。古典もそうである。そして面白くない話が多いが、たまに当たり、面白い話がある。それを紹介したい。あー、読んだことある、という方も多いと思う。漢文では「諷語」「史記」などがよく教科書に載るし、比較的、勇壮で面白い話がある。

しかし、今回、紹介したいのは中国史上サイアクのナルシスト雛忌のアネクドオトである。ちなみに私のおちょくつたダイジエストではなく、本文を読みたい方は「戦国策」という作品に載つてあります。

春秋戦国時代、後世、正義がなかつたという乱世であり、人々は生き残りをかけてしのぎを削つていた。

その中、齊という大国に雛忌という男がいた。その心のねじけぶりは狂人と言つてもよかつた。

雛忌は自分はハンサムと思つていた。
(カズマみたいですね~、とつかみを入れる。)

しかし、徐公という男が雛忌よりハンサムだと噂を聞いた。雛忌は幾晩も寝苦しい思いをした。

ナルシス離ちゃんは妻に尋ねた。

「俺と徐公はどうちがハンサムかな？」

妻は離忌を痛々しいと思った。しかし、言った。

「あなたに決まっていますよ」

パーチクリンの離忌は妻はえこひいきをしていると思い、愛人を呼び、尋ねた。

「俺と徐公はどうちがハンサムかな？」

愛人は離忌を疎ましく思った。しかし、言った。

「あなたに決まっていますよ」

疑り深く、自己愛は弱さの裏返しの離忌は愛人は媚びていると思つた。

その翌日、地方から陳情にやつてきた客がいた。離忌は非常識にも尋ねた。

「俺と徐公はどうちがハンサムかな？」

客は心の中で腹をかかえた。しかし、陳情が大事だったので、言った。

「あなたに決まっていますよ」

離忌は嘘つきで卑屈で醜い人間特有の鋭い勘で自分が馬鹿にされていることに気づいた。

離忌は鏡に顔を映した。

（鏡に顔を映すのがまた気持ち悪いですね、というドッカーンと

ウケる。）

そしてやつぱり自分はハンサムじゃないと絶望する。

実はこのアネクドオト（ヒピソオド）は中国語の比較を勉強するための単元なのだが、離忌の異常性が強く心に残ってしまう。三人が離忌に「あなたが美しい」と言った時、どうこう気持ちでしたか？という問題がついており、答えは「媚び」「へつらい」などが、「痛い」「寒い」「ウザい」「カズマみたい」「いじめられそう」などと余白に書いて、丸をつける。

あなたの周りにもいませんか？」「うう足りん子ちゃん。

えりりんに会いたい

えりりんが教室にやつて来た時、左手の薬指に指環をしていた。

夢「あの・・・その指環、意味分かってんの? (^ O ^) .」

えりりん「やだー、分かつてますよー! 今は彼氏がいたらするんで
すよー(^ O ^) .」

夢「あら、 そうなの」

そつこえはカズマもモデルの女の子にクリスマスに指環を贈つてた。
フられてたけど。

ちなみにヨー「たちは「モデルとか言つてもピンからキリまでいる
んだよー! 田舎のスーパーのチラシに載つている子だつてモデルなん
だからーーー」と言つていた。 姦みだろう。

とこりで私はミステリの本も好きだし、何かこの仕事の長年の勘も
鋭く

「彼氏つてもしかしてミチヒコじゃないの?」

「えつー! どうして分かるんですか?」

「あなたの学校とミチヒコの学校は女子高と男子校で部活なんか合
同だから。私の生徒は田指している田標も似通つてるし
「すーーー」

受験生でもエンゲージメントして恋しているなんて素敵じゃない。
頑張ってね！

「終バスに一人は眠る紫の降りますランプに囮まれながら」（穂村
弘）

宇野千代。おばあさん。しかし、日本で女として最初にいろいろなことをなしどげたと自分で豪語する宇野千代さんはただのおばあさんではなく、非常に圧迫感がある。

教科書で「檸檬」がよく取り上げられる梶井基次郎の全集の最後に宇野千代さんが寄稿している文章もあまりに面白いので、紹介することにする。

ご存知の方も多いと思うが梶井基次郎は短い生涯を駆け抜けた天才だった。全集も文庫本一冊の量である。

その天才梶井は「私のことが好きだった」と宇野千代さんは豪語する。（――）

全集に寄せる文章を書くため、かつて梶井と滞在した村を数十年ぶりに訪ねるとそこの中年の女性が「宇野千代さんが昔、村にやつて来たことは語り草になっている。この村では宇野千代さんほど美しい人はいないと人々は語り継いでいる」と感激していた。と宇野千代さんは自ら記録している。

日本芸術院会員、勲三等受賞、菊地賞、野間文芸賞などたくさん受賞。（しかも女性として初のことが多い。）「ホントなのかよ！？」「とつこめないアウラをバンバン出している。

そして思い出の村を周りながら「梶井が私を愛していることは知つていたが、私はふつた。そのことで梶井は命を縮めたが、私は何も悔いていない」と書ききる宇野千代さん。

カツコいゝ！

男の作家たちが必死に努力しても日本に定着させられないハードボイルドを軽々と実践してしまっている。

強くないと女じゃないんだ・・・（――・）

膾炙

人口に膾炙す・膾はなますといつ料理。炙はあぶり肉。焼き肉。それは多くの人の口に合う美味しい食べ物であるように多くの人に人気があるという意味で用いられる。「福山雅治さんは老若男女の人口に膾炙す」

私「炙といつのはね、青椒肉絲みたいな料理なんですよ。でも私、学生の時からこの言葉に疑問持つててね、私、青椒肉絲が嫌いなんですよ」

K「あつ！俺もそつです！クド系がダメなんですよ！」

私「そうー…やっぱり自分たちは魂のフイアンセなんですよー…青椒肉絲は筍の食感がまた気持ち悪いでしょー！」

K「ああ、そうです！」

カズマ「（…）ダブルボケの会話だ…」

私「私はね、アイスクリームやかき氷も苦手なんですよ。体が弱いから冷たいのダメなの」

カズマ「でも先生、水の氷を珈琲に混ぜてたじやないですか！」

私「あれは冷やしているんじゃなくて、冷ましているんですよ！」

カズマ「そういうのを詭弁つていつんですよー。」

K「今、メチャはまつてるのはセブンイレブンのソース焼きそばです。玉子焼きが載せてある」

私「私も大好きー。(^o^)」

カズマ「あれ、けつこうクド系だよ。(-_-)」

盗作の余震

さて、先日文藝賞の盗作が一つのきっかけになつたのではと思つが、また盗作事件がニュースを騒がせている。

「詩と思想」、前橋市の詩のコンクール、北原白秋にちなんだ詩のコンクールなどなどで受賞を重ねていた中学三年生の女の子の作品がやはり盗作であると父親が告発し、受賞取り消しなど関係者は対応に負われているらしい。

私も少し深刻に考えるよつになつた。

実はこのHッセー集を作品の形にしているのは退会する以前に活動報告に書いていたことを盗用されたことがあつたからなのである。

その人には最初は気持ちを傷つけないように抗議を申し入れたが、非を認めるどころか嘘を重ね、反省の様子はなかつた。また私以外の人とも似たようなトラブルを起こしていた。

私はある意味、その人が恐ろしくなつた。

平気で盗用・盗作などを行い、周りとトラブルを起こし、活動報告では周りをアジテーションするようなことを書いている。そして、それを無批判に受け入れている周りの方たち。

こういう批判的なことを書くと私が嫌がらせを受けるかも知れないという臆病な気持ちから私は今まであまり積極的に抗議出来なかつた。

しかし、文藝賞の盗作事件をきっかけにネット上の盗作への厳しさが急激に高まっている。

だから私もこれからはそういうことに厳しく対応していきたい。

今までのことに遡及して何かを言ひ「とはないし、名前を出すつもありもない。

しかし、その方は一回めの退会騒ぎ後も私のページを見ている気配もあるので、今後はどうか盗用などはやめて下へることの場で気持ちを伝えておく。

今まででは活動報告は著作権など曖昧なものという甘えがあったのも知れない。

常識のある人なら「夢野さんの活動報告に書いてあった〇〇について私も書きますね」とか一言断るし、私もそれを咎めるなどない。

インターネット上の盗作への厳しい対応がこれから強まると思つので、後にトラブルにならなによつにほとんどの方にはお聞き苦しいことを書いてしまいました。

すいません。でもインターネットの方にエチケットやマナーを考えること、文学を尊重することを訴えたくて、書いてしまいました。

またシリアスじゃないことに帰つてきます。

盗作余話（笑）

あつちやん「先生、盗作のことあんまり書かん方がええよ」

私「何で？（ - - - #）」

あつちやん「自分で自分の首しめる」

カズマ「夢ちゃん、夏休みの終わりに小学生で宿題積み残してる子の読書感想文とか日記、けっこう執筆してくるじゃないつすか。あれ、逆盗作でしょ！」

私「（ - - - - ）・・・・」

カズマ「大学生の論文もけっこう書いているでしょー・夢野色に染め上げて・・・夢野色、地獄じyan！」

私「無礼者！（ - 0 ）」

のんちやん「でも盗作って何なんでしょうね？芥川やシェイクスピアが盗作しているなんて言いませんもんね」

私「原典とのブレンダ具合でしょ」

のんちやん「今はインターネット上に載せてないんですけど、先生の作品も古典ものですもんね」

私「（ - - - ）」

のんちやん「現代語訳とかを工夫してるから救いがあるけど」

私「ダンケ！ダンケ！」

カズマ「盗作と言えば、天才美少女事件」

私「ああ、あれね」

拙作「八月のフルーツパフェ」の原型を読んだヨークが
「これさ、アタシが書いたことにしようよ」

私「はあ？（～、～）」「

ヨーク「先生が出してもさ、話題性ないじゃん！アタシが出したら、
天才美少女あらわるつて話題になるじゃん！」

カズマ「ふつ！美少女って言えるのかなあ・・・（。口。）はつ！」

カズマは厳しい罰を受けた。

それにもしても周りに友達がいれば、つっこんだり、笑ったりして、
最悪の一歩を止めてくれる。

一線を越えてしまった人には友達いなかつたのかな？（；－；）

「ブライト・スター」

イギリスの三大文豪。戯曲はシェイクスピア。小説はディケンズ。詩はキーツである。

そのキーツの生涯を描いた映画「ブライト・スター」を観ました。

キーツは貧しさと無理解の中、25才で結核で亡くなります。今から200年ぐらい前。

しかし、その晩年にファニー・ブローンというフィアンセと短く哀しく、でも満たされた愛の日々を送ります。

その二人の出逢いからキーツの死までの時間をキーツの詩をたっぷり織り込みながら、濃密に描いています。

ブライト・スターというタイトルはキーツがファニーに捧げた詩のファニーの瞳を表す言葉です。

私は不勉強で、映画ではキーツの弟の死がきっかけで一人が出逢い、短い日々で世界で最も美しい詩集「エンディミオン」「ヒュペリオン」などが編まれていくのですが、時系列が史実とは少し違うかもしれません。

でも映画としてはまとまつていました。

キーツの描く妖精のお姫様と、洋裁が得意なファニーのイメージは重ね合わされ、イギリスの美しい四季と一人の恋は幻想的に描かれます。ラベンダー畑のファニーや、一人の愛を象徴する蝶に囲まれ

るファニーの美しさは必見です。（木村カエラさんのバタフライみたい！）

最近、「〇〇は読んでおくべき」という言い回しが流行っているそうですが、キーツの幻想美はその後のヨーロッパの芸者家に絶大な影響を与えたので、この映画なんか観るのはおすすめです。どうせ観たり読んだりするなら、本家本元を。

またキーツとファニーを苦しめる周りの人間と、一人を守る家族の描き方も秀逸でした。

特にファニーが無知であると古典のことをじつじく訊いてきて、いじめる俗物。

それが本当にいやなやつなんですが、そいつからファニーを守るためにキーツの愛が燃えるのです。

醜いキューピッドだな。（――）

監督はカンヌ映画祭グランプリ監督ジェーン・カンピオン。
美しい映画でした！

今日、身近で衝撃的な事件が起こつた。

教室に私、ベテランの英語の先生、ベテランの数学の先生がいて浪人の生徒のめんどうをみている時、浪人の女の子が「英語の先生が私を見下してる」とか「私はお金を払ってる立場だ」など泣きながら訴えて、暴れており、教室や事務所が非常に悪い雰囲気になりました。

混乱の中で私はベテランの英語の先生に「先生は間違つてない」とお伝えしたけれど、高校が終わつた生徒が教室にやつて來たので、社長やベテランの英語の先生が事態をどう收拾したかは分からないです。

先輩は普段はKくんはブサイクだ、とかふざけてばかりいますが、私に戒めとして教えて下さつたのは、先生というのはどうなに民主的に振る舞つても、何かを知つていて教えるという時、権力が発生する。だから厳しく自己を律して、権力にまつわる責任をしつかり果たしていくということ。未熟な私はそれをちゃんとやれてないとと思うし、自分の教える子はいい子ばかりだから見守つてくれているけど。私は応えられるように日々、必死に頑張っています。

正直なところ、いろんな生徒がいる学校ではいろんな価値観があるので、衝突もありますが、予備校や塾では勉強に絞っている分、あまりトラブルは起こらないのに。（ーーー）

正直なところ、荒れていた女の子は女の子で、何かよっぽど追い詰められているのか気の毒でした。高い目標を持っている子だと、今ぐらいいの時期にテストでいい判定が出ないと不安になるかもしれません。

でも、それに耐えて頑張ることはペーパーテスト以上の大事な「勉強」なんだけれど。

みんな頑張って！私も頑張るから！

古典の裏道

教科書でやる古典は何でつまらないのか。

わざとつまらない部分を選んでいるとしか思えない節がある。

例えば「奥の細道」旅立ちのシーンと平泉にやつてくのシーンがう
いである。

あんまり面白くない。

そこでいきなりクイズです。

芭蕉は何で生計を立てているのでしょうか？

それを語るだけで楽しくなる。

芭蕉は各地で人々の俳句の集まりに師匠として参加しているのであ
る。

思いきって分かりやすく言つと各地でカラオケ大会をやり、審査を
しながら最後は本人がメチャうまの歌唱を披露という感じである。

そういう強かなジジイだから「奥の細道」全編を読んでいくと、何
が風雅だ、大爆笑の連続である。

「みちのくのしのぶもぢゅり誰ゆゑに乱れそめにし我ならなく」

（陸奥にはしのぶもぢずりの石がある。それで乱れた模様をつける
衣のように恋に乱れる私の心。誰のせいでこうなったのだろう。私
のせいじゃないのに）

百人一首にある歌である。

芭蕉はこの衣に模様をつけるのに使う石碑を見に行く。
すると現地の人々は観光客が石を見に来るのをつづがつて、悪ガキ
たちにより石は崖の底に突き落とされていた。

芭蕉はそれを見なかつたことにして去つていぐ。（ただし記録はし
ておいた。）

また笠島といつては平安時代のハンサム歌人藤原実方がつぶすながみ产土神
に殺されたといつて云説の地である。（史実は民衆の反乱、争いに巻
き込まれて亡くなつた。）西行が東北に行つたのも実方の靈を慰め
るためだつた。

しかし、芭蕉が笠島に来ると雨がジャンジャン降りだつた。ちょっと
と神社まで行くのつらいな、と思つた芭蕉は「笠島はこづこ五月の
ぬかる道」と句を適当に作り、これでいいでしょ、とサッサッと行
つてしまつ。

笠島の産土神も何故、この強かなジジイに罰を当てないのか？

一番笑えるのは元気な芭蕉の世話をする弟子の曾良やしなが北陸で倒れて
しまい、船か何かで運ばれていき、芭蕉のその先の泊まるところには

曾良の「お師匠様、頑張つて！」という息も絶え絶えに書いたお手紙が待っている。芭蕉は元気に俳句カラオケ大会をやっている。

日本古典は長いものじゃない。全文を載せ、先生が自由に料理すればよい。

私の提言です。○(^_-^)○

ヒップホップ孔子

さて、芭蕉も実像を歪められ神聖視されているが、孔子もやうである。

教科書では「論語」中に教えているが、これまたつまらなこところを選んでいい。

孔子は決して道徳の先生ではなかつた。
詩。それも教科書でやる芸術的な漢詩ではなく、歌謡曲の詞が好き
だつた。

好きなジャンルは恋歌である。（・・・・）（・・・・）

孔子は気に入った歌があると何度も弟子に歌わせ、覚えると自分で
歌つた。

「庭に桜の花びらがはらりはらりと散つてゐる。お前を愛しく思つ
てゐるが、街は遠く離れてお前に逢えない・・・」

そこで孔子は言つ。

「いいか、お前たち。よく聞くがよい。この男は愛しいが、逢いに

行けないと黙つていいだろ。だが、本当に愛していたらどんなに離れていても逢いに行くんだよー！この男にはそこまでの愛がないんだよー！お前たちは本当の愛を見つけろよー！」

出た人生説教！（Ｔ・Ｏ・Ｔ）

孔子に歴史や学問を習いに来てた若者たちは隙あらば恋愛を指南してくれるジジイを困り顔で見ていたかも知れない。

でも学校の先生の話でも案外覚えていることって、人生説教の方かも知れない。

また孔子の言葉には真実がある。

私は大学の同級生で大切な子がいた。

しかし、私は地元に帰り、落ち着いたら迎えに行こうと思つていた。その子は結局、結婚してしまった。本当に好きだつたら一人前になるまで待つとか悠長なことを言つていたらダメなのかも知れない。また私は横浜の赤レンガ倉庫まで逢いに行つたりしたが、向こうは逢いに来てくれなかつた。

滋賀から名古屋に大学で勉強するため来たヒロくんは滋賀に彼女を置いてきたが、半年ぐらい名古屋で過ごして、やっぱり別れのしきりをむすんで別れたと言つていた。

「論語」は道徳の教科書じゃなく、恋愛の教科書にもなる。

ラジオと文学者

読書週間だからなのか昨日、NHKラジオに「人大物作家が出ていた。

そんなに意図的に聴いていた訳ではないが、やはり文学のことが好きなので、二人の放送を聴いてしまった。

一人は土曜楽市に出ていた渡辺淳一氏である。

もう一人はラジオ深夜便に出ていた川上弘美さんである。

ある意味、当たり前なのだが、いろんな人が聴いているので、一人の生涯を簡単に紹介するのだが、特に心に残ったのはやっぱり川上弘美さんの方だった。

私は初期の短い作品が好きなのだが、作品を出すことに特に読み巧者、玄人からは絶賛を受ける大物である。

少し意外なことに川上弘美さんは幻想味を帯びたご自身の作品が日本の文学の伝統の中ではちょっと異質というのは自覚してらした。そういうことは一切考えていない仙人みたいな人と思っていたので、軽い驚きだった。

ただ、お話はおつとりしていたが、ご自分の作品や創作スタイルには強い信念をお持ちなのがよく分かった。

一方、渡辺淳一氏はあまり文学のことを言わず、比較的社会のことについて語るところが多い印象的だった。

相手がＮＨＫのアナウンサーでなく、残間理恵子だったからかも知れないが。

しかし自作の宣伝は意外とお上手だった。

「孤舟」読んでみようかな。

ラジオからはそれるが、今日、予備校街の立派な書店に入つたら、町田康さんの新作が一冊も出でていることを知った。

私が今、生きている作家で新しい作品を積極的に探すのは三人だけである。

町田康さん、津島佑子さん、山田正紀さんである。

鷗外と現代

最初にお断りすると森鷗外の鷗はかもめという字ですが、私のケータイでは字が出ないです。便宜的に森鷗外と書きますね。

タツヤが「阿部一族」をやつていて、頭を抱えていた。

あっちゃんやのんちゃんに匹敵する逸材のタツヤだから、作品の表面は読めるのだが、意味が分からぬ。共感が出来ないのである。

だいたい夏目漱石が広く愛されているのに比べて、森鷗外はあまり読まれていない。

太宰治は日記で夏目漱石をもてはやし、森鷗外を読まない日本社会を激しく批判して書いている。

鷗外は何者だったのだろう。

あまりに頭がよすぎたので、小学生に混じって勉強することは出来ず、年をこまかして東大医学部に入る。そしてヨーロッパの言葉は全てラテン語のなまつたものと考え、ラテン語をマスターし、ヨーロッパ各国の言葉をマスターなど鷗外のエピソードは優秀をはみ出す不気味なところがある。東大卒業は普通の日本人が大学に入る19歳の時だった。

そしてヨーロッパ留学をし、軍の仕事をしながら、山県有朋や西園

寺公望と文学を利用して交流する政治家の顔。

樋口一葉、与謝野晶子、芥川竜之介などを勢力下に置くなど文壇にも影響力を持つ。

そして、そんな鷗外の素顔は謎に包まれている。

山崎正和先生のご指摘だったと思うが、鷗外の作品の最大の主題は日常の中に破滅が潜んでいて、急に日常が地獄になるという残酷な真理だとあつた。

「阿部一族」「高瀬舟」などは確かにそういう世界の崩壊をしつかり描いている。

また見逃しがちだが、「高瀬舟」の犯人は普段はびつゝ生活をしていたのか、考えると不気味である。

鷗外。日本文学最大のブラックボックス。もっと読まれてもよい。

大爆笑・プロポーズ大失敗作戦

私「鷗外の世界はね、日常の中に潜む地獄を描いているんですよ・・・」

のんちゃん「先生、そんな経験したことあるんすか?」

私「ありますよ・・・」

語られたエピソードはとてもないものだった。

私、ある後輩の女の子と結婚したくなつてね、一緒に古川美術館なんか行つたんですよ。

古川美術館は高級住宅地の覚王山のそばで帝国ホテルのパティスリがやつていたババロア屋さんなんかあつてね、そういうところを紹介してあげたり、覚王山の展望レストラン・ジ・クーに行つたり。

歌を新聞に載せてもらつてた縁で俵万智さんの「あなたと読む恋の歌百首」を持つていたから、それを贈つて、プロポーズしようとしたんですが、「私、俵万智嫌いなの!」って言われてね。

カズマ「エグすぎやろー(˘)」

しかもミクシィか何かで友達のブログを見ていたら帝国ホテルのバロアのことが書いてあつたりしてね・・・追及したら、「ああ、つきあつてるよー」って、逆ギレされてね。

カズマ「痛々しいオブザイヤーですね。（　　：）」
のんちゃん「遠恋の人にも別の結婚相手がいるの隠されてたんですね」

私「まあ一回もそんな結婚のことだまされるなんて私がパーチクリンなんですよ」

カズマ「やつと戻りきましたか」

私「何だとー（、）、（、）」

最近の私

最近、更新が滞っていました。すいません。

このサイトは学生さんの利用が多いので、説明不要かもしませんが、今ぐらいの時期に入試が終わる子もけつこついます。入試が多様化しているからです。

あっちゃんが今日、某大学を力試しに受けるので、私も東奔西走していました。

生徒の前に立つて教える時間が仕事の一一番中心ですが、教えるためにいろんな大学の問題文を読んだり、準備が忙しいです。

大学の問題文の他、各予備校や出版社の問題集や模擬テストにも田を通しています。

そういう訳で更新はマイペースですが一つよろしくお願ひします。

忙しい中でも数学の先生とお茶を飲みながら研究したこと話し合い、お互い和歌を詠んだりして充実して過ごしております。

数学の先生が面白いミステリを探していくので、山田正紀の「ミステリ・オペラ」などをお貸しました。

読み返してみるとかなり深いところまで私は山田正紀さんの影響を受けているなとヒヤヒヤしました。

最近、盗作のことを何度も書きましたが、どんな人でも偉大なモルがいて、それを模倣することからスタートする訳ですし、なかなか難しいです。

山田正紀さんは戦後といつより近代最大の作家・中井英夫の影響を受けているし。

ただ山田正紀さんの「ミステリ・オペラ」中井英夫の「虚無への供物」「黒衣の短歌史」など圧倒的な作品を知っていることは私の幸福と不幸だと思います。偉大な作品を読む楽しみは幸福。創作をする上では非力をを感じさせられ、不幸。

それでも仕事の繁忙期が終わったら仕事しながら学んだことを大いに取り込んで、また新しい作品を書きたいです。

台風の近づく朝に。

タイトルは大名作のパクリです。

昨日、Kくんが「家の仕事継ぎたくない!」「恋愛とかに口出しされて腹立つ!」と荒れていました。ちなみに家の仕事はお医者さんです。

生徒を見ているともう人生の選択を迫られる年になったかと感慨があります。

自分の生徒は多分、比較的恵まれていて、もつと早くつらい選択を強いられる子も現代は多いでしょう。

でも悩んでいる子に「もつと苦しい子がいる」と言つても仕方がない、と言つより、それは一番無責任な言い方のような気がします。

悩んでいる子にとってはその悩みは他の誰にもかわつてもられないものだと思います。

「とりあえず大学行つて、選択肢を増やしたら」とか私もいなしていますが、非力なので、悩みを聞いてあげて、「君は恵まれてる方だつてそのうち分かるよ・・・」と呟くぐらいです。

Kくんは本質的に賢く、真面目なので、将来、私がさりげなく「もつと弱い立場の子がいる」と言つた真意を悟ってくれると思います。

私自身はかない存在で、好きな小説や古典を語り、文法を教え、テストを採点してと日々過ごしていますが、さりげなく呟く言葉が若い子たちの心にちょっとでも残つたらしいです。

「嵐を呼ぶ男」

私は岐阜県の西の方の大垣に住んでおり、岐阜市に映画を観に行ったり、美術館を観に行つたりする。

けつじつ向日も前のことになるのだが、岐阜市の柳ヶ瀬に行つた。

新しい映画をやる映画館の他に名画座、古い映画をやる劇場がある。一本、500円。（――・）

石原裕次郎の「嵐を呼ぶ男」をやつていたのだが、びっくりした！――

すいぐ面白だったので、不覚にも号泣してしまつた。

「おいらはドラマー」という歌を歌つやつです。

もしケーブルテレビなどで観られたらおすすめします。
エンターテイメントのお手本の面白さでした。

石原裕次郎は今の基準ではそんなにかっこよくなくて、不思議です。数学の先生によるとあんまりカッコいいとファンが移入出来ないらしいけど。

昔の日本映画はすごく面白かったんだな、と思つ。
また何か観に行きたいです。

ハンサム作家

水嶋ヒロ処女作「KAGEROU」ポプラ社小説大賞受賞一賞金2000万円ゲット！

近年、まれな感動と興奮を与えてくれるニュースである。

私はミクシィのニュースで知ったのだが、けつこうの拍手反応が多い。

しかしリリー・フランキーさん、劇団ひとりさん、品川さん（下の名前が分からぬ）などタレントの方が小説を出している例はたくさんあるし、売れている。

難しい問題である。

小説家になろうというサイトで頑張って書いている方や、文学賞に送っている方はタレントさんが本を出すのは不公平に思うかも知れないけれど、売れる本を出すという出版社のビジネスの論理もあるだろう。

私自身は最近、作品を出してないし、出していた時もアクセスがそんなにある訳ではない。

それでも何か書くのは結局は何か書くのが好きということに行き着くのかなと思う。たくさんの方に読んでもらいたいというのは自然な感情である。

孔子は「人に知られなくても恨まない」と述べ、そこが教科書に載っているが、実は執拗なまでにこの言葉を繰り返し、最後の方で「本当はすごく怒っている」と神に対して怒りを爆発させる。そこには笑いと感動がある。

私は「理解されなくともかまわない」「どうせ売れない」みたいなかしこぶつた言い方はあまり好きじゃない。

本当に努力して努力して、怒っている方が人間味があるんじゃないかなと思う。（私自身はあまり努力していないので、ダメだが。（-_-;）

水嶋ヒロ受賞はけつこう小説家になりたい人にショックだらうけど、見守っていきたい。

私は水嶋ヒロ好きだから、写真集とかと合わせて水嶋ヒロの小説、買ってみよっかな。

意外とマダム・チャタレイみたいな傑作だつたりするかも！（^O^）

最大の編集者

戦後最大の小説家は誰ですか？とアンケートを取つたら、大学教授や一流の作家など玄人が多ければ谷崎潤一郎。素人が多ければ、太宰治か三島由紀夫がデッドヒートを繰り広げるだろう。

しかし、もし戦後最大の編集者は誰ですかというアンケートがあれば（ないけど）中井英夫がぶつちきりだらう。

寺山修司、塚本邦雄、葛原妙子、中城ふみ子、尾崎左永子、春日井建、山中智恵子、村木道彦、挙げ尽くせない多くの文学者を発掘した。

これは最大の功績である。
文句のつけようがない。

しかし、私が中井英夫に淒みを感じるのは文学の世界に圧倒的な力、権力を持ちながら、自分自身が小説、詩、短歌を書き始め、どれをとっても戦後の群少作家グループをよせつけぬ圧倒的な傑作だったことである。

そしてその先に私は人間の本当のミステリを感じる。

中井英夫は編集者としても、創作者としても、活躍しながら文学の世界、出版の世界の裏側を「黒衣の短歌史」に鮮やかに活写した。

それを読むと文学の選考とか出版の判断は実に虚々実々の駆け引きがあり、編集者と作家・歌人の激突もある。

また中井英夫は自分が出したい作家を出すためには川端康成、蓬田空穂といった文豪に働きかけたり、尾山篤一郎や近藤芳美といった巨匠とも激しく戦っている。

そのことから分かるのは文学賞の選考や本の出版はものすごい闘いで、ある意味いつでも血に汚れていたかも知れない。

そういう意味ではタレント本を出すため、いろいろバタバタしているのは文学の世界も品が下つたなと思つ。

中井英夫が生きていたらどう思つだろつ。出すにしろ、もっと巧妙に出しだらう。

中井英夫は編集者時代、自分の作品を新人文学者の作品として出させてた節がある。そのことについては機会があつたら、書きたい。

カズマ日記

カズマ筆（添削・夢）

夢ちゃんがバイトの大学生の先生を連れてホテルのバアにワインを飲みに行つた写真を見せてはしゃいでいました。

夢「大学生のヒロくんと同級生ですかって言われたの～」

俺「（――）お世辞でもうれしいですか？」

夢「お世辞じゃないもん！ 灯りはローソクだつたし、自分は童顔（？（――、・））だからそう見えたんだもん！」

俺が観察していると夢ちゃんは小学生の子にも
「先生は21才」と教えていました（Ｔ・〇・Ｔ）

他にも夢野^{ハナ}言録を書いておきます。

「ヨン様的なポジションに行きたい」

「カヴァレリアルステイカーナは本当はとっても哀しい曲なの～」

「尊敬している人は美輪明宏先生」

「まだ大学生で通る」（通らねえよ。（――#）カズマ心の叫び）

「あつちゃんより私の方が若さがある」

「藤原竜也は大根役者」

「長年、この仕事をやつてきた。（21才とこいつの整合性は？）」

「自由になりたい」

「みんなの兄的存在」

「私には大人の男くわさがある」（ねえよ（ーーー#））

そんな夢野ですが、昨日、銭湯で老人に「いつから太つてゐるの？」
つて声をかけられ、ショックを受けていました。ザマリロ。

新しい作品「不良」

最近、新しい作品「不良」というのを載せ出しました。

このサイトではライトノベルのような作品が主流のため、日常がただ描かれていく作品を出すのも場違いなのかな?と思いましたが、一応、書きました。

意外と筆がよく走り、「Hッセー集」と同時進行させて行こうと思っています。一つよろしくお願いします。

一部の知り合いの方には私小説ですねーと言われています。

エッセー集のKくんと「不良」の速水は確かにちょっと似ていますが、私は浅倉先生のようなクールな先生じゃないので、一種の理想です。

でもエッセーが自分の明るい?面としたら、小説は暗い、悲しい面かな?と思います。

手探りですが、頑張ります。

アシヤヨツヅラモン

先日、私の生徒で比較的温厚で眞面目な生徒サトシくんに文学事典を使いながら文学史を教えていたら、「えつー村上龍って作家だつたんですか！」と言われ、ひっくり返った。（――）

なるほど私世代にとつて村上龍は村上春樹と人気を一分する流行作家でダブル村上の時代などと言われていた。

しかし、今の若い子からすると「カンブリア宮殿」で訳の分からんことを話しているオヤジイ、就職活動のハウツー本を出しているオジサン、サッカー好き、中田英寿氏とヌード写真を撮影（覚えている自分が憎い）（トロト）。

まとめるとトリー伊藤や森永卓郎とかと同じような存在になっていたのである。（――）

しかし考えてみると村上龍は水嶋ヒロの逆で何かタレントになりたくていろいろ書いていたようで、今の状態は都落ちではなく、手に入れた栄光らしい。（――）

考えてみると原作・脚本・監督作品「KYOUKO」（主演・高岡サキ）など昔から村上龍は作家としては邪道と思われる」とに執着していた。（寺山修司のようにあらゆる分野で世界的な賞をとつたり出来ないとこころがじ愛嬌）

バブル時代にも「リュウズバー」というトーク番組をやっていた。

話下手が何故トーク番組を？

一応、芥川賞もとつた人が芸能人になりたがり、芸能人が文学賞を欲しがる。

何かもうよく分からん。（Ｔ〇Ｔ）

ガキ帝国

今日、小学生の女の子と勉強しながら、最近の売れている芸能人の話をしたが恐ろしいことに話が通じない！（――・・）

AKB、西野カナなど名前は聞いてもどんな曲を歌っているか分からぬ。

高校生がちょっとヒマーニアックなバンドを好きだつたりしてもついていけない。

そういうオヤジイにはならないつもりだったが、なつている。（――・・）

逆にサザンオールスターズ、ユーミン、小田和正あたりは妥協して、挙げてみても通じなかつた。

その中、何とか通じたのは松田聖子ちゃんとジエロだつた。
すごいな聖子ちゃん。

Kくんは何故か昔の曲に詳しく述べ、「寿司食いねえ」をカラオケで歌つたらバカウケだつたと言つていた。

それにしてもやっぱり日本の文化って何か偏つていかないだろ？
子供向けか老人向け。
大人の娯楽がないような気がする。

しかし、地下鉄で自分より上ぐらいいのサラリーマンが携帯型ゲーム機をやつたり、犯罪ゲーム・グランドセフトオートの攻略法を話し合っていたり、ついていけない。（ＴｏＴ）

ちなみにタイトルは井筒和幸監督・島田紳助さん主演の名作からパクリました。

錦匠が錦匠なら弟子も弟子

来年、また「源氏物語」の映画をやるらしい。「源氏物語」の世界と紫式部の生きた歴史世界が合体したパラレルワールドで光源氏と藤原道長が紫式部の愛をめぐつて争う話らしい。

光源氏は生田斗真。紫式部は中谷美紀。藤原道長は東山紀之。

超能力者安倍清明が蓬塚洋介。中宮彰子が連仏美沙子。

藤壺が真木よう子。六条が田中麗奈。葵が多部未華子、夕顔が芦名星。弘徽殿太后が室井滋さんとすゞいキャストである。

Kくん「生田斗真が光源氏とか役者不足ですよねーー生田斗真なんかすごい不細工ですよーー!ただテレビに出ているから売れているだけで、あいつ普通に街にいたらかなり不細工ですよねーー!」

夢「Kくんと比べたらほとんどの男の子は不細工ですよ」

女子たち「ブーー。」

タツヤ「先生の生徒ってみんな変わっていますね」

みんな「タツヤー!それ自爆だよー!」

タツヤ「えつーー(トート)イヤヤー!俺はキャラクターやうでー!」

みんな「タツヤは十分夢野コーマ一座の看板役者をやれる変わりモノだよー！」

夢「行く春や鳥泣き魚の田に涙（春は過ぎてゆき、芭蕉は江戸を去ってゆき、鳥たちも悲しくて泣いているし、魚たちも別れを惜しんで泣いている）。あれ、やつた時にタツヤ『あー、芭蕉、皿山中心的でムカつくなー！』って言つてたもんね」

カズマ「夢ちゃんに弟子入りする時点で立派なキャラ者だから」

『一』「しかも『テラリラ』とか『禁書目録』とか『涼宮ハルヒ』とか『召喚獣』とか全部愛読しているタツヤに夢ちゃん、かなり期待しているから」

夢「そうなんですよ。次回は手塚治虫に絶大な影響を与えたフリツ・ラングについて講義します」

タツヤ「あ、何か面白そう。(>○<)」

みんな「出でてもねえよーか」(= - -)

最近、文学をめぐる問題はいろいろ「タガタ」している。そういう中で見逃されていることがある。

年間の最も優れた作品に贈られる文学賞の一つドゥマゴ文学賞が朝吹真理子さんに決まった。というニュースを聞いて、私はビビビと反応した。

朝吹なんてありふれた名前じゃない。

記事を見たら、やっぱりフランス文学者朝吹登水子の親戚だった。
(朝吹登水子の弟の孫、甥の娘という関係である。)

朝吹登水子はフランスの人気作家フランソワーズ・サガンの翻訳を独占的にやっていた。「悲しみよこんにちは」「ブライムスはお好き」などを手掛けてきた。戦後文学界の大スターである。

その子孫の女の子はやはり朝吹登水子の弟子筋に当たる詩人か学者のパーティーに出ている時に新潮社の偉いさんに「何か書いていただけないでせうか?」と丁重に頼まれ、作品を執筆。そして出版。年間最高の賞を受賞という順調な歩みを見せている。

水嶋ヒロさんの比でない。あからさまに新潮社が売り出そうとして

いる。

ところがこちらにかみつく、批判する人はほとんどいない。いや、一人もいないと言つてもよいだろ？

実は私もこの扱いは難しいと思つていてる。

家族・親戚が一流の作家や学者で出版社の人々が積極的に出してくれるという人は昔から多かった。斎藤茂吉の息子が北杜夫。吉行エイスケの息子が吉行淳之介。佐藤紅緑の娘が佐藤愛子である。

しかし、じついう世襲作家が一定以上の活躍をしたことも認めない訳にはいかない。

子供の時から文学的にいい環境に恵まれてきたことはアドバンテージ、プレステイージだろう。

最近だと金原ひとみ、三浦しをん、井上荒野がそういう世襲作家である。

私が不思議に思うのは水嶋ヒロさんをしきりにバッシングする人がこういう世襲作家が堂々と出てくることに何も意見を言わないことがある。そういう問題があることも全く知らない気配すらある。ちょっと氣の毒に思う。そんな一時のニユースに反応しているだけでは話題作りに協力しているだけで、出版社や編集者にもなめられるだろ？

日本人は怒りパワーすら奪われた白痴化状態になっているのかも知れない。

。まじめな本を書いてみたい

別役実さん

昨日の午後、NHKラジオに別役実さんが出演していた。日本を代表する戯曲作家である。

そのお話をラジオで聞いたのだが、非常にしつかりしたお話で感動した。

何を書くにしろ言葉に発してすぐ理解できないような不自然な文を書くな、とおっしゃるのにはドキリさせられた。

今は古語で分からなくなっているが、古典小説も和歌も漢詩も当時の人にとって耳で聞いて楽しめるエンターテイメントであった。

また別役実さんがおっしゃるには三島由紀夫あたりまでの文豪は実際に読んで意味がすつきり通る、朗読にたえうるそうである。太宰治は特に句読点まで効果的に利用して、独特のリズム感を作っている。

頭の中で観念的な作品を作ることを別役実さんは戒めていた。

もう一つ感心したのは別役実さんが若い子の言葉などを安易に使わないことであった。

今、濫用されている言い回しで「～させていただく」という言い回しがある。

この言い回しは一昔前まではなかつた。橋本龍太郎総理が使って、流行ったのだ。その当時、作家の嵐山光三郎さんだけがこれを汚い言葉と批判なさっていた。だから私も、

人様が使うのをとがめまでしないが自分自身は使わない。

だいたいよく考えて欲しいが「～させていただく」と言つからでは何者かにやるかやらないかを判断してもいい、委ねる感じがする。

時と場合によつては通じるかも知れないが、先日、こんな言い回しを見つけた。

「トイレでのいたずらを発見したら厳しい対応を取らせていただきます」

これはおかしい。

「取ります」でいい。

また次のはどうだろ？

「この学校を卒業させていただきました」

裏口入学でもしたのか？「卒業いたしました」でいいだろ？

こういう変な言い回しが流行り、変と感じない人ばかりというのも怖い。（－－－）

本筋に戻つてくるけど、別役実さんは小一時間ぐらいの話の中で乱れた敬語などがなく、感服した。

形骸化した敬語については私は言葉の専門家としてまた書きたい気もする。

ただ周りの人の言葉狩りになることはいやである。
お読み下せつた方が少し立ち止まって下されば幸いです。

新しい短い作品

新しい短い作品を最近、二つ載せました。

一つは「俺はテレビが嫌いだ」という作品です。

水嶋ヒロさんの文学賞事件をもとに書きました。

私はこの主人公ほど純粹ではないんですが、不満を持つている人をモデルに書きました。

最近、書店やネット上で水嶋ヒロさんの作品はすくなく宣伝されていますね。

売れる本を出すといふのは否定できない世の中の道理だし、ただ文學が好きな人は自分の道を貫いていくしかないと思います。

もう一つは問題作「宮本教授」です。

実は出すか出さないか、迷ったのですが「不良」の松浦先生のモデルである靡けこの山先生に昨日、生原稿を見てもらったところ、意外と好評だったので、出すことにしました。

ある架空の作家が亡くなり、その追悼記事やインタビューがいろんな媒体に出て、その架空の作家はどんな人だったかを推察させるという、ちょっと実験的な作品です。

「不良」もけつこう続きを書いていますが、なかなか入力が出来な

いです。（私は原稿用紙に書いています。）

やはり靡けこの山先生からコーヤがオネエっぽいといつ破壊的な指摘がありました（――・）、だんだん開きなおりて、続きを書いてしまいました。

なるべく早く出しておきます。少しお待ち下さい。

最近、自分としては初めての試みですが、「不良」を書きつつ、短い作品のアイデアが浮かぶと書いております。

近況報告でした。

自作を語る？「始皇帝・謀殺」

自作を語るなんて、不遜なのだが、むしろお断りです。

「始皇帝・謀殺」は中国古代を舞台にしたエンターテイメントである。

そして始皇帝の生みの母・朱姫、育ての父・子楚、本当の父・呂不韋の三人を描いている。この三人は歴史上本当にいた人である。東洋古代の習慣で女性の名前はよく分からぬのだけど、伝承などでは朱姫と言われているので、従うこととした。

三人に仕える紅紅、愛羅、禁、廉などは架空の人物です。

秦王国の人はだいたい本当にいた人ですが、困ったのが漢字が出ない！（――：）

蒙剛という將軍が出てきますが、もうじう、というのはもつと難しい文字です。Wikipediaなどに出てきますので、興味のある方はご覧下さい。

それ有限ったことじゃないですが、読んで下さった方からよくWikpediaとかGoogleなどいろいろ調べながら読むといつお言葉をいただくことがあります。とてもうれしいです。

始皇帝の時代は分からぬことだけとは言え、歴史は一般の方が思っている以上に研究が進んでいます。

それを一回咀嚼して再構成するのが自分の作品かな、と思つています。

キャラクターのちょっとした性格なども歴史からいつじゃないかと想像して書いています。

「スープオペラ」

昨日、久しぶりに映画館に行つた。

阿川佐和子さん原作の映画「スープオペラ」観賞。

大好き……うつっちゃーミングな作品。（^_^）／

ストーリーは現代のおどぎ話で大きいけど古びた洋館に一人のアラフォーのヒロイン（坂井真紀）が住んでいて、二人の男性が転がりこんてきて、三人で暮らし始める。

若い男は西島隆弘くん。

この子は顔もしゃべりも性格も全部いいですね。

そしてもう一人が藤竜也さんなのだが、役名がトニオというので、舌をまいた。

先日、世襲のことを書いたけど、阿川佐和子の父親・阿川弘之らの世代には大人気だった文豪トーマス・マンの最高傑作「トニオ・クレエゲル」などのちょっと新しい古典世界が背景にある夢の世界で、クライマックスの美しさと優しさと哀しさにはあふれる涙を止められませんでした。

穏やかに優しい三人が生きる中で生きることや恋することの甘さとほろ苦さが丁寧に描かれており、今年の隠れた佳品です！

こういう作品を見ると親が大物で子供の時から文学に親しめた環境の強さを感じさせる。

素敵なもので、よかつたらご覧下さい。

カズマ口記？

カズマ筆（添削・夢）

受験が近づき、それなりにみんなピッピッしています。

その中で全く空氣の読めない男、違ひの分からぬ男、それが夢ちゃん。（――・・）

そして夢ちゃんはあつちゃんとフルコンタクトの闘いをすることがなったのです。

夢「カズマのダルメシアンはすぐ速く走るの。あつちゃんはすぐ速く走るの。だからあつちゃんはダルメシアンなの」と妄言を吐き、あつちゃんを激怒させました。

そして一番優秀なあつちゃんとフルコンタクトでガチンコ勝負をすることになったのです。

二人とも初めてみる、大学入試問題で勝負！

「頑張れ！頑張れ！あつちゃん！フレー！フレー！あつちゃん！」

「永遠に許すまじー夢野ー」

「上から田線のショタおじさんをぶつぶせー。」

夢「全く醸匠の恩をわきまえない奴らばつかりだ！」

ショーンスケ、サトシ、ダイキら地味な男の子たちは「先生は僕たちに優しくしてくれたから」と夢ちゃんを応援していました。

ダーティ夢野、デビル夢野は「最初の文字が漢字で書けなくとも動搖してはダメですよ!」などとあつちゃんを威嚇したりしていました。

悔しいことに夢ちゃんは終始あつちゃんをリードして問題を解いていく。

最後、採点。

「あつちゃん、88%です!」
「おーーー!」

平均は50~60%で学生としては驚異的だが・・・

「せ、先生の点は・・・95%です!」
ドヤー夢野のドヤ顔が決ました。

ハア~と落胆する生徒たちを見ながら、夢ちゃんは涙をこぼれていった。

頑張れ!私を倒すことが出来て、初めて私の後輩になれるんだぞ!

仮の夢ちゃんだった。(鬼と書いたのに誤植が直らない。)

勉強出来るアホ

カズマがバイトを始めた。

何か小学生や保育園の子のめんどうを見る保育士みたいな仕事らしい。

「小学生が小学生に何教えるんだ?」「保育園児がカズマのお守りをするようじや世も末だな」など言われている。
どうもバイト先の隣の女の子を狙つているらしい。（――・）

カズマは「ひどいよ！俺がルックスがジャニ系で小学生ぽいからって」と言つていたが、曲解だらう。

みんなが小学生と言つてるのは内面の問題である。「俺はルックスはジャニ系で、小学生みたいだけど、ピーッ！は逞しい大人の漢おとこだもん！」

だからそういう言動が小学生なんだって。（――・#）

またカズマは周りから頭のいいアホと言わっていた。

実はカズマの師匠もそう言われていた。

カズマはエッセー集を読むと全然勉強出来ないよう見えるかもしないが、難関の国公立大学を受けられるぐらい勉強出来る。

しかし、アホなのだそうだ。

しかし、何か理解出来る。

映画「悪人」を観て

こんばんは。

「エッセー集」の更新がだいぶ遅れました。
すいません。

活動報告で弱音を書いたりしたので、方向性を悩んでいるみたいに思われたかもしれません、仕事が忙しかったです。

受験に詳しい方ならご存知かもしませんが、今は受験が多様なので、今ぐらいに合格が決まる子もあり、二人合格が出ました。

長い前置きが終わり、本編ですが、今年の話題作「悪人」観ました。
劇場で。

夏休みの終わりに中日新聞の試写会に招かれたのですが、忙しくて行けず、やつと自腹を切つて、観ました。

結論から言うと、まず「自分は普通の善男善女」と思う圧倒的大多数の人にはおすすめ。

今時点で読売新聞と朝日新聞が年間ベストに選出していますが、何度も泣けるポイントがあり、かなり感動します。監督は「フラガール」の李相日イ・サンイルです。「フラガール」で感動した人は号泣必至です。

しかし、その上でつっこむんだけど、あまのじやく、へそ曲がりな

人だけ、この先はお読み下さい。

感動は感動で、いいんだけど、主要キャストがモテないブサイク、
バスで出会い系をきっかけに殺人事件が起るというのに、妻夫木
聰、深津絵里、満島ひかり、岡田将生というキャステイングはいか
がなものか？

美男美女ばっかだもん。モテないとか不自然だもん。

「エッセー集」の夏頃の内容に「悪人」は多分、悪人じゃないと書
いたが、やっぱり予想通りだつた。

妻夫木聰はジイチャンとバアチャンの介護をしたり「いい子」その
ものだつた。（Ｔ・Ｏ・Ｔ）

浪花節だよ我が国は、で本当の悪人が主役の作品つてないなあ、日
本では。

年末になると私は年間ベストを決めて、映画雑誌社に送つている。
「悪人」はベストテンには入れると思うが、悪に徹していた「告白」
を上位にすると思う。

「悪人」キャステイングをリアルにして撮り直してみちゃどうか？

究極の選択（先輩復活）

夢「はい、という訳で『J's』という言葉は逆接で文章をつなぐんですね。『頭こそ悪いが顔はハンサム』とか」

のんちゃん「ひどい例えですね。（ーーー）」

夢「えつ？じやあ、『顔こそブサイクだが、勉強は出来る』？」

Kくん「それもひどいっすね。（ーーー）」

夢「はい！それでは究極の選択です！君たちはどちらかを選ばないといけないならどう立ち？」

（ーーー）Kくん「え、えーーー。顔がブサイクかな。勉強が出来たら、いい会社に入れて、金があれば結婚出来ると思います」

先輩「自分がブサイクだから、予防線張つてるブフフ」

のんちゃん「でもカズマくんの暴れっぷりを見ていると顔ハンサムも侮れないですよね」

夢「二人とも両方いいから大丈夫ですよ」

先輩「ブフフ。KくんってNHK教育テレビの人形劇の人形みたい。辻村寿三郎先生や阿部肥先生の人形みたいなやつじゃなくて、小道具さんの作った人形」

ケンゴたち「ギャーハハ！」

夢「（ーーー）」

先輩 vs Kくんフォレバー

先輩「とにかくで、Kくんのナンパした彼女、どうしたの？」

Kくん「あ、あれは・・・わがままな女だったので、ふりましたー。」

先輩「ブフフ」

Kくん「それよつこいの『真見て下れ』よ。うちの学校で一一を争う
ブサイクなやつです！」

先輩「争ってるのは君でしょ。ブフフ」

夢「ブサイクじゃないですよ。まあ中の上つてどこですよ」

Kくん「先生は審美眼が緩いんすよー。」

夢「そりっ？」

Kくん「西島隆弘が今、大好きって毎日言つてますけど、あの程度
のやつ、栄（名古屋の繁華街）にゴロゴロしますよー。」

のんちゃん「玉木宏も栄歩いてスカウトされたんだし、けつこう

スカウトの遭遇率高いすよね」

夢「自分、されたことないー（・・・）」

みんな「（・・・）」

新しい小説・古い小説

私は他人様の文学觀に口出しするつもりはない。
ただ、最近、気づいたことをちょっと書き留めておく。

勉強の中で大江健三郎の「個人的な体験」を取り上げた。

ノーベル賞受賞作品である。

しかし、はつきり言って大江健三郎は古びてしまっていて、生徒の失笑をかっていた。

まず主人公が「鳥」という名前で、日常性を消そうとしたのが、今読むとすべつている。

またいろんな設定や比喩も今読むと古びているか、浮いている。

三島由紀夫や星新一は新しい言葉、流行語、固有名詞は入れないことで作品が古びないようにした。しかし、中井英夫のようにそういうものを駆使して時代そのものを記録した天才もいる。

結局は一人一人の作家の資質なのだろうか。

大江健三郎と同じ日に芥川龍之介の「煙管」もやった。

これは天保六歌仙の河内山宗俊を描いた作品だが、全然古びていなかつた。すごく面白かった。

歴史や古典の中の普遍的なテーマを描くことが古びない秘訣なのだろう。

私はいろいろこれからも試行錯誤して行きたいと思っている。

「キャタピラー」

よく有名小説を映画にすると面白くなくなる、原作のイメージが壊れる、と言われる。

しかし、今日、観た「キャタピラー」は原作のいいところを活かしながら、素晴らしい映画になっていた。

ただ原作自体が江戸川乱歩の最高傑作である残虐と狂氣の極みなので、危ないとと思う人はここから先は読まないで下さい。

第一次大戦末期、ある若い兵士は両手両足が断裂し、全身ケロイド状になり、のども耳もつぶされ、芋虫、キャタピラーになって妻（寺島しのぶ）のもとに帰つてくる。

人々はその兵士を「軍神様」とたたえ、妻は軍服を着て、勲章をつけた夫をリヤカーに乗せ村中を回り、人々は軍神様を拝む。ここに人間の愚かさ、醜さ、戦争の非人間性、残酷さがよくあらわれています。

そして乱歩の原作では夫は必死に自殺して妻を救おうとする極限の狂氣の愛が描かれるのですが、映画版は戦争に焦点を合わせ、敗戦までにものすごい被害が出て、夫は敗戦に耐えられず自殺するという反戦の作品にアレンジしていました。

最後、原爆をテーマにした名曲「死んだ女の子」が流れ、立ち上がりほどの感動がありました。

またこの作品はベルリン映画祭の最優秀主演女優賞を受けたのですが、夫に尽くしながら、不条理な運命に耐える寺島しのぶの演技はすごかつた！

今年のベストワン候補です！

「アルゼンチンタンゴ」

一つ前の映画が暗いので、ちょっとお口直しに。

今、映画界はドキュメンタリー・ブームですが、アカデミー賞の常連、世界的巨匠ウォルター・サレスがアルゼンチンタンゴをテーマにドキュメンタリー映画を撮りました。

イヤー、素晴らしかった。アルゼンチンタンゴっていいものですね。

世界三大劇場と言われるコロン劇場でアルゼンチンタンゴのスターたちが結集し、グランドコンサートをやる。そのコンサートとそこにあるまでの一人一人のミュージシャンを追いながら、たっぷり音楽を聞かせます。

さすがウォルター・サレスだな、と舌を巻いたのがほとんど説明を入れないのに、本当に芸術に詳しい人間には分かるよういろいろなことを暗示しているところです。

だから観ていて、全然つるむくないのに時々ハッとするられます。

例えば世界三大劇場と言いつつ、使っているピアノが日本製。クラシック音楽に詳しい人間なら公的な劇場のピアノはスタインウェイというメーカーじゃないといけないのが常識。それがYAMAHAなので、映画の背後の貧困がじわっと感じさせられます。

ここまで真面目に論評して来ましたが、一つショックなことがありました。（――）

アルゼンチンタンゴの欠かせない楽器がバンドネオンです。形はアコーディオンに似ているのですが。

カズマがギター、サックス、ウクレレをやっているので、私はバンドネオンやりたいと思っていたのですが、途中、バンドネオンを分解するシーンがあり、想像をはるかに越える複雑さだったので、やることはあきらめました。（－－）

2010年回顧・クラシック音楽

さて、早いもので一年も終わりかけです。だんだんいろんなジャンルの年間ベストを発表して行こうと思います。先陣を切るのはクラシック音楽！

- 1位オペラ「ホフマン物語」
- 2位クリスチヤン・ツィメルマン
- 3位スウェーデン放送合唱団「レクイエム」
- 4位ユンディ・リ
- 5位オペレッタ「チャルダッシュの女王」
- 6位ヴァンパータール交響楽団
- 7位東京フィル
- 8位オペラ「ナブッコ」
- 9位シプリアン・カツアリス
- 10位オーケストラアンサンブル金沢

次点・ラファウ・ブレハッチ

1位の「ホフマン物語」は今まで観たオペラの中でも屈指の出来でした。音楽、舞台演出、全てがよかつた。

クリスチヤン・ツィメルマンとスウェーデン放送合唱団は同点ぐらいですが客のマナーがよりよかつたツィメルマンを上にしました。でもモーツアルトの「レクイエム」を生で聴けて、感動した。それだけにケータイを鳴らした人がいて。（ - - - #）

コンティ・リはやつと聴けました。多分、私より若いのに帝王ツイ
メリマンと演奏曲がだいぶ重なっていることが衝撃的だつた。

5位の「チャルダッシュの女王」は明るくエンターテイメントに徹
していく大好きです。「ナブッシュ」の方が完成度は上なのですが、
楽しさを評価。

ヴァンパータール交響楽団と東京フィルは素晴らしい交響曲を聴かせ
てくれました。どちらもオペラちっくな曲が上手い！

オーケストラアンサンブル金沢は曲選びに味があって、楽しいです。
またシプリアン・カツィアリス、ラファウ・ブレハツチらはショパン
イヤーを大いに盛り上げてくれました。特にシプリアン・カツィアリ
スのサービス精神には脱帽！

来年もたくさんの素晴らしいコンサートをリポートしたいです。（

○ - -) b

「信せん」（；ー；）

（映画の話ですが）

「告白」があった。「悪人」があった。「キャタピラー」があった。どれも人間の悪の面、病んだ部分、陰を見つめた力作だった。

これが2010年の日本かと思った。

しかし、今日、ふらつと入った劇場で私の年間ベストワン作品を見つけた。号泣した。ワンワン泣いた。（；ー；）

平山秀幸監督の「信せん」である。ほとんど宣伝もされていない作品だったが、監督とキャストにひかれて観た。

それが大傑作だった。

下旬に年間ベストテンを選定するけど、多分、これが1位で内定。

作品が始まり、15分ぐらいでノックアウトされた。

私は山崎貴の「ALWAYS」には大いに疑問を持っている。

昔の日本の貧しさは暴力や哀しみもつきまとっていたのではないか？北野武もヴェネツィア映画祭に出品した作品でそういうことをほのめかしていたが、国内で正面きつて異を唱えたのはこの作品だけだろう。

昭和38年、上品な婦人美智代（小雪）が子供を連れて炭鉱町にやつてくる。東京の子はすぐいじめられそうになるが信さんといふ手のつけられない不良が子供、守を助けてくれる。

実は信さん自身、天涯孤独で家では鬼ババアの継母にめちゃくちゃ虐待されている。

信さんは守をかばい、美智代に抱きしめられ、人間のぬくもりを知り、泣きじやくりながら恋に落ちる。

もつこの始まりだけで一年分ぐらい泣いた。小雪は大根役者だが、信さんに憧れられるだけでセリフも少ないので、このキャスティングは絶妙であった。

九州北部の炭鉱町で労働組合のことや在日の子がいじめられることが描かれ、守は逞しく成長していく、怒りを知り、正義を感じる。信さんは学校の花壇の花や農作物を盗んで美智代に贈つたり、ぎこちない形でしか愛を示さない。

そして7年の時がたち、守（池松壮亮）は高校生になり、信さん（石田卓也）は妹（継母の娘）を進学させるため炭鉱で働いている。

そしてある時、信さんは長年の愛を美智代に打ち明け、結ばれるのだが・・・

この先、結末まで書いてしまつので、NGの人は引き返してください。

信さんの幸福はつかの間、鉱山が爆発してしまい、信さんは死んでしまう。

鉱山もなくなり、人々も去っていき、街もなくなる。
美智代と守も街を去つていくが、美智代の宝物は信さんが描いた下手くそな肖像画だけだった。

そして空と海はどこまでも青く、人間の喜怒哀楽をよそに永遠なの
だった・・・

映画評論家としては信さんをいじめる継母役の大竹しのぶの演技は
鬼気迫るものだつたと特筆しておきたい。

彼女也非常に暴力的な愛しか持つていない。信さんが死んでしまつ
ても何事もなかつたかのように、ジャツジャツとお米を洗つている。
しかしちやぶ台には信さんのお膳がある。

この演出は反則だろー！－本当に声を上げて泣いてしまつた。

貧しさの中で傷つけあいながらもぬくもりを求めて生きる人間の歎
びと哀しみを描いて、ハッピーエンドでないのに、私は確かに希望
を感じた。

逞しく生き残る人々の姿に。バラバラになりながらも未来を求めて

生きていく人々の姿に。

この作品は平山秀幸監督から未来へのラブレターである。

ホラー映画「ベストセラー」（トロト）

昨日の」とになるが、韓国のホラー映画「ベストセラー」というのを観た。

実はこのサイトでの他の先生とのやりとりでも指摘されたのだが、私は映画を観て、あまり怖いと思つたことがない。

靈感もない。オバケや妖怪、UFO、宇宙人も見たことがない。

「ベストセラー」はまあ合格の出来だった。
半分ぐらい観たところでオチは予想出来てしまうが、設定がまあまあ魅力的だから、何とか最後まで観られる。

ある女性作家が盗作をしており、名聲を失つて田舎の別荘に行き、復帰作を書こうとするが怪奇現象が次々起ころうといふものだった。

うーん。ホラー映画を観る人は観て、こわーと本当に思つているのだろうか。

サイコサスペンスみたいなのもあまり怖くないし。
あまり観ていないもあるかも知れないが。これは怖いというのを誰かご存知じやないだろうか。

今までで一番怖かったのは向田邦子先生の「阿修羅の」とくで大

竹しのぶと桃井かおりがとつくみあいのケンカをしてくるところだ
った。 (· · ·)

ところで、昨日は東海地方にたくさんある「ロナワールド」と云ふと
ころで、映画を観て、温泉に入ったのだが、入り口で一人分の料金
を出したのに「お連れ様はどうしますか?」と言われ、「いや、一
人だけど」と言つたら、店員が怪訝そうにしていた。
えつ、何?何が見えたの? (· · ·) ハツ · · · · ?

小津の魔法使い

岐阜には名画座がある。

新しい映画ではなく、古い映画を上映している。料金は500円である。

そこで世界的巨匠小津安一郎の作品を二本観た。

「秋刀魚の味」「東京物語」「麦秋」である。すく面白かった。と言つても、表面的には「えつ?何が面白いの?」という感じかも知れない。

主役は老人のことが多く、動きも少ない。

しかし、心理や人間関係が巧みに描かれ、飽きさせられない。

また特に「東京物語」は全世界の映画評論家、映画記者が投票をしてもジョゼフ・・マンキー・ウイットの「イヴの総て」やフリッツ・ラングの「メトロポリス」とオールタイムベストワンを競り合う傑作である。

海外の人は「東京物語」こそ恐ろしい映画の極みと感じるらしい。ある老夫婦がめんどうをみて欲しいと東京にやつてくるが長男も長女もそれぞれの家庭や仕事に夢中で老夫婦は邪魔にされている。唯一優しくしてくれるのは死んだ次男の未亡人（原節子）だけである。誰も悪人はいないが、老夫婦は孤独と絶望を味わう。その家族の中の孤独と絶望が小津安一郎監督を貫くテーマである。それは人間の根源的な孤独を描いているから西洋の監督や評論家に衝撃を与えたのだろう。

デンマークのラース・フォン・トリアーヤベルギーのダルデンヌ兄

弟に影響を与えていたと思ひ。

それにもしてもストーリーは暗いのだが昔の日本の風景と昔の日本人の上品さ、昔の女優さんの美しさと上手さにはため息が出る。原節子、岩下志麻、岡田茉莉子、岸田今日子、淡島千景、香川京子。

そして全ての作品に戦後最大の伝説的女優杉村春子先生が出ていている。
(- - -)

すゞ上手い。

でも野中広務元官房長官に似ている。

2010年回顧・洋画

作品ランキング

1位息もできない

2位戦場でワルツを

3位母なる証明

4位冷たい雨に撃て、約束の銃弾を

5位9・9番目の奇妙な人形

6位フローズン・リヴァー

7位17歳の肖像

8位マイレージマイライフ

9位第9地区

10位NINE

11位マイ・プラザ

12位アルゼンチンタンゴ

13位渴き

14位カールじいさんの空飛ぶ家

15位インビクタス

16位キャピタリズム

17位シャネル&ストラヴィinsky

18位ドン・ジョヴァンニ

19位ハート・ロック

20位プレシャス

次点・・・ブライトスター、ペルシャ猫を誰も知らない

最優秀監督賞

ヤン・イクチュン「息もできない」

アリ・フォルマン「戦場でワルツを」

ショーン・アッカー「9・9番目の奇妙な人形」
ジョニー・トー「冷たい雨に撃て、約束の銃弾を」
ポン・ジュノ「母なる証明」

最優秀主演女優賞

キム・ヘジャ「母なる証明」
キャリー・マリガン「17歳の肖像」
メリッサ・レオ「フローズン・リヴィア」
キム・オクビン「渴き」
ズーイー・デシャネル「500日のサマー」

最優秀主演男優賞

ヤン・イクチュン「息もできない」
ジョニー・アリティ「冷たい雨に撃て、約束の銃弾を」
ジョージ・クルーニー「マイレージマイライフ」
トビー・マグワイア「マイ・ブラザー」
ソン・ガンホ「渴き」

最優秀助演女優賞

ヴェラ・ファーミガ「マイレージマイライフ」
マリオン・コティヤール「NNNE」「インセプション」
マライア・キャリー「プレシャス」
ナタリー・ポートマン「マイ・ブラザー」
ケイト・ハドソン「NNNE」

最優秀助演男優賞

ウォンビン「母なる証明」

ジェイク・ギレンホール「マイ・ブラザー」

マット・デイモン「インビクタス」

マット・ディロン「アーマード」

アレック・ボールドウイン「わたしの中のあなた」

2010年回顧・邦画

ランкиング

1位信さん

2位告白

3位悪人

4位キャタピラー

5位人間失格

6位ボーアズオンザラン

7位かもめ食堂

8位借りぐらしのアリエッティ

9位十三人の刺客

10位めがね

次点・・・さんかく

最優秀監督賞

平山秀幸「信さん」

中島哲也「告白」

李相日「悪人」

若松孝二「キャタピラー」

荒戸源次郎「人間失格」

最優秀主演女優賞

松たか子「告白」

深津絵里「悪人」

寺島しのぶ「キャタピラー」「人間失格」

小林聰美「かもめ食堂」「めがね」

田畠智子「さんかく」

最優秀主演男優賞

妻夫木聰「悪人」

峯田和伸「ボーアイズオンザラン」

高岡蒼輔「さんかく」

池松壮亮「信さん」「半分の月がのぼる空」

藤竜也「スーパオペラ」

最優秀助演女優賞

大竹しのぶ「信さん」

橋本愛「告白」

満島ひかり「悪人」

もたいまさこ「かもめ食堂」「めがね」

小野恵玲奈「さんかく」

最優秀助演男優賞

岡田将生「悪人」「告白」

西島隆弘「スーパオペラ」

松本幸四郎「十三人の刺客」

中尾明慶「時をかける少女2010」

松田龍平「ボーアイズオンザラン」

審査員特別名誉賞

樹木希林「悪人」「借りぐらしのアリエッティ」

三田佳子「人間失格」

安田成美「時をかける少女2010」

「悪の教典」（・・・）

夢「宝島社の年末恒例の年間ベストテン投票、今年の1位は貴志祐介の『悪の教典』ですねー。まあ宝島社のベストテンは昔は文藝春秋のベストテンからもれる前衛的な作品を拾つランキングだったんだけど、今年の作品はすでに角川書店で一番権威ある山田風太郎賞をとった作品で、まあ新味はちょっと少ないですねー。ハンサムな人気者の先生がクラス全員を虐殺するって内容で、みんなは先生が優しくてよかつたですねー！（^○^）」

みんな「（・――・#）僕たち私たちも『テビル夢野の巧みな出題、テスト作りで何度も皆殺しの憂き田にあつてているから・・・リアリズムだから、『悪の教典』』

カズマ「鴨長明と俊成卿女の歌論集をそれぞれ書けには泣かされました」（鴨長明は「無明抄」俊成卿女は「無明草子」）

ヨーロ「『あめり』とこう言葉を文法的に解説しなさい、とか「（ラ行変格活用「あり」連体形撥音便無表記・婉曲「めり」終止形（

あつちやん「李卓悟の『焚書』読まされた・・・」（李卓悟 東洋最大の怪物作家。あらゆる権威を否定し、自作は全て政権に焚書されると予言し、変死をとげる。作品「焚書」は東洋文学の最高峰である。）

のんちゃん「山本文緒の『フランナリア』の女のドロドロのごじぬ世界、まじ怖かつたつす！（トロト）永瀬さん、サイロバスつす！」

みんな「（――#）『デビル夢野に底意地の悪い教師オブジイヤーを送ります！』

夢「（・。・）」

メリークリスマス

ロロロロロ

カズマ「あつ、夢ちゃん、着メロ替えましたね」

夢「そうなの。前はV6の『シーガーナイトメア』だつたけど、マライア・キャリーの『恋人たちのクリスマス』ヒジャクソン5の『ママがサンタにキッスした』にしたの。日本のクリスマスソング、黙田でしょ。無意味に湿つていて」

カズマ「『クリスマスイブ』と『いつかのメリークリスマス』が特に湿つてますね」

ヨーロ「でもマイケルの」と考えるヒジャクソン5つて、ちょっと湿つてない? (・_・)」

夢「ああ、そのことは考えひや黙田ですよ」

カズマ「といふで、黙田はサンタさんについていつまで言じていた?」

べくん「中2ですかー(> o <)> (今、高1ー)

みんな「(-_-)」

夢「べくんは育ちがいいですもんね。朝、起きたら『おはよう』がいます『帰ってきたら』だいま『寝る時は』お休みなさい』って言つてひじつかられてますもんね」

先輩「ブフフ。おはよからお休みまでのライオンのマスクシトキヤリになつたうっべくんはムー!!」の谷の王子です

みんな「ギャーハハ」

2010年回顧・美術

大賞・・・「日本の美に出合つ」展（J.R.名古屋高島屋）

金賞・・・「ギッター・コレクション展」

銀賞・・・「あいちトリエンナーレ2010」

銅賞・・・森田りえ子展（三越・栄店）

注目美術展

- ・三岸節子展（松坂屋美術館）
- ・20世紀美術への招待状展（岐阜県美術館）
- ・マティス・ルオー版画展
- ・宇野亜喜良展（刈谷市美術館）

最優秀美術館賞・・・該当なし

奨励賞

- ・愛知県美術館
- ・岡崎市美術博物館
- ・松坂屋美術館

審査員特別名誉賞・・・ヤマザキマザック美術館

寸評・・・大賞と金賞はともに私の大好きな江戸時代の絵画の流派・琳派の展覧会という偏愛の結果です。

銀賞は逆に現代の世界の最先端のアートの祭典でみんなの予想外の大ヒットになりました。いろいろイベントはどんどんやって欲しいです。

銅賞は今もお元気で、活躍の森田りえ子先生の展覧会。サインもいただきました！（。・・）b

注目美術展は洋画の三岸節子さん。

20世紀美術への招待状は富山県の美術館の作品のコレクション展でしたが一番多様で充実していました。明治の日本画とルーチョ・フォンターナと一緒に觀られるなんてすごい！

前衛画家では宇野亜喜良先生の展覧会。エッセー集で詳しくリポートしておりますので、よかつたらご覧下さい。

マティス・ルオー版画展は素晴らしい企画でしたが、以前、松坂屋美術館でやつたものと出品が重なつてるので、大賞を逃しました。同じ理由で岡崎市美術博物館は福富太郎美人画コレクション展をやつていましたが、私は福富太郎美人画コレクションを観るのは一度めなので、ノミネートしませんでした。（・・・）

最優秀美術館賞は私がいろいろ行けなかつたのがダメなのですが、該当美術館なし。

奨励賞は愛知県美術館。トリエンナーレ2010に力を入れていましたが、渡辺華山展、小川芋錢と珊瑚会の画家展もよかったです。惜しいのは、こういう常設展に近い展覧会に人が全然来ていないこと。愛

知県美術館は素晴らしいコレクションがあるので、自信を持つて発信を工夫して欲しいです。

岡崎市美術博物館はとても素敵な美術館。個別の展覧会でノミネートが出なかつたのは上記の理由。

松坂屋美術館はデパートのイベント会場を越える意欲的な展示がかつたです。プラガオー！

そして審査員特別名誉賞は今年オープンしたヤマザキマザック美術館。常設展しかやっていないのですが日本には珍しく外国作品だけで信念が素晴らしい。またフランコナール、ドラクロワ、ブーシェなど日本ではほとんど観られないオールドマスターーズ中心の構成も素晴らしい。

あとは愚痴ですが、今年は名古屋が400周年で日本美術の古い名作をけつこうあちこちで展示していたのに行けなくてガックシ。（；）

（；）

また東海地方では古代ローマが一種のブームになり、いろいろ展示をやつていたのですが、それも行けなくてガックシ。（；）

（；）

来年はゴッホを筆頭にカンディンスキーや堂本印象など大物の展覧会が多いので、楽しみです。（^〇^）

リポーター夢野！

リポーターの夢野です！（？）

今日、海老蔵さん事件の影響をもろに受けている御園座に乗り込みました。

黒木瞳さん、石黒賢さん、錦織一清さんのお芝居「取り立て屋お春」観賞です。

御園座の外壁に一年間のスケジュールがカレンダーになつて貼つてあるのですが2月の海老蔵さんの写真の上にブルーのシールが貼つてありました。（・・・）

市川團十郎と中村七之介の間に不自然な空白が・・・

といふが、中に入ると「あれっ！」中で無料で配つてあるカレンダーには堂々と海老蔵さんが出ています。（――・）

いつも松竹はあまり非を感じていない様子とこれらんだ。（――・）

しかし、私と海老蔵さんは同一年で、国文学はもぢりん歌舞伎も扱うので海老蔵さんの奔放な言動（世間的には奇行なのでしょうか？）（――・）はたくさん聞いていました。

特に「源氏物語」のお芝居をやるために（お姫様役は尾上菊之助（。・。））瀬戸内寂聴さんのところに挨拶に行つた時、「本当にツルツルですね！」と寂聴さんの頭をさわつたり、「あつー木だ！」

と庭の木にいきなり登り出したり、それを誰も無礼とか非常識とか
とがめなかつた十年間の結果がこれか。（Ｔ・Ｏ・Ｔ）

成田屋！

2010年回顧・舞台

大賞（ダブル受賞）・・・「近代能楽集」「ホフマン物語」
最優秀演出家賞・・・栗國淳

最優秀女優賞・・・藤山直美「おかしな二人」

最優秀男優賞（ダブル受賞）・・・美輪明宏「近代能楽集」、早乙
女太一「公演2010」。

特別賞・・・カルロ・ゴロンバラ、幸田浩子。「ホフマン物語」

ノミネート作品

「近代能楽集」

「ホフマン物語」

「おかしな二人」

「チャルダッシュの女王」

「ナブツコ」

「梅咲きぬ」

「松井誠公演2010」

「忠臣蔵」（松平健）

「早乙女太一公演2010」

「松竹新喜劇」

ノミネート女優

藤山直美「おかしな二人」

紺野美沙子「忠臣蔵」

名取裕子「梅咲きぬ」司葉子「松井誠公演2010」

知念里奈「早乙女太一公演2010」

ノミネート男優

美輪明宏「近代能楽集」

早乙女太一「公演2010」

松平健「忠臣蔵」

桂ざこば「松竹新喜劇」

前川清「おかしな二人」

特別功労賞・・・前川清。

寸評・・・演劇ですがオペラを入れるか迷いました。（――）
クラシックでも取り上げているから。
でも「ホフマン物語」を讃えるため入れました。

「近代能楽集」は蜷川幸雄演出、藤原竜也主演版も観たことがあるのですが、美輪明宏版は美しさ、演技力、演出力が桁違いだった！

早乙女太一は若手ですが女形としては絶頂期の感。正直、今年の公演は前半男の子、後半女の子で出ていましたが、まだ女形に徹した方がいい。

さて、オペラ歌手をノミネートに入れると独占されてしまうので、

カルロ・コロンバーラと幸田浩子さんのお一人の歌唱に特別賞を贈ります。

藤山直美と前川清のお芝居と歌のショーもよかったです。藤山直美はやっぱり天性の女優。

前川清の歌唱もすこく上手かった！ へ(^ o ^ へ) (ノ ^ o ^)

ノ

カズマ日記？

神様つてやつぱーるんだ！（。口。）

「デビル夢野が相変わらず傲岸不遜にいろいろ教えていたところ、「井原西鶴！ ゲホッゲホッ！ ゲホホッ！」とこきなりむせ出しました。（^○^）

「い、井原西鶴・・・「ホッ！」
「先生、井原西鶴がどうしたんですか！？」
「『日本永代蔵』は純文学なんですか！？」
「ゲ、ゲホッ！」

みんなはニヤニヤと見守り、別の教室の小学生が「大丈夫かな？」
「すじくむせてるー」と話していました。微笑ましい。（^○^）

「デビル夢野は高級？ 緑茶綾鷹を飲もうとして震えています。

ケンゴくんやあつちやんたちは笑い死にしちつです。

ヨーロ「でも井原西鶴、何だつたんだろう？」

カズマ「わかんないけど、ショタおじさんにとっては井原西鶴は紫式部や太宰治に匹敵する偉大な存在らしい」

ヨーロ「『男色大鏡』とか書いてるもんね」

「デビル夢野」「ゲホッ！井原西鶴！」

カズマ「何だやつぱそっちの方向性か」

「デビル夢野は瀕死になりながら、文学事典を開いて、井原西鶴のページを示していました。」

ダイイングメッセージ？

文学事典の楽しみ（邪道）

Kくん「ギャーハハ、松本清張と井上ひわし、文壇の一大ブサイク、ひどいっすね！電気クラゲみたいっすね！」

夢野「これ見て、伊集院静、こんなにブサイクなのに夏目雅子と篠ひろ子と結婚したんだよ」

Kくん「ママが言っていたけど、美男美女って本人が満たされいるんで、ブサイクと結婚しちゃうつらじいですよー！」

夢野「じゃあ、Kくんも危ないですね」

先輩「ブフフ」

夢野「女性では高樹のぶ子先生がきれいなの。渡辺淳一センセが芥川賞・直木賞の選考会の帰りのタクシーで乳をももうとしてつきとばされて、かつらが吹っ飛んだの！」

Kくん「ギャーハハ」

夢野「ユージロー、ビラしたの？もじもじして」

ユージロー「ここの子可愛い！アイドルよりずっと可愛い！」

夢野「ああ綿矢りさね・・・（――）オタクの星だもんね。何の取り柄もないキモいオタクのことが好きで好きでたまらない天才美少女の恋を描いた名作（迷作？）『蹴りたい背中』の」

ユージロー「僕、この子大好き！何でもしてあげたい！」

Kちゃん「いやー。」

夢野「このナマヅギー・金原ひとみ」

コーディロー「キャバ嬢みたいでやだ！僕は幼稚と言われようとオタクと言われようと純粋でいたいんだもん！イノセントボオイだけが行けるパラダイスがどこにあるんだもん！」

Kくん「こわー！」

みんな「（・_・）」

昨日、小学生の女の子と話していたのだが、小町のお名前がますますカオスになつていて。

私の知つてゐる中で、けつゝいつ変わつてこるのは「ロロロ」とか「舜」。後者は中国神話の神の名前である。これで実物がキモいオタクだったら田も当たられなー。(トト)

また女の子の双子で「小豆」と「きな子」(・・・・)「一ーン。

しかし、昨日の女の子の話ではもつとすこや名前があるひじー。ある兄弟が「王子」「妃」という名前らしい。でも普通名詞だもん。それ。固有名詞になつてないもん。

また東海地方は外国人労働者が多いので、やむを得ないが、「ハインリッヒ」とこう子もいる。「フランシス」もいた。(・・・・)(・・・・)

洒落たお名前は子供の時は可憐にかも知れないけど、老人になつてから困るとと思つ。

病院の待合室で「ハレナばあちゃん」「セリーヌばあちゃん」「シユートじーちゃん」「レオンじーちゃん」とか呼ばれると思つときつこ・・・・(・・・・)

可愛い〜ベイべ

最近、男子と女子で贅否が分かれている件がある。

佐藤健がブログで「若ちこ」「お見逃しなく」など赤ちやん言葉を使っている件である。（――・・）

Kくん「ぶん殴ってやりた~ですねー」

タツヤ「腹立つわー」

蘭「えー、可愛いよねー」

マコ「美男子だから許されるの。Kくんやタツヤは許されないのー。（・。・）」

男子「ブー！」

夢「でも、カズマも『カズマくん、○○しあわせ…』とか話しているよ」

みんな「（・ー・・）」

ケンゴ「カズマくんは将来、イッキ○さんみたいになるー。（・。・）」

「

カズマ「あーーでもこの前、女の子にセーラー服借りてコンビニ行つたけど、バしゃかつたー（^○^）」

みんな「（・ー・・）」

「（・） ケンゴ」「店員も痛々しくて何も言えなかつたんじやないかな。」（・・・）

夢「カズマに言つておくけど、カズマは30ぐらいになつたらオバサン顔のオジサンだよ！ 今だけだから輝きは」

カズマ「カズマくん、泣いちゃう! (トロト)」

みんな「ほつておめでとう。」(ーーーー)

歯磨き大作戦（○・・）b

仕事にもよるだらうが私はしゃべることが仕事の中で大きい比重を占めている。

生徒とそんなに密着している訳ではないけれどエチケットとして、歯磨きは必ずしている。

また餃子、キムチ、納豆、ステーキのこんにゃくソースなどは仕事前には控えている。

珈琲も大好きだが、飲んだ後は歯磨きする。

ところが、今日、スーパーといつかショッピングセンターで歯磨きしていたら、小さい男の子がトイレで遊んでいた。

「こなんところで歯磨きしちゃいけないんだよー（・。・）」

夢「え？

「（・――・）・・・（・）は手を洗うとこだから？」

夢「いいえ、歯磨きもしていいんですよー（^○^）」

それにも私は老人、子供を含め、いろんな人に話しかけられる。アウラが出でていないのか？（・――・）

しかし津山三十人殺しの犯人も子供に好かれていたというし、これえな。（・――・）

「ふたたび」感動した！

年間ランギングを決めたのですが、あれは全くの自分の都合で20日が映画雑誌のランギング投票の締め切りだったので、そこまでを2010年としたのですが、今日、「ふたたび」という作品を観ました。これが2010年ランギングに間に合っていたら、かなりたくさん部門にノミネートできた傑作でした。号泣号泣。

意外と重い作品です。
テーマはらい病です。

これまでに「砂の器」（野村芳太郎監督）、「愛する」（熊井啓監督）などらい病をテーマにした作品はたくさんあるのですが、この作品は未来への希望を感じさせる明るい作品でした。

神戸のある一家のところにらい病のため隔離されて60年を過ぎ、じたじいちゃん（財津一郎さん）が帰って来ます。じいちゃんはらい病になつて隔離されるまで、ジャズバンドをやつていて、それを再結成するため孫（鈴木亮平）と旅に出ます。

いい味のじいちゃんたちと再会し、ジャズライブハウスで演奏へ。メンバーはおひよいさん（藤村俊一さん）、犬塚弘さん、佐川満男さん、そしてジャズライブハウスをやつているじいちゃんの役で渡辺貞夫さんが出ています。

後先がちょっと逆になつてしまいますがらい病は昔は偏見があり、不治の病と思われていました。

純粹な孫はじいちゃんと旅をしながら差別など人間世界の不気味な面をちらつと叩擊しますが天真爛漫ではつらつとした子で、新しい時代を切り開いていく希望を感じました。

アメリカの国民的文豪マーク・トウェインも「本当の笑いは本当の悲しみから生まれる」と言っていますが、現代の子の孫と頑固ジジイの旅は笑いを巻き起こしながら、時折、観る者をハッとする。例えば、現代社会に帰ってきて、コンビニのおにぎりを開けないじいちゃんを笑いながら助ける孫の姿に笑いながらもじいちゃんが奪われた60年の時間を気づかされるのです。

この作品の笑いには哀しみが一滴したたらせてありました。

そういう意味では戦後屈指の「メティアン財津一郎さんの演技は素晴らしい！」プラヴォー！

楽しいから笑うんじゃなく、笑うから楽しいんだと涙の中でも気づかれます。

ちょっと脱線してしまうけど、じいちゃんの息子と嫁の役は陣内孝則と古手川祐子さんで、自分が若い時は主役ばかりやっていた大スターがだんだん親の役になつてこくのは自分も年になつていくといふことか・・・（――）

本当に脱線してしまつたが、古手川祐子さんはじいちゃんを差別して追い出さうとし、国からの賠償金は横取りしようとする鬼ばばあの役で、ちょっと路線変更が急過ぎて勇み足じゃないかと思つ。そういうカテゴリーには泉ピン子とか高畑淳子とかすでにいるんだから、もうちょっと穏健な路線がいいと思つ。

b ジャズも素晴らしいし、年末年始の私の一押しです！（。・。）

蓮實学長（^○^）

私は一応、なーんちゃって、だが東大に行つた。

それで気づいたのはキャラ者の先生が多いということである。

もしかするとシリーズ化するかもしれないが、まず取り上げたいのは私が通つていた頃の学長（総長とも言つ）蓮實重彦先生である。
(・_・)

蓮實学長はフランス文学の研究者だつたが、何千本いや何万本かもしれないが映画を觀てゐる映画評論家でもあつた。そして、特に小津安一郎研究は国際的に高く評価されていた。

そのため小津安一郎の生誕か没後何周年かの企画で世界中の監督で小津安一郎の影響を受けている者を選び、小津安一郎をテーマに映画を撮らせる」とになつた。

選ばれたのは中国の巨匠ホウ・シャオーションだつた。

主演は一青窈さんと浅野忠信さん。

IJII君では順調なプロジェクトだつた。

ところが蓮實学長は何を思つたのかその作品に自分自身も出演すると言つこ出したのである。
(・_・) (・_・)

出来上がつた作品は「珈琲時光」

みんな、蓮實学長はなぜ何の役で出てくるのか、ハラハラ見守っていた。

「あれ?」（・・・）

ところが蓮實学長が出てこないまま、 Honduras ロールが流れ出した。（トロト）

蓮實学長は「私の出演シーンを全てカットするとはさすがホウ・シヤオション。美事だつた!」と語っていて、私たちは笑いを押し殺すのに骨が折れた。

何千何万もの映画を観ていても演技は出来ないのか。（トロト）

あと偉大な芸術家はそんなもんのかな?と思つがホウ・シヤオション、すごいな、と思った。何もしがらみ感じないもん。ボーダーラインとか全然見てないもん。（・・・）

カズマ曰記？

ジングルベール

クリスマスイブです。（^○^）

とはいえたる講習が組まれています。（-_-）

シヨタおじさんも朝一で教室にやつて来て、ますます意氣軒昂です。

（-_-）

教室のあるビルもクリスマスでエントランスホールではジャズライブが行われていますが、夢ちゃんはジャズに合わせてダンスを踊つたりしているけど、すごく下手くそ！（-_-#）

夢野、男33才、働き盛り、ジャズ好き。みたいに見せかけようとして、見せかけることにも失敗している。（ト○ト）

まるで生まれたての仔鹿のようなコタコタしたステップで、リズム感や運動神経のなさがバレバレ。（-_-）典型的な下手の横好き。

観客に配られるココアを強引にもらおうとしたり、一応、ビルのテナントの店員？（教師といつの扱いは難しい）なのに、どうなの？（-_-）

また冬季講習の生徒にビルのクリスマスフェアの福引きの券が配ら

れていますが、デビル夢野は気の弱そうな男子生徒に「券、余つてたらもらひよ」とまるでだふ屋だし。（ 、 、 ）（流石に券を奪うのは失敗した。）

しかし、教師枠で会社の人へ券をもらっていました。
めげねえ男だ！（ 、 、 ）

明日、クリスマス当日、一気に何回も福引きをしようとしている
ようです。（ - - - ）

「そんな先生ですが生徒はみんな先生を尊敬しています。一年間あ
りがとう先生！」（添削・夢）

カズマ日記？

神様つてやつぱりいるんだ！（。口。）

「デビル夢野のクリスマス。

教師枠でもらつたくじを引きましたが、全部ハズレ。インスタントのおみそ汁（もちろん赤だし）でした。ザマミロー。

しかも午前中の教室にくじのハズレでパネットーネ（パンケーキの一種）をもらつた女の子がたくさんいたので、「ハズレでもパネットーネ！」と意気込んでいたようですが、午前中にパネットーネは配り終わられ、おみそ汁でした。（・_・）

夢「ガクーッ（*ー*）」

カズマ「こういつの気持ちだからね、落ち込まないのー（。○。）

（ーーーーー）

それにしても急け者で、遊び人の夢野翁が朝から深夜まで講座をやつているとは冬季講習なかなか侮れぬなり。

しかも夢野翁にじわじわダメージを与えることが起りました。
冬季講習は忙しくなるため、新しい若い先生がやってきました。

新人の先生「夢野先生からいろいろ学んで頑張りますー（ - - ）

（ ヶ

夢野「いや、私なんか足軽、一兵卒ですよ。私たち同世代じゃない
（ - - ）」

新人の先生「いえ、世代が違います！」

夢野「（ - - #）（殴つてやろうかと思いつつ）私もいつまでも
若い可愛い子ちゃんじゃいられないか。（ - - - ）」
カズマ「別にもとから誰もそう思つてないから」

若い新しい先生が入つてきて、夢野はどうなるのか…？

マサキの選択

「正義の味方のマサキくん」はたまたま今まで出番が少なかつたが、着実に足場を固めていた。（――）

「究極の選択」の「ハンサムでアホ」と「不細工で勉強出来る」の選択で、不細工を選択する子が多い中、「俺はハンサムを選びます！（○・・）ぢ」と豪語。

夢「何で？（・・・）」

マサキ「不細工は努力してもハンサムになれないじゃないですか！でもハンサムに生まれて努力して勉強すればいいんですよー。」

ケンゴ「や、そつかな・・・（・・・）」

そしてマサキは大学に提出する願書に「ノーベル賞をとった科学者は『やつていることが失敗するんじゃない』と恐れない勇気を持つていた。そして俺もそういう勇気を持つている！」と書いてしまう「純」な子だった。（――）

夢「いろんなこと書にちやダメですよー。（――）」

マサキ「何がダメなんですかー。（・・・）」

夢「何がつて・・・難しいね・・・（・・・）」

墨田区立成田小学校

冬休み

私の生徒はいろんな高校の生徒がいて、私に国語、論文、英語、歴史などを習っている。

そして、今のような長い休みには全寮制の学校に行っている子が地元東海地方に帰ってきて、勉強していることが多い。

カズマ「あつ、ダイキが帰ってきた！ダイキー！ダイキー！」

夢「寮はたいへんだったでしきう

ダイキ「学校が終わった後、18時半から20時45分まで勉強。21時ぐらいから25時までまた勉強。テレビはなし。ラジオは教育番組（英会話など）だけよいけど、音楽番組とか聞いてないか、先生が抜き打ち検査するの」

絢香「え～、やだ～、ドラマや歌番組見られなかつたら友達と話出来ない

あつちゃん「休みはあるんでしょ」

ダイキ「田中はどうかに行けるけど、何時から何時まではどこに行くつて許可をとるの」

夢「カズマみたいにね、彼女の部屋でドラマのDVDボックス見て、その後、実事しているようなパチクリンは許されないんですよ！」

（・。・）

カズマ「年間150本も映画観て、週休5日の文学部生活していた

パーチクリンの先生にお言葉はそのまま、お返しますー！

。(、へ-) パンチ！」

ダイキは冬休みもカズマたちより真面目に勉強していた。

ダイキ(でも、パパとママとお姉ちゃんと一緒にいられてうれしい。予備校の方が学校よりは楽しい。みんなも優しいし。)

しかし、そんな心内を表さないポーカーフェイスのダイキだった。

ショウヘイの手紙

前略、お母さん、岡山から希望と使命に燃えて名古屋にやってきました。(。・・) b

しかし、先輩で国語の夢野先生と英語のマイティ先生は講師控え室（職員室）でどんなに話ばかりしています。

マイティ先生「夢ちゃん、これ見てよー!」

夢「わつ! 松坂慶子の若い時のヌード! 真! 若い時はやせていますね! 今と違つて」

マイティ先生「僕の青春のアイドルだよ! ギヤハハー!」

夢「高橋恵子もけつじつHな作品、出ていたでしょ。ギヤハハー!」

ショウヘイ「(ーーーーー)」

マイティ先生「あと僕が好きなのは『サスペリア』ね
夢「ああ、ホラーの帝王ダリオ・アルジェントの」
マイティ先生「夢ちゃん、意外と怖がらないからね」

ショウヘイ「(ーーーーー)」

マイティ先生「僕はね、『黒部の太陽』にエキストラで出たんですね。夢ちゃんは『チャイルドプレイ』と『オーメン』に出とったよなあ! (×○×)」

夢「(ーーーーー)ま、失礼な!」

ショウくん「（――）」

お母さん、僕の学校は大丈夫なのでしょうか？（トロト）

ショウヘイの手紙？

お母さん、年末年始も頑張って働いています。（。・・） b

朝、夢野先輩やベテランの先生と喫茶店に行きました。

僕「うわー、コーヒー一杯にあん」のついたトーストと茶碗蒸しとバナナと焼きそばとサラダとマーグルトがついてくるとはー！」

夢「（ 、 、 ）ショウ、しつー後ろの席のオバチャンが！」

後ろの席のオバチャン「地下鉄の四番出口を出たところよー〇〇先生の法律事務所は！私には私の言い分があるからねー裁判を何度も財産分与で私の取り分が増えることはあっても減ることはないんだから！着物も宝石も私が働いてた時のお金で買ったんだから！」

夢「（ ー + ）ニヤリ」

僕「（ ー ー ）」

後ろの席のオバチャン「だいたいお父さんが向こうの先祖様に申し訳ないとか言つからつけ入れられるのよー私は被害者なんだから！」

夢「（ ー + ）ニヤリ」

僕「（トントン）

後ろの席のオバチャン「結婚する前に同棲しなきゃダメねー・相手の本性が見破れないからー。」

僕「（トントン）

夢「あー、すゞこの話聞きましたねー！」

マイティ先生「こわいー。」

靡けこの山先生「いやーー↑（^—^・。」

お母さん、僕はここまで耐えられるでしょうか？（トントン）

心理テストで遊ぼう！

今、文学部は人気がない。極寒である。

絢香「文学部やだー、本なんか読みたくない」

ゆう子「心理学は役立ちそうだから心理学やるー！」

夢「フォーフォーフォーフォーフォ。心理テストやりましょう。心理テスト！」

カズマ「（ ） チャラすぎるー!!一ハーダシー！」

夢「はい、あなたは桃太郎です。犬、猿、キジの他に何か動物を家来にすることにしました。それは何でしょう？」

絢香「ウサギー」

ゆう子「ネーー」

カズマ「鬼！」

ケンゴ「カズマはやつぱりパークリングだな。（ ）」

夢「はーー！ところがその動物を連れていくのをやめました。何故でしあう？」

絢香「どつか行っちゃうから」

ゆう子「相手してくれないから」

カズマ「鬼畜だから！」

（よかつたら皆様もやってみて下さい。）

夢「はい！では診断結果です。連れていく動物は自分のイメージ。連れて行かない理由は自分の思う自分の欠点です！」

絢香「え～、どうしよう～」

ゆう子「当たってるかも！」

ケンゴ「カズマだけすべつてるね！」

カズマ「ギクッ（- - -）」

夢「私は・・・孔雀？」

あっちゃん「（- o -）この狸親父！」

みんな「ギャーハハ！」

夢「（- - - -）」

大晦日

今日はやつと大晦日。しかし、仕事です。（・ー・）

私は年末年始が苦手です。厳密に言つと年末年始でみんなが遊んでいる中で働くのが苦手なかもしません。まあ、普段は「何してる人なんだろ？」と周りの人々に思われている訳ですが。

このサイトでは私はそんなに交流がある方ではないですが、メッセージや「」感想をいただくとやはりありがたいです。

また「エッセー集」という比較的軽いものを書き出しがたのが、今年の挑戦です。

明日からですが、来年は学生がたくさん卒業したら、また3月ぐらいに何とかまとめた作品を書きたいです。

ちゃんと合格して卒業してくれるといいんだけど。（・・・・）

一年間お世話になつた皆様ありがとうございました。
まだ今日中に更新するかもしれません、感謝をお伝えします。
来年もよろしくお願ひします。

あなたにとって

あなたにとって夢野とは？

カズマ「ボケたおじいちゃん。いろんなこと詳しいし、教えてくれるけど、ボケちゃってるから訳わからんことよく話してる。そういう時は寝てる。（ - - - ）ZZZボケてるから予測不可能な行動もたくさんするし。ボケてるから急に怒つたりもするし。すぐ忘れ去るけど。（ - - - ）人生に必要なことは夢ちゃんから学ばなかつた。大化の革新を目撃したり、ペリーの通訳をやつたりしたらし

ヨーロ「時代遅れの男。古典の訳に英語、フランス語、ドイツ語を混ぜるのはやめて欲しい。ゆう子『《つまづきし》ってどういう意味ですか?』夢『《ふさわしい》ですね。『suitable』ですか』他にもancient poetryとかchinese poetryとか普通に話して欲しい。こんな小細工で喜ぶのは昭和で止まっているくんとお嬢様学校の子だけ。』自立しているんです。independentです。フランス語ではアンデパンダンです。』自慢以外にフランス語を言った意味は? (?) どうでもいいけど、気取つて『von Boyage! (フランス語でさようなら)』と昨日、冬季講習を締めくくった時、たんがからんでた。せいぜいお大事にすることだ!』

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

昨日は父方の一族の新年会に行きました。そして今日は高校の同窓会に行きました。

同窓会の方が楽しかったです。

スタンダードな同窓会でなく、いろんな学年が集まるスタイルで自分の学年はちょっと少なかつたけど、楽しかったです。大満足です。

一応、卒業生のほとんどは大学に行く学校だったので、男子は先生、公務員ばかりでした。

予備校講師の自分はちょっと変わり種かも。（^_^;）。。。

女の子の方が生き方が多様だと思つ。妊娠中の子。三人も男の子がいる子。キャリアウーマンの子。みんな違つてみんないい！

またいろんな子の情報を交換したのも面白かったです。

パソコン会社で活躍している子や、エンジニアになつて巨大な装置を設計している子、同級生同士の結婚した子。アメリカに行つた子。街角でよく見かける子。大家家の別荘をカフェにしたところに嫁いだ子。

思い出話も。野球部の応援に行つたこと。野球部のレギュラーの子の彼女が中核メンバー。

不良が学校に来て暴れて、番長が撃退したこと。
修学旅行で長崎に行つたこと。当時も今も人気の変わらない福山雅治はすごいなとか。

先生が卒業生と結婚したこと。卒業後付き合に出したと言つてたけど、怪しいなあ。（へへ）

絆。新しい一年もステキに頑張りたいです。

「バーイヤーコンサート

あ～、今年のお正月は比較的楽しかった。

昨日、大酒をかつくらつたわりに、同級生に久しぶりに会えて、興奮していたのかなかなか寝つけなかつたけど、今日、毎年恒例のNHKナゴヤニューイヤーコンサートに行きました。

毎年1月3日に愛知県芸術劇場でコンサートがあり、東海北陸地方では今夜22時から教育テレビで放送されますので、よかつたらご覧下さい。パイプオルガンの左の方にいるキャイーンの天野に似た、神経痛に耐えているオヤジイが私です。（――）

今日のコンサートのテーマはバロック音楽！

昔は女性が芸術をやれなかつたため、男性でありながら女性のパートをやる人がいたのですが、その現代版ソプラニースタの岡本知高さんが「オンブラ・マイ・フ」や「ある晴れた日に」を熱唱していました。衣装がすごいの。（――）

またバロックということでお正月恒例のパイプオルガンの独奏などもあり、個性的でした。

とても楽しいコンサート。

ただNHKのわが今までアンコールは毎年恒例の「ラデツキー行進曲」なのですが、その前に大河ドラマ「江・姫たちの戦国」のメインテーマを日本・世界初演で会場のお客様にプレゼント…というNHKの自分中心主義はすごい。

でも、江姫が主役になるんだつたら自分も一つだけ戦国時代の話のアイデアがあるからちょっと書きたくなつた。どんなドラマにもゲームにも出てくるけど、意外と一度も主役になつたことのない人物です。

書こうかな？書けるかな？今でもたくさん積み残してるので。（- - -）

しかしタイトルは「蘭丸が駆け抜けた17年について」（○ - -)

b

カズマ日記？

カズマ「やつた～！（トロト）冬季講習終わった～！（トロト）」

夢「いやー、次の大きい行事は春休みの謝恩会ですね！」

カズマ「いや、僕たち来週、天下分け目のセンター試験なんだけど。（一・一・一・一）」

夢「まあ、そんなもんたいしたことじやないんですよ。人生の中でも学歴とか」

カズマ「（一・一・一）いい加減な・・・」

夢ちゃんは冬季講習の間も

夢「戦中の転向文学を代表する島木健作の『一枚の油絵』を読んで、答えなさい。ヒロイン『桜田もい』は・・・桜田もい、まるで21世紀のライトノベルを先取りしたような」

みんな「だー！（トロト）突っ込むとこ、そこかよー！」

夢「『姫君の幼く可愛い様子を好きになり』ここ、引っ掛けで間違いの選択肢です。ただこういう若者が最近、増えてますね。次の問題の姉と弟が結ばれるという間違った選択肢を選んだ人も多かつたですよ。自分の妄想を混ぜちゃダメですよー！」

みんな「だー！誰も妄想なんか混ぜてないよー（トロト）」

夢「『三國志』ってみんな横山光輝のマンガとか吉川英治の小説で
読んでるでしょ。あれは、中国にある本当の原典はすぐファンタ
ジー的な構成になってるんですよ。それぞれの人物が『史記』の中
の人物の転生という設定でね」

みんな「だー！（トロト）普通に講義やつてくれー！」

来週、僕たちは大丈夫なのか？（――・・）

2011前期・芥川賞・直木賞の予想

芥川賞

田中慎弥

○朝吹真理子

西村賢太

×小谷野敦

直木賞

荻原浩

○道尾秀介

受賞者なし

×貴志祐介

予想の弁

今回は芥川賞が誰がとつてもおかしくない実力者揃い。

田中慎弥は川端康成賞、朝吹真理子はドウマゴ文学賞と芥川賞作家が次の目標にするような賞をすでに受けしており、二人のダブル受賞では？

ただ西村賢太と小谷野敦は力量はすごいけど、権威に唾を吐きかかるような破滅型の作家で一人が落選した時の暴れっぷりには太宰治以来の期待。ドキドキ。

逆に実力者が例年は多い直木賞は今回は小粒な感じ。

道尾秀介さんを推す新聞報道が多かつたけど、ミステリ界の人なのに、今回はミステリ界が推してないのが不安材料。

逆にミステリ界の去年の一押し貴志祐介の「悪の教典」は直木賞のカラーに合わない感じ。（――）

直木賞は山本周五郎や藤沢周平のような人情味のある作家を好むから。

しかも貴志祐介さんは多彩な作品を出しており、「青の炎」のような青春小説も出しているから今回は見送りでは？

ベテランの荻原浩さんが有力と思いますが、今回は受賞なしもあるかも。

発表は17日です！（^ - ^）go”

成人式

今日、ケンゴやマサキらと一緒に願書を書いていた。願書の中に「いく短い作文を書くところがあり、私は一応出来上がる。た願書のチェックと作文に手を入れることをやる。代筆に近い。（――・）

マサキ「部活・趣味・入学後の抱負・・・」

ケンゴ「勉強してたから部活やってない！（トロト）」

夢「まあ中学の時、マサキは剣道、ケンゴはサッカーをやってたでしょ。それでいいんですよ」

マサキ「趣味・・・」

夢「ケンゴは映画鑑賞と読書でいいでしょ。マサキは・・・AV鑑賞じやまざいし（――・・）、モータースポーツと英会話にしておきなさい。入学後の抱負はマサキは留学と世界各国訪問ね！」

ケンゴ「俺、外国嫌いや」

夢「ケンゴは地元のお年寄りなどに貢献することねー」

マサキ「長所・短所・・・家族の経歴・・・」

夢「短所書く時に妬み深くて下品とか、嘘ばっかりつき他人のものを盗んで恥じないとか破滅的なこと書いたらダメねー真面目すぎるところがあるとか、熱中しやすいとか、長所に替えられぬような書き方してねー！」

そんな殺伐とした中、ケンゴの姉が成人式の挨拶に来た。

姉「先生、見て。髪もネイルも成人式のために手入れしたの。（*
^_^*）」

夢「あら、ステキ！ 服は振り袖？」

姉「はい」

夢「帰り、お酒飲み過ぎたらダメですよ！」

姉「えへっ」

受験生は浮き足だち、卒業した子は成人式を迎える、私も年になつて
いく訳か。

年になるにしろステキに年輪を刻んでいきたい。
過去の絆を大事にし、新しい出会いを常に探して。

何物も吾を汚すなし朝発ちの門に真紅の朝陽渦巻く（前川佐美雄）

やつたゞー！冬季講習と平常の仕事終わつたゞー明日から一週間ぐら
いお休みだゞー！

年末年始なかなか連絡出来ないなどお伝えした方にはすいませんで
した。
たいした仕事もしていないのに。

明日からは受験生はセンター直前で自習。下級生はスキー合宿など
で私は極楽とんぼです。

ごんたくれ坊主たちがダウナー系の気分になつてているのをブツツと
笑いながら、遊びます。

東海テレビさんの「」招待で草なぎくんの新しい映画の試写会も行く
し。生徒たちが凍えているのを想像しながら、温泉に入り、ソフト
クリームを食べるのだ。ブツツ。

今年の目標は改めてですが特になし。

日々の仕事を頑張ることと健康に気をつけることぐらい。

あとは気持ちがのつたらいろいろ書きたいし、感性が鈍らないよう
に今年もいろんな芸術にふれ、感動を味わいたいです。
恋愛はいいかな。今年は。一回休みで。

和歌を新聞に送るのはちゃんとやりたいですが、忙しいとなかなか

アイデアが浮かばないし。

年末年始に一つだけ作った愚詠を書いておきます。

「伝えたい始まりの詩^{うた}ありがとう同じ時代に生まれてくれて」

それでは、やいぢりひー やー！（^_^）~

間違い言葉辞典

昨日、センター試験の問題で大正時代の小説を取り上げていて、「敷居が高い」という表現が正しく使われているのをきっかけに間違い言葉について考えるのは面白いと気づいた。

? 敷居が高い

正：隣の家の窓ガラスを草野球して割ってしまった。謝りに行くのは敷居が高い。

誤：こんな高級なしゃぶしゃぶ屋さんは僕には敷居が高いなあ。

「敷居が高い」は「何か悪いことをしたので、相手に後ろめたい」という意味が正しい。しかし、高級で気がひけるという意味で使われる誤用が多くなった。

? 破天荒

「織田信長は破天荒な男だった」という一文を正しく解釈出来る人はどれぐらいいるだろうか？

「ハチャメチャ、自由奔放、豪快」これらは全て誤用である。「何か前例のないことをやつた」「最初」それが正しい意味。つまり織田信長は前例のないことをいろいろやつたという意味である。（ただ歴史の厳密な意味では織田信長が最初に何かをやつたと

いつのには異議が多い。）

これは前例のないことをやつた人（例えばコロンブスやアインシュタインなど）はハチャメチャな人だったというイメージから意味が間違えられていつたのだろう。

これは「天荒を破る」という中国古典の表現がおおもとである。科挙という中国の受験の合格者が出なくて天荒（人材不足）と言われた地区があつたが、そこから合格者が出て、「天荒を破った」という言葉が出来たのである。

間違い言葉辞典、もしかするとシリーズ化するかも知れない。○（
^ - ^ ）○

「瞳の奥の秘密」

新年一発めにして年間ベストワン最有力なり。昨年のアカデミー賞受賞作「瞳の奥の秘密」観ました。

とにかくおすすめ。絶対観てという感じです。予告編もちょっとネタバレ気味なので、絶対損しないから観てどう感じです。改行して少しだけ論評します。

アルゼンチンで一人の主婦が殺される事件が起きて、主人公は捜査をします。

そして約30年後ぐらい、それを小説にする老いた主人公。二つの時間が交錯して描かれます。

途中、「ああ、これは南米文学のマジックリアリズムだな!」と思いました。時間や場所の変化がくるくる起こり、幻想的な世界を描く。それは私たちの記憶や想像力が時間や場所にとらわれないことを上手く再現しています。

世界的に有名なスターは出ていませんが、サスペンス、ミステリとして素晴らしい出来です。

さて、この後、核心のネタを割りたいので、観る前に絶対読まないで下さい。

半分以上進んだところで、ミステリとしての犯人探しは終わるので
すが、そこからが本当に素晴らしい。

アルゼンチン（南米）という設定が生きてくるのです。

軍事独裁、恐怖政治が行われている非民主社会で主婦をレイプして
殺害した犯人は反政府の活動家を殺すテロリストとして国家の保護
下に入り、追っていた刑事たちが逆に抹殺されていく骨太の政治ド
ラマになり、その中の主人公とヒロインのラブストーリーとスト
ーリーが激しく展開しながら緊張が途切れることはありません。最
後がハッピーエンドなのか否かは是非劇場で観届けて下さい。アル
ゼンチン恐怖政治をテーマにし、やはりアカデミー賞を制覇したマ
ヌエル・ブイグの「蜘蛛女のキス」以来の出色的な感動作、傑作です。

「南米なめんなよ！」というぬるま湯の中にいる日本人には衝撃の
力作でした。（――）

「ノーウェアボーイ」

ジョン・レノン生誕70周年記念作！（私は田舎に住んでいたので、都会では昨年公開ですが）

いや、泣いたわ。今日はアカデミー賞の「瞳の奥の秘密」を観て、ジョン・レノンの映画もついでに観たのですが、意外！無冠のこの作品の方にすぐ泣いてしまいました！傑作です。

ジョン・レノンの映画ということで、ジョン・レノンの活躍期ではなく、デビュー前の少年ジョンと一人の母、育ての母ミミと産みの母ジュリアの愛と哀しみを描いており、すぐよかったです。

私はビートルズにすぐ詳しいという訳ではないので、ストーリーが新鮮で、面白かった。

ラジオやハモニカを買ってくれた優しい伯父が亡くなり、お葬式でジョンは産みの母に再会します。

産みの母はエルヴィス・プレスリーの音楽をジョンに紹介し、豊かな芸術センスを持つジョンはエルヴィス・プレスリーの音楽に夢中になります。

しかし、そこで産みの母が素晴らしい、ロックは自由みたいな短絡的な描き方になつていないのでいい。

育ての母ミミはチャイコフスキーやバッハの音楽を聴き、文学を読み、ジョンに無償の献身的な愛を捧げます。

その役を英米の映画界、演劇界の大御所クリスティン・スコット・トーマスが演じています。

貧しい港街に暮らしていてもイギリス人の気品や風格を失わずジョンを育てる彼女の姿にジョン・レノンという芸術家の一本筋が通つ

たところが養われたとよく分かれます。

産みの母の助けでジョンはロックバンドを始め、すぐ頭角を現します。

そこに比較的ちゃんとした感じの少年がバンドに入りたいとやっています。それがポール・マッカートニー。

ポールは圧倒的なテクニックと政治力ですぐバンドを乗っ取ろうとし、不器用なジョンはポールをぶん殴つたり、未来の不気味な部分も暗示されていて、きれいになるとになつていないのでよかつた。

クライマックスはジョンとリリアの感情がぶつかり、ジョンの出生の秘密が発覚するところ。イギリスの伝統の力が、シェイクスピアの悲劇をほうふつとさせるすごいシーンになつていて、大御所クリスティン・スコット・トーマスが出演している意味がよく分かりました。彼女の圧倒的な上手さと美しさが神話的な迫力すらシーンに与えている。ブラヴォー！

私はビートルズに詳しくないので、どの程度が実話でどれぐらい脚色があるのか断定出来ませんが、映画としてはかなり素晴らしいまとめた作品です。

若い子だとジョンがグレで暴れている無軌道な様子に共感するかも知れませんが、私は育ての母の姿に涙していました。（自分にも通じる？（^_^;）。。。）大事に育てた子はだんだん去つてしまつてしまつ。

しかしジョン・レノンという偉人（と言つてしまつてもよいだらう）は一人の母に無限の愛を捧げており、感動しました。

愛のさまざまな形を描いて、私の心に大いにカタルシスを与えてくれた秀作です！

「君がくれた未来」

おすぎさん推薦しているのを偶然テレビで見たので、観たのですが、なかなかよかったです。

アイドル映画なのですが、ちょっと変わっています。ザック・エフロンというアメリカの若い男性アイドルの映画で、幼い弟との家族の絆、男の友情を描いたものかと思ったのですが、あら意外。

ネタバレ御免の方はここまで。

何と一種の「ゴーストストーリー」だったのです。（・・・）

弟とザック・エフロンが大事故に巻き込まれ、弟は亡くなり、ザック・エフロンは臨死体験をして蘇生。それ以来、弟や友達の幽霊が見えるようになります。幽霊と言つてもおどろおどろしくなく、イラクやアフガニスタンの無益な戦争への批判やリーマンショック以来のアメリカの闇への抗議が靈たちの口を通して語られ、不思議だけど、考えさせる力作です。

後半はアメリカらしく、ザック・エフロンが靈と交流出来る不思議な力で人々を救い、英雄になるサクセスストーリーで見易いですが、私はシリアスな路線を追及して欲しいとも思いました。

ザック・エフロンは顔も体もかつこよくアイドルのアウラが出てた。

無意味に裸になるシーンも多く、自分の立ち位置をよく分かつてゐる。日本には少なくなつた正攻法のアイドルです。

日本人である私はゴーストが日常にいる天使みたいなもので主人公を助けてくれるのを心地よく見てたけど、普通のアメリカ人にとってはどうなんだろ？

ちなみに南米の人、その祖先のスペインの人は日本人に似たスピリチュアル観を持つていますよ。だから私はスペイン、南米、大好きなの。（・・・）

試写会「僕と妻の1778の物語」

東海テレビさんの「」招待で拝見しました。お招きありがとうございました。

しかし眞実を記録しないといけないので、あえて書くのですが大きい会場がガラガラだった。（Ｔ〇Ｔ）

しかも若い可愛い子がいたらナンパしようと思つていたのにババアばかりだった。（Ｔ〇Ｔ）

SMAP、大丈夫？嵐に負けないで。

草なぎくんの「僕の生きる道」シリーズの完結編の映画です。
小説がテーマでは非皆さんにおすすめしたいです。

小説バカ一代と言つていい、小説だけに打ち込む純粹な美青年草なぎくん。それに献身的に尽くす賢く美しい妻が竹内結子。一人のさやかだけど幸せな日々。

ところが竹内結子は重い癌に・・・

草なぎくんは毎日一話ずつ小説を書いて竹内結子の余生を幸せにしようと愛を捧げます。そんな草なぎくんの愛に包まれ残された時間を大切にする竹内結子。

素敵な小説の力で余命一年と言われた竹内結子は五年も生き延び、多くの人が草なぎくんの無償の愛に共感して助けてくれます。
それでもついに訪れる残酷な瞬間・・・

草なぎくんは毎日小説を書くことが奥さんへの愛であると同時に自分的心の支えだったことに気づきます。
小説を書くって何？誰のため、何のため書くの？
そんなことを改めて考えさせられます。

私も新しい作品を書きたくなりました。

草なぎくんの書く小説が映画内小説として織り込まれ、幻想的で
美しく、楽しい。
おすすめです！是非、「J覗下せこ！」

キネマ旬報のベストテン

今日（日付が変わりましたが）キネマ旬報のベストテンが発表されました。

私が去年の回顧で挙げたベストテンとけつこつ重複しています。

映画にしろ、音楽にしろ、美術にしろ、文学にしろ、評価、評論するにはある程度の訓練や勉強が必要です。それを一定程度クリアしていると一年間で観ておかないといけない勘所の作品はだいたいおさえられるようになります。

私はその程度のうぬぼれは持つて、いろいろ観て論評する仕事をやつております。

ただ矛盾するようですが、自分の好みを貫くのも大事なんです。キネマ旬報のベストテンには入っていなくても私が挙げた作品は1位と同じ思い入れがあります。楽しんでもらえると思います。

「第9地区」は年間3位になっていました。

私は最初に論評した時からこの作品を激賞していました。

知り合いが全然ダメと言つていましたが、その人はその感性を大事にすればいいんですね。

ただし焦らず誠実に取り組むことは大事です。

後先が逆になつてしましましたが、キネマ旬報のベストテンはニュースのサイトなどで観られますので、「」覽になつて、私の年間ラン

キングと比べて下さい！

あと私は田舎に住んでるので、まだ観てない作品もありますが、是非キネマ旬報のベストテンを参考に観たいです！

カンゲキ！日記：「たか女爛漫」

泣いた！（Ｔ○Ｔ）

感動した！（Ｔ○Ｔ）

不意打ちだった！

今日は母親と御園座で川中美幸のお芝居とコンサートの予定でしたが、母親の急病で私が一人で行きました。

ところが、低いモチベーションで観たお芝居「たか女爛漫」が「レ・ミゼラブル」「アンナ・カレーニナ」に匹敵する力作だったのです！（Ｔ○Ｔ）

幕末の大老・井伊直弼のスパイだった村山たか女が主人公です。それを川中美幸さんが演じている。

井伊直弼は歴史上有名ながら評価の定まつていない人です。最近は幕末のドラマもヒットしていますが、昔は難しくてヒットしないと言われていました。

そしてその理由はいろんな人物が政治的立場で善人とも悪人とも描かれるからです。

しかし、今回は井伊直弼側の人間が主役ですが、権力闘争の中で、善も悪もくるくる変わること、権力を握ることで変わる人間の恐ろ

しさが描かれます。

しかし、その中でたか女の優しく純粹な性格が救いになつております、明るい川中美幸の個性と合致しています。素晴らしいかったです。

大団円の終わり方もエレガントでした。

お芝居の後の歌謡ショーもよかったです。個人的には昭和の名曲を歌つているところが楽しかつたです。

後先が逆になりましたが読売新聞さんのご招待でした。
ありがとうございました。素晴らしい公演でした。

罪

夢「恋ばなしおじょー・恋ばなー。」

カズマ「（ ） チヤリゅうめい。」

マサキ「俺、前の彼女とつりあつてこる時、本当にもうと可憐に子
とつりあつたかったのこそ協してつりあつてたんですね。だから、次
は本当に好きな子とつりあつたこと反対しておか。」

蘭「はあー。」

マゴ「反省じやねえよー・サイトイー。」

絢香「やだー。」

夢「いれは・・・・罪ですね・・・・・」

マサキ「ちやうひー、ホンマに反省してんやつー。（トロト）
三一「反省しても許されないんだよー。」

男子たち「いわー。」

ゆづ「妥協してとかどうだか上から四線なんだよー。（トロト）」

マサキ「いや、いつこ方が悪かったー謝罪するー。（トロト）」

夢「女子全員を敵に回しましたね。（ ） 」

マサキ「いひ・・・・（トロト）」

カズマ「俺たちも氣をつけろ・・・」

マサキ「ううう・・・でも、ええんや。今は試験さえ成功すれば・・・
・左手が恋人なんや・・・」

女子全員「最悪ー(、<、)不潔ー(、○、)引くー(、ー、#)」

夢「口は災いのもと」

男子たか「マサキ・・・(トロト)」

神経痛抱えながらも職場まで歩く頑固な古典オジサン（愚詠）

パツパラパーみたいなエッセーばかり書いているが、実は年末年始
ぐらいから神経痛になってしまった。腰から左足にかけてが痛む。
しびれるような痛みである。立っている時と歩いている時は痛くな
い。

立ち上がる時と立ち上がった直後がひどい。

原因は不明である。太りすぎもあるかも知れない。

またこの痛みはいろいろ好き勝手にやっていることへの神仏や生徒
たちの生き靈の怒りが爆発したのかも知れない。

お風呂に入ると痛みが取れる時もある。寒さもあるかも知れない。

ベテランの先生や生徒は腹を抱えて笑っている。
ショウくんは心配そうにしている。

先輩はブフフと笑っている。

しかし、痛むというのも命があるからもある。
痛みを抱えながら生きていることをかみしめている。

しかし、学恩をわきまえない生徒たちには罰が下るように祈ってい

る。 (- - #)

実は今日はちよつと出勤したのだが、センター試験直前はやる」ともない。

JR名古屋タカシマヤの親鸞展に出かけた。もちろん神経痛はガンガン痛んでいる。

親鸞は浄土真宗の教えを作った偉人である。

親鸞や、親鸞にお告げを与えた聖徳太子、師匠の法然、親鸞を弾圧した後鳥羽天皇の肖像画や古文書が展示してある中、私がぶつ飛んだ出来事があった。

国宝か何かの鎌倉時代の仏様の像の周りに紙幣を含むおびただしいお賽銭が落ちていたことである。

美術展の仏像は美術品のはずである。（――）

またお金を払うことで魂の苦悩や不幸から救われるのだろうか？いやつ！そんな変なことを考える私だから神経痛の罰を受けるの？

しかし、このお金が恵まれない人のために使われたら・・・

しかも会場の出口の売店では親鸞福袋（一万円）というのが売っていた。親鸞グッズ（（？）（？））が一万円分入っているのだという。

あまりにも訳の分からない気持ちで会場を後にした。

信仰つて何？

センター試験一日めが終わった。

各大学や一部の高校は受験生でいっぱいだが、予備校の教室は空っぽで、たみしさを感じた。

「不良」という小説にも書いたが、私は精神論が嫌いなへそまがりなので、大学のそばで出陣式をやつたりもしないし、いちいち生徒に付き添つたりもしない。

ただ「もう勉強しなくていいから、体調を整えて受けなさい」と言うだけである。

とにかくセンターや試験というものを当たり前に書いてしまっているが一応説明すると約56万人の受験生が五教科のテストを全国一斉に受ける。国公立大学希望者はまずセンターを受け、その結果で最終的に受ける大学や学部を決めるのである。

また私立大学のほとんどがセンター試験の点数が一定以上なら入学出来る制度を設けている。

そういう訳でほとんどの生徒がセンターを受けに行き、教室は空っぽである。

小学生の時からめんどりを見ていた子がけつこいつ受験生になり、卒業していくからたみしい。

しかし、上手く合格して卒業してくれないともうとつらいから、私

はさみしだに耐えて、みんなが志望大学に合格することを祈っている。

明日、二日めの日程が終わるとみんなから成績の報告があり、受ける大学を最終的に決め、その二次試験の勉強が始まり、私の束の間の休暇は終わる。

そして一度空っぽになつた教室に春になると新しい顔ぶれが並び、(^O^)とか(。・-)とか(;'-;)とか(ToT)とか(-_-)とか(、-)とかまたいろんな表情を見せてくれる。

その春を毎日、待つている。

愚詠（^ 3 ^）／

バンザイ！

愚詠が中日新聞の歌壇に初登場3位で入選した。選者は宮中歌会御始めの選者、岡井隆先生である。

ちなみに載った歌は次のようなもの。

パン屋さん屋号ロンドン私見だがイギリスよりもパンが美味しい（
愚詠）

カズマに「寒い歌ばかり」とかKくんに「今の時代はもうくさい
歌はダメなんですよ」とか言われながらも、作った甲斐がありました。
た。

今年は歌に少し力を入れようと思っていたので幸先がいいです。

読売新聞の方も頑張ります！

歌が新聞に載るとほんのちょっとした記念品がもらえます。しかし、それ以上に載ることが楽しいのです。

最近、ベテランの先生と歌を詠みあつていたのがよかつたです。

いつも風に互いに刺激を与えあって作品が生まれるのは素晴らしい

い。

他の方は分かりませんが、私は感動すると瞬間的な爆発のようになります。
イデアが生まれます。

だから映画館や美術館や劇場に感動を求めてよく行きます。

今年もますます頑張る！ へ(へ○へへ)（ノへ○へ）ノ

「シングルマン」

今日は朝から雪が降っていたのですが映画を行ってしまいました。（生徒たちは苦しみでいるのに（――））

今日はヴェネツィア映画祭やアカデミー賞で台風の日になった「シングルマン」を観ました。ストーリーをあまり楽しむ作品ではないのですが、ネタバレ「めんの方は」「遠慮下さい」。

日本でも取り上げられやすいセンセーションナルなテーマをゴッティンガさせて、新たな魅力を生み出しています。その二つのテーマは「自殺」と「B」（T・T）

こう書くといい作品になりそうにないのですが、両方、非常にリアルに細部まで描いているので、滑稽にも、嘘くさくもならないのです。

ある初老の大学教授が16年一緒に暮らした男の恋人が死んでしまった。一年近い苦悩の果て、自殺することにします。そしてその最後

の一日がきれいことでなく、しっかり描かれるので、ハラハラしながら作品に引き込まれてしまいます。

ストーリー以上に映像美がある作品なのですがストーリーにも素晴らしい彩がつけてあります。

何と死ぬと決めた瞬間、モテ期がやって来て、ハンサムな優等生の少年が教授に体を捧げようとして、教授は死と生の間でグラグラし始めます。シンデレラじいです。

ただここも演出、セリフなどが素晴らしいため「メティ」とシリアルドラマの一面性を持つて展開していきます。

教授の役はコリン・ファースというお洒落でハンサムなじいがやつてるので、説得力があります。

教授は死と生のどちらを選ぶのでしょうか? 気になりますね。それは劇場で見て下さい。サヨナラサヨナラサヨナラ。(ピュチャリーさん風)

「フェアウェル」

フランスの映画です。ハリウッドのように予算をたくさん使えなくとも、面白い作品は作ることが出来るようですね。

1980年代にソ連の機密情報をフランスに渡した「フェアウェル」というスパイの映画です。実話です。

フェアウェルの役が意表をついて、世界的映画監督エミール・クストリツアです。監督が演技出来るのか?と思いましたが、意外と上手かったです。

ちょっと面白いなと思いましたが、レーガン大統領、ミッテラン大統領、ゴルバチョフ書記長などが出て来ます。彼らは私が子供の頃の人物で、歴史上の人物という感じではないのですが、今の若い子からしたら、歴史上の人物ということか?

考えてみると太宰治や三島由紀夫、吉田茂、ヒットラー、チャーチルなども私からすると歴史上の人物だけど、同時代に生きてた人もいるはずだし。(――)

この先、じつじつ近い過去の作品がたくさん作られていくかも。

ところでアメリカの政治家の役でウィレム・デフォーにそつくりな人が出ていた。スパイダーマンの悪役で有名な悪役界の頂点にいる人である。そつくりと思ってエンドロールを見ていたらウィレム・デフォーだった。(T.O.T.)

多分、エミール・クストリツア監督への尊敬の念から友情出演したのだろう。

一流の人は一流の人を認めるということだろうか？

2011年前期・芥川賞・直木賞決定！

「んばんは。

一昨日から今日にかけてちょっと怖いぐらい雪が降りました。
その中でセンター試験も何とか終わりました。

そのことも改めてまとめたいのですが、今日の夜、芥川賞と直木賞
が決まりました。

私の予想は今回はやや外れ気味？（*—*）

まず芥川賞は朝吹真理子さんの圧倒的な受賞は予想通り。ところが
ダブル受賞の相手は破滅型作家西村賢太さんでした。

ただ西村賢太さんは今まで町田康さんなど実力者に評価されてきた
ので、受賞が変な感じはしないです。

私の一押しは田中慎弥さんでしたが朝吹真理子さんとの兼ね合いで
伝統的作家と破滅型のバランスをとられて損したのかも。ただ田中
慎弥さんはゆくゆくは一番活躍しそうな大器です。

より予想がひどいことになつたのは直木賞。

受賞を疑問視していた道尾秀介さんとノーマークの木内昇さんが受
賞。

ただ実は昨日の時点でNHKの読書番組をラジオで聴いていたら木
内昇さん、かなり有力という予想だったのでしまつたと思いました。

ただ「悪の教典」の落選はちゃんと予想出来ました。（負け惜しみですが。(*—*)）

あと萩原浩さんも十分活躍している人で、また機会があれば受賞すると思います。

今回は久しぶりに芥川賞作品を読んでみたと思いました。
しかし朝吹登水子の子孫ということで芥川賞までとれて、水嶋ヒロ
みたいに悪く言われない朝吹真理子さんはうらやましいな。あつ！
だからガス抜きで西村賢太さんと一緒にしたのか！なるほどなるほ
ど。

ショウヘイの手紙？

お母さん、センター試験という関門をくぐり抜けました。（。 - ）
（。）

僕「東海地方ですら雪が降つてたいへんでしたねー。ん?夢野先輩、
ポケットから何か落�ましたよ。（。口。）

な、何ですか！？」『バーティーや温泉の領収書や映画館や美術館
のチケットの半券。カフェのレシート・生徒が苦しみでいる時に（
T-T）』

夢「ちつ！バレたか。だつてセンターの時しか休めないんだもん！
学生が街にいなくなる天国だもん！」

僕「若くも可愛くもないのに』もん。とか言つなーー。（トロト）』

夢「（ 、 、 ）」

靡けこの山先生「僕も新幹線で東京行つて、同窓会でした。ひどい
一日酔いでガラナ飲みましたよ。ルノワールで。f (^__^ ;」

夢「ショウ、この仕事長くやりたかつたら生徒と適度な距離感を保
つことー。（ 、 、 ）」

マイティ先生「傾向分析はどひでじた？」

夢「大手の予備校や新聞社は易しくなったと書いてますけど、ハイレベルな受験生にとっては傾向がちょっと変わったから高得点が取りにくかったみたいですね。一次試験が激戦になりそう。」

僕「あきらめずに頑張りましょうー。(・。・。)」

お母さん、あと一ヶ月ちょっと僕たちの冬の決戦が始まります！

間違い言葉辞典？

神経痛がひどい。明日、病院に連れて行かれる」となった。耐えながら、ちょっと間違い言葉辞典を再びお送りします。（*—*）

？煮詰まる

週刊誌の表紙を見ていたら、俗悪なスキャンダル雑誌じゃなく、わりと硬派なオピニオン誌の表紙に「煮詰まる菅政権！」などと書いてあった。

しかし「煮詰まる」という言葉の正しい意味は「結論が出る」「問題が解決する」という意味である。

よく考えてみると煮詰めるというのは料理の一つの立派なテクニックの一つである。

しかし、煮込み過ぎて黒煙が出てこるようなザザンみたないイメージから失敗する、とか行き詰まるという意味で使われるようになったのではないかと思つ。

次は典型的な誤用。

「昨日の会議、煮詰まっちゃったよ！専務派が営業部長派とケンカし出して、それに総務部長が茶々入れたりして、一日つぶれちゃつた！」

どうして煮詰まつたんだ？

？すべからく・おもむり

後半はまた漢文由来の言葉。

「すべからく」は「ぜひとも（へべき）」という意味。ところが例文が間違えやすく、「全て」という意味の高級な言い方という誤解をなさっている人が多い。

ちょっと以下の例文を見て欲しい。

「すべからく学生は勉強すべき」

この正しい意味は「学生はぜひとも勉強すべき」という意味なのである。

ところが「すべ」という音にひきずられて、「全ての学生は勉強すべき」という意味にもとれてしまい、「『全て』の高級語」という誤用が広まつた。

例えば次のような例文は誤用である。

「僕の作品にはすべからく戦闘シーンが入れてある」

しかし、こんなような誤用はよく見かける。

また「おもむり」は「ゆっくり」という意味である。漢字で書くと「徐」。徐行という言葉を意識すると分かるようにゆっくりという意味なのだが、正反対の「急に」「突然」という意味で間違えている人が多い。

「老人はおもむろにカバンから書類を取り出した」という例文があつたらノロノロ取り出しているのだが、老人は意外とがさつに素早く動くことがあり、誤用が広まつたのだろう。

私はおもむろにペンを置き、この章を締めくくる。
あつ、いて、足が・・(ーーー)

間違い言葉辞典？

「」の間違い言葉辞典がいいねとトキイチロ先生がおっしゃったから
2011年1月19日は間違い言葉辞典記念日！

? サビ

歌謡曲（日本人がラップ、ヒップホップなどと称するものも広く含む）で盛り上がるリフレインの部分をサビと言へ。
若い子でもよく使う言葉である。
しかしこれが誤用なのである。

サビとこの言葉は「わびさび」とこの言葉などに如残があるように能などの謡曲の寂寥とした感じのメロディに使われる言葉で昭るこの曲の盛り上がる部分がサビとこののは本当は誤用である。
私の好きな関ジャニの曲などはサビと本当に言へる部分のある曲は少ないと思ひ。 （・・・）

逆にサビがある歌を歌つている人って今は誰がいるだらう。中嶋みゆきさんの曲も「田舎」など明るいし。

何故か徳永英明さんが思い浮かんだ。 （・・・）

? サワフ

これもけつじつと誤用されている。

「これの正しい意味は「核心部分」「クライマックス」という意味である。

しかし、次のような使い方が見受けられる。

「」の映画のサワリを紹介します。主演はブラッド・ピットとキャラメロン・ディアスなんですけど、一人がリゾートに行くと次々事件が起ころんです。続編は是非劇場で！」

お分かりのように「導入部分」「イントロダクション」という意味で使っている人が多い。

この誤用は何故起こったのかよく分からぬ。

今後の研究課題。（？—？）

?一敗、地にまみれる

最後、また漢文の言葉です。

負けるところの高級な言葉として「一敗、地にまみれる」といつ時がある。

ところが、これは再起不能の大敗という意味なので、使い方によつてはたいへん失礼になる。

「昨日、甲子園で一敗、地にまみれたジャイアンツが名古屋ドームにやつてきました」などという表現は不自然なのである。

「地にまみれる」というのは「肝腦が地にまみれる」という表現から来ている。内臓や脳が地にまみれる。中国人怖えな。

だから再起不能。死を表している。

うかつに使わない方がよい。

ところでひどい様を表している言葉だが、「様」といつ言葉は「意味では使えないのがもともとの意味である。

「俺のカツ」¹ に生れおを見てくれ」とこののは誤用である。

「ザマあねえやー」という言い回しなどに始残があるよつて本邦はまあどうのはネガティブな色の発言である。

センター試験、みんな苦しんでいるけど、一敗、地にまみれたつもりはない。捲土重来を期して頑張る！

センター試験終わって

センター試験終わって、みんななかなか苦戦している。

細かいデータが今日、発表されるだろ？が私も国語を解いてみた。200点満点で191点だった。

教える立場だからこれぐらい出来て当たり前。

しかし、弟子たちは大いに苦戦している。

大手予備校は易しくなったと言っているが、私の長年のカンではレベルの高い受験生が高得点を取りにくく、苦しんだテストだったのではないかと思う。（一応、国語の感想です。）

センター試験を受ける子にもいろんな層があるので、難関大学を目指す子はここ何年かの傾向を勉強して対策を立てる。そしてセンターの古典は王朝文学の恋愛ものか江戸時代の軽い文章が多くった。ところが、今回は傾向がガラッと変わった。
軍記ものという初めてのジャンルだった。

私は古典は満点だったが、軍記ものは学校でもあまりやらないし、扱いが難しい。

どんなジャンルでもやれるのが実力というのも一つの見識でしょう。でも何か今までの過去問を頑張って研究していた子たちがかわいそうに思うのは私がまだ若いのか？（・_・）

逆に現代文でも軽いタブー破りが。

現代文では有名作品を使わないといつ暗黙の合意があるのに国語の問題集には必ず入っている大阪大学長の鷺田清一の文章が出てきました。

そうするとこれは差がつかなくて、やっぱり勉強している子に不利になる可能性が高い。

受験なんかたいしたことじやないと言つても、受験生はそれにかけているので、難しいです。

あまり勉強してないのに出来たと喜んでいる子もいるだろうし、勉強したのに、出来なかつたという子もいるだろう。そういう不条理自体が生きることと学んでくれるといいんだけど、なかなかそんな悟りの境地には達せられないし。 (· · ·)

私も大賢者のX先生に喝を入れてもらいました。

「何か慢心があつたんとちやうの？」
「ギクツ！（ - 一 - ; ）」
「流れに任せなあかんの」
「生徒を気遣つたるだけあんたは偉い」
「挫折を知ることは大事なの」

(トロト)

美術館巡り～名古屋ボストン美術館

名古屋ボストン美術館に久しぶりに行きました。

一階のカフェに寄つたんだけど、メニューが減つていて、世知辛いわ〜。プリンとトアルコトラジャのコーヒー頼みたかったのに。

さて、名古屋ボストン美術館の今の展示は「錦絵の黄金時代」展。浮世絵です。

主に鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽中心の展示。

[写楽作品をまとめて観られるチャンスは少なく印象的でした。

近現代以前の日本人は理想主義の美意識を持つて、あるがままというより理想的な美を描いたのに対して写楽は美も醜もあるがままに描いているため世界三大肖像画家とされています。

私は正直などこる、写楽は上手いとは思うけど、苦手です。
歌麿のような理想的美の方がいい。

あと最後のセクションで他の浮世絵師たちをまとめて展示している中で私の大好きな鳥文斎栄之の作品がいくつありました。栄之は歌麿に匹敵する美人画の巨匠ですが優れた作品は外国に明治時代に流出しており、歌麿に比べて日本人からは忘れ去られています。

今回の展示はボストン美術館のコレクションです。（・・・）

Kくん「ところで『京都・背徳の夜』のはやみが自分を理想化してスケッチブックに描いていたんですよ。可愛い女の子に囲まれてハーレムになっている絵で」

みんな「ギャーハハ！」

あつちやん「そういう子が偉い画家になるかも知れないじゃないですか！（・・）」

夢「え～、でも多分、なんないよね～」
Kくん「なんないっすー！」

あつちやん「（・・・・）」

間違い言葉辞典～変奏曲～

灰黄の枝を広ぐる林見ゆほろびんとする愛恋 一つ（岡井隆）

今回は一つ一つの間違い言葉の指摘ではなく、ちょっと違つ次元のことを感じつと思ひます。

すでに「存知の方も多いかもしませんが、幕末から近代に日本は歐米からいろいろな知識を導入しました。

そしてそれを日本に定着させるため儒教や仏教の經典の中からいろいろな言葉を調べて、新しい言葉をたくさん作りました。

その最大のヒット作と言えるのはやはり「愛」という北村透谷の作った言葉。これほどまでに今や普遍的といつ顔をしている新語はないんじゃないかな?と思います。

「百人一首」をパーと全部見ていつも「恋」「思ひ」という言葉はたくさん使われていますが「愛する」という言い回しが出て来ません。

自分が知ってる限り、古典で「愛」という言葉が出てくるのは「源氏物語」でお経の一節として出でてくるところで、その時の「愛」というのは今の「愛欲」という言い回しなんかに名残があるネガティブな意味合いでです。

もちろん古代から江戸にかけても豊かな恋愛感情はあり、現代よりはるかに豊かなボキャブラリーがありました。

しかし「愛」という言葉は明治に発明されるのを待たないといけま

せん。（直江兼続が愛という字の兜を使っていたのは現代人が思っている意味ではなく、不良が悪い言葉を使う類いだったと思われる。）

それで、ここからが言いたいことです。が歴史小説を書く場合は明治時代に作られた言葉が混じらないように慎重に書いてあるかで作者の見識や力量がよく分かります。そういうことを哲學的な考察などで高めた作品は例えば山田正紀の「天正マクベス」があります。

逆にアイドルが出ている時代劇などはめちゃくちゃです。

しかし、それがダメという訳ではなく、書いている人が一種のファンタジーとわきまえていればかまわないと思います。
私が書いた歴史小説もそういう一種の歴史ファンタジーだと思っています。

一種のおどぎ話をまたお届けしたいです。（^_^）

ぴいえす・愛知、愛媛などは当て字なので、「愛」という字が奈良時代からありますが、今の意味はありません。

それを書き忘れていました。

「白いリボン」

観ました。映画ファンの期待の高かつた2009年のカンヌ映画祭優勝作品です。

観終わった感想を書くのですが一切のネタバレ「めんのお方はスルーで。

正直なところ、映画の紹介記事などからオチを予想していたのですが、その通りでした。

だからといってダメではないのです。

むしろ歐米文学のスタンダードを踏まえて、非常に優れた作品になつていました。

ただ心理ミステリとして観た日本人が多いと思われるけど、自分はそういう路線の新鮮さは感じなかつた。

作品名を挙げるだけでネタバレになりますが、ミステリの古典にある内容です。

ただ、その描き方が今までになく秀逸でした。監督はオーストリアのミヒヤエル・ハネケですが、すごい作品だった。

この作品がいいと思われた方には「ファーニャー」跟「ピアニスト」もおすすめです。

ただ（という書き出しがかり（ - - - - ））、ハネケの作品はオバケとかは出て来ないのですが、人間が一番怖いという意味のホラー映画に近いです。

サイコ・ホラー、サイコ・サスペンスとして監督が作ったつもりなら日本やハリウッドのホラー映画よりずっとリアルで怖いです。ハネケが「ファーネーム」で世界的に知られた時、カンヌ映画祭の観客で途中、気分が悪くなったり、激怒して帰つていく人が多かつたですが、「白いリボン」も相当の精神力がないと逃げたくなると思う。

ただ、人間の惡の部分や醜さを徹底的に描き、そういう分野やホラーリーに興味がある人なら是非、観た方がいいと思う。

バカッフルだと思うけど、一組だけカッフルがいました。でもデートでは絶対NGだと思う。何の救いもないもん。

個人的にはミヒヤエル・ハネケの精神力の強さにびっくりしました。普通カンヌ映画祭のグランプリや最優秀監督賞を何度も受けたり、栄誉を手に入れたら、人間が丸くなりそうだけど、ならない。その心のねじけぶりは狂人と言つていいでしょう。

フランソワ・オゾン、ラース・フォン・トリアーと並ぶ映画界三大狂人にミヒヤエル・ハネケを認定します！（*ー*）

（今回、あまりネタバレせずにハネケ映画の怖さを書けたか自信ない。ネタバレで本格的に書き直そつかな？）

初恋の再会

最近、いろんな名作が新訳されている。その中、私の青春？の愛読書「トニオ・クレエゲル」、「ヴュネツィアに死す」、「マリオと魔術師」などの新訳が出たので早速購入して読んだのだが、衝撃を受けた。

特に「トニオ・クレエゲル」には人生規模で影響を受けている。文学観の面などでも。

しかし、それが悪い」ととも思わない。

それほど圧倒的な傑作に出会い、魅力され、そういう読書体験を持つことは幸福だと思う。

今の時代に合っているのかな?と思うが、訳がイカしている。

「誰よりも深く愛してしまった者は敗者であり、苦しまなければならぬ」(トニオ14歳。(・・・)ちなみに愛したのは金髪の美少年ハンス(・・・)(・・・))

「文学は天職なんかじゃない。呪いなんだよ」

「僕は人生を愛している。これはいわば告白だ」

「僕が愛しているのは明るく陽気で生き生きとして幸せな、愛すべき平凡な人たちなのだ」

「ここには憧れと憂鬱な羨望とほんの少しの軽蔑との上なく清らかな幸福感があるのだから

すごいな。オールドマスターーズは。

三島由紀夫、吉行淳之介、北杜夫、辻邦生らはトーマス・マンを熱狂的に読み、影響下に置かれた。偉大な文学とはそういう尊敬のエネルギーである。

そういうものがない人は氣の毒に思う。

新訳はまた新しい可能性も気づかせてくれる。

「ヴェネツィアに死す」はルキノ・ヴィスコンティの映画化作品の影響もあり、私は主人公アッシェンバッハの一人相撲の悲劇と思っていたが、新訳で読むとアッシェンバッハが恋する美少年タッジオの死も暗示されており、死の世界で二人が結びつく幻想的なロマンスの可能性も感じられた。

新訳、はまりそう。「嵐が丘」、シュペルヴィエールなんかもちよつと読みたい。

試写会「ザ・タウン」

「ザ・タウン」試写会で拝見しました。名古屋のトレーディングカードのJ招待です。ありがとうございました。

「ザ・タウン」アカデミー賞の前哨戦の映画祭や賞で好評なので、観る」としました。

監督・主演・脚本はベン・アフレック。

「パールハーバー」や「アルマゲドン」といったB級作品で有名かつ顔でかく、足短いベン・アフレックは一流の監督に使ってもらえるはずもなく、ならば監督も脚本も自分で！という雑草魂！（Ｔ）

最低監督賞、最低主演男優賞の常連です。

ところが今回の「ザ・タウン」はどうしたのか?すばらしい傑作!魂が震える!

この章を載せた何分か後にはアカデミー賞のノミネートが発表されますが作品賞と助演男優賞はかたいのでは？

監督賞と主演男優賞もいけるかも。

犯罪ドラマの久々の大成功作品です。

中で幸せや愛を探す若者たちの苦悩や絶望が家族への愛とからめて描かれ、秀逸！

そしてギャングの若者たちと警察の戦闘シーンも素晴らしい、アクション映画としても人間ドラマとしても楽しめます。カップルで観てもどちらも満足出来そう。

ストーリーは是非、観て欲しいのですが、三人の俳優に夢野は注目！ まずベン・アフレックが主演なのですが、親友でより粗暴なチンピラ役のジョレミー・レナーの演技が完全に主役を食っていた。悪の哀しみや怒りを表現していく、目が離せなかった。

またアカデミー賞常連の大御所クリス・クーパーが1シーンだけ出てくるのですが圧倒的な演技力で作品を引き締めており、流石っ！ 美事！

そして名優ピート・ポスルスウェイトの遺作にこれはなっているのですが、彼も素晴らしい存在感。

ところで私はよく泣くのですが、今田は戦闘シーンに夢中になつて泣くタイミングを逃してしまいました。

周りの人気が泣いてるとけつこう醒めちゃう。（・・・・）

来週末全国公開ですがおすすめ。

犯罪アクションであり、愛のドラマです！（・・・・）

のんちゃん「俺、最近、気づいたんすけど、夢ちゃんってけっこつ
悪人じゃないですか？」

みんな「だーー（トロト）そんなのみんなずっと前から知ってるよ
ーー」

ヨーロ「あたし、最初に会った時から悪人って見抜いてたよ
カズマ「夢ちゃんはヒツジの皮をかぶった狼だよ。（・・・）」

夢「（・・・）」

のんちゃん「（トロト）みんなが心配で・・・とかX先生に相談し
ながら、いつの間にか自分の歌や小説の宣伝になっていたり・・・」

夢「（・・・#）」

のんちゃん「けつこう生徒をあおって戦わせてたり・・・」

夢「（・・・）」

のんちゃん「頑固なんだけど、けつこう生徒に命わせて口口口口口
う」とが変わつたり土壇場で裏切りそうですね！」

夢「あつーそれって峰不二子みたいな小悪魔的な魅力があるつてこ
と？（^○^）」

靡け」の山先生「（^__^・峰不二子は可愛いから許されますけ
どね・・・」

夢「（・・・）逆接で言こわすのはどうしてなんですかー？」
みんな「（・・・）」

長州の美男の血

ゆづ子「あたし、カズマよりあつちゃんの方がカッコいいと思つ。勉強も出来るし、水泳部のキャプテンもやってたし」

夢「あつちゃんは性格はへそ曲がりですが顔はいいですかね」

靡けこの山先生「○(×・×)○あつちゃんは先祖が長州出身ですからね。長州の美男の血が流れているんですよ」

久々の出番の先輩「長州の美男の血なんて聞いたことないですよ!菅直人、安倍晋三、伊藤博文、あとロンブーの淳。みんな長州(今)の山口県)出身ですよー。どこが美男子ですかー?」

靡けこの山先生「f(^__^;)」
夢「(ーーーーー)」

美術館巡り～名古屋市美術館

まだやつている美術展ですが名古屋市美術館でポーラ美術館のコレクションを観ました。

日本人が好む近現代のフランスの作品のコレクションでした。いわゆる印象派の作品とエコールドパリの作品で構成されています。印象派は浮世絵に強い影響を受けているため、日本人が観やすいのです。

またエコールドパリはパリ中心に起きた芸術の運動で日本人も参加し、運動に影響を与えていたので、やはり観やすいのです。

私が観て印象的だったのはピカソとステチン。美しいという訳ではないのですが魅力やエネルギーを感じます。

美しいな、豊かだな、という感じはやはりモネとルノワールに感じます。

一階と二階が企画展で地下は名古屋市美術館のコレクションが展示されていましたが、それがまたよかったです。

前衛芸術のオブジェがけつこうつあつて。

どうしてそういうものが人に感動を与えるのか、謎です。謎を解くため、美術館を巡っています。

先輩「ピカソの絵なんか観るからKくんを好きになるんですよ。ブフフ」

佐野元春LIVE

今日、佐野元春さんのLIVEに行きましたー泣いたーすげくよかつた～！

佐野元春さんは去年がデビュー30周年で3つのツアーをやつていたのですが、最後の大都市ツアー、名古屋公演に行きました！

最初のツアーはポエトリーーリーデイニングと書いて、音楽に合わせ、詩を朗読するもの。

第2のツアーはライブハウスを回るもの。

両方行きたかったのですが、仕事が忙しく、残念ながら行けなかったのです。

今日のLIVEは佐野元春さんの名曲づくしのすばらしく充実したLIVEでした。

ほとんどの曲がよく覚えている名曲ばかり。

今日、改めて思つたけど佐野元春さんの曲は歌詞とメロディが完璧なまでに素晴らしい。演奏も素晴らしい。歌唱は日本人の基準ではちょっと独特の歌唱ですがポエトリーーリーデイニング的な要素が何かある。私は大好きです。

デビュー30周年記念のセルフカバーアルバム「月と専制君主」の中からの「ジユジユ」「レインガール」に泣いたやつた。

そして後半へのブリッジとして「トイレの神様」より長い大曲「ロックンロールナイト」号泣－この歌は日本のロックの歴史をこの歌以前、以後に分けられるような名曲です！

そして異様なまでのグルーヴ感で「約束の橋」「サムデイ」「アンジエリーナ」「悲しきレイディオ」「レインボーアイソウル」「ヤングフォーエバー」を聴き、もう興奮してスタンディング！

私も佐野元春さんもヤングフォーエバー！（o - -）b

生あるつ何だりづへ.

今から書くことをどう皆様が思われるか分からぬ。だが、書く。

今、受験シーズンに突入し、私もまた少し忙しくなつてきた。

ただ受験生は学校に行かなくなるので、予備校の授業は毎になり、私も普通のサラリーマンみたいに夜は少しのんびりしている。

受験じときでくじけちゃいけないが、けつこうみんな苦しんでいる。

世の中の幸福や不幸は誰にでもあるんぢやないかな?と思つ。だから他人をねたんだりせず、この人にも何か苦しみがあるのかもとう優しさを持ちたい。

例えは、私の教えている子は比較的恵まれた子が多いが、実は昔担任していた子のお母様が癌で亡くなつてしまつた。そうしたらその子は生活などは何の苦労もないけど幸せと言えるだろうか?

私や生徒たちに出来ることはその子の気持ちに寄り添つことだけである。

今、いろんな苦しみを抱えている人がいるけど、他者の苦しみを想像出来ることが大事だし、それが世直しの第一歩ではないだろうか?

ヤングフォーエバー

先日、靡けこの山先生と千種のボアドヴァンサンヌに行ひました
から千種の正文館に行きましたと誘われました。

靡けこの山先生は私のコメンド、どんどん本を買って行きます。

トーマス・マンの「トニオ・クレエゲル」の新訳。

シュペルヴィエールの「海の上の少女」の新訳。

著者不詳「ハプスブルグ帝国」

三浦哲郎先生「忍ぶ川」「白夜を旅する者」

サマセイツ・モームの「月とペンス」の新訳。

お買い物の後は珈琲を飲みながら、談論風発！

サマセット・モームがイギリスのスペイをやつていたこと。

私の先生がホモだったこと。

小説を書きたいが、気が立つてるので、なかなか書けない」と。
でも私は多分、書きたいことは一生分あるからある意味幸せ。

私も刺激されて本を買ってしまいました。（――）

神野志隆光先生の「万葉集鑑賞事典」

兵藤裕己先生の「王権と物語」
お二人は私の大学の先生。

竹西寛子先生の「詩歌断章」

講談社学術文庫の「建礼門院右京大夫集」

角川ソフィア文庫「芭蕉全句集」

大人買い？（＊－＊）

ショウヘイの手紙？

お母さん、今は学校は自由登校になり、予備校に来てくれる子も多いです。（。・・）b

マイティ先生「僕はね、今、KARAの真ん中の子と一番右の子が好きなんですよ！ギャーハハハ！」

夢「お尻が売りがKARA、足が売りが少女時代、私が好きなのは胸！ギャーハハハ！」

僕「（ - - - ）」

マイティ先生「KARAと少女時代、合併すればいいの？」

マサキ「俺は板野友美が好きです。（ ^ q ^ ）」
カズマ「俺は堀北真希が好きです。（ ^ q ^ ）」

のんちゃん「俺は橋本愛（「告白」に出てた子）が好きです！」
ケンゴ「俺、外人が好き！」

夢「馬鹿も～ん！市橋達也と一緒にしないか一姫だー（ 、 ）

僕「（ - - - ）」（外人好きってけつこう潛在的にいると思つかない…）

夢「ゴージローはびつ？」

ゴージロー「朝吹真理子きれい・・・

みんな「（ - - - ）」

お母さん、朝吹真理子がきれいと思った人はMらしいです。僕は僕
は。（T.O.T）

試写会「ヒアアフター」

クリント・イーストウッドの新しい作品「ヒアアフター」試写会で拝見しました。メーテレさんの「」招待です。

すごいいい作品だったのにエンドロールと同時に「分からなかつた」と帰っていく観客が圧倒的に多くて、残念でした。（Ｔ○Ｔ）

このサイトもそうかもしれませんが「分かりやすく」表現したものしか最近の日本人は分からなくなっているようですが、本当に素晴らしい作品は見る人も相当集中力や理解力がないと楽しめない場合があります。

その辺りで媚びたり、妥協したりしないクリント・イーストウッドはすごいと思いました。

そんなにどんどん返しある作品ではないのですが、少し内容に触れながら論評していきます。ネタバレ御免の方はこここまでで。

作品は実は3つの映画を作れる3つのストーリーを美事に絡めながら展開します。

舞台もアメリカ、イギリス、フランスと3つに分かれています。

マット・デイモン

アメリカ・ある霊能力のある青年の苦悩を描きながら、マイノリティの苦しみや差別、人間の弱さなどが描かれるパート。

マット・デイモンはジニー大西にそつくり。（- - - - -）

それなのにマット・デイモンはアメリカでは絶大な人気を誇ります。ルックスより才能重視のアメリカ人。（- - - - -）

イギリス・ある双子の兄弟の片方が事故で亡くなってしまい、生き残った方の孤独と家族愛が描かれます。このパートには流石イーストウッドとうならされる大仕掛けがあるので、特に注意して観て欲しいです。

煽るような撮り方じやないところが素晴らしい。

しかしそこで素人はふるい落とされてしまうので、残念です。

しかし映画をある程度観慣れている人ならイギリスのパートの大仕掛けで作品の意図が理解出来て、感動の涙があふれて止まらなくなるでしょう。

フランス・私が一番好きなパート。

傑作「チエンジリング」で女性を主人公にするのに成功したイーストウッドはフランスのパートであるフランス人女性ジャーナリストの女としての苦悩を描きます。

恋と仕事。そして彼女は歴史的大事件に巻き込まれ、人生が変わっていきます。

この3つのパートがくるくる入れ替わって描かれ、あっ！と思つ手

法で交錯します。

その時、いろんな伏線が一氣につながり、涙があふれて止まらなくなります。

3つのパートの主人公たちはもちろんもつ一つのテーマ、現代の世界といふ隠しテーマが見えてきます。

もしじご覧になる方がおいででしたら3つのパートご気をつけてご覧下さい。

今年もイーストウッドが年間ベストワン争いの中心にならうそうです。

大凶の昨日

昨日はたいへんな一日だった。（；ー；）

花粉症の薬を昨日から飲み出すため、病院に行つたのだが、神経痛を診てもらった時の血液検査の結果が出た。

糖尿病や痛風など怖い病気ではなかつ のだが、血液の中のコレステロールが高く、薬を服用することをすすめられた。（Ｔ〇Ｔ）

去年、秋に簡単な手術をして、回復させるため栄養をとっていたのが行き過ぎだつた。（Ｔ〇Ｔ）

実は以前もコレステロールが高くなつて自力でやせて改善したことがあるので、今回も1ヶ月の猶予をもらい、また改善することにした。（副作用のない薬ですよと言われたけど、やはり服用しない方がいいと思う。）

まあ、食事と運動に気をつけて、治していく。

甘いもの、油っこいもの、炭水化物、チーズ、牛乳、卵、お豆腐などは控えないといけない。

何を食べればいいんだ？（－－－#）

その病院の後、温泉に入りに行つたのだが、着替えの時にケータイを落として壊してしまった。

温泉はショッピングセンターの中にあるので、すぐケータイショッピに行つたが、あいにく免許証などを持つていなかつたので、買い換えることが出来ず、レンタルケータイを借りたのである。

そして遅刻しそうになりながら、試写会に行つた。

レンタルケータイで一つエッセーを書きたかつたけど、流石に難しかつた。そして今日、やっと新しいケータイをゲットした。

ケータイが新しくなつたので、一部の顔文字などが使えなくなるかもしれませんのが、いろいろ模索しながらやつていきます。

間違い言葉事典？

「んばんは。久々に。」

?「ひつひ

「夢かうつつか幻か」という言ご回しから「ひつひ」は夢や幻の仲間と思つてゐる人がいる。しかし「ひつひ」は「現実」という意味の古語である。

「ひつせみ」は現実に生きてこむの体のことである。

斎藤茂吉の歌で「みそ汁は尊かりけりつせみの命の限り飲まむと思へば」は現実に生きてこむ限りとこの意味である。

私も斎藤茂吉と同じでおみそ汁や麺類のスープは必ず飲んでいたのだが。（トロト）

?「氣のおけない

これは先にお断りしておぐと今は「氣がおける」という言ご回しと共に存している。誤用が一つの意味と認められた例である。

しかし本家本元は「氣のおけない」の方で、「氣をつかおつと思つてもつかえない。それぐらい親しい」という意味である。しかし、言葉に否定形が含まれているので、何となく「氣がおける」という

言ひ回しも伝まつたのだろう。

?今こそ別れめ

最後に卒業式によく歌われる「仰げば尊し」の「今こそ別れめ」は別れ目ではない。「今こそ別れむ」というのが古典文法の係り結びという現象を起こしているのである。

いじは古典文法の初步を理解しているかのバロメータになる。

「今こそが別れる時だ!」ではなく「あ別れましょ!新しい道にそれぞれ行きましょ!」という前向きな希望を歌っているのである。

最後に釈超空（ガーン・ちゅうの正しき字が出ない!）の歌を書いておく。

「桜の花散り散りにしも別れゆく遠き一人に君もなりなむ
(しかし私の生徒、来月卒業出来るのか? (- - -) 卒業出来なかつたらちちまわしてやる! (- -)
ちちまわす・・・大分弁で「ぶん殴る」の意。

生きていく私

タイトルは宇野千代さんから。

近況報告です。

今年は受験生が多く、あまり暇にならないです。

私が教える子が受けるのは京大、早稲田、名古屋大、などです。生徒に教えるため、もちろん自分自身も問題を解きますが、一流大学の問題は文学的に素晴らしい作品が多いです。勉強して文学を味わい、お給料がもらえるとはありがたいです。

例えば野上弥生子（夏目漱石の弟子、100歳まで生き、文化勲章受賞）が息子（京大名誉教授）に出した手紙。ものすごい知識や主張が含まれている。（・・・）

(一〇一) べつべつと破つて捨ててやる。」

のんちゃん「母性がないですね。」(トニー)

夢「でも野上弥生子って80ぐらいの時、哲学者の田辺元とす」
恋したんだよ。いくつになつても恋出来るんですよ。（<O>）」

Kくん「あっ、何かカッコいい！」

他にも寺田寅彦や岡本綺堂、柳宗悦、高村光太郎、西田幾多郎、日野啓三などいろんな人の名文を楽しんでいる。

また古文や漢文も楽しんでいる。

古典というものには現代にも通じる知恵があるし、現代文学に負けないロマンもある。

愛に滅んだ女詩人魚玄機、曹操の詩、江戸時代の隨筆など面白い面白い。

そして休憩時間は珈琲を楽しみながら先生同士で文学談義に花が咲く。

僕たちみんなヤングフォーエバー！

カフェを訪ねて三千里

私は仕事の休憩時間などはよくカフェに行く。
私のおすすめカフェをいくつか書いておく。

?ボワドヴァンサンヌ

千種という学生街のカフェだが高級な豆を使っており、ちょっと高いので、学生がおらず、私や磨けこの山先生のたまり場?になっている。 (- - -)

二人が大いに語りあつてることが多い。
また私が一人で原稿などを書いている場合も多い。

店内は照明抑え目でシックで大人っぽい雰囲気である。

?タイガーカフェ

名古屋の繁華街、伏見にあるカフェ。
ヴァンサンヌとは対照的に外光たっぷり。フランスやスペインのカフェを意識しており、店の造り、店員の服装や態度などヨーロピアンな感じ。窓際の席は夏はオープンになる。

おすすめはヨーロピアンなエスプレッソ。

スイーツやフードも充実している。

私のおすすめはビーフシチュー。

?為三郎記念館

本当の隠れ家カフェ。古川美術館の分館為三郎記念館でお茶が飲める。

和風の抹茶とお菓子が楽しめる。

先日、言つた時は抹茶、そば茶、おまんじゅう、梅あられがセツトになつていた。

あつ、でも、カフェやスイーツも控えなきやいけないのか？（Ｔｏ
Ｔ）

どうしよう？

遅めの新年会

昨日、遅めの新年会がありました。

実はマサキがある大学の一^次試験に合格したので、休みがつぶれて、新年会もパスしようかと思ったのですが・・・

しかも、居酒屋さんとかでマツトホームにやるのかと思つたらグラントコートホテルの30階の展望レストランでの会食に。

服もいつも教室にいる時の普通のワイシャツにパーグラムマーケットのネクタイ、黒いカーティガンドヨー（Ｔ・Ｏ・Ｔ）

ま、いいや、黙つてシャンパン飲んでればいいだろ、私のような雑魚に关心を持つ者もいないだろ、と腹をくくつて出席。

何か予備校のオーナーまで、來てる。（Ｔ・Ｏ・Ｔ）

シャンパンでカンパ－イ！

オーナー「夢野くん、君の卒業論文のテーマは何だね？」（私の一番苦手な質問！）

夢「あの、『源氏物語』の朝顔姫です」
オーナー「ほほつ」

うーー、シャンパン♪♪♪。卒業論文のことなんか聞くなよー。(T.O.T)

マイティ先生がシャンパンを飲んでいたの

夢「お四じ上りにならないんですか?」

マイティ先生「僕、お酒飲めないの」

夢「じゃ、私もこまよ」

ベトランの国語の先生「わしがもうおつとじしたのこ

ソムリエ「すぐおかわりをお持ちしますので、大丈夫ですよ

料理は

グラタン風ムース

フォワグラのパイ包み焼き

パンとクラムチャウダー

真鯛のポワレ

シャーベット

ビーフステーキ

デザートプレートと珈琲

夢「〇〇先生は数学と物理と生物が出来るんですか…？すこいですね～！」（ギャpie！何でこんな媚びてしまつんだ…？自分が憎い！）（トート）

夢「先生は柔道黒帯なんですか？」

先生「もちろんです！」

（やうやくして何だよー。）（トート）「わやーーまたシャンパン飲んじゃう…」

オーナー「夢野くん、今年の抱負を語ってくれたまえ」

夢「あ、えと、今年も頑張ります」

みんな（えつ、それだけ？）

自分は太宰治の「斜陽」のお母様の精神で何とか会食を乗り切る！

礼法にこだわらず、食事を楽しむ！

何とか無事に会食が終わり、私は地下鉄へ。

生物の先生が

「フォワグラって初めて食べましたわ」

夢「あらつー！」

生物の先生「僕は吉野家の牛丼の方が好きですわ」

夢「（トロト）」

（料理とお酒は美味しかったですよ。会食は苦手です。）

カズマ曰記？

一応、受験シーズンなので、自習室などにみんなが遅くまではいます。

「あれつ？」

高一のKくんが何故か、自習室に。

「Kくん、どうしたの？」

「酒飲んだことが父ちゃんと母ちゃんにバレると。証拠隠滅したのに。（トト）弟かばあちゃんがチクった。よつて家に帰れん。（トト）」

困ったな。自由じじい（夢野）に相談しても「酒ぐらいいいんですよ。そうだ！健康ランドで話し合いましょ……」とかなりそうだし。（・・・・）

「うち、来る？」

「助かるっす！（トト）」

Kさんは俺の部屋でアドアをやつたりしていました。

明け方

「あつー父ちゃんのメールや。『まあ酒ぐらこええやひ。急性アルコール中毒だけ気をつけろ』よかつたー、家帰つて、学校行こー！」

「よかつたね」

その3日後、Kくんは新型インフルエンザで倒れてしましました。

「大丈夫？」 (メールで)

「きちいです。でも父ちゃんがタミフルの他にマムシやスッポン、鹿の角など飲ませてくれたので、大丈夫です」

Kくんのパパはお医者さん。

父と子の絆を見た。

夢「今回、私は出番ないんだけどーー（ 、 、 ）」

ホタルノヒカリ

間違い言葉辞典の変奏曲なのですが、卒業シーズンの一大名曲「蛍の光」「仰げば尊し」の二つは歌詞が古語のため、いろんな間違いが横行していると靡けこの山先生などが教えて下さった。

例えば「かたみに思ふ千萬の」の「かたみ」は「形見、遺品」ではなく、「互いに」という意味の古語である。^{むかしの日本では、死んでしまった人の形見や遺品を、生き残った家族が受け取ることで、死んだ人の魂をもたらす魔除けとしていた。死んでしまった人の形見や遺品を、生き残った家族が受け取ることで、死んだ人の魂をもたらす魔除けとしていた。}

また「仰げば尊し」の「思へば」と「し」というとこり、「愛おしい」と空耳で聞いている人がいる。これは漢字で書くと「いと疾し」となり「すぐ速い」という意味である。

少し次元が変わるが、この一曲は外国の曲といふこともあまり知らない人が増えてきた。

「蛍の光」はアイルランドの曲。

「仰げば尊し」は長らく作曲者不明だったが、アメリカで楽譜が見つかって先週コースになつたのは記憶に新しい。

ちょっとした曲などにも学びのヒントがあふれている。

しかし、私は不徳のいたすところにより一曲を歌ってくれる素直な
真面目な生徒を育てられなかつた。（――#）

ありがとう

ありがとう。

今日、マサキが合格した。三浪の苦しい生活、勉強の果て、やつと合格をつかみとった。ありがとう。私が必死に励まして慰めて勉強させようとする言葉を信じて、頑張ってくれてありがとう。泣きたいぐらいうれしいよ。自分も。

4月からはふるさとを離れて、一人で大学で勉強をしていくんだけど、そのたいへんさやさみしさのその先にマサキはまた大切なものを次々とつかんでいく。今回の成功の喜びを忘れず、頑張つていって。学歴が大事なんじゃなくて、こうやって頑張つてやり遂げたことが大事なんだよ。こうやって書いて先生も何故か涙が出てくる。

人一倍優しくて、真面目で、ハンサムで、そんなマサキは今までの悔しさや痛みも他人への優しさに変えられるからね。

マサキの前には未来が広がつていて、たくさんの友達や、大切な恋人が待っていると思うけど、マサキのこの一年を支えたショタおじさんのこととは忘れて、新しい世界で思いっきり活躍してね。

ありがとう。マサキは先生にたくさん幸せや思い出をくれたんだよ。ありがとう・・・大好きだよ。

爆弾発言—浮氣（、　、　）

すこません。浮氣していました。（・・・）

「小説家になろう」をやれなかつた時期、mixiをひょりとひつていました。

と書つても私の場合、出逢いみたいな使い方はしていません。

いろいろ「エーモンサー」、映画のことを書くのですが、このサイトに書くほど詳しいことは書けないものです。しかしそれでもけつこう関心を持って下さつた方と友達になり、ちょっとしたゲームを始め、何かはまつてしまいました。

特にこはまつてているのは「星空バータウン」というバーを経営するゲームです。

内装を青い薔薇にしたり夢野ワールド全開です。水晶占いも出来ます。

それはそれとしてmixiのゲームは他愛ないものが多いです。バーのゲームはただ友達のバーに行つてお酒を飲むだけだし。（もちろん仮想空間内で）

でも「こはまつ」のサイトにやつて来られない時、寝る前にこはまつとバーのゲームをやってここに最近の殺伐として忙しい日々を過ぐしていくま

した。

あとひょっとで全ての入試が終わりますが頑張って走ります！

美術館巡り～堂本印象展

土曜日は生徒が早稲田大学を受験しに行つていたのですが、少しだけ時間があり、松坂屋美術館に堂本印象展を観に行きました。

先週全然更新出来なかつたのは早稲田大学対策をやつていたのです。

さて、堂本印象展ですが、素晴らしいです。

堂本印象は日本の近代美術が興つてくる時から活躍した巨匠で、今回は京都の堂本印象美術館のコレクション展を名古屋で展示していました。

堂本印象の絵は色彩とタッチ、またテーマの選び方に独特の感性があり、例えはある美術館のコレクション展に混じっていても、遠くから（あつー堂本印象の絵だ！）と分かる強い個性があります。

それが集まるところをくらいいかと思つたのですが、全然そんな風にならず、いい意味で独特的な世界観が確立されていました。

特に素晴らしいと感動したのは、第二次大戦の敗戦後、既存の芸術のあり方に強い疑問を持ち、すでにかなりの巨匠だったのに日本画と前衛的な抽象画の融合に挑戦し、成功させていたことです。

私はこいつ成功にあぐらをかかず新しいことに挑戦し続ける人が好きです。そういう強い魂が好きです。

大いに勇気づけられました！

「80年代ボーカル」を読んで

私はこのサイトでトキイチロ先生の「80年代ボーカル」をありがたく拝読し、連載を楽しみにしています。

先週、すごく忙しい時だったので、レスポンスが遅れましたが、ファミコンのことが書いてあり、非常に懐かしく記憶が刺激されました。感想に書ききれない感慨があるので、エッセーの方にちょっと書くことにいたしました。

だいたいトキイチロ先生は非常に記憶が精細で私はいつも舌を卷いているのです。

ファミコンについての回を是非読んでから、私が今から書くことを読んで下さるとありがたいです。

私がうなつたのが80年代の新しく出てくる風物を描きながら、同時に失われかけている日本の光景（田舎の山水とかでなく、人々の風景など）をトキイチロ先生がしつかり描いていらっしゃるところです。

ファミコンの回で言うと初めてファミコンを買った家に人が集まるところ。

実は私の家は商店街にあつたため、商人特有の見栄や意地でいろ

んなものはわりかし早く買つており、ファミコンも実は買つた日を覚えているのです。

1984年7月20日。私の小一の誕生日でした。

その時は商店街の子だけでなく、比較的近くの街の子も来ていました。それを覚えていています。

ところが！私はトキイチロ先生のエッセーを読んでいると時代感覚の鋭さにもため息をつくのですが、私は幼稚かつ鈍くてファミコンの価値を最初はあまり分からなかつたのです。

最初に買つたソフトはパックマンとピンボールとあとタイトルが分からぬけどSFのシユーティングゲームでしたが、反射神経の鈍い私はその当時の素朴なゲームですらついていけず、誕生日は周りの子の熱狂の中、虚ろになつていきました。 (- - -)

ちなみに同じころ近所のお兄さんの家でマイケル・ジャクソンのPVを見せてもらつた時もピンと来なかつた自分。 (- - -)

SFのシユーティングゲームは二つ下の弟と母親がやるようになり、自分はザ・ベストテン、ひょきん族などを見、朝日小学生新聞の忍たま乱太郎や小学〇年生の少女マンガを読み、女の子と遊ぶ、という風になつていきました。(ちょっと脇道にそれますがそんな自分が変わつていて思つていたのですが、歌人穂村弘さんが私とすごく似た少年時代だつたとエッセーを書いてらして、それを読んだことがこのエッセー集を書くきっかけになりました。)

そんな自分が少しファミコンやゲームに目覚めたのはゲーム文化がだいぶ成熟してきてからでした。

何も資料もなく書いているので、発売時期とかはつきり分かりませんが私がはまつたと言えるほどやつたゲームは3つあります。

? ウィザードリイ

? ファイアーエムブレム
など「ヨーロイのゲーム」

? 信長の野望

多分、これだけで分かる人には分かる私の体质。（・・・・）

まずRPGというジャンルが出てきた時、自分にもやれそっと初めて思いましたが、生意気なことにドラクエやFFはピンと来ず、初めてゲームにはまつたのはウィザードリイに出会ってでした。ウィザードリイは今の若い子がやつたらびっくりすると思うけど、ほとんど画面に記号や数字が羅列してあるだけで、シンプルながら、奥が深いのです！あとモンスターのグラフィックがきれいだった。

ウィザードリイ熱は高校生ぐらいがピークでした。高二の時、ポケモンが出て、一応やつたけど、ウィザードリイのちょっと暗いけど、本格的な世界が好きでした。

またファイアーエムブレムは今でも覚えていますがファミコン版が出た時は難しくてびっくりした。（*ー*）

これはRPGとシミュレーションの合体です。しかし難しかった。ファミコン版はクリア出来なかった。

スーパーファミコンに移植されて操作性がよくなり、やつとクリア出来ました。

ファイアーエムブレムは何となくストーリーが好きでした。ちょっとピンボケの意見かも知れないですが恋愛ゲームみたいな感じもしました。

また信長の野望は大学生の時、古書店を巡っていて床に段ボール箱が置いてあり、その中の信長の野望を買いました。群雄伝でした。100円ぐらいだったと思います。パッケージも説明書もない投げ売りでした。

それは今でもやっています。（・・・）

信長の野望は歴史に基づくシミュレーションゲームで歴史を知つてないと面白さが増すので、好きです。

これもとつとめない話ですが、ニューЙークの同時テロの時、私は信長の野望をやつていて、少し気づくのが遅れました。（・・・）

何かファミコンの思い出を上手くまとめたのですが自分の偏愛を書いただけになってしましました。すいません。

ちなみに私は今もファミコンとスーパーファミコンを大事に持っています。それより新しいゲーム機は持つていません。

貴族の学問

先日のバレンタインデー、靡けこの山先生と教室のあるビルの地下街で珈琲を飲んでいた。するとチョコレートを一粒もらえたのはご愛嬌。

その時の靡けこの山先生のお話がすこく面白かったので、記録することにした。

靡けこの山先生は一番の「専門は数学である。エッセイストとしても活躍なさった京大の森毅先生のお弟子である。

そんな靡けこの山先生が「数学は貴族の学問」とおっしゃった。

数学は美しい真実だけで構成されており、実力がなければ理解することも出来ないし、中身を「まかすことも出来ない。政治力や徒党を組むことでモンストレーションを行つたり出来ない。金儲けや一山当てるなども出来ない。そういう厳しく美しい世界だから、数学は貴族の学問だとおっしゃるのである。

確かにその通りで私もかつてよそにしびれてしまった。

翻つて文学はどうかといつと、「まかしや政治力が横行する汚い世界である。

例えば芥川賞や直木賞の選考委員をやっている人で、ほとんど政治力だけで生き残っている人がいる。またベストセラー作家には作家、商売人としか言いようがない人がいる。

数学の真実は多数決で変えられない。「 $1 + 1 = 3$ 」に多数決で変えましょ!とは出来ない。

ところが文学は多数決や売れ行きで良し悪しが歪められたりする。

汚れた世界だが、私はバカなので、美しい数学の世界には行けず、文学の世界で切つたはつたの大騒動を続けていくのである。

先輩にも電話でその話をした。

「そうですよ！数学は心がきれいじゃないと出来ないんです。邪悪な雑念があると出来ないんです！」

夢「えへ、じゃあ私、出来ない（^○^）」

「そうですよ！私が『そんなことないですよ～（^○^）』とか言ひと思いましたか！？（、○、）」

夢「（ - - - #）」

「武士の家計簿」

去年のことになってしまったが、「はんライス先生が感想の中ですすめて下さった「武士の家計簿」を今日、観ました。キネマ旬報やブルーリボン賞でも高く評価されていました。

どんでん返しとかあるストーリーではない映画なのですが、一切の予備知識なしで観た方がよい方はこの先、遠慮下さい。

舞台は幕末の加賀藩、代々加賀藩の勘定の仕事をしている一家があり、主人公は堺雅人、奥さんは仲間由紀恵、お父さんが中村雅俊、お母さんが松坂慶子、ばあちゃんが草笛光子先生です。また仲間由紀恵の父役の西村雅彦さんが久々にコメディ的演技をしているところも楽しく、うれしい。

この一族の歴史を明治になつてから主人公の息子が語っているという設定です。
たいへん面白い作品で、感動も出来ます。

ここは私の日本文学、日本史研究から言えるのですが、この一家の年収は今のお金で言つと1000～2000万円ぐらいあるのです
が、まさに放漫な親世代のぜいたくで借金がいつの間にか膨れ上がつていたのです。

そこで堺雅人が大鉈をふるつて一家の暮らしを節約に切り替えるのが最大のクライマックスです。いろんなぜいたく品は売り払い、節約生活を始めます。

ただそこが暗い感じになつておらず「メディアッチ」になつている森田芳光監督の手腕はさすがつ！

実は観てみると意外と長い話で一家の生死まで描かれるのですが、そこが駆け足の氣がしたので、節約の話をもつと詳しく描くとよかつたかもしません。

お金がテーマの作品なんだけど、不器用にしか生きられない青年を家族が見守つているところが心に響いてきて、最後は感動の涙があふれて、止まりませんでした。

そういう個性が堺雅人というちょっとクセのある俳優で上手く強調されていました。

あと森田芳光監督は女優さんの魅力を引き出すのが上手いので、仲間由紀恵も私が観た中でベスト演技をしていました。

ただ、松坂慶子さんが節約生活をしていても太つているのは何故？
(- - -)

「最後の忠臣蔵」

杉田成道監督と書いて、作品が分かる人がいたら、けつこうテレビ好きである。人気シリーズ「北の国から」の監督である。

その監督の映画「最後の忠臣蔵」観ました。

うーむ。扱いが難しい。

素晴らしい作品、究極のラブストーリーと書いてよいかもしだせんが、ラストが気になる。優れた作品は作品として最後が納得出来ない。こういうのが一番扱いが難しい。

ちょっと内容にふれて論評します。

忠臣蔵、赤穂の47人の武士が殿の仇を討つため戦うのですが、今回は戦いが終わつたところからスタートします。

討ち入り前日に逃げた男を役所広司さん、男が仕える姫を桜庭ななみさんが演じています。実は姫は赤穂軍団のリーダー大石内蔵助の娘で、男は姫が成人して、結婚するまで、身を守り、育てる使命を負います。そして男、孫佐と姫、可音はかすかな恋心を隠しながら、大富豪茶屋四郎次郎との婚礼をすすめます。そして生き残った赤穂の侍が姫の婚礼に結集する感動のクライマックスになるのですが…。

作品全体に近松門左衛門の「曾根崎心中」の死のイメージが巧みに織り込まれ、（あつ、孫佐は姫が結婚したら切腹するつもりだ！）
ー）と気づいてしまい、やりきれなかったです。

そういう悲劇的な愛しかないという封建時代を描いているのかもしれないけど、自殺を美化しているような気もしてぎわぎわしました。

映像も美しいし、役者も素晴らしい。だからこそ、生きて欲しかった。
た。（；ー；）

若大将・島耕作

ショウくん「昨日、ラーメン屋さんで『課長・島耕作』っていうマンガ読んだら、面白かつたです！（^○^）」

夢「だーー！昔からマンガ界にある名作だよー！（T.O.T）課長・島耕作のモデルは加山雄三だよ！（本当。弘兼憲史先生がラジオでおっしゃつてた。）」

ショウくん「加山雄三って誰ですか？」

夢「ガーンー（*ー*）」

加山雄三。若大将。戦前の大スター上原謙と小桜葉子の間に生まれる。

映画「若大将」シリーズの大ヒットで国民的大スターとなる。また弾厚作のペンネームで自作を作詞作曲。日本のシンガーソングライターのパイオニアとなる。紅白歌合戦出場17回。そのうち司会3回。

大河ドラマ、黒澤明監督映画など出演多数。

大ヒット曲「君といつまでも」で日本レコード大賞特別賞受賞・・・

の大スターを知らない若者が！（T.O.T）

ショウくん「『課長・島耕作』って僕が生まれる前に描かれたマンガですもん！○(×××)○

夢「ギクッ！(・・・・)」

ショウくん「エッチな内容が多くつたです」

夢「バブル時代だったしね」

ショウくん「バブル時代ってどんな時代だったなんですか？」

夢「ギクッ！(・・・・)」

かなりのジョネレーションショングヤップが！

でも、穂村弘もバブルを知っているかどうかで作風が変わるものだ。

ショウくん「でも島耕作って、危機が起るとセックスで解決するんですけど、今、こんな奴いたらすぐリストラですよね！？」

夢「昭和に帰りたい・・・」

完走・みんなありがとう

今日、2010年度受験シーズンの仕事を終えました！明後日が国公立大学の試験で、今日、受験生への最後の授業をやつて、送り出しました。生徒は明後日が大舞台だけど、私は今日で一区切りです。たいへんな一年間でしたが完走することが出来ました。それは家族や友達、同僚の先生、事務所の方、そして生徒みんなのおかげで感謝の気持ちでいっぱいです。みんな本当にありがとうございます。頑張ってくださいました。必ずいい結果が出ると信じています。でもその結果以上に頑張ったことやみんなで過ごしたことが必ず未来の大切な宝物になります。

すくなく疲れているけど、満たされています。

ところが実は夕方に受験生を送り出し、夜には来年受験生になる子を教えていたんだな。（・・・）

まるで止まると倒れる自転車かサメのような人生。（*ー*）

でも新しい生徒とまた一年間走っていきます！

また新しい気持ちで小説、文学も頑張っていきます！書きかけの作品も完成させたいし、新しい作品も書きたいし、この

エッセーもいろいろ工夫したいです。

またいろんな勉強もしていきたいです。

後先が逆になりましたが、このサイトでお世話になつている皆様にも本当に助けられました。本当にありがとうございます。

これからもよろしくお願いします。

間違い言葉辞典？

間違い言葉辞典、再開！

？ 懲然

これは最近、新聞などで見かけたのだが、闇の権力者小沢一郎氏が強制起訴、党の処分などを受けて、「憲然」としていたとあった。これは誤用ではないか？

私は政治・経済についてはパークリンだから、小沢一郎氏の思想や能力については論評出来ない。しかしテレビなどで見ていると小沢一郎氏は非常に傲然としている。

そして自分の配下の議員を動かして菅総理を恫喝したり、閣僚経験者を動かして新党を作る計画を立てたりしている。

「憲然」というのは「落ち込んで沈んでいる様子」である。どこが憲然なのか？

多分、「憲然」という逆ギレ気味の言葉と勘違いしているのではないか？

確かに最近、人に叱られても反省するより逆ギレする愚か者が多い。だから「憲然」は怒りの意味と錯覚されたのだろう。

? 小春日和

最近、暖かくなってきた。しかしここでたさも中くらいなり花粉症。花粉が飛んでいます。

ちなみに小林一茶の信州（長野）では「中くらい」は「ちよっくれー」と発音し、実はかなり劣るという意味である。この辺り、信州に流罪にされた歌人・斎藤史の研究に依る。

ところで、暖かいので、「小春日和」ですね、と言つ人がいるが実は「小春日和」は秋の終わりから冬の始めにかけての言葉なのである。

また「時雨」というのも同じ時期に京都に降る雨である。他の季節は誤用である。

しかし、季節感の言葉は難しい。私は歌人もあるので、花なんかは若い女の子より詳しいが、季語の問題を学生にやらせると壊滅的である。

ところで出版界の風雲児角川春樹氏が最近、憂国俳句といつのを作つてゐるらしい。

「ハンカチや愛する國の滅びゆく」（春樹）

憂国俳句、即刻廃止してよしー。（—・#）

ゲームの思い出

ファミコンの思い出を最近、書いたことに触発されたのだが、ゲームの思い出を少し詳しく書いておこうと思つ。

第一回は「ファイヤーエムブレム」

私はファミコン版とスーパーファミコン版を手に入れた。マルスが主人公のものだけである。

このゲームはRPGとシミュレーションゲームのミックスで、一人一人のキャラクターを育て、その集合体の軍団を作り、敵の軍団を倒すのである。

そしてキャラクターには長所短所があり、例えば弓兵は竜騎士を倒せるが至近距離の敵には反撃出来ないとか、ペガサスナイトは魔法攻撃に耐えやすい、とか。

魔法や武器などでもいろんな工夫が出来る。

難易度は高かつた。私はスーパーファミコン版で詳しい攻略本を使い、やっとクリア出来た。

私が気に入ったのはストーリー、世界観が比較的しっかりしていた

ことである。また登場人物の設定も詳しく、家族や恋人が近くにいるとキャラクターがパワーアップするところなどは恋愛ゲームみたいもある。

ところが、へそ曲がりなのだが、私は家族も恋人もいない地味なキャララが何か可愛く、成長促進のアイテムなど使い、育ててあげた。
(- - -)

自分でも理由は分からぬ。あと私はナバールという人気キャラガ
氣障つぽくて嫌いだつた。

逆に大好きだつたのはカミュというキャラだつた。

とにかく難しいゲームだつた。

そんなゲームをやつてた私の今のマイブームはサンシャイン牧場で
ある。
(- -)

ゲームの思い出？

第2回は「信長の野望」

「ウイザードリィ」とどうひらひらするか迷つて、信長に。

実は今日、生徒に中国の戦国時代の説明をしながら、日本の戦国時代の話をしていたのだが、今はアクションゲームの「戦国BASA RA」が主流である。私も実は温泉のゲームセンターで真田幸村と森蘭丸のステッカーを作った。（そういうマシーンがある。名前を入れられるので、夢野ユーマと入れた。）

しかし、昔の「信長の野望」も頭を使つゲームで面白かった。

私がやつていたのは群雄伝というので、日本全国ではなく、西端は長州（山口県）、東端は新潟から東京にかけてなのだが、戦国時代のオールスターが出ていて、面白かった。

最初は織田信長や武田信玄、毛利元就など強い武将でクリアし、少し上手くなると今川義元、朝倉義景、北条氏政など比較的弱い武将でクリアした。

そして慣れてくるとそれこそいろいろ縛りを作つた。

例えばクリア時間の短さを競う。

またあまりに圧倒的な勢力を持つと降伏していく敵が出てくるので、死者をどれだけ出さずにクリア出来るか、など。

ちなみに誰も求めていないのに攻略法を教えよ。

まず人口が多い国を占領し、そこに要塞を作ったり、防御力の高い軍を配置したりして、そこを拠点に領土を広げる。後に東大で「三国志」が得意な子と話したら、全く同じ戦略だった。（・・・）

あと歴史シミュレーションゲームは歴史の勉強になる。例えば、歴史上武将が亡くなった年にはその武将が亡くなる。また歴史上仲のよかつた武将、悪かつた武将の相性があるので、そういうのも考えることになる。血縁などは言つまでもない。（三国志もそう）

ところで、私の生徒は師匠が師匠だけにひょっと変わり者。（・・・）

ケンゴ「先生、歴史上一番長生きの武将分かるでしょ。それ選んで、他の武将が死ぬまで逃げ回つたら、どうなるの？」

夢「う、うーん・・・」

（ちなみに長生きナンバーワンは宇喜多秀家。関ヶ原合戦の約50年後に亡くなり、太平の世の人々を驚かせた。）

ゲームの思い出？

「ウイザードリイ」の出番である。

これは今のゲームに慣れた子には、（えつー・?）といつ感じかもしれない。

ほとんどが数字と記号の羅列。ダンジョンが舞台なのだが、グラフィックも単調。

しかしながら、しかしながらである。その数字や記号の羅列の世界やキャラクターだからこそ、空想力が無限に羽ばたき、無限に世界が広がるのである。そしてその世界を自分のペンや絵筆で書きたくなる欲望に駆られる。

「ウイザードリイ」の普及に今の宝島社、当時のJ-POP出版が力を入れており、「ウイザードリイ」のコーナーはたくさんあった。恥ずかしながら、たまにハガキ送つて、載っていました私。

また「ウイザードリイ」が生んだ小説はたくさんあるがベー・松山さんの「隣り合わせの灰と青春」「風よ龍に届いているか」は日本ファンタジー文学の金字塔である。

またグラフィックが少ない中、モンスターのグラフィックを一流画

家末弥純先生が手がけていたことも忘れない。

また「ウイザードリイ」はストーリーも実は簡潔でプレイヤーがいろいろ考えられた。優劣がある訳ではないが、「ファイナルファンタジー」とは対極の作品じゃないかと思う。

若い時の夢、「ウイザードリイ」の小説書くことだったな。純粹だった。

今は何故、三ヶ月? (;)

美術館巡り～昭和の記憶展

昨日、仕事が一区切りした休日で小牧のメナード美術館に出かけた。プチ旅行である。

大垣から岐阜に行き、名鉄に乗り換える。犬山というところを経由し、小牧へ。はつきり言って、特別な風景ではない。でも変かもしれないが私は住宅街や田園風景を眺め、ああ人間が生きているなあと思うと何かホッとする。また夜に家々の灯りを見て、人間が生きているなあと思うとホッとする。（変ですね！）

さてメナード美術館の今回の展示は昭和の記憶展と言って、ほぼ全て日本人画家、ただし日本画・洋画を分けず、あくまで時代順に配列していた。さりげないが秀逸なアイデアである。

また横山大観、鏑木清方、前田青邨といった巨匠だけじゃなく、松本俊介、山口薫、海老原喜之助、田渕俊夫、高山辰男といったちょっと通な人の作品が観られた。こういうのが美術ファンにはうれしい。

昭和といつテーマだから、年配のお客さんが多かったです。

帰りは小牧シティホテルでランチ。そっちが楽しみだつたりして。

（ - - - ）

美術館巡り～第95回院展

なかなか更新出来なくてすいません。 (- - -)

国公立大学の試験はまだ一部残っていますし、新しい子が来たりして、なかなか新しい作品が書けません。

しかし、昨日、仕事の前、名古屋、栄の三越^トパートの中で第95回院展を拝見しました。

実は今回何かパンチのある作品が少なかつたような気がします。私が毎年楽しみにしている松村公嗣先生や那波多目功一先生の作品などが弱かつた。

また院展はセミプロの人があこがれてくる展覧会なのですが、何かいろんな賞をとつた作品が訴えてくるものも何故か弱かつた。また無冠でも「おっ！」と思う作品も例年、あるのですが、今年はうーん。私の心に余裕がないせいなのか？ (- - -)

ただ、現代の最高の巨匠田渕俊夫先生の作品はさすがに素晴らしいくて、ため息が出ました。

とにかく、院展は日本画の展覧会なのですが、ピカソのような作品

や、外国の風景、現代の都市の風景なども多いです。

でも上手く説明出来ないですが、日本伝統の花鳥風月に回帰する」ともルネッサンスになるんじやないかな?古典に回帰することも。芸術の世界も世の中の影響を受けて、萎縮しているのかも知れないけど、頑張って欲しいです。

同じ表現者としてホールを送ります!—(b^—。)

美術館巡り／怒りのカンディンスキ

今日は仕事が夕方だけで、美術館巡り、大いにやつっていましたが、少し精神的に荒れていきました。

いい展覧会をやつているのに、観客がガラガラ。虚しい。

今、名古屋では「ゴッホ展」をやつています。それはマスコミの宣伝もあって大盛況ですが・・・私が行つたのは愛知県美術館の「カンディンスキと青騎士展」実は一抹の不安が。大物画家と○○展と書いてあると大物画家の作品は少なくて、弟子の下手な絵が多いのですが、今回はカンディンスキというピカソやシャガールにもまさるとも劣らない巨匠の作風を最初期から完成期までしつかり紹介していました。カンディンスキは抽象美術を生み出し、創作も研究も励み、弟子もたくさん育てました。そして全く新しいスタイルの芸術を生むことはヒトラー、スターリンといった権力者の弾圧との闘いの生涯でもありました。

カンディンスキ芸術をたっぷり楽しみながら、少しホロッとしたのは妻の肖像画だけは抽象絵画でなくリアリズム、伝統的絵画で描いてあり、すごく上手かったです。通常、人間を描いているとあまり知られていない画家の人物画には何か感動があります。

ここで終わると感動だけど、カンディンスキの絵で構成された空間の片隅にジブリのマンガみたいな絵があり、膝かつくんという感じでした。何なのか見てみたら、奥さんが旦那やその弟子を描いた絵

だつた
（ - . - : - ）

天使な悪魔

夢「はい、新しい生徒の慶ちゃんです」

カズマ、あつちゃん、のんちゃん、くぐもらの顔が蒼冷めた。

慶ちゃん。まるで地上に降りた天使。小学生時代の滝沢秀明を彷彿とさせる天使度の高さ。

女子たちの顔色も変わった。

カズマ「慶ちゃん、メルアド教えてよー。」

慶ちゃん「えー、僕、ケータイにモードとかついてないんですね」

慶ちゃんは三学期期末テストの勉強をしていた。

のんちゃん「あ、あれっ！？」の前あげた過去問のプリントは？

慶ちゃん「あ～ん、ミスター・ーナツで勉強してたらなくしちゃつた！」

のんちゃん「ガーン(*_*)」

あつひやん「」の参考書にこよ。あと水曜日で勉強やねー。」

慶ちゃん「先輩優し〜い」

水曜日。慶ちゃんは来ない。

フルル。

あつひやん「慶ちゃん！？」

慶ちゃん「先輩すいませ〜ん！物理の先生のと」行くの忘れてて

あつひやん「ガーン(*_*)」

女子たち「恐るべし・・・天使の顔した悪魔ね・・・」

天使な悪魔がどんな波乱を！？

「金閣寺」

今日はビッグイベントがありました。

三島由紀夫原作、宮本亞門演出、森田剛くん、高岡蒼甫、大東俊介主演の「金閣寺」観賞。

「ラボーラボー！ 素晴らしかった！ 音楽を使うのが得意な宮本亞門さんらしいすごい工夫がありました。『金閣寺』ほどの文学史の金字塔の説明は書きません。もつと詳しい論評を書きます。金閣寺を擬人化した人物があり、ホーミーという民族音楽を要所要所で歌い、森田剛くんを苦しめます。

金閣寺で修行する三人の少年が原作では哲学的な会話、宗教の考察をするのですが、そこは全面的にカットされ、三人の苦悩を抱えた少年が傷つくるのを恐れながら愛を求めて叫んでいる。そのことが人間が演じているため、すぐひしひしと迫ってきて、開幕すぐ涙があふれ、最後まで止まりませんでした。

森田剛くん、大東俊介くんもカッコよくて素晴らしいですが、悪役の高岡蒼甫は本当に演技と存在感は圧巻です。映画界でかねがね上手くて感心していたのですが、今日も素晴らしい！

三島由紀夫は「金閣寺」をトーマス・マンの「トニオ・クレエゲル」を踏まえ、現実世界と美が調和するマン文学を反転させ、現実世界と美の対立、崩壊を描き国際的な評価を得ました。だから、マンを入り口にワーグナーの「ニーベルングの指輪」のクライマックスを連想させます。また細かい演出で「アンダルシアの犬」へのオマージュが捧げられていました。

素晴らしい舞台でした。愛知県芸術劇場にうちたてられた金字塔でした。

早乙女太一「龍と牡丹」

何か遊んでばっかいると思われそうですが、みんなが遊んでいる時に働いているので、よしなに。 (- . - .)

早乙女太一くんの公演に行つて参りました。一年に一回、必ず行っています。去年は名古屋で最高の格式の御園座という劇場で公演をやつたのですが、今年は名鉄ホールといふところです。観客は老婆メインです。 (- . - .)

行つたことがある人は「存知でしょうが早乙女太一くんの公演にはセリフを一切使わず、全ての感情やストーリーを舞踊で表します。

今回は前半が衝撃的！

私の文章を読んで下さっている人ならほめ言葉と分かって下さると
思います、一つの道を極めた天才は変！

早乙女太一くんは海老蔵さんの暴れっぷりに比べ、真面目、ストイック（忙しくて遊べないのかもしませんが。 (- . - .) ）。そんな彼が十代最後の年にやつておきたかつたとやつたのは普通の洋服を着て、普通の若者が道端でやつてているようなダンスをすること。（ただし、めちゃうまで、美麗！）そして老人たちと自分は衝撃を受けていたのです。 (*—*)

しかし後半、第一部は完全に天才女形として「絵島事件」を華麗に演じていきました。絵島事件は映画版の「大奥」などでも取り上げられており、有名ですが、大奥総取締役の絵島が役者生島新五郎と恋し、絵島は追放、生島は処刑された事件です。事件そのものがでっち上げで幕府の権力闘争の犠牲者の一人でした。

本人はいろいろ挑戦しているようですが、私はやはり早乙女太一くんは女形としての舞踊が素晴らしいと見とれてしまいます。輝いています。この道でずっと輝いて欲しいです！でも新しいことに挑戦し続けるのも素晴らしい。来年がまた楽しみです！

東日本大震災の被害者のみなさまに心からお見舞い申し上げます。

今回の震災のことを何か記録すべきか迷ったのですが、だんだん何か書きたいとこの気持ちになつてきました。

今日、ラジオを聞いていたらアンパンマンの曲が一曲流れ、たいへん喜ばれたと言つていました。また子供や老人の話し相手になるのもボランティアになると書いていました。（子供や老人のめんどりをみるのは私が日常的にやつていることです。）（・・・・・）

ただ、本当は気持ちをまだ整理出来た訳ではありません。

なるべく虚飾を排して、書きたいのだけれど、不謹慎に思われないか？あることはママやパニックを伝めるようなことにならないか？

そうならないよう気をよくしておきます。

簡単ではないですが、頑張つて書いていきます。

さて、3月11日、私はたまたま自宅マンションにおつきました。漫

然とラジオを流していたのですが、国会中継が中断され、緊急地震警報が流れました。

そして岐阜県大垣でも揺れ出したのです。私は今、33才で阪神大震災の時は高2でしたが、あの時以来の揺れで、正直なところ、東海地方で震災が起きたと思いました。

ところがラジオは東北地方が震源と言いましたのです。

実は私は昨年、引っ越ししたのもあり、テレビ、パソコン、固定電話がありません。

マンションの下の階に祖父母が住んでいたので、そこでテレビを見せてもらいました。

津波の光景をテレビで見て、これはとんでもない事件が起こったと悟りました。

また首都圏もかなり被害を受けていることがだんだん報じられてきました。

正直なところ、その時はパニックになりましたが、首都圏に連絡することは控えるべきと思いました。私は大学時代東京にいたので、首都圏は友達、知り合いが多いのです。

岐阜県の北隣、富山県の友人、プロのミュージシャンの方がお電話を下りて、話しました。東海エリアと北陸エリアなら回線が通じているかと思って。

人様と話を出来て、少し落ち着いてやつたことは、あまり落ち着いていふとは言えないのですが、夕食でした。

お叱りを受けても仕方ないのですが、「明日からはもう食べられないかも」と思つて、すき焼きを食べました。でも食べながら涙が出てきました。やっぱりあんまり落ち着いてないか。（・・・・）

その時はいろいろな意味でパニックだったと思います。私は日本の文学や歴史の専門家なので、被害の規模がだいたい予想出来たのです。

今、16日で東海エリアはまだ食料もありますが、地域によつては買ひ占めがあるようです。（ただ首都圏の方などはパニックを起こされず、買ひ占めなどはお止め下さい。）

すき焼きは駅ビルのスーパーで食べ、焼き鳥のお弁当、お寿司、パンを買い、帰宅しました。

パニックと冷静さが共存していく、万が一、夜に余震が来た時に備えて買ったのです。（買ひ占めの心理に近いものがあり、ほめられたものではありません。でも今も仕事の後、菓子など少し買ってた

くわえてこます。ちなみにいつでも逃げられる準備はしてこまゆし、気が小さいですが、怖くて火はまだ使っていません。(- - - -)

最近は花粉症の薬を服用しているので、一応寝ましたが、深夜というか早朝に目が覚めました。気が立っていたのだと思います。

こんなアホなこと書くなと言われそうですが、私は最近、健康上の理由で食事を減らしていたので、夜に目が覚めた時、空腹でお弁当を食べました。

せつしたら、ちょうどその時に新潟から長野にかけての比較的大きい地震がありました。

私は科学的なことに無知なので、それが昼の震災と関連があるのか分かりません。ただ強い恐怖を感じました。

東日本の方からすると「ふざけるな！」と思われるかもしれませんが、この辺りの時期は「死」を感じました。もちろんすぐ死んじやうとまで思っていた訳ではないですが、死ぬこともありますと考えるのはやはり怖かったです。

寝苦しい夜でした。

2日目、土曜日。

私はもともと低血圧でなかなかスイッチが入らないのですが、コーヒーを飲んで、えいつ！ときました。

昨日、買つたお寿司を「飯に」。

その日は名古屋で仕事の予定でした。この時点で名古屋はどんな状態か分からなかつたのですが、名古屋在住の隣けこの山先生が「名古屋は日常の生活」「生き残つたものはやるべき仕事をやるべき」とおっしゃつて下せつたこともあり、出勤を決意しました。

もう一つ私を勇気づけてくれたことがあります。一日が新しく始まり、ツイッターやソーシャルネットワークサービスなどで、首都圏の友人が無事ということが次々連絡が入つたのです。

ただみんな一様に命は助かつたがアクセスが麻痺し、帰宅難民になり職場から日付が変わつた後まで、早朝まで歩いて帰つたとのことでした。

助かつたことはありがたいと思いつつ、帰宅難民の苦しさなどに思いを馳せるとズーンと沈んだ気持ちになりました。

しかし、東海地方内部では鉄道も動いていました。

この先が「テリケート」な感性の方を傷つけないか心配です。

名古屋駅で降りた私は別のショックを受けました。

それは名古屋の街は平常、いえ、かえって人出など多いぐらいだったのです。

この頃、まだ少しおかしくなっているのですが、冷静な部分が、「あつー・テレビなどがニュースだからみんな遊びに外出しているんだ！」と察しました。

非常に複雑な気持ちでした。被災地（首都圏も含む）のことを考えると不謹慎な気もする、でも平常心を持つことも大事なのか？この疑問はまだ解決出来ていません。でも例えば食事している若い家族などを見ているとかえって家族、命のありがたみを再認識した輝きみたいなものを放っている感じもしました。

ただ昨日、今日ぐらい富山県のミユージシャンの方が「生き延びて日常生活していることに強い罪悪感がある」と言つていて、「あつー・仲間だ！」と思いました。

そして夕方に仕事（学生に勉強を教えていた）している時、大事件が起きました。私のパートクリン仲間カズマが「みんなでボランティアになって救援に行きたい！（ＴＯＴ）」と直訴してきたのです。私はそれを一喝しました。

「今回の震災は阪神大震災の時とケタ違いの大災害だ！今、安全なところにいる私たちがうかつに被災地に行ったりするのは一次災害を起こしかねない！私たちは安全なところで命を大事にして、復興の時に働くのに備えるの！」

感情的に叱ったかもしませんが、この時、言つたことは基本的には間違つていないと今でも思います。

また私は大学の先輩や同級生がテレビ局や新聞社に勤めているので、いろんな意味で、ひ弱な優等生たちが入れるような被災地の状態じやないと聞いていました。

ただボランティアをやりたいという生徒たちにも涙が出ました。素直で優しい。そんな生徒たちだから危険にさらすことは耐えられなかつたのです。エゴイズムもあり、ある意味、罪深いです。

その日は大垣に帰つたのは深夜でした。疲れました。（*ー*）

日曜日、少し迷ったのですが、その日はオーケストラアンサンブル金沢のコンサートがありました。問い合わせてみるとコンサートは追悼・チャリティコンサートとして決行することと、私も出かけました。

コンサートまでの時間、金山の名古屋ボストン美術館や栄の愛知県美術館に行つたのですが、やはり人出はかえつて多いぐらいでした。

そしてその中で若者たちが募金活動を始めていました。ミクシィのブログやツイッターなどを見ていると自分が現地に行くことを止めたカズマたちも募金活動のボランティアを始めたようでした。

涙があふれて来ました。

15時にオーケストラアンサンブル金沢のコンサートが始まりましたがマエストロ飯森範親が「拍手なしで聴いて欲しい」と断り、バッハの「G線上のアリア」が演奏されました。その日のコンサートに参加する全ての人がステージ上で哀悼の気持ちを示しました。私はバッハのアリアを聞いて、ドッと涙があふれ、体を震わせ、全身で泣いていました。自分自身の緊張感や死の恐怖が少し緩んだのもありますし、亡くなられた方々への思いもこみ上げてきました。

そしてクラシックのコンサートは半年ぐらい前からプログラムが決

まっているのですが、その日、フォーレの「レクイエム」が演奏されました。不思議な天の配剤です。

チケット代とは別に会場内で寄付をしました。

寄付しか出来ないのはもどかしいのですが。（ - - - -)

またカズマたちがボランティアをやつてこるのを励まさうと広場に行きましたが、片付けに入つていて、生徒たちはいませんでした。

この頃から情報がないことや、デマが流れたりしていくことに苛立ちを感じ始めました。

また電力のことなど不安で、作品を出すことに自主規制の心理が働く、ひどい状態でした。（ * — * ）

最後にフォーレの「レクイエム」の歌詞を少し書いておきます。

「私を解き放つて下せり主よ。永遠の死から。あの途方もない日こそ
「楽園へと導きますように天使たちが。永遠に保ちますように安息

新しい一週間が始まり、首都圏は前例のない計画停電になるところとで世の中は異様な雰囲気でした。

しかしその中でもNHKのラジオは時間帯によつてレギュラー番組をやつているアナウンサー、キャスターの人々が放送を担当し、地震速報や深刻なニュースで寸断されるのですが、聞き慣れたお声を聞くと少しホッとします。

しかし、一方で被災地じゃないところでもじわじわと影響が広まつてきました。

私はわりと身内の人向けに書いているような感じなのですが、よくテレビ局や雑誌社の招待で映画の試写会に行つていると存知と思います。そういうものが次々中止、自粛になつていいくのが連絡されてきました。また公開 자체が中止になる映画、CDの発売が中止などの報道がありました。

もちろん被災地の方のことを考えれば、遊ぶことなど優先出来ません。

しかしほとんどの国民の心理が萎縮してしまつことも心配です。（

・・・・）

もつとも月曜日ぐらいの時点では私もズーンと沈んだ気持ちで、作品発表は自粛していました。

後先が逆になるのですが、仕事をやり、文学を教えながら、そういうものを後生に伝えることも生き残ったものがやるべきことかも、と思つよつになり、いつせひついで書いています。

ただ月曜日の夜ぐらいは気持ちの底だったと思います。ちょっと無氣力になっていました。

火曜日は何か原子力発電所を巡る報道などあり、月曜日のどん底の気持ちを引っ張っていました。

しかし、仕事をするため名古屋に行き、地下街のA-L-A-Vでシェカラートとクロックムッシュの夕食をとつていると若い女の子が話していました。

「私たちは生まれてからずっと不幸じゃん。阪神大震災。オウム事件。同時多発テロ。今回の地震。ずっと不幸だつたから強くなつたの。ギャーハハ」

女の子たちは本当に元気で、笑つて話しており、私は強い悲しみを感じて店を飛び出しました。

しかし、地下街から地上に上ると若者たちが募金活動をしていました。そのことをミクシィのつぶやきに書き込むとカズマたちが「それは俺の同級生です!」「俺も来で募金していきます!」など書き込みがありました。

またその日、私は戦国時代の英雄が好きといつ新入生のために「常山紀談」という戦国時代の説話を集めた古典を用意していました。

文学や古典など役に立たないことは理解しつつも、日本の歴史や文學に思いを馳せました。

応仁の乱の時の読み人知らず、「汝や知る都は野辺の夕雲雀上がるを見ても落つるは涙」（お前は知っているか？都は焼き尽くされ野となり、夕方には雲雀が空に飛び上がるのだ。それを見ても落ちるのは涙だ。）

この歌を頭では分かつていたつもりでしたが、本当の悲しみ、怒り、慟哭が胸に染みてきました。こういう破壊と再生を繰り返してきたのが日本の歴史だったのかもしれません。（・ー・）

また本当は風流な歌も違つ顔を見せて来ました。

八幡太郎義家「吹く風を勿来の関と思へども道も狭に散る山桜かな」（吹く風をやつてくるなと思う勿来の関だが風が吹いてきて、道を所狭しと散る山桜だなあ）

勿来は東北の名所です。「なこそ」とは「くるな」という意味の古語で、桜が美事だから風よ吹くな吹くな、と歌つているのですが、何故か昨日から真冬のような気候で、被災地の人々に冷たい風が吹きつけませんように祈らずにいられませんでした。（・ー・）

あるいは「謝野晶子「漁り火は身も世も無げに瞬きぬ陸は海より悲しきものを」

この歌は親友であると同時に夫の不倫相手だった山川登美子を悼む歌で死後の世界 海より生きている陸にいろんな悲しみはあるのに、という歌。しかし、この歌も海に消えてゆかれた方々と陸で悲しんでいる私たちのことのように響いて来ます。

私はこの歌を本歌じりして、こつ歌いました。「海よりも悲しき陸に住み果てて空に向かつてうたう悲歌〔えれぢい〕」（・・・）

でも昨日詠んだ愚詠（自作）を末尾に書いておきます。

「ガーベラを希望を込めて育てる再び花が地を埋めるまで

震災のことときつかけに改めて日本人と文学について考えてします。

震災直後は太宰治のような気持ちでした。

「神様！いるのなら出てきて下さい！」（「ヴィヨンの妻」）

しかし、生き残ったものは何かやるべきことがあつて神様に生かされているのかかもしれません。（…）

以前も書いたことがあるのですが「めでたさも中くらいなりおらが春」と詠んだ一茶。「中くらい」は長野弁では「ちょっとくれー」と発音し、かなり劣るといつ意味と研究されたのは斎藤史でした。

その一茶が愛する子供が亡くなつた時に詠んだ句は今の日本人の胸にズーンと響きます。

露の世は露の世ながらさづながら

撫子の何故折れたぞよ折れたぞよ

昨日も書きましたが人間の歴史はずつと悲しみとの闘いだったかもしれません。

あるいは斎藤史の力強い歌。

死の側より照らせば」と輝きてひたくれないの生ならずやも

生きているといろんな悲しみや悩み、苦しみ、争いすらあります。しかし死の世界から生を見れば、生の世界は輝いている。そう史は歌います。史は斎藤劉（正しい字が出ない）將軍の娘で、226事件に巻き込まれ、多くの友人は処刑され、父に連坐して長野に流刑にされ、戦後偉大な文学者として復権しても長野を離れず、悲しい歴史の証言者となりました。

三島由紀夫も第二次大戦とその後の混乱を目撃しました。その死は悲劇的でしたが、「金閣寺」の最後はこんな風です。「一仕事を終え一服した人間が思うように私は思った。生きよう、と」

「大乱世ですが生きていきましょう。頑張ろうとか無理に笑おうとかじゃなく悲しみは悲しみとして受け止め、休息をとり、お互いをいたわりながら生きていきましょう。」

「いいじゃないの。私たちは生きてこさえすればいいのよ」（「ヴィヨンの妻」）

日本人と文学？

「國破れて山河あり、城、春にして草、青みたり・・・」

あまりにも有名な「奥の細道」「クライマックスの芭蕉の咳きです。実は杜甫の詩を口ずさんでいるのですが「草木、深し」というオリジナルを「草、青みたり」とアレンジしたところが素晴らしい。（T.O.T）

スーパーに珈琲、牛乳、バナナを買いに行きました。裏口から入って、表から出たら沈丁花が美事に咲き誇っています。素晴らしい香りです。また涙があふれて来ます。自然は恐ろしい。しかし、私たちを救うのもまた自然の素晴らしいです。

花は咲くことを自粛したりせず、命を輝かせています。

もつすぐ白木蓮、紫木蓮、ゴブシが咲くでしょう。大垣にはユスラウメもあります。紅梅白梅はすでに満開ですね。そして桜が満開になるでしょう。

「わまざまのこと思ひ出す桜かな」

芭蕉が故郷伊賀で詠んだ句です。

今まで毎年、桜を見てこの句を口ずさんで来ました。

毎日しあわもないことを家族と口論したりしながら、樂しこじとを
思い出していました。

しかし、今年、桜を見たら、また格別のこじりこじりなことを思い出す
でしょ。泣くことを止められなこでしょ。(・_・)

「わがわがの」と咲ひ出す桜かな」

日本人と文学？

いろんな人間がいる。いい人間もいる。悪い人間もいる。いい人間でも好きになれない時もある。悪い人間でも好きになってしまこともある。それでよいのだと思う。そして人間がいろいろいる以上、文学者もいろいろいると思う。

ただ好みは刻々と変わる。

震災が起こつて、格下げされたなどと誤解を招くが例えれば古典美を追求した与謝蕪村などはしばらく「軍行きの氣もする。

逆に今、淒みを持つて迫つてくる文学者もいる。

戦前の文豪・前川佐美雄の弟子で塙本邦雄とライバル関係にあつた巨匠山中智恵子、彼女の神話的スケールの大作が気になる。

生きて負ふ哀しみぞこの鳥髪に雪降るさらば明日も降りなむ

桜花、陽に泡だつを守りゐるこの冥^{くらひ}き遊星に人と生まれて

我ら鬱憂の時代に生きて恋せしと碑銘に書かむ世紀更けたり

鳥髪とはスサノオという神が日本を作るため降り立った土地である。（一応、島根県にありますが、山中智恵子は神話世界を歌っているんだと思う（・・・・））

そこに雪が降り続き、人間が生きる間背負う哀しみを感じる。

今までこの歌は第一次大戦の敗北を歌つたものと思っていたけれど、もっと深い日本人の心や歴史を歌つていたのかもしれない。

二首めもそうです。桜花という明るく美しいものを歌いながら地球を冥き遊星と歌う。その時、悲しい現実は美しい神話に高められているようだ。

また三首めの歌は晩年の作品と思うが、いろいろな歴史的事件を見つめた作者の淒みが感じられる。そしてそれでも生ききて、恋もしたのだという少し誇らしい感じすら漂っている。

私はしたたかに生き抜いて、自分の命を見つめなおすことが出来るだろうか？

震災が起こつて十日。希望を感じるニュースと、悲観的なニュースが入り混じっている。私はなるべく希望を信じて復興に協力していく。そして日本人が受け継いできた文芸を未来にリレーする。そんな覚悟で毎日生きている。

三島由紀夫について

「はんライス先生が震災の日の朝だったが、三島由紀夫は何故切腹、自殺したと思うか？」とお尋ね下さったが、震災のことじばらくはお答え出来なかつた。すいませんでしたね。（――）

さて、三島由紀夫が切腹した理由だが、究極的には本人にも分からぬのではないかと思う。

ただ以下、私が分かる範囲から推定出来ることを書く。

三島由紀夫は最期の日の朝に「豊饒の海」の完成させた原稿や辞世の歌を用意しており、精神が錯乱していたことはないと想う。

三島由紀夫は右翼的に思われているが、実は世界文学を非常に理解していた。だからこそ国際的な評価も高かつた訳である。

若い時の代表作のうち「潮騒」は「ダフニスとクロエ」、「金閣寺」は「トニオ・クレエゲル」を下敷きにしている。（このレベルになるとパクリとは言わない。）

そして「トニオ・クレエゲル」を書いたトーマス・マンはナチスと戦つて政治的な発言を繰り返していた。

そのことから三島由紀夫も政治的な発言を文学者はするべきとこう
信念を持ち、政治的活動にのめり込んでいったのではないかと思つ。

三島由紀夫が亡くなつたことは非常に惜しく思つが、三島由紀夫の
志をことわざり貶めるような説は私は好きでない。

震災前に書いたコメディ小説ですが「ザ・対決」という短編に三島
由紀夫が生きているパラレルワールドを想像して書きました。

「ダフニースとクロヒ」

新しい一週間がスタートしました。何となく連休中、希望を感じるニコースが増えてきて、最悪の時期は脱したような気がします。もちろん油断は出来ませんし、復興には協力し続けたいですが。

実は土曜日に文部省の仕事をしている友達から連絡があり、首都圏は自分が思っていたよりは大丈夫そうで安心しました。

その土曜日に愛知県の小牧といつとこにあるメナード美術館に行きました。（仕事前の時間です。）

今、やっているのはシャガール展です。美術がお好きで、ある程度、美術館に足をお運びになる方ならシャガールはピカソやゴッホ、モネなどと並んで非常によく出展されるどこ存知と思います。私も何度目か分かりません。ところが、今回は今までにない強い感動がありました。（ＴＯＴ）

大作「ダフニースとクロヒ」の連作全部を一気に観たのですが、この作品に込められた愛と命への讃歌が初めて理解出来て、今の日本人に「生きよー生きよー」と呼びかけているようで、涙、涙。あふれて止まりませんでした。

古代ギリシアの農村で暮らしながら、愛を育むダフニースとクロヒ。

時に天災、人災が一人を襲います。しかし人々は決して屈しません。
そして大らかに命と恋を讃えます。

それは人類普遍の愛の讃歌なのでしょう。それが大危機の日本にいる私を励ましてくれたのです。

また「サークス」はシャガールが貧しい故郷に生きた悲しみを描き、「人間は皆、悲しみを隠してサークスを演じている」という主題をサークスの絵で表現したものです。私たちも悲しみを抱えながら、それでも生きていきます。

大災害の危機はまだ去っていません。文学は無力と一時は絶望しましたが、やはり私を助けてくれるのは文学や芸術のようです。

それを若者に教えている時も気が慰められます。
私は生きています。

日本の美

「どんだけ気が小さいんだよ!」という話ですが、震災以来、怖くて映画館には行つていません。一応密室になつていろいろに行くのが怖くて。

まだ開放的な美術館によく行っています。

たまたま、今の名古屋は素晴らしい美術展が多いです。

愛知県美術館のカンディンスキの展覧会については以前も書きましたが、あまりに素晴らしいので、もう一回行きました。

また名古屋ボストン美術館の展覧会と松坂屋美術館の展覧会にも二回行きました。

名古屋ボストン美術館でやつているのは東京の出光美術館のコレクションのやきものの展示です。

日本の主なやきものの流派全ての優品を一気に観られて、それぞれの影響関係なども分かります。柿右衛門が特に素晴らしい。

また松坂屋美術館では松坂屋がコレクションした着物を展示しています。これも日本人の暮らしや歴史をよく伝えるものです。

今、そういうものが特に心にしみるのかかもしれません。

今、お氣楽に見えるかもしませんが、また復興が進んだ時、美や文化は必ず復権するでしょう。春よ来い。そう願っています。

震災から一週間たとある夜に。

チャリティコンサート

昨日、またチャリティコンサート行きました。そういう行事に寄せて寄付するなどしか出来ないのがもどかしいですが。あとは買い占めなど迷惑をかけることをしないぐらいです。

昨日はショロの畠山堤剛先生（芸術院会員、今の天皇の20周年式典の演奏を行う）とマエストロ下野竜也さん指揮の名古屋フィルの「ラボレーション」でした。

内容はあまり追悼というよりは人々に夢やエネルギーを与えるロマン派の音楽のプログラム。「青い鳥」ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」前奏曲と愛の死（私が一番大好きな曲の一つです。）

休憩を挟み後半はリヒャルト・シコトラウスの交響詩「ドン・キホーテ」素晴らしかったです。ロマン派の音楽や文学は今の日本文化に絶大な影響を与えた流派です。古くは森鷗外や「謝野晶子。近年では宮崎駿や松本零士など。主人公が騎士やお姫さまのことが多いです。

そしてマエストロ下野竜也さんのお話も素晴らしかった。音楽会は直接的には被災者に届かないが芸術家は芸術をやることが復興支援になるという。そして追悼のため、バッハの「G線上のアリア」を演奏。昨日は泣くというより、「頑張るぞ！」と意気込みを新たにしました。

今日（3月27日）は比較的穏やかな感じです。
春になり、ますます復興が進みますよう！

生徒たち

実は東日本大震災のため書きそびれてしましましたが、生徒たちも進学することになりました。

東京医科歯科大学、名古屋大学、獨協医科大学、東京歯科大学、早稲田大学、防衛医大、愛知医科大学、愛知学院大学、法政大学などなどです。

ところが一部の大学はすでに報道などでも言われていますが入学式中止、大学のスタートも「ゴールデンウイーク明けぐらいまで延期になつてしましました。（・・・）

被災地の方のことを思えば、大学の入学式中止やスタート延期などで文句を言つてはいけませんが、生徒たちをちょっと氣の毒にも思います。

またあまり書いてはいけないですが、今の首都圏に行かせることも不安です。
でも頑張つて新しい生活を切り開いて欲しいです。

東急ホテルでの謝恩会も中止で私の気持ちも少し沈みますが、落ち着いたら、今年度の卒業生の子をお祝いしてあげるつもりです。

しかし世の中には学校も家もめちゃくちゃになつてしまつた子、亡くなつてしまつた子もいる訳で、そのことを考えると胸が張り裂けます。

西日本について難を逃れた私たちは出来る限り何でもしたいと思つています。

明日はまた少し復興が進みますよっ!!(・_・)(・_・)

カズマ日記？

東日本大震災の被災地の皆様、僕からもお見舞い申し上げます。

僕は法政大学に行くことになりました。ナッシュガーラデンウイーク明けまで大学が延期される子が多いから心配なんだけど。

中学生の弟の制服をデパートで買いに行くについて行きました。

店員さん「あらつー、ビーフハーブ」試着して下せーー。」

僕「（ ）・・・僕は大学に進学するんです・・・」

店員さん「あらつ・・・」

みんなにブログなどで発表したのですが・・・

ヨー「何、その年を間違えられたらみたいなニコアンス」

蘭「間違ってるのは実年齢でしょ」

マコ「また中学生からやつ直しなぞって店員さんからのメッセージー」

ジヨー「（ ）」

絢香「歳、偽らなこでトモー...」

僕「（トモー）」

「しあわせの雨傘」

今日、大震災以来初めて映画館に行きました。（・・・・）

少しずつ日常を取り戻していくことが大切だと思って。

今、岐阜の柳ヶ瀬はカトリーヌ・ドヌーヴ映画祭みたいになつており、新作旧作合わせて四本が上映されます。

今日は新作の「しあわせの雨傘」拝見しました。

「白いリボン」の時に映画界三大狂人に挙げたフランソワ・オゾン監督の作品です。オゾン監督は（作風は全然違いますが）クリント・イーストウッド監督と同じく多作です。日本ではキャリアの初期の「まぼろし」「八人の女たち」「スイミングプール」などが高く評価されていますが、私は近作の「エンジェル」という小説をテーマにした作品も大好きです。

ただオゾン監督は非常に暗く重い作風が得意で、カトリーヌ・ドヌーヴという大スターとの相性は（？ー？）だったのですが、意外！素晴らしい人間讃歌のコメディで涙と笑いが止まりませんでした。本当の天才は笑いなんか軽々こなせることを美事に見せつけていました。

ある中小企業の社長夫人のカトリーヌ・ドヌーヴ。孫までいますが、美しく可愛らしさまま。そしてお洒落。

ある時、社長である旦那が倒れたことをきっかけに社長代行を始め、企業や男社会の常識にとらわれず、元力レだった政治家なども巻き

込んで大成功をおさめ、フランス社会に旋風を巻き起します。そこが何度も笑つてしまつぐらい面白い。

貧しい人に会うのに礼儀や品格を失わないためと書いて全身をオーガンジイのドレスと宝石で身を包んで、マリー・アントワネットを意識したり。傘を作る会社なのですが、一流の芸術家の絵が描いてある傘を売り出し、大ヒットさせたり。

そんな彼女を妬んで足を引っ張ろうとする下衆が出てくるのですが・・・いつたいどんなラストになるか是非ご覧下さいーおすすめです。

人生は美しい・・・そういうシャンソンがラストに流れ、涙があふれて止まりません。

今こそみんなに勇気を貰える素晴らしい作品でしたーー(゚^ーー。)

「シチリアー・シチリアー！」

今日はもう一本、映画観ました。

「ニコーシネマパラダイス」の天才ジュゼッペ・トルナトーレの最新作です。

私はトルナトーレが大好きで、「海の上のピアニスト」（原作はアルソンンドロ・バリツコの「ノチヴェント」）も「マレーナ」も劇場で観ています。

そして最新作は名作「ニコーシネマパラダイス」の感動もよみがえる傑作でした。特にどん返しとかある作品ではないのですが、何も予備知識なしでご覧になりたい方はお控え下さい。

歴史などお好きならご存知でしょうが日本とイタリアは非常に似た歴史や文化を持つています。その中でペッピーノという一人の男性を中心に第二次大戦前夜のイタリアから現代までの数十年がペッピーノの父の若き時代からペッピーノの子供たちの未来まで絡めながら描ききられ、3時間近い大作なのに飽きることも緊張が途切れることもありません。実はほとんど説明的なセリフなくストーリーが展開していくのですが分かりにくさはありません。そういうところも下手に作っていない感じで感動しました。力強く生きる人々、その生活、そして時にはさまれる死や悪のかげ。それがまたかえつて命と人々を輝かせています。素晴らしい。最初と最後、美しくも活気のある街を少年が走るシーンに号泣してしまいました。

走れ！走れ！未来に向けてみんな走るのだ！そんな命をたたえるメッセージを受け取りました。ジュゼッペ・トルナトーレありがとうございました。

そして人間や家族の愛や優しさを信じて生きていくんだよ、というメッセージの込められたラストシーンに涙があふれてあふれて本当、こちらも止まりませんでした。でも辛氣くさい作品でなく爆笑も何度もしてしまいました。

私たちが生きることには愛があつて、優しさがあつて、涙があつて、爆笑があります。

明日は朝一で教室を開ける係の日ですが頑張ります。

愛があるから生きるのだ！

「綺譚・桜姫」

こんな時に不謹慎のそしりは免れませんが、読売新聞さんのご招待で御園座のお芝居「綺譚・桜姫」の千秋楽の公演を拝見しました。

四世鶴屋南北の代表作で歌舞伎のスタンダードである「桜姫」をミユージカル仕立てにして、セリフは現代語、女形がやる桜姫は宝塚の男役のトップスター大和悠河さんがやっていました。私、いろいろ劇場に行っているわりに宝塚の男役の人の生の声を聞いて、あまりに力強いので、びっくりしてしまいました。（・・・）

もう一つびっくりしたのが「桜姫」って、あまり明るい話ではないのです。桜姫という貴族の令嬢が呪われた運命を生きる話で、シェイクスピアの「タイタス・アンドロニカス」も真っ青の残酷劇なのです。（・・・）

その辺りは全部カットして、現代風にハッピーエンドに改変してあるんだろうと甘い気持ちで観ていたら、全然改変してなかつた。（・・・）

（・・・）

でもだからこそ徹底的に張り巡らされた伏線が一気にクライマックを盛り上げ、華麗に作品世界の破滅を描くのがスケール感たっぷりで、感動しました。負というのも徹底するとカタルシスがあります。（・・・）

作品終演後、大和悠河さんが千秋楽を終えた挨拶と大震災のためのチャリティー募金を呼びかけていました。カーテンコールの後、大和悠河さんがロビーで募金活動をしていました。

作品はあまり事前に予習せず行つたのですが、素晴らしいかったです。

ところで今日は京大出身の数学の先生、靡けこの山先生と一緒にましたのですが、先生はさすがに文学にも造詣が深くいらっしゃるのでは、感想を話しあつて面白かったです。

私は四世鶴屋南北は何らかの形で（オランダ人に聞いたりして）「王女メディア」を知り、日本版を書いたのでは？と思つたのですが、靡けこの山先生は、ある貧しく不幸な女性が死ぬ時に見た幻想だったんじゃないのか？という意見でした。それも悲しくも美しい。（；

ー；）

お花見（；ー；）

日曜日、たまたまお休みで、朝早く目が覚めたので、大垣城の周りのコブシや白木蓮を見に行きました。桜より早く咲くのです。（学恩をわきまえない生徒に「ジジイだぜ！」とか言われている（ー・#））

しかし一本一本の枝ぶり眺めていると本当のジジイに「どけっ！」と押しのけられたり、大垣城の周りがすごい人出になつてきました。

大垣は松尾芭蕉ゆかりの街であり、京都を模して作った街であり、歴史博物館みたいなところに行くと芭蕉祭という花見祭をやつていました。（ーーー；）

全国的に自肃しているのに恐るべく民度の低さです。地元の女子大学生たちがプラスバンドをやつたり、ばあちゃんたちが琴を演奏したり、しかし神の怒りでソメイヨシノは全然咲いていません。（ーーー；）

私はお城の近くの本格的な珈琲店に逃げ込み、ベトナムコーヒーを飲みました。ちなみにベトナムコーヒーはグレアム・グリーン（何故、ノーベル文学賞が与えられなかつた？）の「大人しいアメリカ人」を読んで、作り方を知り、はまりました。お城の周りの花見をしてベトナムコーヒーを飲むのが春の楽しみです。

祭の大群衆を避けて、私はお城のそばの枝垂れ桜を見に行きました。
大垣は私の庭。観光客は知らない隠れ家にソメイヨシノより先に満開になる枝垂れ桜が美事に咲き誇っています。美しかった。

桜咲く遠山鳥の枝垂り尾の長々し日も飽かぬ色かな（後鳥羽院）

仏には桜の花を奉れもし後の世を人弔はば（西行）

「ロシュフォールの恋人たち」

私は若い時は年間150本ぐらい映画を観ていた。劇場がほとんどである。

今は年間50～60本ぐらいと思うが、総計は多分1000本ぐらいは観ているだろう。

その中で好きな作品はたくさんあるのだが、意外とベストテンはあつさり決まっている。

- 1位さらば我が愛
- 2位ダンサーインザダーク
- 3位めぐりあう時間たち
- 4位アンダーグラウンド
- 5位ローマの休日
- 6位アマデウス
- 7位恋に落ちたシェイクスピア

この7本までは圧倒的で揺るぎない。そして残りはガス・ヴァン・サント「ミルク」「エレファント」ピーター・ジャクソン「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズ、「キングコング」ギジェルモ・デル・トロ「パンズ・ラビリンス」デビッド・フィンチャー「セブン」ペドロ・アルモドヴァルの「トークトゥハー」「ヴォルヴェール」あた

りが残りの席を争つて『テッドヒート』するだらう。

しかし上位7本は揺るぎないと思つていた。ところが、日曜日にお花見の後、観た作品に十数年ぶりに1位が交代するかも知れないと魂が震えた。

以前も書いたけれど、岐阜は古い街で新しい映画をやる映画館の他に古い映画をやる名画座がある。そこで観た1966年から1967年のミュージカル「ロシュフォールの恋人たち」

あまりに感動すると言葉もなくなる。歌、踊り、衣装、ストーリー、全てが完璧だつた。往年の大ヒット作で私たちが日常、よく聞く曲の大元がこの作品の中にたくさん含まれている。カトリーヌ・ドヌーヴ、ジョージ・チャキリス、ミシェル・ピコリなど素晴らしい役者の何と美しいこと。

そしてストーリーがまた素晴らしいのである。ロシュフォールという田舎街に旅芸人の一団がやって来て、双子の姉妹（カトリーヌ・ドヌーヴと姉が共演）と祭の出し物をやつたり恋をしたりする。その中でほぼ全ての登場人物が好きな相手と結ばれ、幸福一色に作品が塗りつぶされる。そこが素晴らしい。幸福一色はありそうで、なかなかない。不幸を描くのは簡単だが、登場人物全員が幸福で、しかもストーリーが変じやないというのは並の技量ではない。舌を巻いた。

そんな素晴らしい「ロシュフォールの恋人たち」だが、1位は三日天下かも知れない。（――；）

来週、それをしのぐ傑作という「シェルブルールの雨傘」が上映されるからである。

「隠された日記」

さて、カトリーヌ・ドヌーヴの映画を最近、観ていますが、新作の一つ、「隠された日記」も観ました。

祖母、母、娘の三代が女性の生き方を見つめるという作品で母がカトリーヌ・ドヌーヴ、娘は初めて見る娘さん、そして祖母は回想の中の存在でマリー・ジョゼ・クローズ（デュニ・アルカン「みなさんはようなら」でカンヌ映画祭の最優秀主演女優賞受賞）が演じていました。

十分面白かったけど、すごく惜しいのが、この三代に渡る女性の生き方というのが「めぐりあう時間たち」すでに使われたアイデアだということです。

でも米英とフランスで微妙な価値観の違いもあるから飽きはしませんでした。

カトリーヌ・ドヌーヴより娘さんが主役なんだけど、カトリーヌ・ドヌーヴが出てくるシーンはやっぱりすばらしい。

人間ドラマ、感動などを求めている方におすすめ。

男子の本懐

Kくん「男なら本当に可愛こ子とつれあいたいと心の中で思つてしますよお！それが本音ですよおー（・・、目、）」

夢「はあ？」

女子たち「（・・・#）」

Kくん「俺たちの周りの女子たちは性格ブスばかりですよおー（トト）」

カズマ「ブスなのは性格だけじゃないよ（<〇>）」

ヨーハ「じゃあ、私たちも言わせてもらひナビ、私たちだつて本当にカツコいい子に囲まれて暮らしたいと思つてるよー（・〇、）」

蘭「オーランド・ブルームとかダルビッシュとか」

夢「まあ、そんなこと争つちゃダメですよ。（<〇>）みんな違つてみんないい」

Kくん「先生は顔よくて悪女と、ブスで性格いいだつたらどう選びます？」

夢「（・・・）・・・両方いい子・・・」

Kくん「そういうズルいのダメーぢつちか選んでー」

夢「（・・・）・・・じゃあ、ブスな子・・・といひで、今日は

伊勢（人名）の生涯をやります。伊勢は宇多天皇の后にお仕えしていましたが本人が絶世の美しさと歌の上手さを誇っていたため、本人が后を押しのけて帝の赤ちゃんを産み、伊勢御息所みやすとねじゆという称号や宮殿を与えられました。難波なる長柄の橋も作るなり今は我が身を何に例へむ（古いものの象徴長柄の橋も作り替えるそうだ。今は老いた我が身を何に例えよう）。これは勝者の余裕です。また左大臣様にふられそうになつた時はこつ詠みました。人知れず絶えなましかばわびつつも無き名ぞとだに言はましものを（みんなに知られずにふられてしまつたならつらいけれどもともとつきあつていなかつたと言えるのに）。しかし、帝に愛されるチャンスが巡ってきたら、簡単に左大臣様を捨てたのです」

Kくん「そういう人好きってことは美人で悪女好きなんじゃないですか！？」

夢「（――）ギクッ！」

「レオニー」

半年ぐらい前に試写会にお招きいただいたのですが、行けなかつた作品でした。それをだいぶ遅れて観ました。

非常に素晴らしい作品でした。世界的芸術家イサム・ノグチの母親がアメリカ人ということは知っていたのですが、そのレオニー・ギルモアという人の生涯を松井久子監督が映画化した日米合作作品です。

レオニー・ギルモアは悪い日本人（中村獣童）の赤ちゃんを身ごもつてしまい、明治時代の日本に単身渡つて来るのですが、男には妻子があり、レオニーは異国で女手一つでイサム・ノグチを育てるのです。津田梅子（原田美枝子）やラフカディオ・ハーンの末亡人セツ（竹下景子）らと交流しながら。

そしてイサム・ノグチは日本とアメリカの両方の美的感性をアマルガムにして育つていくのです。架空のキャラクターと思うけれど、イサム・ノグチに人生を諭す大工の親方の役で大地康夫さんが出ていたのが全体を引き締めていた。

イサム・ノグチがアメリカに帰国し、一流の芸術家の地位を確立し、レオニーがそれを見届けて世を去る辺りで作品は終わるのですが、ラストシーンにある工夫がしてあり、感動の涙があふれて、止まりませんでした。是非、劇場でご覧下さい。

女性の愛と強さを讃える必見の一作です。全ての母親と、母親から
産まれた存在に捧げられた讃歌です。（：—：）

駅の切符売り場

今から書くことは残念ながら私の独創ではない。私が尊敬する現存の作家清水義範先生がすでに指摘されていることだが、駅の切符売り場には人間ドラマがある。清水義範先生の傑作に駅の切符売り場に並ぶ人々をただ描いたものがあるが、私も似たような経験をすることになった。

大垣駅は新幹線は通っていないが、けつこう特急など止まる大きい駅である。

その窓口には新年度になり、たくさんの人々が定期券を買つため、並んでいる。私は「ご苦労なことだ」と思いながら、自動販売機で電子定期券を買おうとした。

ところが！

「あれつ？（・ー・・）」

電子定期券が何故か自動販売機にはじかれて出でてしまつ。

私は数年ぶりに窓口に並んだ。老人が窓口の係員に「渋谷まで通学定期券を買つたらいくらなのだ？」とか訳の分からないことを話している。イライラ～（・ー・#）

自分はああいう迷惑をかけまいと思いながら、窓口で「あの、電子

定期券がはじかれちゃうんですけど」と申し出た。最近は女の子も駅で働いている。

「一人の女の子の駅員は何か機械に電子定期券を通して「あれー、おかしいなー?」などやっている。

そのうち芭蕉祭に行つていた老人たちがどすんどすと私の後ろに並び始め、殺氣立ってきた。自動販売機で切符買えぱいいのに。(- · - ·)

結局、電子定期券は壊れており、再発行。その間の代わりの定期券が発行されることになった。

老人、女子高生、サラリーマンなどが殺氣立つて後ろにいる。頼珍漢なことを言って、迷惑をかける老人たちみたいになっちゃいけないと思っていたのに。(T o T)

しかし私の持ち前の好奇心とパーセクリンのため、私は言つてしまつた。(- · - ·)

「ところで、これ何で壊れたの?」

女の子の駅員が分厚い説明書を取り出し、後ろの殺気がブワッと膨れ上がった。

「やぎの冒険」

映画です。何とー中3の少年が監督！もちろん多分、かなり優れた大人の映画人がサポートしているのでしょうか下手な邦画よりはるかに優れた作品でした。

話も素晴らしい。沖縄といつても那霸は都会扱いで、そこの中3少年がもつと海沿いの田舎の従兄のところに遊びに行きます。

そこではやぎを飼つっていて、都会の中3少年はペットとして可愛がつているのに、ガーン！

やぎは村の行事があると屠殺されて食べられてしまうのです。可愛がっていたやぎを喜んで食べている親戚に都会の中3少年は激しいショックを受け、やぎを逃がし、自分も逃げ出し、村は大騒ぎになります。

オチがある話ではないのですが、結末を知りたくない方はここまでで「遠慮下さい」。

結局、都会の中3少年は人間がいろんな生き物の命をありがたくないだとしているという真理を学び、受け入れるのですが、素晴らしい作品

になりました。一時間半ぐらいの短い作品なのですが、最後、少年がさまよっているところが少し冗長なのですが、それも少年の葛藤をよく表しているのでしょうか。

監督の同世代の子たちにも大人たちにも観て欲しい佳品です。！（bヘー。）

「シェルブールの雨傘」

観ました。「シェルブールの雨傘」

結論としては「ロシュフォールの恋人たち」は三日天下にはなりませんでした。「シェルブールの雨傘」の方がはるかに分かりやすく、一般受けすると思うけど、私は「ロシュフォールの恋人たち」の方が好きです。

名作なので、ご存知の人も多いと思いますが、この先、結末にふれて書きますので、ネタバレ厳禁の方は引き返して下さい。

「シェルブールの雨傘」は本当に好きな人とはかえって一緒にれないという普遍的なテーマを扱っているので、受けやすいと思います。

こういったテーマでは最高の出来と言える音楽性や映像の美しさなどもあります。

でもやっぱり「ロシュフォールの恋人たち」の全てを幸福一色で塗りつぶした荒技と微妙に漂うエロチックな雰囲気の方が大好きだな（・・・）

自分の好みを再認識した意味でも、この一本をまとめて観られたのはよかったです。（＾＾）

Kくん「俺の父ちゃんにも偽善者の血が流れているし、俺の母ちゃんにも偽善者の血が流れてるから俺にも偽善者の血が流れてるんですね よおー（・・目、）」

カズマ「な、何でやうつけの？（・・・・）」

Kくん「この前、母ちゃんが近所のオバチャンの前で『お弁当』○○作つてあげるからね～（へへ）』とか言つてたのに、『作れよ』と俺が言つても『やだ～、めんどくさいもん』って作らないんですね（・・目、）」

ケンゴ「（・・・・）」

Kくん「俺はマサキくんみたいに『お父さんを尊敬しているので、家の仕事を手伝いたい』とか書いたら、東大に入れてあげるとか言われても、絶対書きません！（・・目、）」

夢「はあ？」

慶ちゃん「でもKくんの話つていつも家族5人で行動してるのはばっかりですよね！（ひ^ー。）」

Kくん「ギクッ！（・・・・）」

新たなる激動の始まり

夢「はい、新しい生徒（大好評増殖中）の良ちゃんです」

良ちゃん「こんにちは～初めてまして～良ちゃんで～す！私立文系受験を目指しています。ジャニヲタです～KinnKi Kidsの堂本剛くんの追っかけをやっています～（ぶへー。）」（男子です（・_・））

慶ちゃん「ピキッ！（・_・#）良ちゃん、悪いけど可愛い不思議ちゃんつてキャラ作りやめてくれる？僕とかぶつてるから」

良ちゃん「え～、何もキャラ作りなんかしてないもん！自然体だもん～」

慶ちゃん「（、。）てめー、図にのるなよ～教室のあるビルの裏路地でタバコ吸いながら『〇〇学院の夏服はダサイ』とか『〇〇学院の子は勉強出来ても不細工』とか陰口ばかり言こやがつて～」

みんな「こわい～（・_・）」

慶ちゃん「（、。）だいたい入りやすい私大に入つてから国公立大学の大学院に入り直す方法を夢ちゃんに相談したり、お前のどす黒い計算に満ちた心はみえみえなんだよ～（・_・）」

みんな「ひわひー（・ー・ー）」

良介ちゃん「ひわせーよー（・・目、）俺は一流の大学院に行つて、
政治家になつて、可愛こ男の子を育らせながら、お前のゴリラ虫を支
配してやるー（・・目、）」

慶ちゃん「ふわけんな！俺が阻止するー（・・〇、）」

夢「仲良せいとは美しき哉」

みんな「こや、それ間違い！」メントだか

//タクルボオイ

夢「唇にメロディいつしか刻む夕暮れ　はい、新しい生徒のタカフミです」

タカフミ「ピース！ピース！」

クラス中の顔色が変わった。タカフミは大学生と言つても通りそうなハンサムでスタイルもカッコいい子だった。

夢「タカフミは頭もすぐいいし、スポーツも出来るんですよ！21世紀の光源氏です」

タカフミ「ピース！ピース！」

夢「東大クラスに入る子に力試しでやつてもらう問題を数個やつてもらいましたが、簡単に解かれてしました。例えば『山紅於染』という四文字熟語を中国語で読み下すやつ。『ヤマハソメルヨリモアカシ』。於という字の上に形容詞があると中国語の比較級になるんですね。また山の紅葉の赤は人間が作る染め物より鮮烈な赤色だという意味もちゃんとつかめていました」

すげえ」とクラスにどよめきが広がる。

夢「いやー、新しいエースが加わり、ますますクラスが活気つきますね(^O^)」

カズマ「(-_-) 慶ちゃんと鹿ヶ原、机の下でお互い手や足つねりあつてたけど」

スカウト大作戦

タカフミ「栄とか上前津とか大須観音とか（名古屋の繁華街）歩いてるとよくナンパされたり、スカウトされたりする～！」

慶ちゃん「やれる～」

良ちゃん「スカウト多いよね～」

Kくん（ギクッ！（ - - - ）、「ウソだろ？毎日歩き回ってるけど、スカウトなんかされたことないぞ！でも、話合せなきゃー。」「あらよね～」

慶ちゃん「ホント？！（ b^—。）」

Kくん「ギクッ！（ - - - ）」

夢「本当ですよ。私もクラシックのコンサート行こうとして、お洒落して歩いてたら目の前の子がスカウトされて、『えっ！ウソでしょ！？』ってストリートをもう一回歩いたけど、スカウトの人は無視つて感じだった！（ - - - ）」

みんな「（ - - - ）」

慶ちゃん「その時、どういう服だったんですか？！（ b^—。）」

夢「ヨシャツにパーグラムマーケットのネクタイでオスカルの軍服

みたいなスプリングバー着てた(^○^)」

みんな「ほっておきましょ(ーー・・)」

まるばつ人生

まず断つておかないと云いるのは、これから書くことは私のアイデアではなくプロの歌人、作家の穂村弘さんが考えた遊びだということである。

穂村弘さんは非常に面白い個性的なエッセーを書く人で、ある時、急に「自分の人生のいろんなことを経験の有無でまるばつをつけだした。今、手元に急にないので、うろ覚えだけど「世界音痴」という作品に収録されていると思う。穂村弘さんの作品には外れがないので、よかつたら探して読んで欲しい。模倣してもかまわないけど、元祖である穂村弘さんのまるばつの表は是非見て欲しい。（ちなみににお若い時の作品だと思うので、穂村弘さん自身の表も変わっている。）

という前置きが終わり、私も人生のいろんな経験をまるばつで表してみる。

| | |
|-----|---|
| 保育園 | ○ |
| 幼稚園 | ○ |
| 小学校 | ○ |
| 中学校 | ○ |
| 高校 | ○ |
| 大学 | ○ |
| 大学院 | × |

| | |
|--------|---|
| 結婚 | × |
| 子供持つ | × |
| 恋愛 | |
| 失恋 | |
| 飲酒 | ○ |
| 喫煙 | × |
| 結婚式 | |
| お葬式 | ○ |
| バイト | × |
| 就職活動 | × |
| 海外旅行 | |
| スキーオ | |
| キャンプ | ○ |
| サッカー | ○ |
| テニス | ○ |
| ハンドボール | |
| ゴルフ | × |
| 野球 | ○ |
| 相撲 | ○ |

結婚と子供を持つが×なのはちょっとへこむ。（ーー）
でも多分、ずっと×

あとバイトや就職活動をやつてい（卒業と共に教える側に交代した。）は微妙にかけを投げかけている。
ドワンゴという企業を知らなかつたことを生徒に突つ込まれて以来、
この辺りは慎重になつてゐる。（ーー）

海外旅行は弟の結婚式でグアムに行つただけ。飛行機が苦手なので
多分、一生それだけ。

結婚式は大人になつてからは×で、これも微妙なかけ。

喫煙は本当に×

飲酒は自主的にはしないけど新年会などでつぶれたことなし。（b
^ー。）

スポーツは体育でやつたものは○それ以外は×

スキーとキャンプは中学校で行つたが一度と行かないと決心し、そ

の信念を守つてゐる（ - - - #）

他にもう一つおかしみのあるものを挙げてみる。

風俗・キャバクラなど×多分、一生×

コース料理○
ユッケ×

入院○
手術○
子供の時、ひき逃げにあつたので（ - - - ）

短歌を詠む
小説を書く

油絵×

生徒の似顔絵（ただし生徒には不評）

体罰×
多分一生×

イヤミ

派閥抗争×（多分一生無縁）

美術館行く
映画館行く
試写会行く

パーティー○

社員旅行×

株×
逮捕×

英会話○

そろばん×

合コン×

出会い系サイト×

テレクラ×

プリクラ×

ナンパ○

オーダーメイドの服×

カラオケ大会×

甲子園の応援○

新型インフルエンザ×

始末書○(- -)

社長とケンカ○(- -)

バイトの予定データ○

クラシックのコンサート○
ロックのコンサート○

能○

歌舞伎×

落語○

レ・ミゼラブル

家に泥棒が入る○(- -)

万引き×

東京○
九州○
北海道×
大阪×！

何かレスポンスがあつたらそちらで書くかも。

続まるばつ人生

自宅に帰つて確かめた。やはり「世界音痴」にまるばつが書いてあった。

私が思いつけなかつた独創的な項目が多い。

以下、私が思いつけなかつた独創的な項目。

- 一人暮らし○
- 離婚×
- 家を買う×
- 洗濯○
- 骨折○
- 献血×
- 投票○
- ボタンつけ×
- ペットを飼う○
- 髪型を変える○
- お年玉をあげる○

(^ _ ^ ;)

私も少し考えた。少し面白みがあるやつ。

髪を染める ×
アクセサリーをつける ○
エロなビデオ見る ×
古本買う ○
ブラックコーヒー ○
ロシア紅茶 ○
青汁 ×
てつちり ×
チーズフォンデュ ○
チョコレートフォンデュ ○
初詣 ○
裸祭り ×
教会 ×
おはらい ×
おみくじ ○
金魚すくい ○
釣り ×
スノボ ×
花火大会 ○
警察に通報 ○
救急車 ○
食中毒 ○
気絶 ×
学校の窓ガラス割る ×
学校をサボる ×
着メロ ○
パソコン ○
着うた ×
着メロ ○
iPod ×

| | |
|------------|------------|
| ファミコン○ | スーパーファミコン○ |
| ゲームボーイ○ | プレイステーション× |
| Wi-Fi× | モンハン× |
| サイン会○ | ファンレターもらう○ |
| 花束もらう○ | バレンタインチョコ○ |
| クリスマスデート× | 姪との対面× |
| 親におごる○ | 職務質問○ |
| 姪との対面× | 大学のゼミナール○ |
| 職務質問○ | 大金を使った買い物× |
| 大学のゼミナール○ | ブランド品買うう○ |
| 花束もらう○ | トランクス○ |
| ボクサー ブリーフ○ | ふんどし× |
| エステ× | エステ× |
| マッサージ× | マッサージ× |
| 応援団× | 応援団× |

生徒会○

ミステリの途中で結末を見破る○

ジャニーズのコンサート×

農業×

漁業×

サラリーマン×

バンド×

教師○(多分、一生)(ーーー)

「英國王のスピーチ」

「ゴールデンウイーク中、何でこんなに働くの?」といつほど働いていました。まあその方があまり暗いことや不安を考えないからいいけど。

「先生、お土産!」ともらつたのはマカデミアナッツ一袋。バーロオーラー「うれしくねーぞ!。(^ - ^)。と照れつつ、しまつてあります。

しかしあ普通の学校に生徒をお返しして、今日は映画を観ていました。

アカデミー賞作品賞制覇の「英國王のスピーチ」

結論としてはすこくよかったです。映画界の潮流を考えると近年のアカデミー賞はいろいろタブーとされていた監督に賞を与えていたので、今年本格的、ちょっと古風な作品が作品賞制覇したことが久々です。

第二次大戦前夜、大英帝国のジョージ6世は苦悩していました。ヒトラーやスター・リンなど悪の独裁者が台頭する中、ジョージ6世は本来王になれるほどの地位ではなかったのに兄がスキヤンダルを起こしたため王に擁立されます。しかし因縁にとらわれた王宮で育つたジョージ6世は吃音^{じょもづき}で演説が出来ないので。

そこでエリザベス王妃が吃音を治す心理カウンセラーを探して来ま

す。心理カウンセラーに王室に生きる哀しみや苦しみを訴え、平民、庶民にふれることで生きる喜びを知り、言葉が出来るようになつて来ます。しかし神様はジョージ6世とイギリス帝国に試練を下します。

ドイツ第三帝国の侵略です。

ジョージ6世は心理カウンセラーの助けも借り、宣戦布告の日、国民に語りかけます。

ジョージ6世役はコリン・ファース。

王妃役はヘレナ・ボナム・カーター。（アリストに悪い女王の役で出てた人）

心理カウンセラーは映画界の宝・ジョンフリー・ラッシュ。彼が主演とも言えます。

近年のアカデミー賞はちょっと通な作品、ちょっと奇抜な作品が多かったのですが、ストーリーの面白さと役者の演技に力点があつて、観やすかったです。

若い子は食い足りなく思つかもしれませんが、名作のスタンダードを知るため、是非観て欲しいです。

「ザ・ファイター」

アカデミー賞ものね、もう一つ観ました。

演技賞を制覇した「ザ・ファイター」です。

ただこちらは後半あつたまつてくるまで、ちょっとしらけた気持ちもありました。何かアカデミー賞を狙っている感じがあまりにも見えてくるのです。そして間違っていると思うのですが、美男美女の役者が特殊メイクで汚れ役をやるのが主流です。だからブラッド・ピットやレオナルド・ディカプリオは人気のわりに無冠です。

「ザ・ファイター」はボクシングを縦糸に、家族を横糸にしています。ある強烈な母がいて父の違う9人の子供がいる。そして主人公ミッキーは恋人と家族を離れて生きようとしますが、家族はミッキーを非難します。

その辺りの描き方がかなり迫力があります。

家族と恋人の板挟みになりつつ、みんなを愛そうとするミッキー。そしてミッキーのため麻薬中毒の兄が過去と決別するところがクラシックで、よかつたです。

母役のメリッサ・レオが女優賞でしたが、恋人役のエイミー・アダムスが私は底力を感じました。

かよつと前半をくわしましたが、一年に一本の映画として観ても楽しむと思います！

私は何百冊も本を読んでいる

もしかしたら何千冊かも。たくさん本を読めば読むほどプロ作家への道は遠ざかるらしい。大先生がご託宣としておっしゃっていた。しかし私は根つから本が好きなのだろう。

やはり大震災であまり創作に集中出来ないので、また読書して勉強しようと思つた。最近、読書があるそかになつていていたかも。

ジユール・シュペルヴィエールの「海に住む少女」大震災後にこんなに心に沁みる作品とは。

「斎藤史歌文集」日本近代の宿命を感じさせられた。

竹西寛子先生「贈答のうた」「詩華断章」古典の勉強。

谷川俊太郎「夜のミツキーマウス」角川春樹社長「檻」詩集や句集は疲れをほぐすもの。

そんな風に読んでいる私を喜ばすものが出でた。角川春樹事務所から出てきた280円文庫である。

「謝野晶子」「みだれ髪」、岡本かの子「家靈」読んで、愕然(*ー

（ * ）

若い時は中の深みを全然理解していなかつた。

そこで次は新潮文庫で斎藤茂吉の「赤光」これもやつぱり若い時は
読めてなかつた！（ * — * ）

今日は280円文庫で有島武郎読みました。感動！（ T O T ）

あ～読むことは素晴らしい。樂しいから読むだけなのにね。（ - .
- . ）

西原理恵子さんの映画（前編）

「ゴールデンウイークが忙しかったので、いろいろ書けなかつたのですが、岐阜の柳ヶ瀬で西原理恵子さんの映画が特集上映されていました。

「酔いがさめたら、うちに帰ろう」と「毎日あさん」

実は「作は同じ出来事を曰那さんの立場からと奥さんの立場から描いているものでした。

西原理恵子さんは戦場カメラマンの鴨志田穰さんという男性と結婚し、兄と妹の子供も生まれるのですが悲惨な戦場を取材する鴨志田穰さんはひそかに心を病み、アルコール中毒になってしまいます。

それを受け入れ、夫と子供たちを大きな愛で包みこむ西原理恵子さんには涙。（—○—）

「酔いがさめたら～」はどうやらかといふと鴨志田穰さんの鬪病中心。鴨志田穰さんの役は浅野忠信さん。西原理恵子さんの役は永作博美さんでした。

鴨志田穰さんはアルコール中毒を克服するのですが、癌になつてしまします。でも「酔いがさめたら～」は鴨志田穰さんの死を描かず、家族の最後の幸福な時間をゆつたり描いていました。

監督はベルリン映画祭準優勝の東陽一です。おすすめ感動作。) ;

西原理恵子さんの映画（後編）

昨日、久しぶりに更新したので、変なテンションになつて「てにをは」などが乱れていて、ひどい。直そうかと思つたがそれも昨日のリアルな記録と思って、そのまま。

さて西原理恵子さんのもう一つの映画「毎日かあさん」は西原理恵子さん役が小泉今日子さん、鶴志田穣さんの役が永瀬正敏さん。

これがは全体的に明るくパワフルで、それが西原理恵子さんじこといひんなのかな?と思ひ。

私は一人暮らしだけど、結婚や子供つていいなと思わされる。やつはいつ肯定的な、でも世の中の厳しさを知つていてるのが西原理恵子さんなのだろう。

しかし浅野忠信さん、永作博美さん、小泉今日子さん、永瀬正敏さんらがかなり大きい子供がいる設定を演じるとは自分もひしひしと厳しさを感じる。 (- - -)

でも同窓会で女の子が子供が小学生になるつて言つてたからな。「子」つて何だよ~つて生徒につつこまれるけど。

恋愛小説を読む男

夢「今日は古典をマンガにしたのを持つてきました。『和泉式部日記』『蜻蛉日記』『更科日記』『春色梅児誉美』などです」

ゆか「こなんのこやー(・。・)もつと豪儀な男たちが命がけで戦う『平家物語』『太平記』『信長公記』とか読むのー(・。・)」

夢「(・。・)女子はそんなもん読まなくていいのー嫁き遅れるからー!」

ゆか「先生の思考の方が時代遅れなのー(・。・)」

夢「むむむ(・・・)」

マサキ「先生(ーーー)恋愛相談してー」

夢「マサキは素直ない子です」

マサキ「告白したのに避けられてる(ーーー)」

ケンゴ「マサキ、恋愛文学の御大・村山由佳先生の『天使の卵』『星星の舟』『ダブルファンタジー』とか愛読してるじゃん。あれ、やめた方がいい」

マサキ「(ーーー)何でー」

三一「夢みすぎー!」

ゆづ子「現実はあんなにロマンティックじゃないのー。」

蘭「恋愛文学読む時間減らしたら多分上手くいくよ」

夢「（、　、）私は小学生の頃から『源氏物語』や『好色五人女』、
テネシー・ワイリアムズの『ガラスの動物園』、グレアム・グリー
ンの『愛の終わり』、スタンダールの『赤と黒』、サガンの『悲し
みよ、こんにちは』など愛読してきましたよー。」

カズマ「この青春ゾンビー（、　、）」

ホラー映画（前編）・「ブラックスワン」

のつけからお詫びですがなかなか更新出来ず、すいません。ゴールデンウイークに働いていた分の休みを楽しんでいました。楽しんでいたというのは今の時期、いかがかとお叱りを受けそうですが。ちよつと筆がそれますが大震災後、体調を崩される方が多いことに心を痛めています。一つ言えるのはことさら明るくなるうとせず、日常を受け入れることが大事なんじゃないでしょうか？（・・・）

さて、仕切り直すため文体を変えて書くのだが、のつけからお詫びである。

私は今までホラー映画、ホラー小説に怖いと思つたことがなかつた。しかし、その発言をついに撤回することになつた。

ホラーという分野の感性の処女膜が破られた。そんな凄まじい作品に出逢つてしまつた。

アカデミー賞受賞作「ブラックスwan」である。

正直、油断があつた。アカデミー賞受賞作でチャイコフスキイの「白鳥の湖」をベースにした作品。私の得意分野だと思つた。

しかし、ふたを開けたら、予想外の作品に私はうちのめされたので

ある。ホラー映画というのを怪物が出てきて、人間がバタバタ死ぬと定義するならこの作品はホラー映画ではない。怪物も幽霊も出でこない。しかしホラーというのを観るものに恐怖や絶望を与え、その人生観や魂を揺るがすと定義するなら「ブラックスワン」は第一級のホラー映画であり、なおかつ全てのジャンルの映画の中でも今年のベストワンを争う傑作だった。

あまりの恐怖に私は何度も両手で顔を覆い、ついには上着で顔を隠すに至った。しかし、私はなまじ英語が出来てしまつたため、耳から恐怖が入つてくるのである。しかも恐怖でりながら、最後まで引きつけられ、帰ることも出来ないのである。

何の予備知識もいらないが「白鳥の湖」はオーロラ姫と黒鳥オディールの両方を一つの劇団の最高のスター、プリマドンナがやることだけは知っていた方がよい。

この先、予備知識なしで観たい方はご遠慮願いたいけど、本当に怖いので、教えておおすすめしない。

アカデミー賞女優賞のナタリー・ポートマンがプリマドンナの役をやっているのだが、オーロラ姫のパートはともかく、オディールのパートが上手くないと周りに言われる。ナタリー・ポートマンは「

スター・ウォーズ」のアミダラ姫をやっていた人である。

オディールの役がやれない彼女にプレッシャーをかけてくる人間が三人いる。ヒロインにプリマドンナの地位を失うなと圧力をかける母親。役とひきかえに体を迫つてくる監督。そしてオディールのパートが上手い後輩。こう書くとちょっと芸術が好きな人なら大映ドラマという昭和のほのぼのしたドラマみたいな道具立てだと思うかも知れない。しかし演出と演技が徹底しているので、三人により主人公がどんどん狂っていく様が本当に怖い！（Ｔ・Ｏ・Ｔ）こんな恐ろしい作品は流しちゃいけないんだよ！（ - 一 - ）

さらに主人公の正氣が失われていく中で観客の心に決定的なダメージを与えるような恐ろしい秘密が暴露される。（もし観るならその辺りはあまり意識せず不意打ちを受けて欲しいが普通の人間なら恐怖で警告は忘れてしまうので、大丈夫？？？）

チャイコフスキーの有名な傑作に彩られながら、本当に恐ろしいストーリーが展開していく。

そしてこの作品を観た私は数日後にやはり私の人生觀を搖るがすよう、そして映画史に残るような掛け値なしの傑作ホラー映画を観たのである。（続く）

ホラー映画（後編）・「ぼくのエリ、200歳の少女」

さて、「ぼくのエリ、200歳の少女」は大都市圏ではすでに去年公開された作品だが、私はこの時期やつと回ってきたのを観たのである。

私は「破格」「破調」という言葉が好きだが、「ぼくのエリ」はまさしく破格の作品だった。

私は最近はパンフなどを読むと結末が予想出来てしまうので、ほとんど予備知識なしで観る。またこの作品はヨーロッパの片田舎スウェーデンの作品であり情報がない。監督が話を作ったのか、原作者が別にいるのかも分からぬが、この映画はそんなことどうでもよくなるほどの傑作だった！

すこく乱暴なことを言うが、この監督は同じぐらい優れた作品は一度と作れないのではないか？何故かと言うと作品が例えばクリント・イーストウッドのような映画史を踏まえ、計算した作りでなく、映画の常識をはみ出すような、まさに破格の作品だからである。こういつ作品があるので、世界は豊かになり、決して飽きることはない。監督は何か訳の分からぬエネルギーでこの作品を作ってしまった。そして出来上がった作品はプロ、玄人を蒼冷めさせるものすごい作品になり、全世界の映画祭で優勝を重ねたのである。

ホラー映画というのを怪物が出てきて、人間がバタバタ死ぬと定義しても、この作品はホラー映画である。

事実、そういう見方で全部を観ても観られるだろ？

しかし、やまつこの作品はそれだけのつまらない、下品な作品ではない。

では何が本当のテーマかと言つて愛なのである。やまつ。しかも単純でない。

スウェーデンの片田舎、今より少し昔、オスカーという美少年が住んでいる。めちゃくちゃにじめられている。誰も助けてくれない。そんなオスカーのマンションの隣にエリといふ子が引っ越してくる。しかしとエリは何百年に渡つて人間を食らつてきた魔物なのだつた・。

・

すぐ無礼なことを言つが、この設定は凡庸と言つてもよい。

このサイトにこんな設定の作品はいくつも探せる。

しかし、しかしながらである。そのオスカーとエリの愛が予想をはるかに超える激しさと深さで展開する。

正直、怖くはなかつた。（一般論としては「ぼくのエリ」はオーソドックなホラー映画で、怖いもの、残酷なものが苦手ならつらうだう。）私からすると怖いというより哀しくて、切なくて、美しかつた。

私は映画を論評する時、あまり核心を論評しないのだが、今回は封印を解くといふか、少しヒントを出す。

オスカーは何故いじめられているのか？その理由が表面的には分からぬ。

ホラー映画として観た場合、分からずじまいだが、ヒントはオスカーオの父さん。オスカーはお母さんよりお父さんが好きな様子だし、お父さんもお母さんより優しい。

しかしお父さんを注意深く見て欲しい。その時、この作品もまたホラー映画の仕掛けを借りて、人間の光と闇、愛と哀しみを描いていることに気づく。そしていろんな伏線がエレガントではなく強引に結ばれた時、感動の涙が止まらないだろう。

監督は恐らく計算していないだろうが結果的にギリシア悲劇やアルベル・カミニの第一級の作品に共通する普遍的な主題がせり上がりてくる。それは最高にハッピーエンドでありながら最悪のバッドエンドである。普通の監督だったら描くことをためらつただろう。だが何故か、この監督にはそのボーダーラインが見えなかつたのである。映画の歴史の中の奇跡である。

近年観た作品の中で「」を争う傑作だった。ちなみにハリウッドでリメイクされるらしいので、監督など関係者は一生遊んでいく。

(- - -) ?

それもまた奇跡？

ホラー映画紹介のお口直しに？（――）

Kくん「先生、『ゴールデンウイーク』にグアム行つたお土産です！」

夢「うう・・・（ト○ト）」

Kくん「どうしました先生！？ 美味しくなかつたですか？（・・・）

「

夢「違つよ・・・Kくんは海外旅行行く度（『ゴールデンウイーク』や冬休みはハワイかグアム。春や夏はヨーロッパに必ず行く）、毎回必ずお土産を買ってきてくれて、何て素直で優しいいい子だと感謝してたんだよ・・・（ト○ト）なのに何で女の子にモテないのか不憫に思つたんだよ・・・（ト○ト）タカフミは『ゴールデンウイーク』明けにすぐ国体選手やつている彼女が出来たのにKくんが不憫だよあ！」

Kくん「（・――#）」

夢「シャンソンの大曲『群衆』（醜く貧しい少女が毎日過酷な労働に苦しみながら、幸福な恋をつかの間夢見るが群衆に踏みにじられ、少女は群衆を憎み、呪いをかけるという内容。相当の歌唱力と表現力のある歌手が歌わなければ喜劇に終わるであらう）を聴いて、Kくんを思い出して号泣してたんだよあー（ト○ト）」

靡けこの山先生「生きるつてこうのはそれこう不条理なものですか

うね。○(< - >) ○だから豊かな文学や藝術が生まれるんだすー。

○(< - >) ○「

アベガ「、（）もうこの手のヤクハラってこりさんですかー。」

秘密の夢ちゃん

それは秘密ー秘密ー秘密ー秘密の夢ちゃん

タカフミ「秘密の話があるの」

慶ちゃん、良ちゃん「聞きた～い（^o^）ー」（仲悪いが抜け駆けされないよ～一緒にいる）

タカフミ「夢ちゃんには秘密にしてね。おしゃべりだから」
慶ちゃん、良ちゃん「するするー」

タカフミ「クリスマスぐらい田標にライブハウスでバンドやるの。
今、ヴォーカルレッスン受けてるの」

慶ちゃん、良ちゃん「キヤー！（^o^）絶対行く！」

タカフミ「最終的にはエムステ出て、タモさんと話すの。『今日、初めてだね』って」

良ちゃん「僕の秘密はKuNKi Kidsの剛くんの他に好きな人が出来たの。ゆずの北川悠仁・・・」

三人の会話を喫茶店の席の裏側で聞いていた夢「タカフミ、クリスマスにバンド。良ちゃん、北川悠仁。メモメモ。ー（・・・）ー」

Kくん「タカフミに負けられないぜ！俺たちもバンド作ろつぜー」
ヒロキ「俺たちのバンド名はキャラメル隊」

夢「キャラメル隊・・・メモメモ」（キャラメル隊ブレイクするかな？）

あなたの秘密も秘密の夢ちゃんにバレているかも？

「津軽百年食堂」

さて、ホラー映画の他にもいくつか重厚な作品を観たのだが、ほのぼのした作品も観た。

オリエンタルラジオ、福田沙紀主演「津軽百年食堂」

青森、津軽に百年続く食堂がある。それを継承する青年の青春と恋を描く。

青森が舞台といふことで収益は東日本大震災の復興に寄付。（；ー；）

肩に力を入れず観られる。

そう断つてから「一つ一つこむが、オリエンタルラジオの一人がモテるという設定はひいきの引き倒しだろう。ひげの方が明治時代に店を開く過去パートがあるが、それにもロマンスがからめてある。（ー；）

それならば妻夫木聰、小栗旬などの美男子がやらなければ不自然だろ？。オリエンタルラジオのメガネの方が高校の時からモテていたなど首をかしげてしまった。なかなか厳しいよ、私は。

もう一つ衝撃を受けたことがある。福田沙紀という女の子を初めてしっかり見たが、久しぶりに演技の出来ないアイドルを見た。久し

ぶりに見たわ、あんな下手な嘘泣。

「うやつてうつこむと面白くなかったと誤解する人がいるが私は好きな人ほどからかう昭和のガキ大将みたいであり、どうぞよしなに。」

「津軽百年食堂」良かつたら観てみて下さい。

「羅生門」

さて、「津軽百年食堂」を観たのと同じ日に名画座で黒澤明監督の「羅生門」観た。実は大学時代にも劇場で観たことがある。今はあらか分からぬが、調布のパルコの中に映画館があり、そこで観たのである。

しかし十数年ぶりに観直し、やはり桁外れにこの作品が優れているので、びっくりした。

ビデオなどでもインターネットでも観られる方は是非観て欲しい。今、観てもちつとも古びていらない。素晴らしい。

芥川龍之介の「羅生門」や「藪の中」をモチーフにしながら、黒澤明監督の味がくわえられている。これぐらいのアレンジ力があれば、二次創作などと言わねば、古典を再生産した匠ということになる訳である。

あと若い時はストーリーに気を取られていたが演技や映像のセンスも素晴らしい。

何度も観られる傑作である。

芥川作品のビターな味を最後逆手にとつて希望と救済を『えたところが一番すごいのかも知れない。（――）

毎日が冒険？

ゲームをやらないくても私の毎日は冒険の連続である。毎日である。

ゴールデンウイーク直前、私はゴールデンウイーク中に使つお金を下ろすため銀行のATMに行つた。

その時、小銭入れをATMの上に置いてしまつた。

それを忘れて、海老フライサンドイッチを食べ、珈琲を飲み、支払いはカードだつたけれど、小銭入れがないことに気づき、ATMコーナーに走つて行つた。

しかしあつ閉まつており、設置してある電話で尋ねてみると「確かに小銭入れがあつたので、名古屋駅前の交番に届けた」とのこと。

慌てて交番に走つていくと、やっぱり小銭入れは届いていた。

しかし！

私の小銭入れは小銭でパンパンになつてゐるのである。

一応言い訳としては「コピー機を教室で使うため小銭がいるからな」だが、警察署によるところいう場合、何円玉が何枚と正確に書類を作らないといけないらしい、警察官総出でコインを数えていちらし

い。(- - - ;)

歴とした業務妨害である。

「信用しているので、数えてもらわなくともけつこうです」と言つても、そういうものではないらしい。

結局、一万円近い小銭を数えてもらい、小銭入れを返していただいた。(* - *)

明日はまた何が待つてゐる?

荻上直子監督（前編）・「バーバー吉野」

「ゴールデンウイーク前後にいろいろ観た中で荻上直子監督作品の特集もとても楽しかった。

特に数年前の作品だがベルリン映画祭で賞をとった「バーバー吉野」は素晴らしい秀逸な作品で、笑つて笑つて泣ける作品だった。

ある田舎町にバーバー吉野という床屋さんがあり、もたいまわいさんが経営している。そしてその村にはそこしか床屋さんがないので、村の男の子はみんな同じダサい髪型（こけしの髪型？）をしている。バーバー吉野の息子ももちろん。

ところがそこに都会から髪型を自由にしたいという転校生がやって来て、波紋が起こる。

村の子供たちにも反逆ムードが広がり、髪型の自由をめぐって大人と子供の戦争が始まる。

実はこのエッセーの中で論評したミヒヤエル・ハネケの作品でも大人と子供の対立が描かれるが荻上直子監督の方が格が上だと思った。日本とヨーロッパの違いもあるのだろうが、対立しながらも大人も子供も愛情と優しさに満ちていて、最後はアッと驚く爽やかな終わり方だからである。それを目撃して、私は感動の涙があふれるのを止められなかつた。

是非、ご覧になることをおすすめする。子供たちが同じダサい髪型でいるのを見るだけでもじんわりとおかしい。（^o^）

荻上直子監督（後半）・「マザーウォーター」

さて、荻上直子監督は「バー・バー・吉野」の後、小林聰美さん主演で、自由に生きる女性たちの映画「かもめ食堂」「めがね」といった作品を手がけた。

そして「マザーウォーター」は荻上直子監督本人の作品ではないのだが、スタッフやキャストが荻上直子監督のグループの方々である。

舞台は京都で水を使って仕事する三人の女性がいる。

水割りのバーをやっている小林聰美さん。珈琲屋さんをやっている小泉今日子さん。お豆腐屋さんをやっている市川実日子さん。そして京都を歩き回っている元気なおばあちゃん役のもたいまさこさん。

事件らしい事件が起こらず、まつたり時間が流れるのを見るだけであるが、私は大好きな作品である。出来事がないのを否定的にとらえる映画ファンも多いのだが。

ただアリズムじゃないから仕方ないけど水割りや珈琲しかない店なんかやっていけないぞ！現実世界では！（私の家は忙しい飲食店だった。）

美輪明宏先生「愛の讃歌」

ちょっととなかなか載せられなかつたのだが、美輪明宏先生「愛の讃歌」拝見した。

今の日本は伝統がめちゃくちゃになつてしまつたが例えれば歌舞伎や落語をやる人は本来は何でもかんでもやるものではなかつた。この作品はこの人というレパートリーがあつたのである。

そして美輪明宏先生はそういう日本の伝統を守り、いくつかのレパートリーを毎年交互にやつている。そして今年はエディット・ピアフの生涯を描く「愛の讃歌」であつた。

ちなみにレパートリーには江戸川乱歩の「黒蜥蜴」三島由紀夫の「近代能楽集」寺山修司の「毛皮のマリー」ジャン・コクトーの「双頭の鷲」などがある。毎年拝見するのを楽しみにしてくる。（…）

しかし去年比較的上演時間の短い「近代能楽集」をやつたので、時間の長い「黒蜥蜴」と「愛の讃歌」は永久欠番になつたと思つていたのだが、今年「愛の讃歌」が上演され、パワーはむしろ500パーセントましぐらいだった。（…）

全三部構成で4～5時間ぐらいあるのだが、第1部はエディット・ピアフのデビュー前。貧しいピアフは赤ちゃんの病院代を稼ぐため「群衆」などを怨念を込めて歌うが、赤ちゃんは天国に召されてし

まう。ピアフは絶望に沈むが、その才能に目をつけた劇場の支配人にスカウトされ、第一次大戦のパリを解放した連合軍のため「ラ・ヴィ・アン・ローズ」を歌う。もう第一部で「群衆」を聴いただけで号泣してしまった。Kくんを思い出したのは本当である。（－－）

第一部、ピアフはボクサーの恋人が出来てシャンソン最大の曲「愛の讃歌」が生まれる。しかし飛行機事故が起こり、恋人は死んでしまう。その知らせを聞きつつ、ピアフはたくさんの観客のため、天国の恋人のため「愛の讃歌」を歌い、倒れてしまう。

この2幕目の終わりでほとんどの観客が号泣しながらスタンディングオベーションしている。（Ｔ・Ｏ・Ｔ）

そして第三幕、全てを失ったかに見えるピアフのところにテオ・サラポという少年がやって来て愛を捧げる。ピアフはテオ・サラポに芸術家としての技術や教養を教えつつ、テオの腕の中、愛に包まれ、息をひきとる。ピアフの脳裏を生涯の思い出がよぎる・・・fin

今回が二回目だが、もう泣いた泣いた。美輪明宏先生の歌唱と演技が素晴らしい。

あとピアフの妹役のYOHさんがあと手かつた。

それでも泣くとお腹ペコペコ。

（＾＾）

シーフードクリームパスタを食べて帰った。（＾＾）

それにして

清＆直美「紺屋の恋女房」

優れたお芝居や映画は何か集中するもので、「愛の讃歌」の一日前後、前川清さんと藤山直美さんの「紺屋の恋女房」拝見しました。御園座。読売新聞さんのご招待です。

いろいろな作品があり、いろいろなファンがありますが、私はやはり古典を下敷きにしたもののが好きということを再認識させられました。「紺屋高尾」という落語やお芝居のスタンダードを翻案したものでした。

藤山直美さんが吉野太夫という最高の花魁をやっています。それが無理があるという人もいますが、藤山直美さんはキレイだし、貫禄があると思いますよ。

そして前川清さん演じる職人が吉野太夫を見かけ、一目惚れし、一回だけ逢うため必死にお金を貯めます。吉野太夫は大名や豪商を相手にする花魁で逢うのにすぐお金がかかるのです。

しかしそこで吉野太夫は前川清さんが必死に逢いに来てくれたことに感動して、花魁をやめ、紺屋（染め物屋）の妻になります。

その全体がコメディとしてわざとぱり描かれ、ほのぼのと明るく演じられています。

素朴なストーリーだけど、人間の真情がよく描かれています。だか

ら古典だけ現代に生きると思こます。

お芝居の後は一人のコンサートで、今の日本を励ますため、明るく元気に歌とお話をやつしていました。戦後のヒット曲がちりばめられていきました。そして最後はお一人の名曲「ラブソングが聞こえない」

素晴らしい公演ありがとうございました。

毎日が冒険？

お芝居を見に行つた日のことだが、喫茶店でカルボナーラスパゲティを食べ、珈琲を飲んでいたら、小柄なババアがケータイで話していた。

「イネちゃんに電話しても出でくれないのよ！あの人も借金を返してくれたことがなくて、いつも物で返してくるだけで。こんな不景気だから骨董品も売れないし！あらー！一千万円持つてくれるの！」

何か危なそうな感じ。（・・・・）

ババアは電話を切ると

「イネちゃん！今、京都の人が電話してきて、一千万円持つてくるつて！」

イネちゃんは電話出ないんじやないのかよ！？

詐欺のにおいがして怖くなる（・・・）

しかし詐欺つて、こんな喫茶店でさりげなく行われるのか？怖い怖い。（・・・）

試写会「パラダイスキス」

名古屋のテレビ局CBCさんのが招待で「パラダイスキス」試写会拝見しました。

しかし、ちょっといかがかな?と思つ内容だった。 (- - -)

久しぶりの試写会の雰囲気は楽しかったけど。

今、若い女の子に人気の作品らしく会場は90パーセントぐらいは女子高生。残り老人、ホモっぽい少年、変人(私)という感じでした。

あと節電を頑張らなきゃいけないのに会場がすこく寒いの。(* -)

ストール(お洒落マフラー)を体に巻きつけて一時間震えていました。

「パラダイスキス」主演は北川景子・向井理。しかしどファンの人にはお詫びするけど演技が酷すぎる。 (- - -) 笑いをかみ殺すのに骨が折れた。

あと国際的スーパー・モデルと天才デザイナーの恋を描くのだけど小道具のスケッチが下手くそでトホホのホホ (- - -)

北川景子を向井理と争う優等生役の山本裕典くんだけが顔もしゃべりも性格も全部いいですね！（b^ー。）

ファッショングの話だから女の子にとつては衣装や音楽がガーリッシュでいいかも。

正直お招きいただいたのに心苦しいけど、ちょっと厳しい出来かな。私が否定的にとらえること、めったにないんだけど。（ーーー）

夢ひやんの頭ん中

夢「はい、という訳で、新学期の最初の定期テストも終わりました
が、何か質問があつたらして下さいね（^○^）」

ヒロキ「はい！先生はいつもペットボトルのふたを底にして逆さま
に置いてるのは何故なんですか？危なつかしくて気になるんですけど！」

夢「（・・・・）・・・」うするとな、ジュースやお茶がよく混ざ
つて、美味しいまろやかなお味になるんですよ」

慶ちゃん「（、。）ならぬよー！」
良ちゃん「（、。）どうせ、何の意味もないんでしょー...しう
もない言い訳してーー！」

ヒロキ「あと、先生はいつ結婚するんですか？」
みんな「ギクシ！（ーーー）」

夢「次、結婚するのはいつだつたかなー？」
カズマ「あつ！必殺ボケたフリだ！（・・・）」

夢「逆に皆さんに聞きたいのですが第1-2回ジュノンスーパーボーイが誰か知っていますか？・・・私ですよー！」

タカフミ「えつー・ウソー！」

慶ちゃん、良ちゃん」（。。。：）

夢「フォーフォフォフォ、ウソに決まっているでしょう。ジュノン
スーパーボーイだったら、こんなところにいませんよ」

慶ちゃん「（。。。）このブタメガネ！」

みんな「（。。。）」

「恋文～星野哲郎物語」

さて、「パラダイスキス」にお招きいただいたのに不満を口にしていた私ですが、今日は読売新聞さんのご招待で「恋文」というお芝居を御園座で拝見しました。実はあまり期待も下調べもしていなかつたのですが、意外、この作品がダークホースで感動で号泣してしまいました。明日が千秋楽ですが、また再演があつたら必ず観たい傑作でした。

戦後日本の大ヒット曲をたくさん作った星野哲郎先生と奥様の生涯を辰巳琢朗さんとかとうかずこさんが演じており、戦後日本のドラマとしても楽しめるし、さらに秀逸だったのは、夫妻のロマンスのメインストーリーに星野哲郎に憧れるサラリーマンの生涯がサブストーリーとしてからめてあり、それをモト冬樹さんとつまみ枝豆さんがやつており、「メティタツチながらモト冬樹さんの演技、歌唱、ギター演奏が主役のお二人を食っていました。「昔の名前で出ています」「みだれ髪」など魂が震えた。しかも髪ネタで爆笑をとつた後、美空ひばりの「みだれ髪」に圧倒的な力量で場面を転換し、歌世界の舞台である東北に追悼を捧げたところ、素晴らしかった。

他にも「自動車ショーカー歌」「黄色いさくらんぼ」「365歩のマーチ」「兄弟船」「風雪流れ旅」「男はつらいよ」など、まさに気がつけばそこに歌が流れていた、です。涙涙。（・_・）

そして庄巻は劇中コンサートで小林幸子先生の圧倒的な歌唱と星野哲郎先生の思い出話。

歌唱した曲は「思い出酒」「女の酒場」「雪椿」

小林幸子先生も辰巳琢朗さんも大震災のチャリティーに力を入れて
らっしゃる方で随所に励ましやいたわりを感じました。

偉人の生涯を描きつつ、生きる歎びと夫婦、家族、友人の絆、人間
の愛を描いた素晴らしい作品でした。ありがとうございました。素
晴らしかったです。

キャラメル隊の「た

キャラメル隊（モテない軍団が結成！カリスマはたまたカルト？）
がテーマソングを発表！

Kくん「俺たちキャラメル隊！最近、遅刻が多いからママが担任に呼び出され、怒られたぜ！モテる男子はハンサムでやせてお洒落な子！生きる！」とは不条理だぜ！」

ヒロキ「俺のお兄ちゃんは速水もじみちにそつくりー毎晩俺の部屋の隣に彼女を連れ込むぜー俺は進学校に行くよりお兄ちゃんのDNA分けて欲しかったぜ！」

マサキ「俺のアイドルはともちん！昨日の総選挙はあれは何だ！？一人で何票も投じてる不正があるぜ！でも俺のために笑ってくれてありがと！」

ユージロー「僕のアイドルは綿矢りさと深田恭子と涼宮ハルヒ！最後のは非現実の存在だって言わないでね！嫌いな食べ物は赤色の食べ物！マグロ、いくら、そくらんぼ、スイカ、イチゴ！見た目がダメだぜ！」

カズマ、タカフミ「（・・・・・）」

ケンゴ、ゆか「（・・・・）」

慶ちゃん、良ちゃん「ギャーハハ（^○^）」

夢「歌詞にね、ひねりが足りないですよー。もつと『ヒュペリオン』とか『夏姫』とか読んで研究しなきやー。(、○、)」

キャラメル隊「くーつー! 厳しいぜー。」

カズマ「マネージャー替えた方よくね? (、ー、ー)」

プロックバスターを観た日（前編）

馬鹿がひく夏風邪をひきました。（*ー*）

仕事を休まずやつてはいることだけ救いがありますが、なかなか更新出来ず、すいません。

月曜日に私にしては珍しくプロックバスター（映画の大ヒット作）を二つ観ました。「パイレーツオブカリビアン4」「X-MEN」です。

まず「パイレーツオブカリビアン4」を観ようと思つたのは監督がロブ・マーシャルに変わったから。

ロブ・マーシャルの作品には必ず逞しい悪女が出てきて、清々しい程です。それで新しい主要キャストとしてスペインを代表する女優ペネロペ・クルスが加わったので、観ました。

正直言うとストーリーはちょっと粗いところもあるのですがジョニー・デップ、ペネロペ・クルス、ジェフリー・ラッシュといった主要キャストの演技がしっかりしているので、最後まで観られました。

意外な喜びは監督の友人としてジュディ・デンチという大女優がちよつと出ていたのが味がありました。キャプテン・ジャック・スペウがロンドンを逃げ回っている時に身を隠す馬車に乗っている老婦人の役でちよつとだけ出ているのに、すごくチャーミング！（^

^）

そして女は怖いという監督の信念は意外な形で出てきました。

ブロックバスターを観たのはかなり久しぶりだと思いますが、面白かつたです。たまには映画でもという方におすすめ。

プロックバスターを観た日（後編）

さて、どちらかと言うと自分の本命だった「X-MEN」は大満足！年間ベストワンも狙える出来でした。今作は5に当たるのですが、このシリーズは監督がブライアン・シンガー、ブレット・ラトナー、ギャビン・フットと一流の人が手がけているため、ドラマ部分がしつかりしていて、全て劇場（試写会含む）で觀ています。

今作も新人天才監督マシュー・ヴォーンが手がけており、素晴らしい！内容は善のプロフェッサーと悪のマグニートの青年時代を描いているのですが、マグニートを悪に染めたより悪の存在を名優ケビン・ベーコンがやつていて大感激！ケビン・ベーコンは映画祭の賞などはあまりとっていないはずですが、演技や存在感が素晴らしいのです。大ファンです。（^○^）

近年は映画界の人々に尊敬され、大人しめだったのに「俺のこと忘れるなよ！」と喝を入れるような大活躍！惚れ直し！（*ー*）

またいろんな能力のあるミュータントが人間に差別されるというシリーズを通しての主題が社会・文明への批判になっていて、ストーリーに厚みを与えているのも素晴らしい。悪役のマグニートの魅力がむしろ輝いています。

今の期待は本編の最新作を作つて欲しいということです。

これもパワープッシュの作品です！（b^—。）

タカフリ「（・・・・）」

カズマ「どうしたの？（・・・）」

タカフリ「」の前、学校のキャンプ行って、バーベキューやったの。その時、女の子たちが『私も食べて！』『私も食べて！』とお肉持ってきたから言われるままに食べてしゃべっていたら、彼女がキレたの（・・・・）」

カズマ「（・・・）キャラメル隊からそういう景気のいい話を聞いたことないね・・・」

Kくん「（・・・且、）」の前、先輩が広末涼子に似ている子、紹介してくれるつて「うからす」へ期待して行ったのに、性別と髪型しか似てなかつた！」

ケンゴ「向こうにも気持ちがある！」

慶ちゃん、良ちゃん「ギャーハハ（^○^）」

Kくん「（・・・且、）」

ファム・ファタール

「ファム・ファタール」フランス語で「運命の女」という意味で、「悪女」を暗示する。

夢「そこで孔子は南子という悪女を説得しに行くんですが、彼女の宝石がカチンと鳴る意味深なシーンで場面が転換するんです。そして孔子の弟子は孔子が南子に取り込まれたんじやないかと疑いを持ったのです！」（⤴ー。）

Kくん「う女学院にそういう奴いますよ！男がそいつの前で足組んだりすると『アタシの前で足組んだりするんじゃないよー。（・。・。）』って怒るけど、キレイだからみんな従っているんですよ（；、目、）」

慶ちゃん、良ちゃん「ブフッ…（< >）」

ヒロキ「うわー、もうこう子、ストライクゾーンど真ん中ー。」

ユージロー「付かねーたー。」

カズマ「（・・・）ビハーツて自分から地獄にはまつてこいつ・・・

「

夢「Kくんも気をつけないといけないといけないですね」

Kくん「いやー俺、そいつのひと、全然好きじゃないんでー。（・。・。）

三、）」

慶ちゃん「相手にされないから大丈夫ー（b^—。）」「

Kくん「ギクッ！（—・・・）」

日本画の美術展（前編）

さて、美術館は「ゴールデンウイーク頃もよく行つていました。小牧のメナード美術館で「吉田善彦・林功展」を観ました。

結論としてはすこくよかったです。タイトルを「速水御舟・吉田善彦・林功展」にして欲しかったです。つまり速水御舟から吉田善彦、そして林功と教えが継承されているのを観ることが出来ます。三人は表面的には似ていなのですが、もっと深いメンタリティを共有しているのでしょう。古いほど偉大という訳ではないですが、速水御舟、吉田善彦の方がすぐれた作品が多いです。端的に言うと速水御舟は自然の風物を細かく描いています。吉田善彦はもつと雄大なテーマが多いです。これは同じジャンルでは師匠を超えないという葛藤とかもあつたと思う。林功は吉田善彦を超えるため海外に修行に行つている時に交通事故で亡くなりました。（；一；）

でも林功から誰かにもバトンはきつと受け継がれていると思います。

日本画の美術展（後編）

さて、メナード美術館に行つた後、名古屋に移動し、桑山美術館といつとこに行きました。仕事でよく行く街の近くにあるんだけど、住宅街の中もあり、迷ってしまいました。（*ー*）

桑山美術館は日本画の巨匠たちの名作がたくさん展示されています。私が好きだったのは前田青邨の作品。何故か受付の人には「どの作品がよかったです？」と話しかけられ、美術の話をしました。作品点数が少なく、質的に高いので、初心者の方におすすめです。

ちょっと短く終わってしまうので、私は日本画が比較的好きです。好きな画家は例えば川合玉堂、川崎小虎、加山又造、平松礼一、松村公嗣、片岡球子などなどです。

日本洋画の美術展（前編）

さて、一つ前の話がすこく短くなつてしまつたので、ちょっと反省。いつもいきなり入力で、あまり考えていないから。

次は日本人の洋画の美術展を取り上げようと思つのですが、取り上げるのは古川美術館の鬼頭鍋三郎展、松坂屋美術館の荻須高徳展、愛知県美術館の麻生三郎展です。

だいたい日本人が洋画を描く場合、何故、日本人なのにわざわざ洋画を描くのか？という疑問があり、しょもしない作品に終わることも多いのですが、今回取り上げる三人はそれぞれ独自の世界観を築き上げていました。鬼頭鍋三郎展と荻須高徳展はまだ観られるので、よかつたらおすすめします。

鬼頭鍋三郎の場合は洋画の確かなテクニックで日本ならではの風物を描くことに成功。鬼頭舞妓と呼ばれる舞妓さんの絵などです。

一方、荻須高徳はコトリロやヴラマンクの影響を受けながら、ヨーロッパの都市の風景を描き独特の世界観を確立しています。荻須高徳の絵に囮まれるとヨーロッパの都市の日常に迷い込んだようです。決して美しい観光名所でなく、その風景は日常の風景です。

日本洋画の美術展（後編）

さて麻生三郎展はあまり期待していなかつたのですが不意打ちをくらいました。麻生三郎は私が好きな松本竣介の仲間だったことが分かり、初期は非常に力強い絵です。

そして晩年に近くなると前衛芸術になつてきます。

生涯を通じて政治的な意識なども強かつたようです。

そして麻生三郎展に合わせて、愛知県美術館で東日本大震災追悼の展示をやつていて、素晴らしい展示でした。（：ー：）

しかし予定されていたブーゲンビリア美術館展も中止。

クラシックのコンサートなども中止が多いです。でも負けずに復興に向けて頑張っていきましょう！

復活！間違い言葉辞典

今日、教えるために教材を見ていてひっくり返った問題があった。

「羅綺」という言葉の意味を答えなさい」といつ問題である。時々おかしい先生がいて、こんな愚問を作る。

中国語の名詞熟語は前後が入れ替わることがあるので、これは「綺羅」である。そして「綺羅星のよつに」「たゞの連想から」「美しい服」という意味を答えさせようとしているのだが、高校生に聞くのは狂氣の沙汰。

しかし「キラ星のよつに」「たゞの誤用はよく取り上げられる。

「キラキラ星」という子供向けの歌の影響。また「きらめく才能」というような表現から、「キラ星のよつに」「たゞのを素晴らしいものがたくさんあるといつ意味で間違って使うことが多い。しかし、正しい意味は「美しく衣装が星のよつに」という衣服をほめるだけの言葉である。

発音も「綺羅」は後ろが上がるイントネーションで、星といつ言葉の前に呼吸を一拍入れる。

しかしこれは文学や言語学の知的な楽しみで、学生への問題としてはアウトである。

この問題を作った人は知識のある馬鹿だったのである。

逆に東大、京大、早稲田、立命館などの問題文は文学として優れたものがある。

現代日本文学の巨匠沢地久枝先生が少女時代を描いたエッセーで、戦前の小学校で「金色夜叉」という文字を読んだところ先生に叱られる。理由は何故でしょう?という問題がある。
何故だかわかります?

「金色夜叉」は今の時代の昼ドラマみたいなドロドロした話で、(貫一とお富が恋をしていたがお富は金に目がくらみ、貫一を捨てる。貫一は金しか信じられなくなり、金でお富に復讐しようとする)その作品の毒を小学生が味わつたことを先生は怒ったのである。この問題は実にさりげなく「金色夜叉」ってどんな作品か分かっていますか?と問いかけてしているのである。

しかし、沢地久枝先生のエッセーの中でドロドロ作品を読むのはほんの脇道で、本筋は沢地久枝先生が「ケー・ティ」というアメリカの小説を読み、その中のアメリカの暮らしや食べ物を夢見ながら、戦争を耐えたこと、そして老いた先生が再び「ケー・ティ」に出会い、失われた記憶を取り戻し、生きる支えを取り戻すところである。

そこを読む時、国語の問題文であることは忘れ去られ、感動の涙があふれて止まらないだろう。（・・・）

出撃！キャラメル隊！

ゴージロー「たいへんだよー！」ファムファタールがキャラメル隊に用があるんだって！」

ファムファタール「悪いけど、Kくんの同級生の石田って奴がアタシをしきりに口説いてきて、ついこんだよね。成敗してよー。」
○、○、「

Kくん「みんな、作戦会議だ！」

ヒロキ「囮メールで呼び出してから、恥ずかしい写真撮りついでー。」

Kくん「おつ…せひやひー。」

慶ちゃん「ブラックメールじゃんー。(・。・。)」

良ちゃん「ほつておきましょう(・。・。)」

マサキ「うわやーーー！キドーキするー。」

Kくん「石田くん、私は北川結衣と言います。学園祭とバスケットボールの試合で石田くんを見て、好きになってしまった。石田くんに好きにされたいの。石田くんのしたいこと全部していいよー！石田くんの体操服カッコいいから、それを着て屋が丘三越に来て下れー・・・ヒー。」

マサキ「うわやーーー！キドーキするー。」

Kくん「石田が来たら成敗しようぜー。」

ケンゴ「ブラックメールのアドレス、Kくんの名前とアドレス入つてたけど・・・(ーーー)」

カズマ「最初の依頼自体がファムファタールのいじめじゃないかな

(- - -)

ゆか「メールの文面がモテない男子の妄想!（、。）」

キャラメル隊「ギクッ！（ - - - ）」

Hello my friend

少し身辺にザワザワがあったのだが、私はこのサイトより現実世界に友達が多いので、創作に専念するよつ反省した。

ただこのサイトに発表しないかもしないが、あつーと思つやり方で私は昨日、今田のことも文学に昇華しようと思つてゐる。

富山県在住で、佐野元春さんのライブの時に知り合つたNAG@さんが今回特に私を気遣つて下さり、ありがたかったです。

タイミングをはかつっていたのだが、NAG@さんはインターネット上でライブをやっており、クオリティが素晴らしいので、これを読まれて、興味を持たれた方は是非、ネットライブを聴いて欲しい。

「NAG@」または「平坂長人」で検索するとながとさんのツイッターなどが出てきて、そこからニコニコ生放送のながとさんの放送に行けます。

ながとさんがギターを弾き、いろんなアーティストをカバーしています。

レパートリーは書き尽くせないですが、佐野元春さん、浜田省吾さん、桑田佳祐さん、忌野清志郎さん、ボウイなど。またB'z、浜崎あゆみ、さらにはAKBなどまでながとさんアレンジで演奏、歌唱します。ながとさんの個性、素晴らしいと私が思うポイントは歌詞世界が目に浮かぶ豊かな表現力、ストーリーテリングの能力で、

ながとせんは文学にも造詣が深いから、歌詞を深く歌えるんだと思います。パチパチ！

あとながとせんは素晴らしいアーティストにも関わらずトークなども非常に面白くお洒落です。

あとモノマネも絶品ー。「ぶらり途中ト車の旅」の真似など抱腹絶倒です。

ながとせん、いつもありがとうございます。

皆様、よかつたら放送を聞いてみてトセー（=。 - 。) (=。 - 。)

謎の名古屋駅

夜の駅には何故、変な人が多いのだろう。

名古屋駅はJR、名鉄、近鉄、名古屋市の地下鉄が合体した巨大な駅だが、ある曜日の夜、毎週抱き合つて泣いている若いカップルがいる。（――）

でも全然美男美女じゃない。むしろきつい。（――）

映画みたいな行動つて美男美女ないと喜劇になっちゃうんだな。小栗旬と長澤まさみとかじゃないと。

でもながとさんにダメ出しされた。小栗旬と長澤まさみとかもう旬じゃないと。山本裕典と武井咲とかじゃないとつて。

あと関係ないけど夕方ごろ、危ない店のティッシュを女の子に配つている奴がいて、もらえなかつたオバチャンが抗議していた。（――）

あと何故かケンカしているカップルがよくいる。（――）

自分（33）より上の感じのカップルがケンカしていて、「ちゃんとお別れのあいさつしろよ！」と言う男に「あんだけケンカしたんだからできねえよ！」と女がキレていた。

そんな名古屋の夜。

ながとさんのライブ

さて、一つ前の回で紹介したながとさんのライブだが、ながとさん の厚意でホームページのアドレスなどを貼つてもよいことになった。

<http://com.nicovideo.jp/commentary/c01085765>

<http://twitter.com/#!/NAG222>

私はこの小説のサイトの技術的なことが分からないので、もし小説 の中からはアドレスに飛べないなら活動報告に書いてみよ」と想ひ。

私はもともとインターネットに詳しい方ではなく、ながとさんの放 送で初めて「二二二」生放送とこの間にふれたのだが、正直言つて、 素人のしようもない芸が多い。

その中でストイックに一流の技術を見せるながとさんの努力に私も シンクロするところがあるのである。

でもトークなどは非常に軽妙。

曲のセレクションにも文学性もある。

是非、皆さんにお聞き願いたい。

この小説のサイトの方はけつこう音楽もやつてみた人もいるようだ
けど、生身の人間の一流のテクニックにふれて欲しい。必ず感動が
ある。

最終回

300話めを一区切りにして最終回にいたします。

しかし引き続き、エッセー集パート2を書いていきます。

私はこのサイトの技術的なことはよく分からないので、一つの作品に話数や文字数の制限があるかはよく分からないのですが、長くなつてきたので、一区切りにします。しかし登場人物などは変わりません。偉大なるマンネリズムで行こうと思います。

映画や美術展でまだ論評していないものもあるし、生徒たちも日々いろんな事件を起こし、先輩や靡けこの山先生やながとさんも活躍されると思います。

このサイトの他の人とは逆なのかもせんが、私は事実中心に書き、書いた人に見てもらっています。まあ、身内向けで閉じていると言えばそうなのですが、何の宣伝もしていないのに時々、通じて読んで下さる方がいらして、かねがね感謝をお伝えしたいと思つていました。本当にありがとうございます。

本当にすぐ新しいシリーズを書きますので、またよろしくお願ひします。

約一年弱、書いてきて、生徒の出入りもあり、歴史的大事件もあり、最初の意図とは変わってきたところもあるのですが、これからも元

『氣に書いていきます。

それでは皆さん、ボン・ボン・ウォヤージュ！

最終回（後書き）

実は最近、ちょっといやなこととかもめ事と云つかったのですが、周りの人たち、仕事の仲間、生徒、小説を認めて下さる芸術家仲間などに思いを話し、すぐ立ち直りました。愛し愛されて、時々つまづいて、立ち上がり歩き続けます。

愛のほか何もないから誰よりも強くて弱い私たちだった（愚詠）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4807n/>

エッセー集

2011年6月26日06時45分発行